

令和6年度

**職業能力開発ニーズ調査
調査報告書**

令和7年3月



令和6年度

**職業能力開発ニーズ調査
調査報告書**

目 次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の実施概要	1
(1) 事業所対象	1
(2) 在職者対象	1
(3) 求職者対象	1
(4) 学生対象	2
3. 報告書の見方	2
II 事業所対象	3
1. 全事業所対象の調査結果	3
(1) 回答事業所の概要	3
(2) 人材の過不足と求める能力について	5
(3) 従業員の職業能力開発について	13
(4) 非正社員等の職業能力開発について	19
(5) 就職氷河期世代、第二新卒者、シニア世代の雇用について	26
(6) DXの推進（IoTやAI、RPAの取り組み）状況について	30
(7) 公共職業訓練機関について	38
(8) 自由回答	55
2. 製造業対象の調査結果	58
(1) 技能者の職業能力開発について	58
(2) 技能の継承について	60
III 在職者対象	63
(1) 回答者の概要	63
(2) 免許・資格の取得状況	66
(3) 職業能力開発に関わる現状及び意識	71
(4) 公共職業能力開発施設への要望	78
(5) 自由回答	84
IV 求職者対象	87
(1) 回答者の概要	87
(2) 就職に対する希望条件	90
(3) 免許・資格の所有状況および取得希望	102

(4) 職業能力開発の状況	108
(5) 公共職業能力開発施設への要望	112
(6) 自由回答	126
V 学生対象	133
(1) 回答者の概要	133
(2) 就職に対する考え方	134
(3) 資格・免許の取得状況および今後の希望	138
(4) 職業能力開発に関する考え	140
(5) 自由回答	146
VI 資料 アンケート調査票	149
(1) 事業所対象	149
(2) 在職者対象	160
(3) 求職者対象	164
(4) 学生対象	171

I 調査概要

1. 調査の目的

多様化する職業能力開発ニーズに対応した職業訓練を展開するため、県内の事業所、在職者、求職者、公共職業能力開発施設等の学生等を対象として、それぞれの立場における職業能力開発に関する現状や意識、職業訓練施策等に対する要望や課題を整理し、今後の職業能力開発施策の方向性を検討する基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 事業所対象

①調査方法

富山県内に本社または支店・営業所を有する事業所・工場等 2,000 社を抽出し、郵送により配布、郵送及び WEB 回答による回収を行った。

②調査期間

令和 6 年 10 月～11 月

③調査票配布および有効回答数

配布数：2,000 事業所／有効回答数：753 事業所（回収率 37.7%）

※うち郵送 369 件、WEB 回答 384 件

(2) 在職者対象

①調査方法

富山県内に本社または支店・営業所を有する事業所・工場等 2,000 社のうち、500 社を無作為に抽出し、1 社あたり 2 通を郵送により配布、郵送及び WEB 回答による回収を行った。

②調査期間

令和 6 年 10 月～11 月

③調査票配布および有効回答数

配布数：1,000 件／有効回答数：254 件（回収率 25.4%）

※うち郵送 175 件、WEB 回答 79 件

(3) 求職者対象

①調査方法

県内 6 ヶ所のハローワークの窓口にて求職者に調査票の記入を依頼し、郵送及び WEB 回答による回収を行った。

富山職業能力開発促進センター（ポリテクセンター富山）、富山県技術専門学院の職業訓練受講者に調査票の記入を依頼し、回収を行った。

②調査期間

令和 6 年 11 月

③調査票配布および有効回答数

配布数：998 件／有効回答数：731 件（回収率 73.2%）

【内訳】ハローワーク配布数：820 件／有効回答数：553 件（回収率 67.4%）

※うち郵送 537 件、WEB 回答 16 件

学校施設配布数：178 枚／有効回答数：178 枚（回収率 100%）

(4) 学生対象

①調査方法

富山県技術専門学院および北陸職業能力開発大学校（北陸ポリテクカレッジ）、富山高等専門学校に在籍する学生を対象に、調査票を配布・回収を行った。

②調査期間

令和 6 年 11 月

③調査票配布および有効回答数

配布数：406 枚／有効回答数：406 枚（回収率 100%）

3. 報告書の見方

- (1) 結果は百分率で表示し、少数第 2 位を四捨五入して算出しているため、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。
- (2) 図表中に「無回答」とあるものは、回答が示されていないものである。
- (3) 図表中の N 及び（ ）内の数は各質問に対する回答者数で、比率算出の基数である。なお、属性について無回答があったため、属性別の回答数の合計と全体の回答数の数値とは合致しないことがある。
- (4) 比較に使用した調査は、「令和 2 年度 職業能力開発ニーズ調査」及び「令和 3 年度 富山県技術専門学院訓練ニーズ調査」である。

本文での「前回調査」とは「令和 2 年度 職業能力開発ニーズ調査」、「富山県技術専門学院ニーズ調査」及び「技専調査」とは「令和 3 年度 富山県技術専門学院訓練ニーズ調査」のことである。

Ⅱ 事業所対象

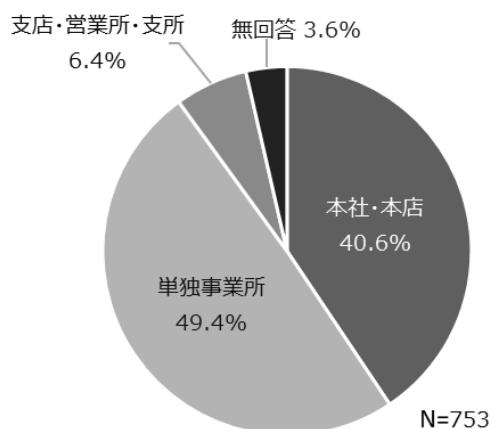
1. 全事業所対象の調査結果

(1) 回答事業所の概要

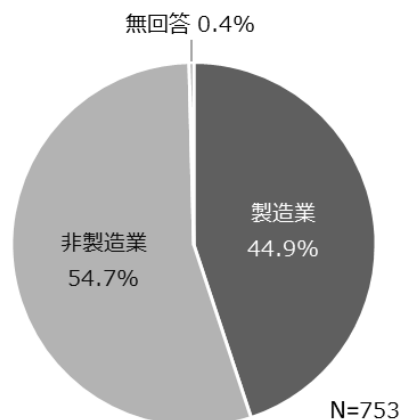
【事業所所在地】

市町村	件数	%	市町村	件数	%	市町村	件数	%
富山市	269	35.7	砺波市	47	6.2	立山町	11	1.5
高岡市	146	19.4	小矢部市	19	2.5	入善町	9	1.2
魚津市	34	4.5	南砺市	47	6.2	朝日町	4	0.5
氷見市	20	2.7	射水市	64	8.5	無回答	14	1.9
滑川市	27	3.6	舟橋村	1	0.1			
黒部市	33	4.4	上市町	8	1.1	合計	753	100.0

【本支店の区分】

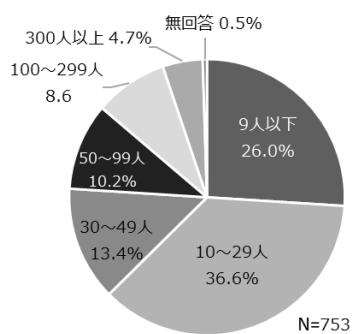


【製造業・非製造業の別】

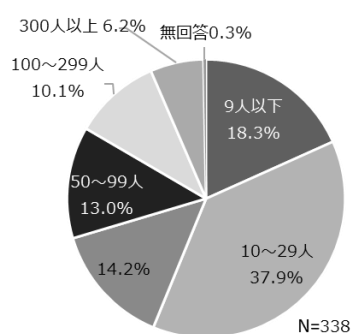


【全体の従業員数】

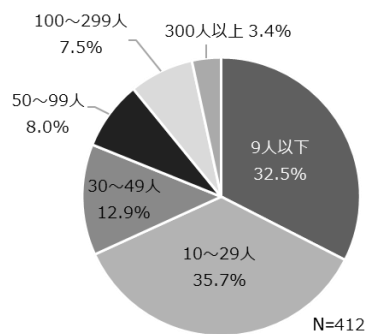
〈全体〉



〈製造業〉



〈非製造業〉



【業種と従業員数】

上段:件数 下段:%		構成比	会社全体の従業員数						無回答
			9人以下	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上	
全体		753 100.0	196 26.0	275 36.5	101 13.4	77 10.2	65 8.6	35 4.6	4 0.5
製造業		338 44.9	62 18.3	128 37.9	48 14.2	44 13.0	34 10.1	21 6.2	1 0.3
非製造業		412 54.7	134 32.5	147 35.7	53 12.9	33 8.0	31 7.5	14 3.4	- -
無回答		3 0.4	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 100.0
製造業 (14業種)	食料品	36 4.8	8 22.2	14 38.9	5 13.9	7 19.4	2 5.6	- -	- -
	繊維製品関連	17 2.3	6 35.3	6 35.3	5 29.4	- -	- -	- -	- -
	木材・家具	20 2.7	4 20.0	10 50.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	2 10.0	- -
	パルプ・紙加工品	8 1.1	1 12.5	1 12.5	- -	2 25.0	1 12.5	3 37.5	- -
	印刷	11 1.5	1 9.1	5 45.5	2 18.2	2 18.2	1 9.1	- -	- -
	窯業・土石製品製造業	18 2.4	1 5.6	14 77.8	- -	- -	3 16.7	- -	- -
	化学(医薬)・プラスチック	40 5.3	3 7.5	14 35.0	4 10.0	6 15.0	8 20.0	5 12.5	- -
	金属製品	95 12.6	20 21.1	34 35.8	13 13.7	12 12.6	11 11.6	5 5.3	- -
	一般機械	20 2.7	1 5.0	7 35.0	6 30.0	3 15.0	2 10.0	1 5.0	- -
	電子部品・デバイス	11 1.5	- -	3 27.3	3 27.3	2 18.2	1 9.1	2 18.2	- -
	電気機械	14 1.9	4 28.6	4 28.6	2 14.3	3 21.4	- -	1 7.1	- -
	輸送機械	8 1.1	- -	2 25.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	- -	1 12.5
	精密機械	8 1.1	4 50.0	3 37.5	- -	- -	- -	1 12.5	- -
	その他製造業	32 4.2	9 28.1	11 34.4	5 15.6	3 9.4	3 9.4	1 3.1	- -
非製造業 (10業種)	運輸業	34 4.5	8 23.5	10 29.4	5 14.7	5 14.7	2 5.9	4 11.8	- -
	建設業	143 19.0	57 39.9	62 43.4	10 7.0	8 5.6	4 2.8	2 1.4	- -
	卸・小売業	28 3.7	7 25.0	14 50.0	3 10.7	2 7.1	2 7.1	- -	- -
	金融保険業	9 1.2	2 22.2	- -	1 11.1	3 33.3	2 22.2	1 11.1	- -
	電気・ガス・熱供給業	3 0.4	2 66.7	1 33.3	- -	- -	- -	- -	- -
	情報通信業	9 1.2	4 44.4	2 22.2	2 22.2	- -	1 11.1	- -	- -
	医療・福祉	117 15.5	34 29.1	31 26.5	20 17.1	11 9.4	16 13.7	5 4.3	- -
	宿泊業・飲食サービス業	5 0.7	- -	3 60.0	1 20.0	- -	- -	1 20.0	- -
	その他サービス業	58 7.7	19 32.8	20 34.5	11 19.0	4 6.9	3 5.2	1 1.7	- -
	その他の非製造業	6 0.8	1 16.7	4 66.7	- -	- -	1 16.7	- -	- -
無回答		3 0.4	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 100.0

（２）人材の過不足と求める能力について

問２－１ 貴事業所における現在の人材の過不足感について、職種区分ごとにあてはまるものを１つ選んでください。（職種区分ごとに番号１つに○）

① 事務・営業系

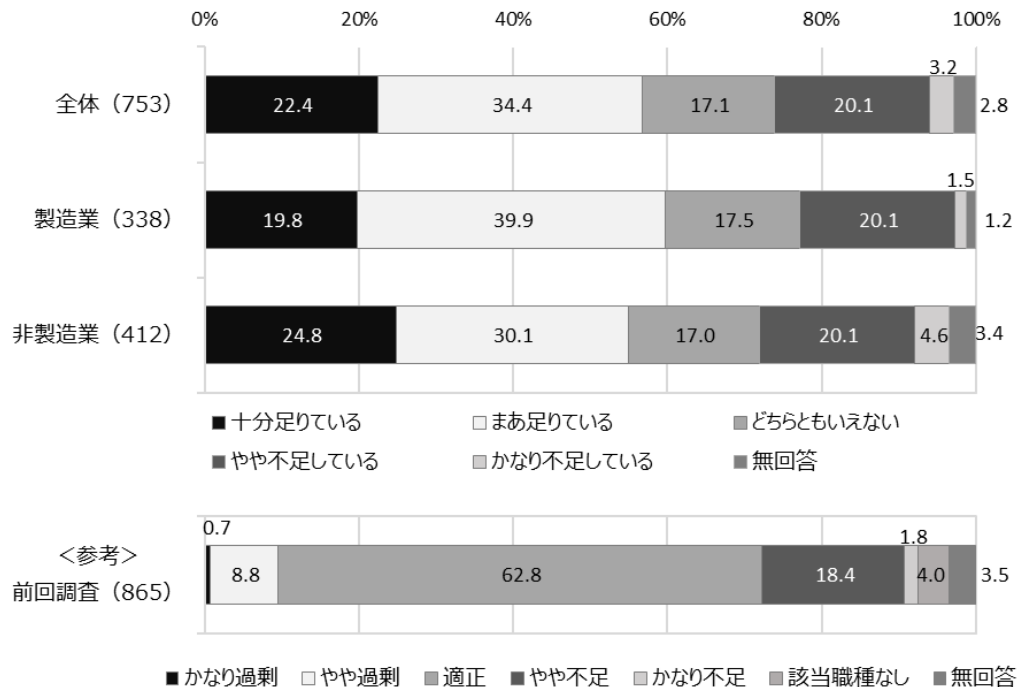
全体でみると、「まあ足りている」が34.4%と最も高くなっており、次いで「十分足りている」が22.4%、「やや不足している」が20.1%となっている。「十分足りている」と「まあ足りている」を合わせた『充足感』が56.8%であるのに対し、「かなり不足」と「やや不足」を合わせた『不足感』は23.3%で、『充足感』が『不足感』に対し、33.5%高くなっている。

業種別にみると、製造業では『充足感』が59.7%、『不足感』が21.6%、非製造業では『充足感』が54.9%、『不足感』が24.7%となっており、ともに『充足感』の方が高くなっている。

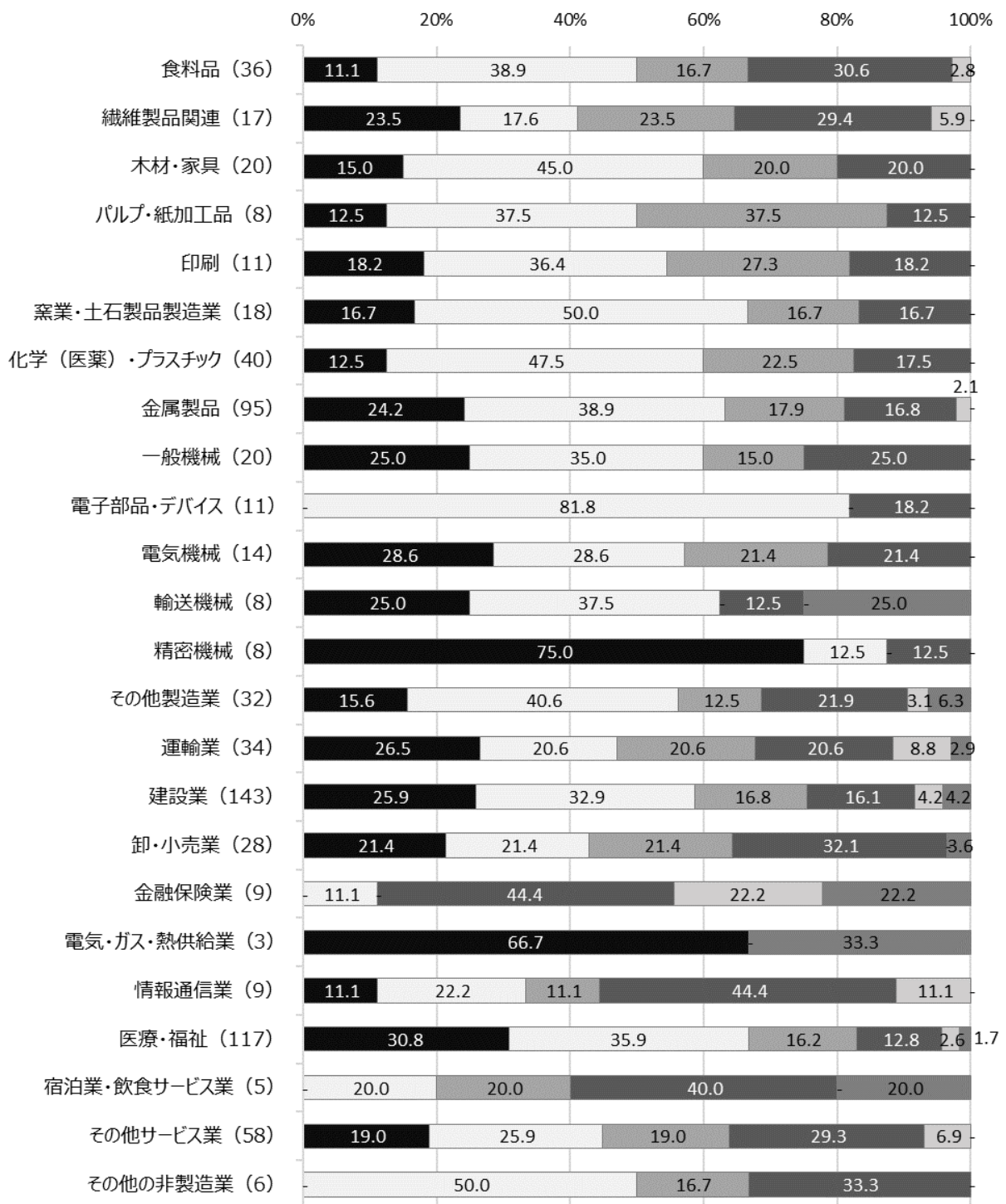
24業種別でみると、製造業で人材の『充足感』が高い傾向にあるのは、「精密機械」（87.5%）、「電子部品・デバイス」（81.8%）、「窯業・土石製品製造業」（66.7%）などで、『不足感』が高い傾向にあるのは「繊維製品関連」（35.3%）、「食料品」（33.4%）、「一般機械」（25.0%）となっている。

非製造業で人材の『充足感』が高い傾向にあるのは、「電気・ガス・熱供給業」「医療・福祉」（66.7%）、「建設業」（58.8%）で、『不足感』が高い傾向にあるのは「金融保険業」（66.6%）、「情報通信業」（55.5%）、「宿泊業・飲食サービス業」（40.0%）となっている。

■ 人材の過不足感【事務・営業系】



■ 人材の過不足感【事務・営業系】24業種別



■ 十分足りている □ まあ足りている ■ どちらともいえない ■ やや不足している ■ かなり不足している ■ 無回答

② 技術・技能系

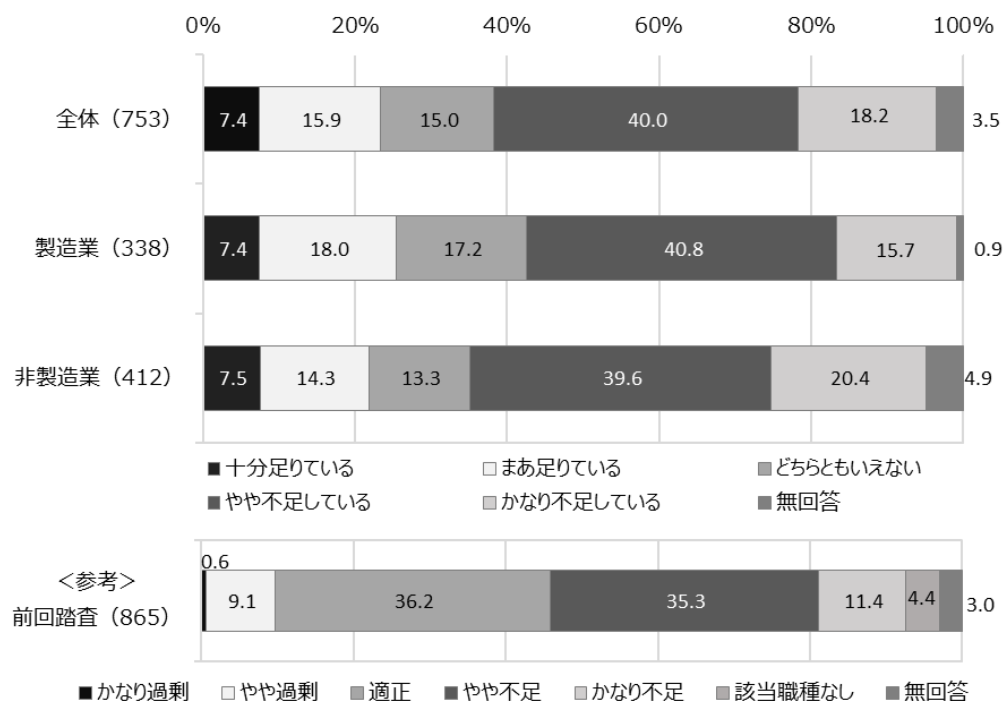
全体でみると、「やや不足している」が 40.0%と最も高く、次いで「かなり不足している」が 18.2%、「まあ足りている」が 15.9%となっている。「かなり不足している」と「やや不足している」を合わせた『不足感』が 58.2%であるのに対し、「十分足りている」と「まあ足りている」を合わせた『充足感』は 23.3%で、『不足感』が『充足感』に対し、34.9%高くなっている。

業種別にみると、製造業では『不足感』が 56.5%、『充足感』が 25.4%で『不足感』が 31.1%高く、非製造業では『不足感』が 60.0%、『充足感』が 21.8%で『不足感』が 38.2%高く、大きく差が開いている。

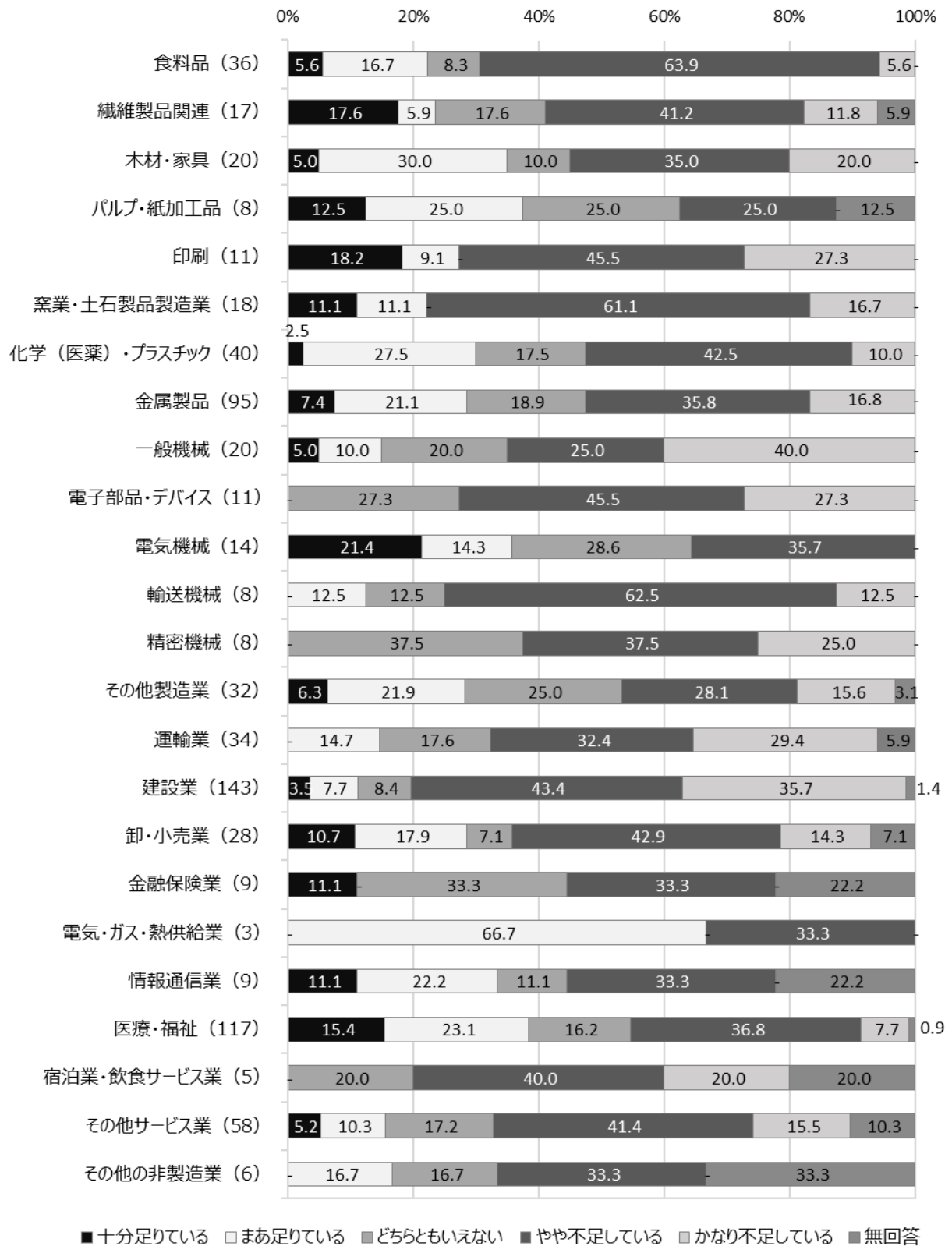
24 業種別でみると、製造業で人材の『不足感』が高い傾向にあるのは「窯業・土石製品製造業」(77.8%)、「輸送機械」(75.0%)、「印刷」「電子部品・デバイス」(72.8%)で、『充足感』を感じているのは、「パルプ・紙加工品」(37.5%)、「電気機械」(35.7%)、「木材・家具」(35.0%)となっている。

非製造業で人材の『不足感』が高い傾向にあるのは「建設業」(79.1%)、「運輸業」(61.8%)、「宿泊業・飲食サービス業」(60.0%)で、『充足感』を感じているのは、「電気・ガス・熱供給業」(66.7%)、「医療・福祉」(38.5%)、「情報通信業」(33.3%)となっている。

■ 人材の過不足感【技術・技能職】



■人材の過不足感【技術・技能系】24業種別



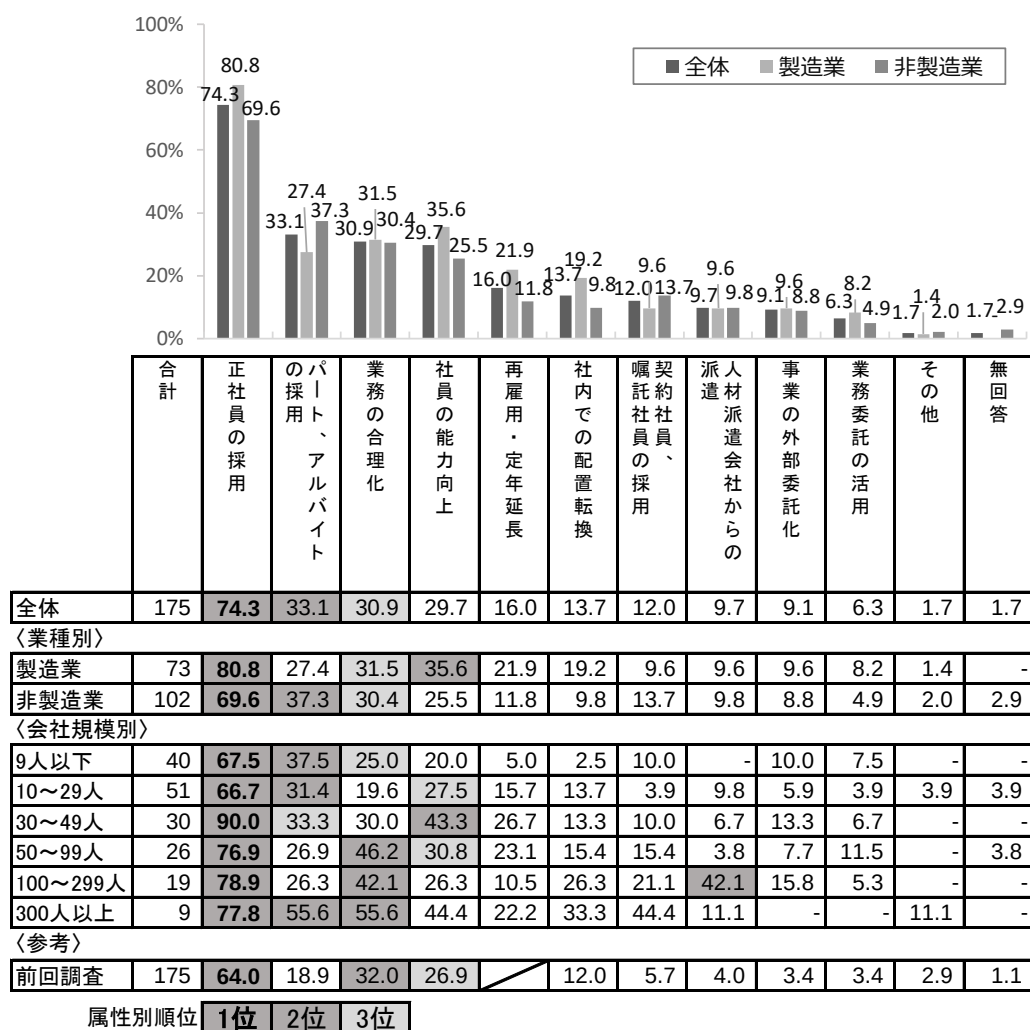
問2-2 【問2-1で「4. やや不足」または「5. かなり不足」を1つ以上回答した事業所におたずねします。】人材不足について、今後どのような対応をお考えですか。不足感のある職種について、あてはまるものを選んでください。（不足感のある職種区分ごとにあてはまる番号すべてに○）

① 事務・営業系

全体でみると、「正社員の採用」が74.3%と最も高く、次いで「パート、アルバイトの採用」が33.1%、「業務の合理化」が30.9%となっている。

業種別で製造業と非製造業の違いをみると、「正社員の採用」が製造業では80.8%、非製造業では69.6%と11.2ポイントの差がみられる。また、「社員の能力向上」と「再雇用・定年延長」では製造業が非製造業と比べて10.1ポイント高い。

会社規模別で上位5項目の違いをみると、「30～49人」の事業所では「正社員の採用」と回答した事業所が90.0%となっているが、「10～29人以下」では66.7%となっている。また、「300人以上」の事業所では「パート、アルバイトの採用」、「業務の合理化」が55.6%と高い傾向となっている。「30～49人」では「社員の能力向上」、「50～99人」、「100～299人」、「300人以上」では「業務の合理化」が全体の割合から10ポイント以上上回っている。



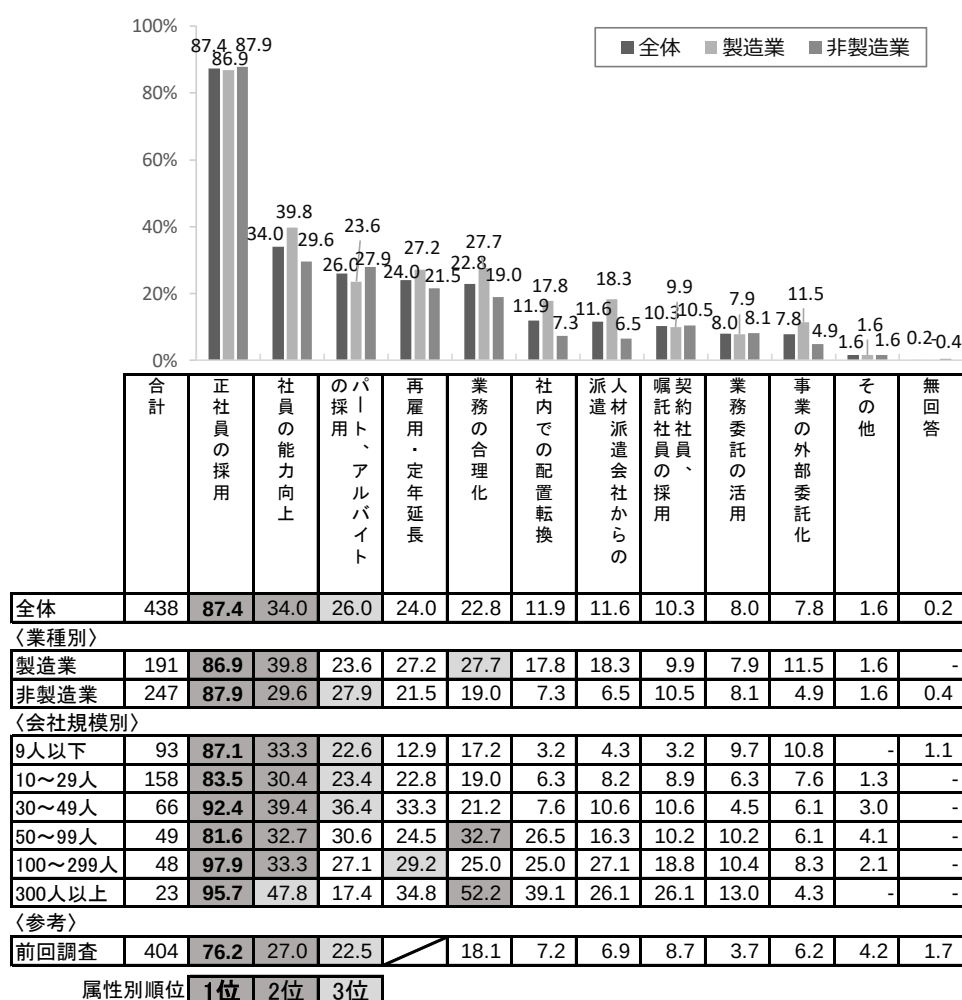
【前回調査は番号3つまでの回答】

② 技術・技能系

全体でみると、「正社員の採用」が87.4%と最も高く、次いで「社員の能力向上」が34.0%、「パート、アルバイトの採用」が26.0%となっている。

業種別にみると、製造業では、次点が「社員の能力向上」(39.8%)、次いで「パート、アルバイトの採用」(23.6%)となっている。非製造業では、次点が「社員の能力向上」(29.6%)「パート、アルバイトの採用」(27.9%)となっている。製造業と非製造業で10ポイント以上の差がみられたものは、「社員の能力向上」、「社内での配置転換」、「人材派遣会社からの派遣」で、いずれも製造業が高い。

会社規模別では、「100～299人」の事業所では「正社員の採用」が97.9%と最も高く、次いで「社員の能力向上」(33.3%)、「再雇用・定年延長」(29.2%)となっている。「300人以上」以外では次点が「社員の能力向上」となっている。「300人以上」では次点が「業務の合理化」(52.2%)となっており、全体の割合から29.4ポイント高くなっている。



【前回調査は番号3つまでの回答】

①「事務・営業系」その他
他営業所からの応援

②「技術・技能系」その他
DX化推進による効率化
外国人労働者の採用
技能実習生の受け入れ
当面は現状維持
特定技能1号

問3 貴事業所において、全従業員に求める基礎的な能力や資質はどのようなものですか。

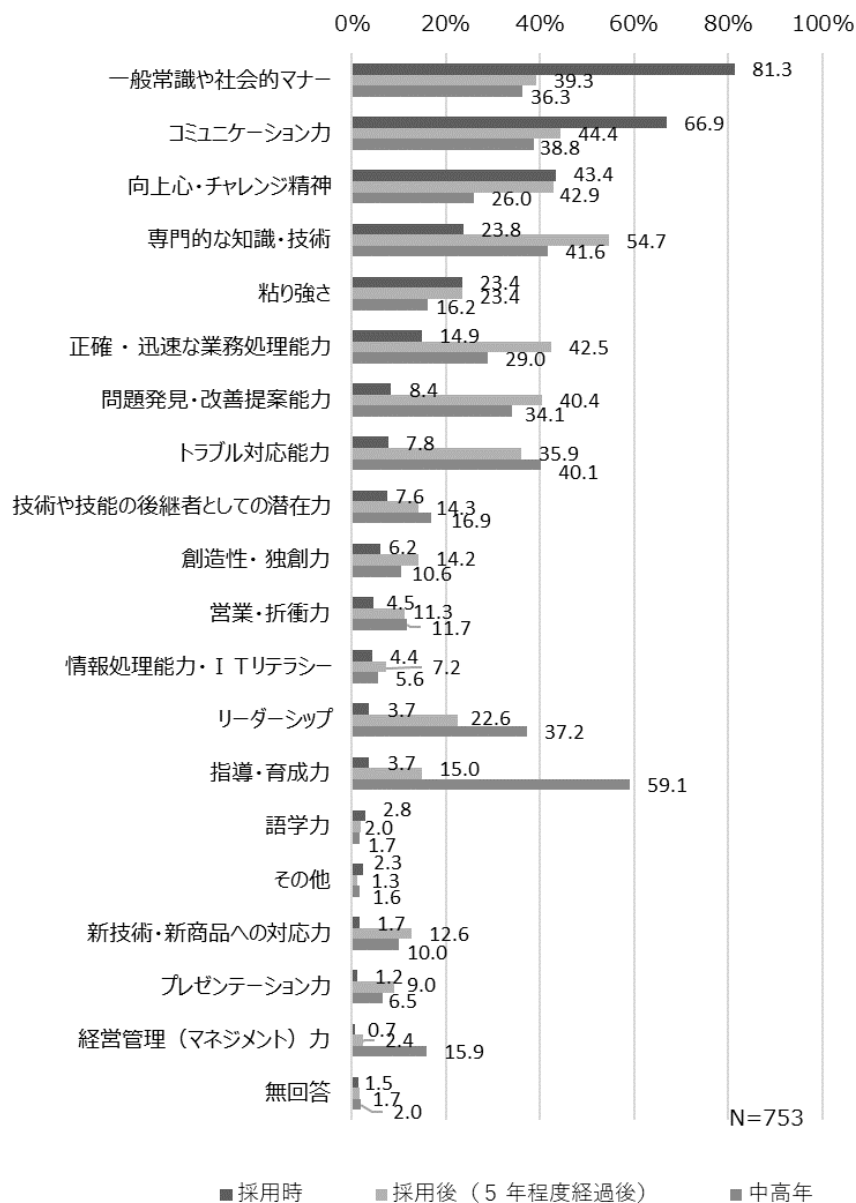
- ①採用時に採用基準となるもの、②採用から5年程度経過後の従業員に求めるもの、
③採用後の中高年に求めるものを次の選択肢の中から選びご記入ください(複数選択可)。

採用時に基準となるものでは、「一般常識や社会的マナー」が81.3%で最も高く、次いで「コミュニケーション力」が66.9%、「向上心・チャレンジ精神」が43.4%となっている。

採用から5年程度経過後に求めるものでは、「専門的な知識・技術」が54.7%で最も高く、次いで「コミュニケーション力」が44.4%、「正確・迅速な業務処理能力」が42.5%となっている。

採用後の中高年に求めるものでは、「指導・育成力」が59.1%で最も高く、次いで「専門的な知識・技術」が41.6%、「トラブル対応能力」が40.1%となっている。

■従業員に求める能力



①「採用時」その他
協調性 ……2件
誠実さ ……2件
体力 ……2件
心身共に健康
面接時のヒアリングや態度
吸収力
志望動機
勤勉さ
認知症介護基礎研修
性格と、技術を仕事に合わせる
自発的な行動
大型免許
人柄
営業日は休まず働く意欲

②「5年程度経過後」その他
協調性
介護福祉士
向上力(多能化)
間違った事に対する素直さ
熱意、応用力
経営者意識、コスト意識など
現場作業の為、体力
性格と、技術を仕事に合わせる
誠実さ、自発的な行動

③「採用後(中年)」その他
健康 ……3件
体力 ……2件
協調性
介護支援専門員
率先能力
スキルアップ
現場作業の為、体力
性格と、技術を仕事に合わせる

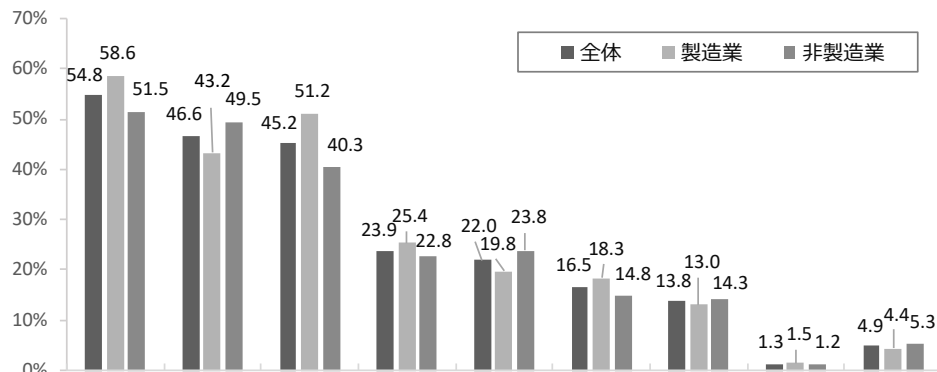
（３）従業員の職業能力開発について

問４－１ 貴事業所で、従業員に対して行っている教育訓練をすべて選んでください。
（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「見よう見まねのOJT」が54.8%と最も高く、次いで「技能検定等、公的資格取得への支援」が46.6%、「指導担当者によるOJT」が45.2%となっている。

業種別にみると、非製造業は3位まで全体と順位は同じだが、製造業では「指導担当者によるOJT」が51.2%、「技能検定等、公的資格取得への支援」が43.2%と、全体とは2位と3位の順位が入れ替わっている。

会社規模別でみると、「300人以上」の事業所では、「指導担当者によるOJT」が77.1%と最も高く、次いで「技能検定等、公的資格取得への支援」が74.3%、「社内におけるOff-JT」が65.7%となっている。「100～299人」では、「指導担当者によるOJT」が64.6%最も高くなっている。また、「見よう見まねのOJT」以外は会社規模が大きくなるにつれ、回答割合が増えている。



	合計	（見よう見まねのOJT教育訓練）	（技能検定等、公的資格取得への支援）	（指導担当者によるOJT）	（社外の機関を利用したOff-JT）	（社内研修等におけるOff-JT）	（計画的なOJT）	（支援通信教育などの受講に対する）	（その他）	（無回答）
全体	753	54.8	46.6	45.2	23.9	22.0	16.5	13.8	1.3	4.9
〈業種別〉										
製造業	338	58.6	43.2	51.2	25.4	19.8	18.3	13.0	1.5	4.4
非製造業	412	51.5	49.5	40.3	22.8	23.8	14.8	14.3	1.2	5.3
〈会社規模別〉										
9人以下	196	54.1	36.2	35.2	11.2	10.2	4.6	5.1	1.5	7.1
10～29人	275	52.7	43.3	41.1	18.5	14.5	12.7	8.4	2.2	5.5
30～49人	101	57.4	48.5	45.5	21.8	27.7	15.8	13.9	-	4.0
50～99人	77	61.0	55.8	54.5	40.3	29.9	26.0	16.9	-	1.3
100～299人	65	52.3	63.1	64.6	52.3	47.7	32.3	35.4	-	1.5
300人以上	35	54.3	74.3	77.1	57.1	65.7	62.9	57.1	2.9	5.7
〈参考〉										
前回調査	865	52.7	44.4	40.0	29.6	20.6	15.5	11.8	1.2	4.0

属性別順位 **1位** **2位** **3位**

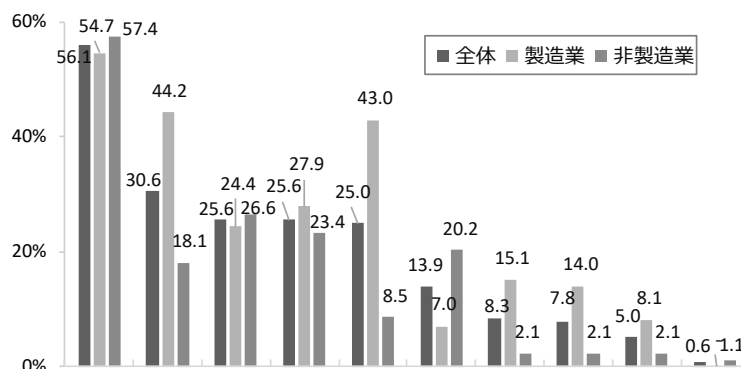
問４－２ 【問４－１で「７．社外の機関を利用したＯｆｆ－ＪＴ」と回答した事業所におたずねします。】貴事業所で、現在活用している研修機関をすべて選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

全体でみると、「民間教育訓練機関」が56.1%と最も高く、次いで「商工会議所、商工会などの経営者団体」が30.6%、「親会社・グループ企業」「使用機器のメーカーや取引先」が25.6%となっている。

業種別にみると、製造業では、「民間教育訓練機関」が54.7%と最も高く、次いで「商工会議所、商工会などの経営者団体」が44.2%、「ポリテクセンター富山」が43.0%となっている。非製造業では、「民間教育訓練機関」が57.4%と最も高く、次いで「親会社・グループ会社」が26.6%、「使用機器のメーカーや取引先」が23.4%となっている。

会社規模別でみると、「9人以下」以外は「民間教育訓練機関」と回答した事業所が最も多く、いずれも半数を超えている。「9人以下」では「使用機器のメーカーや取引先」が最も高くなっている。

前回調査と比べると、「民間教育訓練機関」が高くなっている。



	合計	民間教育訓練機関	商工会議所、商工会などの経営者団体	親会社・グループ会社	取引先	使用機器のメーカーや	ポリテクセンター富山（富山職	業能力開発促進センター）	その他	（北陸職業能力開発大学校）	富山県技術専門学院	教育機関	大学や専門学校などの	無回答
全体	180	56.1	30.6	25.6	25.6	25.0	13.9	8.3	7.8	5.0	0.6			
＜業種別＞														
製造業	86	54.7	44.2	24.4	27.9	43.0	7.0	15.1	14.0	8.1	-			
非製造業	94	57.4	18.1	26.6	23.4	8.5	20.2	2.1	2.1	2.1	1.1			
＜会社規模別＞														
9人以下	22	31.8	18.2	22.7	40.9	13.6	9.1	4.5	4.5	-	-			
10～29人	51	51.0	23.5	11.8	27.5	19.6	13.7	2.0	5.9	-	2.0			
30～49人	22	63.6	13.6	18.2	13.6	27.3	13.6	4.5	4.5	-	-			
50～99人	31	67.7	45.2	29.0	22.6	25.8	19.4	16.1	12.9	3.2	-			
100～299人	34	61.8	38.2	38.2	23.5	35.3	14.7	11.8	11.8	11.8	-			
300人以上	20	60.0	45.0	45.0	25.0	30.0	10.0	15.0	5.0	20.0	-			
＜参考＞														
前回調査	256	36.3	33.2	23.8	25.8	23.4	16.0	5.5	4.3	7.4	0.4			

属性別順位 **1位** **2位** **3位**

問4-2 その他
富山県労働基準協会 ……2件
行政等の研修 ……2件
富山県福祉カレッジなど ……2件
保険会社の専門員
県 危機管理局とKHKによる保安講習会や薬事指導課主催の講演
自動車事故対策センター
建設業労働災害防止協会、労働基準協会、同業者の会
富山県福祉カレッジ、富山県介護福祉士協会
北陸経済研究所
受注先の安全教育等
市職業訓練センター
キャリアアップ研修機関
加入している協会の研修等
県職員研修所、日本下水道事業団など
富山県トラック協会
業界の研修機関
外部研修機関
同職協会、社協等の研修
社会福祉協議会、福祉カレッジ、総合病院から認定看護師、協力薬局から薬剤師
県社会福祉協議会等の研修に参加
日本産業ガス医療ガス協会による見学会や講習会

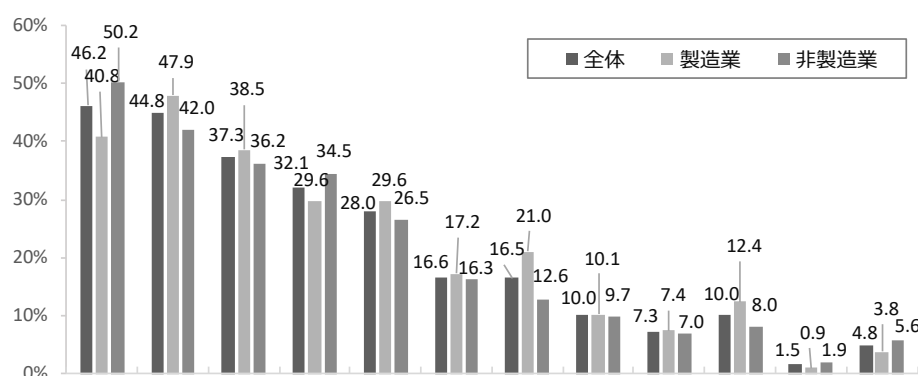
問４－３ 社外の機関を活用する場合、重視する点を選んでください。

(あてはまる番号すべてに○)

全体でみると、「教育訓練により得られる資格や免許」が46.2%と最も高く、次いで「教育訓練のカリキュラムやレベル、目標」が44.8%、「教育訓練にかかる費用」が37.3%となっている。

業種別にみると、製造業では、「教育訓練のカリキュラムやレベル、目標」が47.9%と最も高くなっている。非製造業では、「教育訓練により得られる資格や免許」が50.2%と最も高くなっている。

前回調査と比べると、上位3位に順位の変動はなかった。



	合計	格教育訓練により得られる資格や免許	レベル、目標	教育訓練にかかる費用	実施時期や曜日・時間帯等	教育訓練にかかる期間	担当講師やインストラクター	立地・交通の利便性	利用者による評価	修了率や資格取得状況など	社外の機関を活用しない	その他	無回答
全体	753	46.2	44.8	37.3	32.1	28.0	16.6	16.5	10.0	7.3	10.0	1.5	4.8
＜業種別＞													
製造業	338	40.8	47.9	38.5	29.6	29.6	17.2	21.0	10.1	7.4	12.4	0.9	3.8
非製造業	412	50.2	42.0	36.2	34.5	26.5	16.3	12.6	9.7	7.0	8.0	1.9	5.6
＜会社規模別＞													
9人以下	196	40.3	28.6	32.1	30.1	24.5	13.8	12.2	7.1	6.1	16.3	1.0	5.6
10～29人	275	48.7	37.8	33.1	33.1	27.6	11.6	16.4	9.1	8.0	10.9	2.2	5.5
30～49人	101	50.5	49.5	41.6	32.7	25.7	17.8	15.8	9.9	8.9	6.9	-	5.0
50～99人	77	37.7	61.0	42.9	31.2	32.5	27.3	23.4	11.7	3.9	6.5	2.6	3.9
100～299人	65	52.3	83.1	53.8	35.4	36.9	26.2	15.4	12.3	9.2	-	1.5	-
300人以上	35	48.6	68.6	42.9	34.3	25.7	28.6	28.6	22.9	5.7	2.9	-	5.7
＜参考＞													
前回調査	865	45.8	45.7	36.0	27.3	22.0	20.1	12.1	9.4	7.2	8.2	0.6	3.1

属性別順位 **1位** **2位** **3位**

【前回調査は番号3つまでの回答】

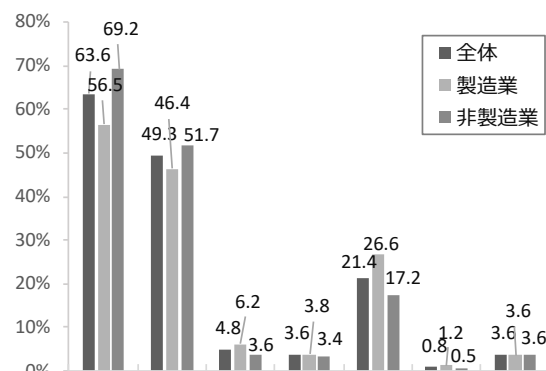
問4-3 その他
知っている所
事故防止
公的機関のものであること
機械メーカーの教育
取引先企業様にも教育訓練をお願いしています
本人の明確な研修目的

問5 貴事業所における、従業員に対する技能検定や免許資格制度への取り組みをすべて選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

全体でみると、「業務関連の免許・資格取得を奨励している」が63.6%と最も高く、次いで「業務関連の技能検定の受験を奨励している」が49.3%、「特に奨励していない」が21.4%となっている。

業種別、会社規模別ともに、「業務関連の免許・資格取得を奨励している」が最も高く、次いで「業務関連の技能検定の受験を奨励している」となっている。

また、会社規模が小さくなるにしたがって「特に奨励していない」と回答する事業所の割合は高くなる傾向にある。



	合計	業務関連の免許・資格取得を奨励している	業務関連の技能検定の受験を奨励している	業務関連以外の技能検定の受験を奨励している	資格取得以外の免許・資格取得を奨励している	特に奨励していない	その他	無回答
全体	753	63.6	49.3	4.8	3.6	21.4	0.8	3.6
〈業種別〉								
製造業	338	56.5	46.4	6.2	3.8	26.6	1.2	3.6
非製造業	412	69.2	51.7	3.6	3.4	17.2	0.5	3.6
〈会社規模別〉								
9人以下	196	45.9	37.8	3.1	3.1	36.7	1.5	3.6
10～29人	275	64.7	49.8	2.9	1.8	21.8	0.7	3.6
30～49人	101	60.4	46.5	5.0	3.0	19.8	-	6.9
50～99人	77	76.6	58.4	6.5	6.5	6.5	-	1.3
100～299人	65	86.2	64.6	9.2	6.2	4.6	-	-
300人以上	35	88.6	68.6	17.1	11.4	2.9	2.9	5.7
〈参考〉								
前回調査	865	62.8	48.3	4.9	4.6	23.4	1.0	2.2

属性別順位 1位 2位 3位

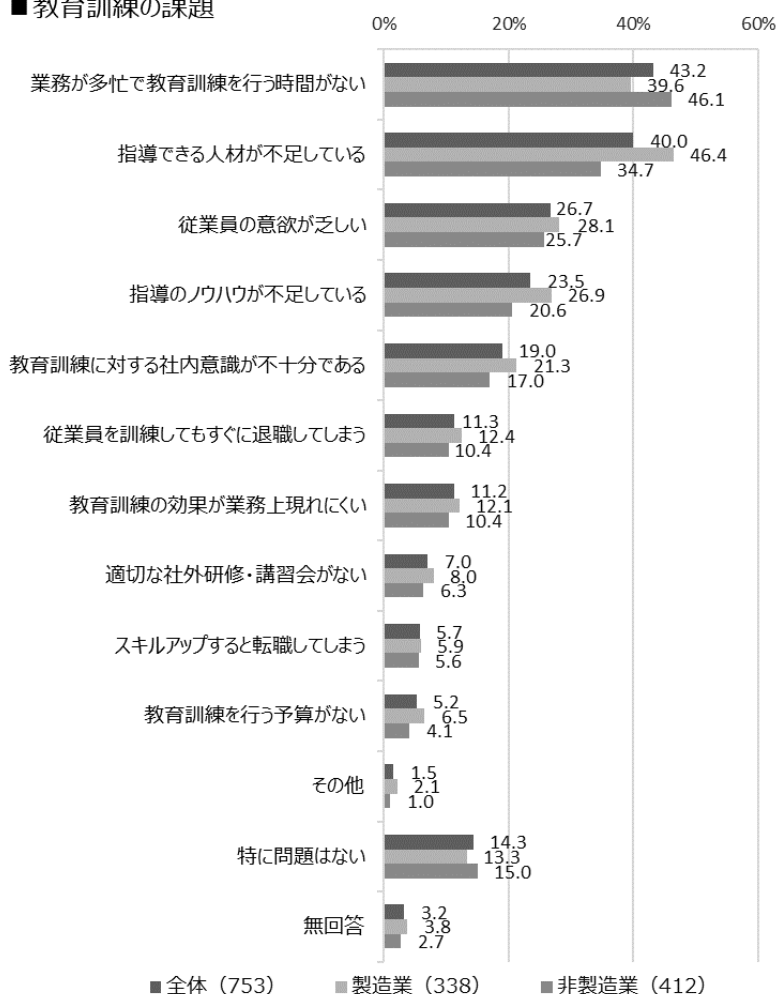
問5 その他
必要な免許、資格の取得のみ
奨励はしない。業務で必要なら受講させる
要望があれば対応する
業務関連以外の資格についても昇格要件として奨励している

問6 貴事業所において、教育訓練を行う上での課題を選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

全体でみると、「業務が多忙で教育訓練を行う時間がない」が43.2%と最も高く、次いで「指導できる人が不足している」が40.0%、「従業員の意欲が乏しい」が26.7%となっている。

業種別にみると、製造業では、「指導できる人が不足している」が46.4%と最も高く、次いで「業務が多忙で教育訓練を行う時間がない」が39.6%、「従業員の意欲が乏しい」が28.1%となっている。非製造業で最も高い「業務が多忙で教育訓練を行う時間がない」は46.1%と製造業と比べて6.5ポイント高くなっている。

■教育訓練の課題



問6 その他
縫製の研修がない
現場が離れている
中途がほとんど。即戦力を採用している
働きかた改革が問題になる
資格をとったら辞める
社外研修へ行くと予算がかかるのと、人材が不足してしまう(シフトが組めなくなる)
資格取得への経験年数に達するまで意欲があれど取得できない
若い方があまり定着しないので教育訓練を受けたことがない

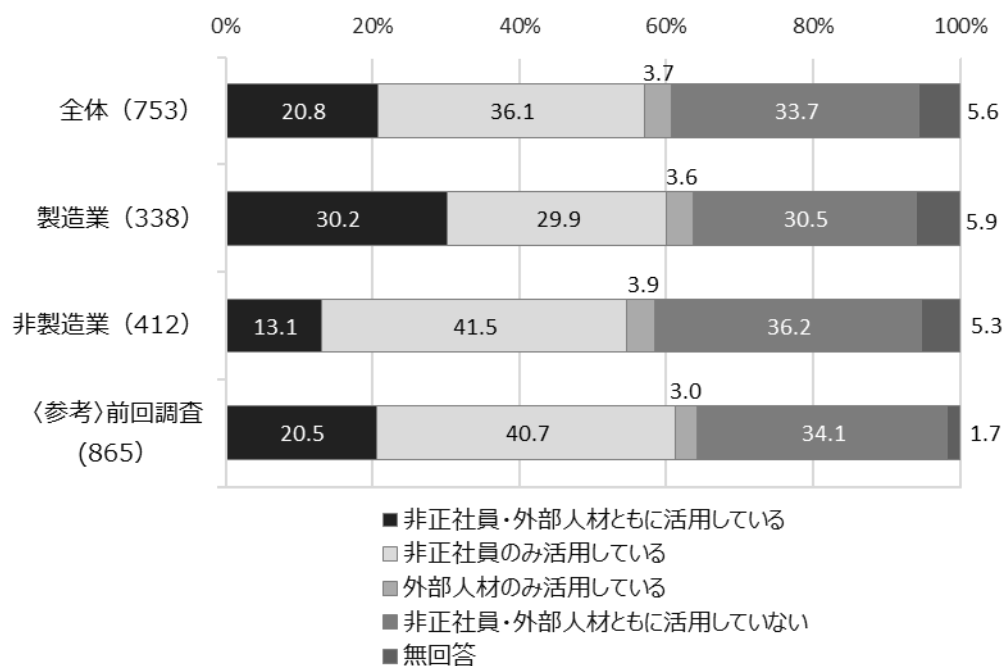
（４）非正社員等の職業能力開発について

問 7－1 貴事業所では、非正社員や外部人材を活用していますか。（番号 1 つに○）

全体をみると、「非正社員のみ活用している」が 36.1%と最も高く、次いで「非正社員・外部人材ともに活用していない」が 33.7%、「非正社員・外部人材ともに活用している」が 20.8%となっている。「非正社員・外部人材ともに活用している」と「非正社員のみ活用している」を合わせると 5 割を超える事業所が非正社員を活用している。

前回調査と今回調査を比べると、前回調査は 40.7%で最も高かった「非正社員のみ活用している」は 4.6 ポイント低くなり、「非正社員・外部人材ともに活用している」は 0.3 ポイント高くなっている。

■非正社員・外部人材の活用



問7-2 【問7-1で「1」～「3」と回答した事業所におたずねします。】

非正社員や外部人材に対して、どのような教育訓練の実施や支援を行っていますか。

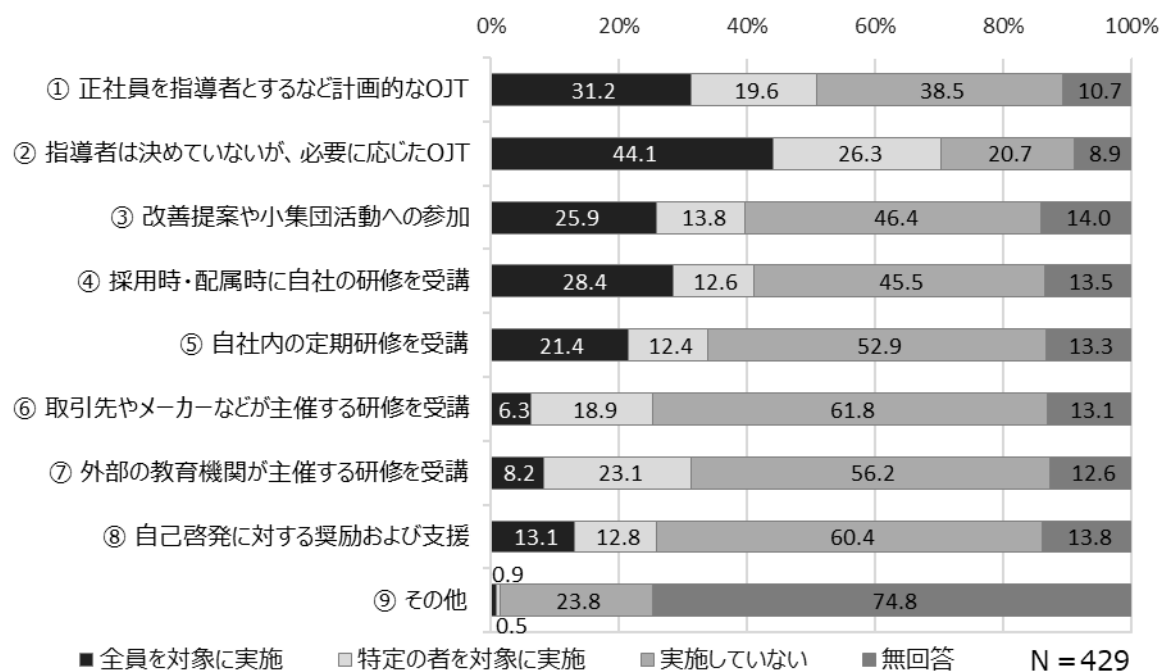
①～⑨の取り組みについて、(1) 非正社員、(2) 外部人材に対する実施状況をそれぞれ選んでください。(非正社員、外部人材のいずれかのみ活用している事業所は該当部分のみお答えください。)

(1) 非正社員

全体における「全員を対象に実施している」事業所をみていくと、「指導者は決めていないが、必要に応じたOJT」が44.1%で最も高くなっており、次いで「正社員を指導者とするなど計画的なOJT」(31.2%)、「採用時・配属時に自社の研修を受講」(28.4%)となっている。

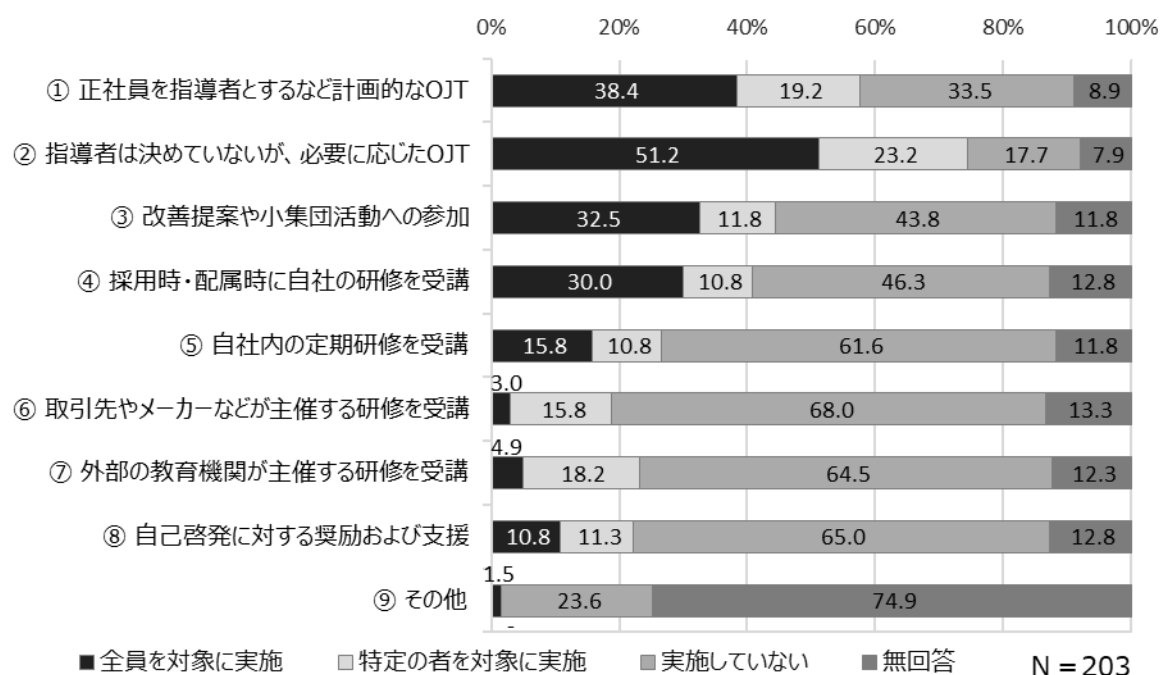
業種別でみると、製造業、非製造業ともに「指導者は決めていないが、必要に応じたOJT」が最も高く、製造業では5割を超えている。非製造業では、「自社内の定期研修を受講」が製造業と比べると10.4ポイント高くなっている。

■非正社員への教育訓練の実施や支援【全体】

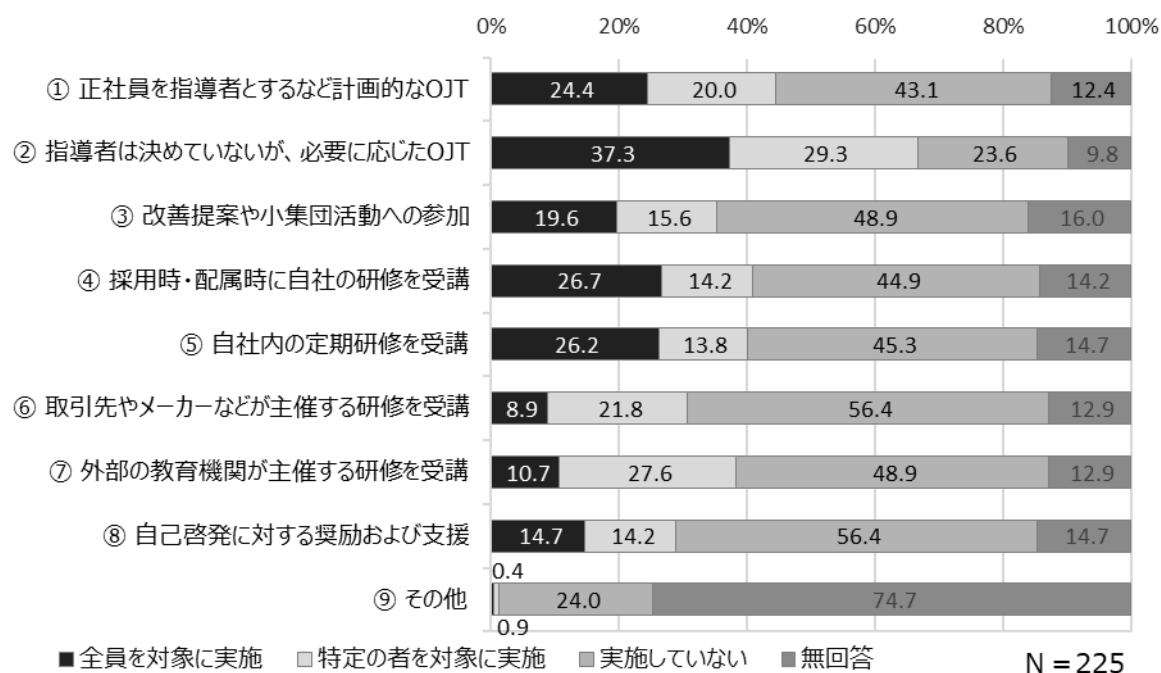


問7-2(1)「非正社員」 その他
安全教育
必要な資格を有する人を採用
定年後再雇用者

■非正社員への教育訓練の実施や支援【製造業】



■非正社員への教育訓練の実施や支援【非製造業】

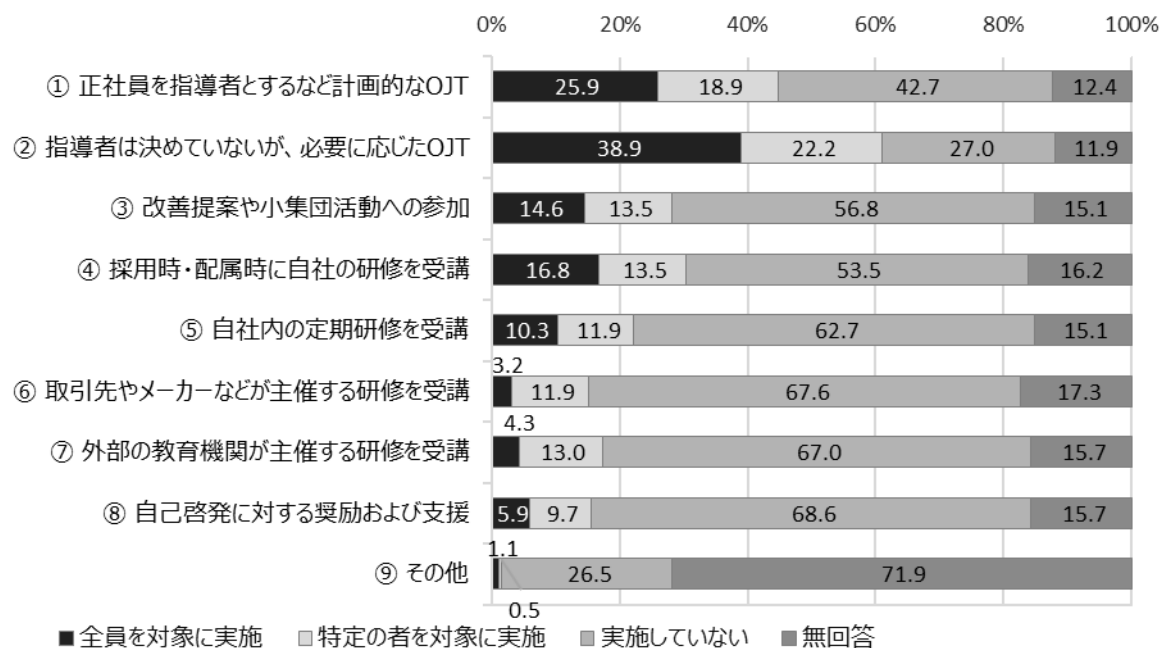


(2) 外部人材

全体における「全員を対象に実施している」事業所をみていくと、「指導者は決めていないが、必要に応じたOJT」が38.9%で最も高くなっており、次いで「正社員を指導者とするなど計画的なOJT」(25.9%)、「採用時・配属時に自社の研修を受講」(16.8%)となっている。

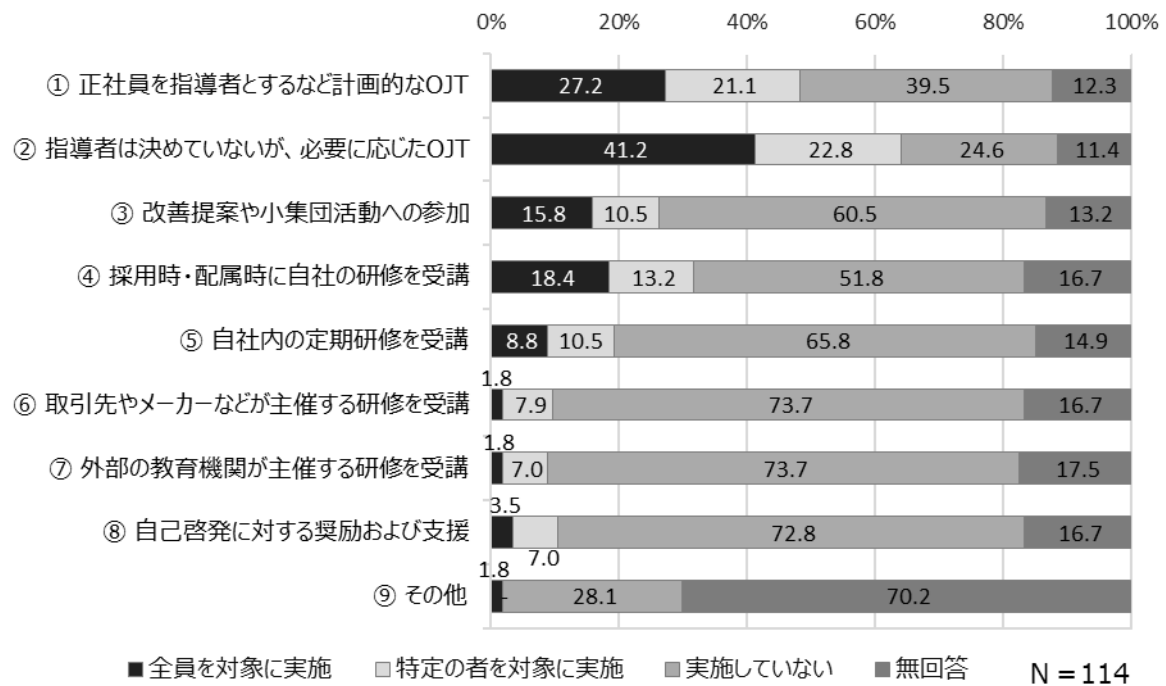
業種別でみると、製造業、非製造業ともに上位3位は同じとなっているが、回答割合は製造業のほうが高くなっている。

■外部人材への教育訓練の実施や支援【全体】

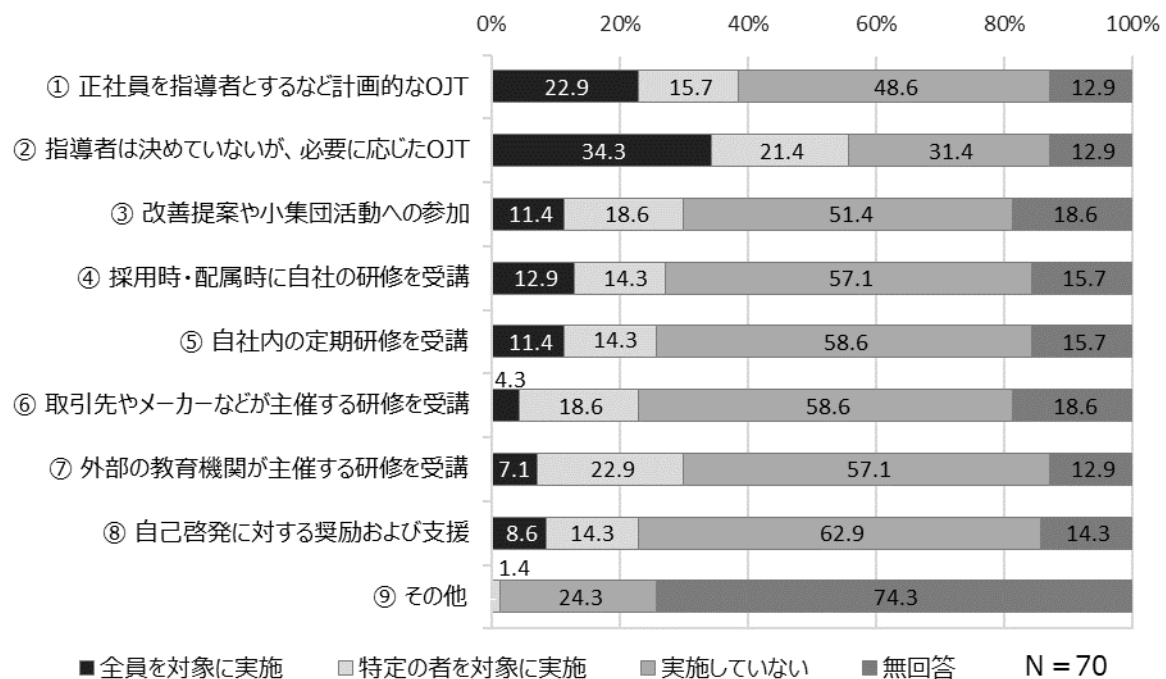


問7-2(1)「外部人材」その他
安全教育

■外部人材への教育訓練の実施や支援【製造業】



■外部人材への教育訓練の実施や支援【非製造業】



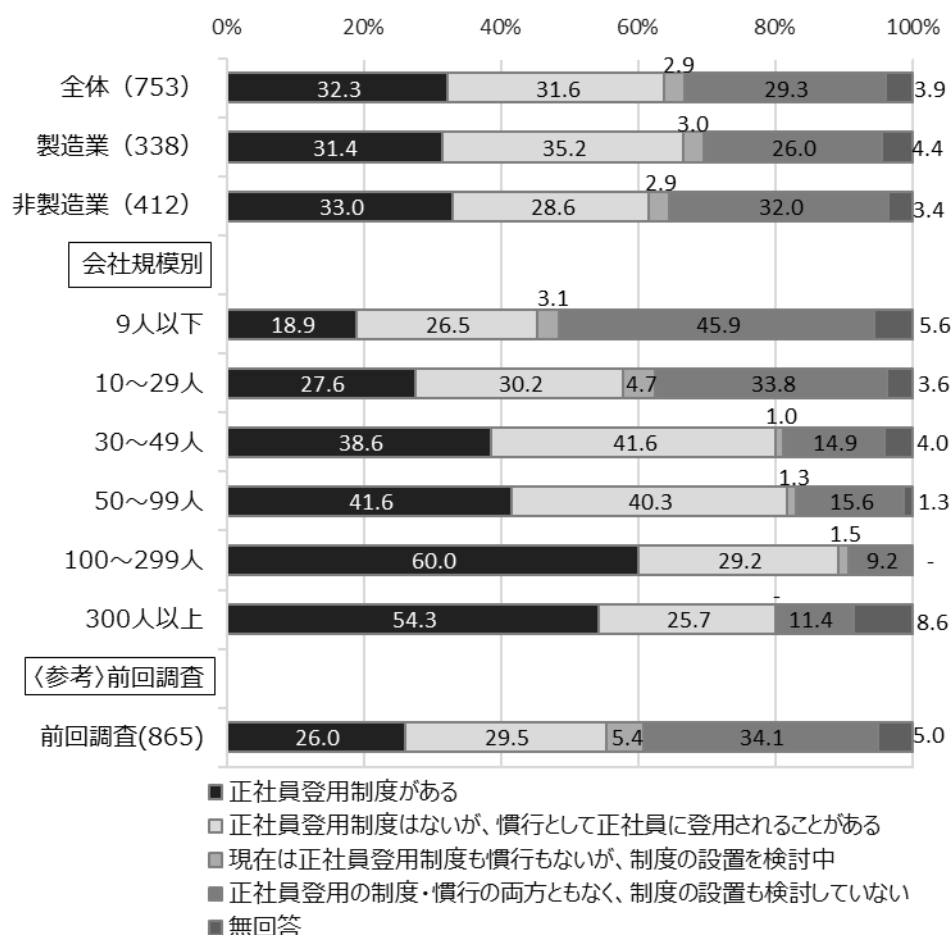
問 8 - 1 貴事業所では、非正社員や外部人材が正社員に登用される制度や慣行はありますか。(番号 1 つに○)

全体でみると、「正社員登用制度がある」が 32.3%、「正社員登用制度はないが、慣行として正社員に登用されることがある」が 31.6%と、正社員登用制度・慣行がある事業所は 63.9%と 6 割を超えている。「正社員登用の制度・慣行の両方ともなく、制度の設置も検討していない」と正社員登用に消極的な事業所は 29.3%となっている。

会社規模別でみると、正社員登用制度は規模が大きくなるにしたがって割合が高くなる傾向があり、「9 人以下」では 18.9%、「100～299 人」の事業所では 60.0%と大きな差がみられる。一方、正社員登用に消極的な事業所は会社規模が小さくなるにしたがってその割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、正社員登用制度・慣行がある事業所は 55.5%から 63.9%に 8.4 ポイント高くなり、正社員登用に消極的な事業所は 34.1%から 29.3%に 4.8 ポイント低下している。

■ 正社員への登用制度・慣行の有無

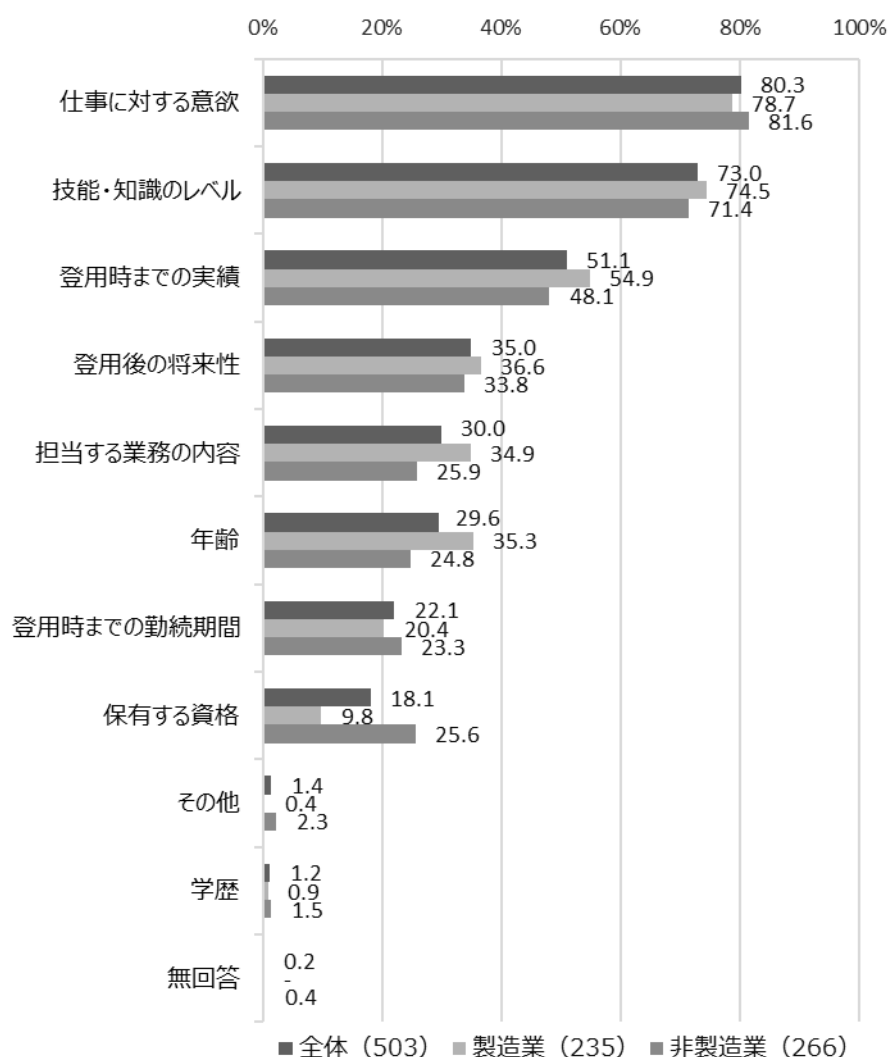


問 8 - 2 【問 8 - 1 で「1」～「3」と回答した事業所におたずねします。】非正社員や外部人材の正社員への登用にあたり重視する点を選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

全体でみると、「仕事に対する意欲」が 80.3%で最も高く、次いで「技能・知識のレベル」が 73.0%、「登用時までの実績」が 51.1%となっている。

業種別での違いをみると、「年齢」では製造業が 35.3%、非製造業が 24.8%で、製造業が 10.5 ポイント高くなっている。また、「保有する資格」では、製造業が 9.8%、非製造業が 25.6%で、非製造業が 15.8 ポイント高くなっている。

■ 正社員への登用にあたり重視する点



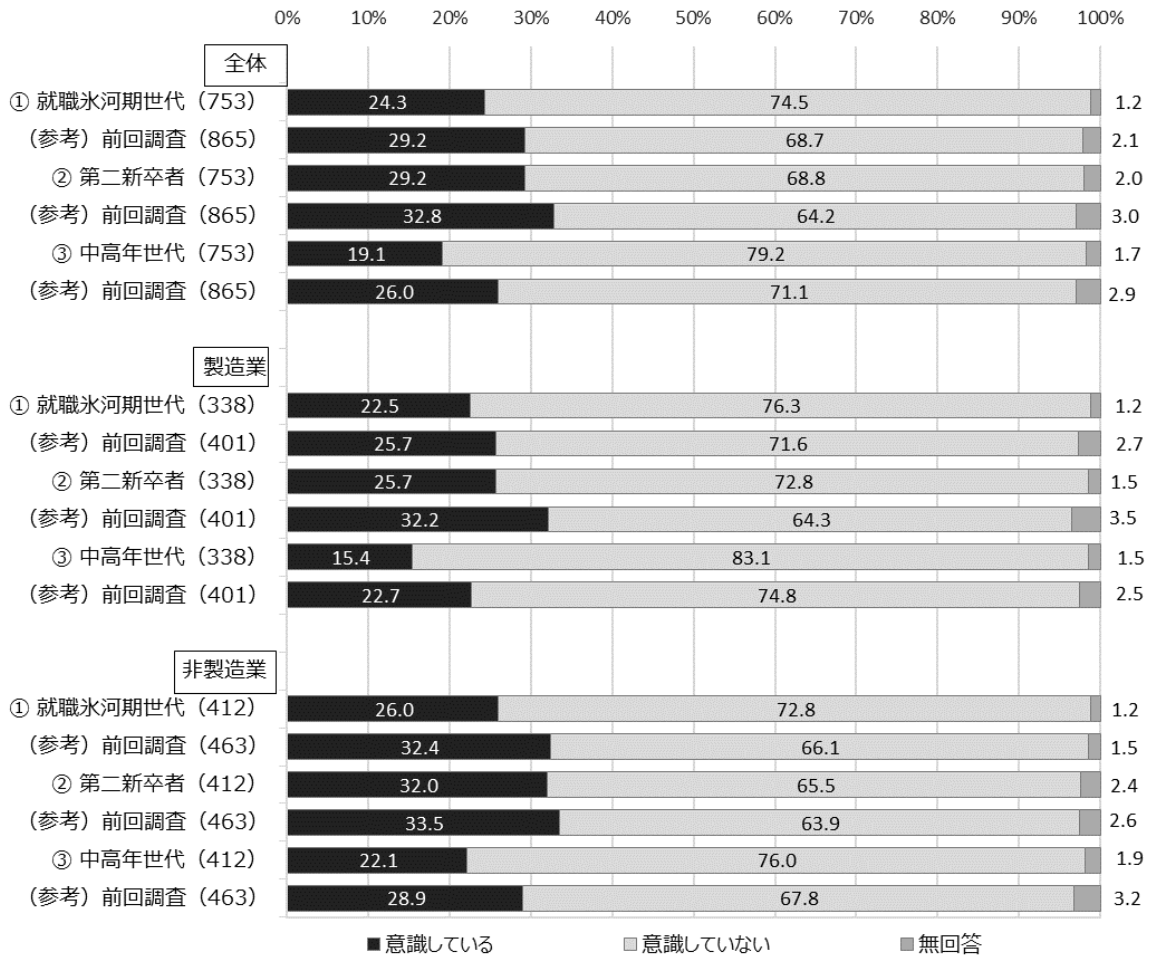
問8-2 その他
本人の希望 ……4件
人柄
本人の意思

（５）就職氷河期世代、第二新卒者、シニア世代の雇用について

問９－１ ①就職氷河期世代（概ね 39～48 歳）、②第二新卒者、③中高年世代（概ね 55 歳以上）の雇用を意識して採用活動をされていますか。（対象者区分ごとに番号 1 つに○）

全体では、就職氷河期世代の雇用について意識している事業所は 24.3%、第二新卒者については 29.2%、中高年世代については 19.1%となっている。

前回調査と比べると、意識して採用活動をしている事業所はすべての区分で減少している。



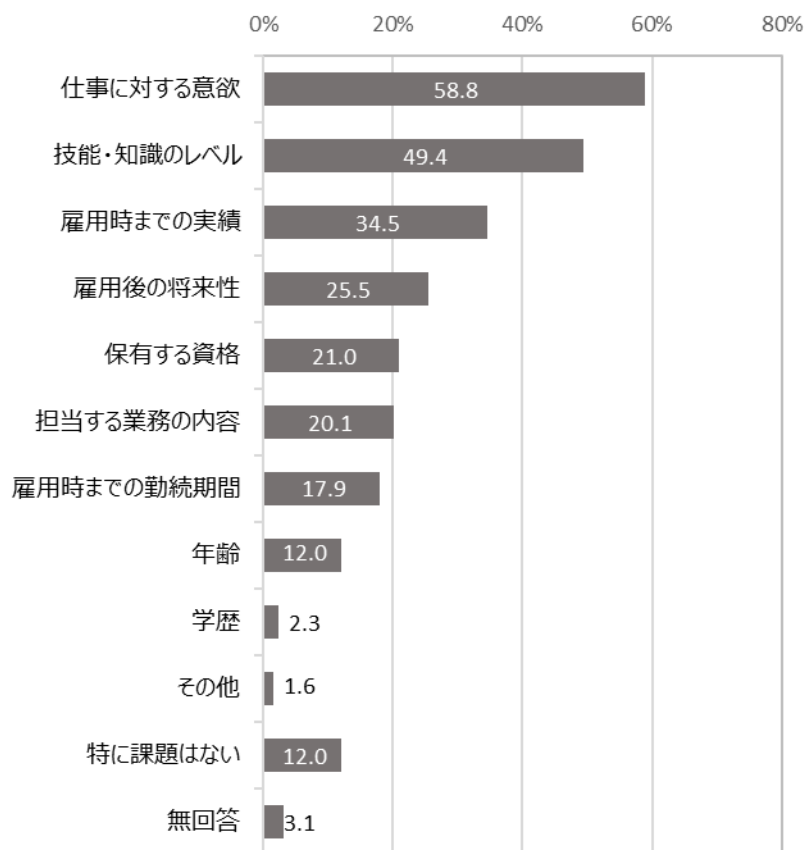
【前回調査は、対象者を①就職氷河期世代（概ね 35～44 歳）、②第二新卒者、③シニア世代（概ね 55 歳以上）としている】

問9-2 ①就職氷河期世代（概ね 39～48 歳）、②第二新卒者、③中高年世代（概ね 55 歳以上）を雇用するとした場合の課題をそれぞれ次の選択肢の中から選びご記入ください。（複数選択可）

① 就職氷河期世代（概ね 39～48 歳）

「仕事に対する意欲」が 58.8%と最も高くなっており、次いで「技能・知識のレベル」が 49.4%、「雇用時までの実績」が 34.5%となっている。

■就職氷河期世代の雇用の課題



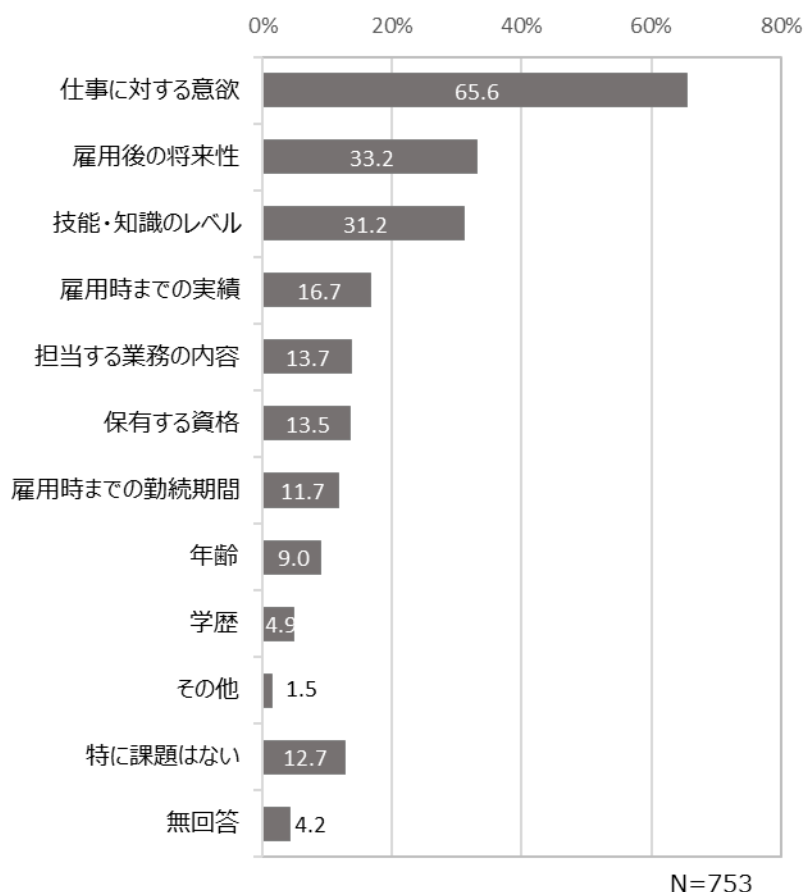
N=753

問9-2① その他
資格(衛生士)
大型免許
意識して採用していないため不明
再訓練(最初からの学習のやりなおし)。雇用してからの問題が重要
健康でまじめな人柄
健康、体力
社会性、コミュニケーション力
女性が多いため、子供の年齢と家族環境
人柄
体力

② 第二新卒者

「仕事に対する意欲」が 65.6%と最も高くなっており、次いで「雇用後の将来性」が 33.2%、「技能・知識のレベル」が 31.2%となっている。

■ 第二新卒者の雇用の課題

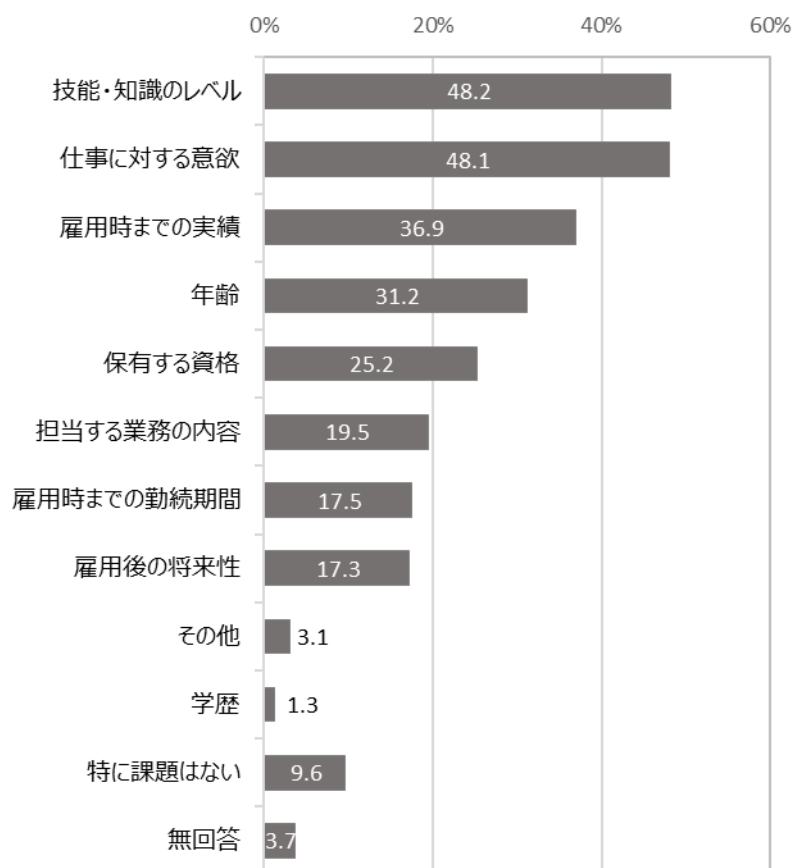


問9-2② その他
資格(衛生士)
意識して採用していないため不明
再訓練(最初からの学習のやりなおし)。雇用してからの問題が重要
大型免許を持っているか
健康でまじめな人柄
健康・体力
社会性、コミュニケーション力
人柄
長く 真面目に 勤務してくれること

③ 中高年世代（概ね 55 歳以上）

「技能・知識のレベル」が 48.2%と最も高くなっており、次いで「仕事に対する意欲」が 48.1%、「雇用時までの実績」が 36.9%となっている。

■ 中高年世代の雇用の課題



N=753

問9-2③ その他
健康 ……4件
健康・体力 ……2件
体力
健康でまじめな人柄
健康な体と常識を持っていること
体力を要するので健康状態
意識して採用していないため不明
再訓練(最初からの学習のやりなおし)。雇用してからの問題が重要
応募が無い
資格(衛生士)
社会性、コミュニケーション力
人柄
大型免許
現場仕事が可能かどうか
55歳以上の採用活動はしていない
採用しない

(6) DXの推進（IOTやAI、RPAの取り組み）状況について

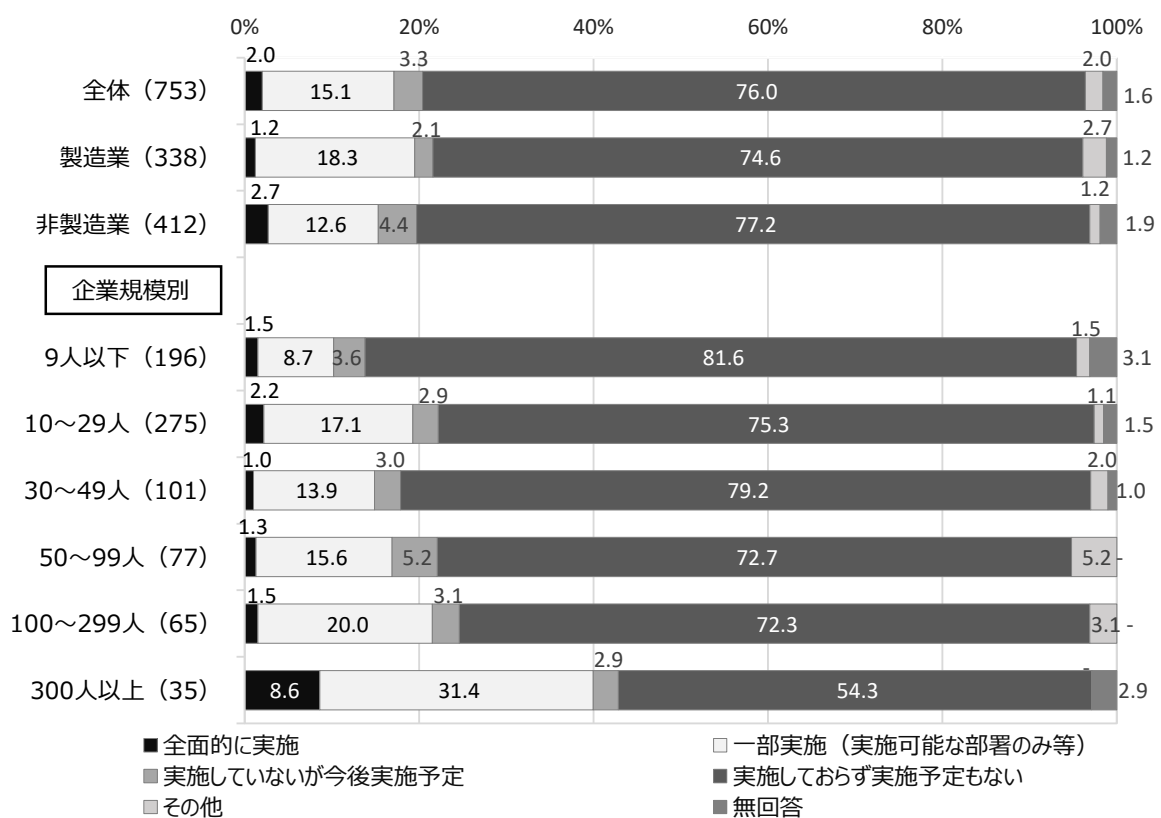
問10-1 以下の①～③の取り組みについて、貴事業所ではどのように実施していますか。
それぞれ近いものを1つ選んでください（①～③の取り組みごとに番号1つに○）

① テレワークの導入

全体では、「実施しておらず実施予定もない」が76.0%と最も高くなっている。製造業と非製造業で大きな差は見られない。

企業規模別でみると、「300人以上」では「実施しておらず実施予定もない」が最も高く54.3%となっており、次いで「一部実施」が31.4%となっている。また、会社規模が大きくなるにしたがって、「全面的に実施」と「一部実施」を合わせた事業所の割合は高くなる傾向がみられる。

■テレワークの導入



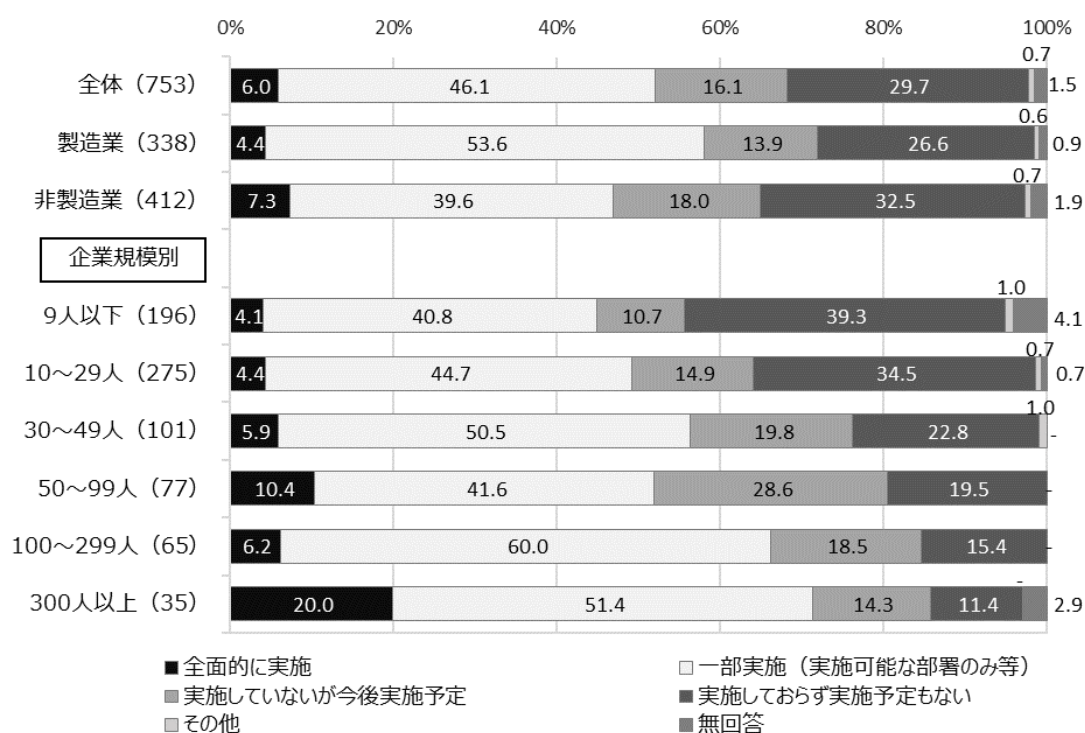
問10-1① その他
コロナ禍は実施していたが、現在は未実施
実施したいが未計画
実施していないができる状態
出社できない場合に限る
実施したが、今はしていない
製造業務しかないのでテレワークに向かない
現在は実施していないが、導入について検討したい
緊急時のみ可
必要な時に実施
制度としては導入済み

② 決裁方法や業務のデジタル化

全体では、「一部実施」が46.1%と最も高くなっている。製造業と非製造業を比べると、「一部実施」で製造業が14.0ポイント高くなっている。

企業規模別でみると、「300人以上」では「一部実施」が最も高く51.4%となっており、次いで「全面的に実施」が20.0%となっている。また、会社規模が大きくなるにしたがって、「全面的に実施」と「一部実施」を合わせた事業所の割合は高くなる傾向がみられる。

■決裁方法や業務のデジタル化



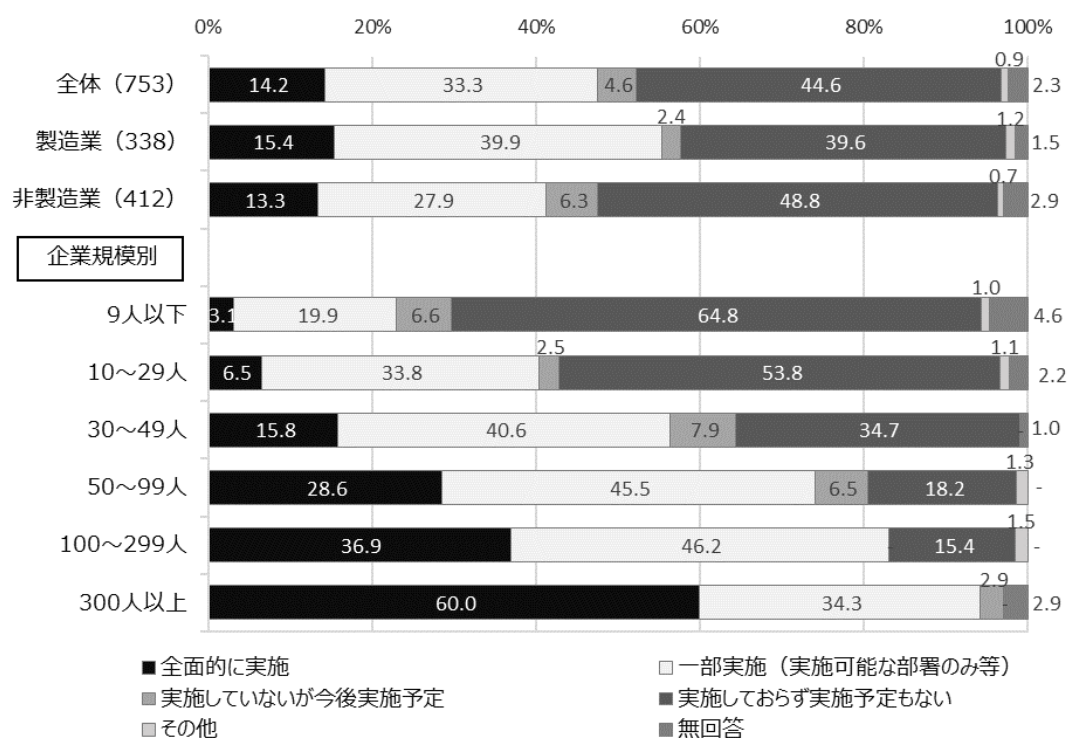
問10-1② その他
出来るかどうか今後検討予定
デジタル化したいが予算がない

③ Web会議の実施

全体では、「実施しておらず実施予定もない」が44.6%と最も高くなっている。製造業と非製造業を比べると、「一部実施」で製造業が12.0ポイント高くなっている。

企業規模別でみると、「300人以上」では「全面的に実施」が最も高く60.0%となっており、次いで「一部実施」が34.3%となっている。また、会社規模が大きくなるにしたがって、「全面的に実施」と回答する事業所の割合は高くなっている。

■ Web会議の実施

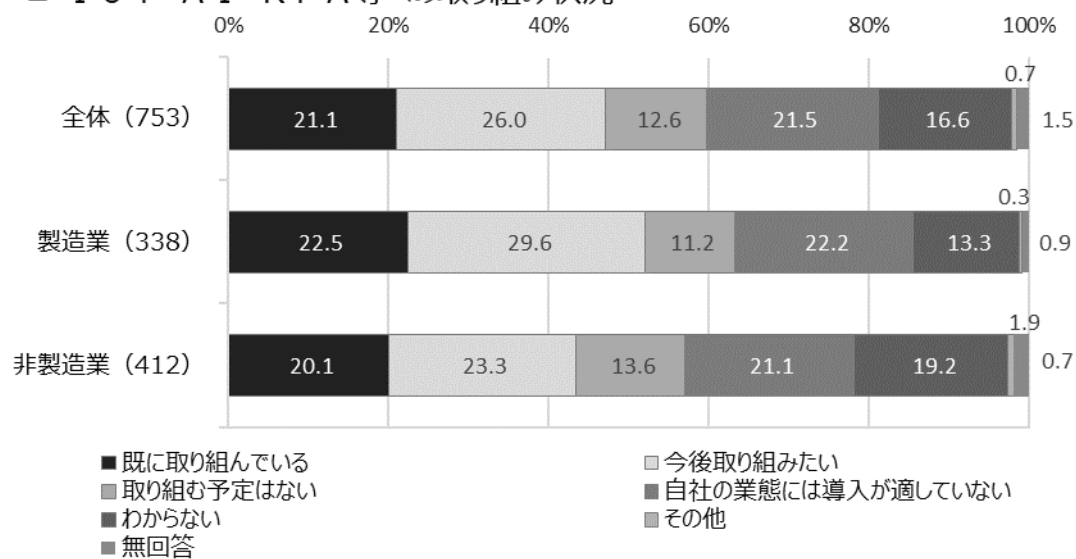


問10-1③ その他
必要に応じて実施している ……3件
対応できる人がいない

問１０－２ ビジネス環境の厳しい変化の中でデータとデジタル技術の活用を進める等、DXが推進されていますがそうした状況において貴事業所ではＩｏＴ・ＡＩ・ＲＰＡ等の導入に取り組んでいますか。該当する番号に○をつけてください。（番号１つに○）

全体では、「今後取り組みたい」が26.0%と最も高く、次いで「自社の業態には導入が適していない」が21.5%、「すでに取り組んでいる」が21.1%となっている。製造業と非製造業を比べると、「今後取り組みたい」で製造業が6.3ポイント高くなっている。

■ ＩｏＴ・ＡＩ・ＲＰＡ等への取り組み状況



問10-2 具体的な取り組み内容
生産管理システムの導入 ……4件
RPA ……4件
RPAの一部導入
RPA、kintone、Microsoft 365を導入済
RPA、AI、DX
IoT
カレンダー、メール、写真地図の共有
社内教育を実施
介護記録ソフト等の導入による生産性向上
受注業務はほとんどネット販売にしている
多種に取り組んでいる(IoT、AI、RPAの全てで)
ファイルメーカーを導入し、業務のデジタル化を進めている
生産性向上のためのICT機器を導入している
申請採決のデジタル化、勤怠管理システム導入、電子保存対応など
各資料の電子化、集計業務のRPA化、他
グループウェアの活用、営業活動のDX化、RPAの導入(資材部)
日報管理、在庫管理
販売管理システム、営業人員の日報(日常業務)の管理
自社、管理システムに活用
請求データの自動化
IT導入による効率アップ
請求書の発行等
業務用ソフトシステム導入
PCから工場機械へのデータ送。自動で製作
Web会議を月に1度は行う。決済はデジタル化
ChatGpt利用にて文書等の作成。会議議事録の文字おこし
受入れ、出荷業務のパソコン化。その他設備、品質関係
勤怠管理ほか
勤怠管理
DX化
DX、IoTを活用した領収書の実施
設備稼働状況の集取、端末による日報入力集計
いづみ亭の名でホームページにてお弁当の注文を受けています
ソフトを用いての業ムキロク入力
設備の稼働状況の監視、出来高の把握
他病院との患者さんの情報共有
見守りロボットの導入(仕事の効率化)など
医療に関するDX。IoTによる情報共有
工程管理のシステム化。AIを利用した文書作成
伴走会社と協力して進めている
技工士とのDXを用いた情報交換
経理システム、生産管理システム、コラボレーションツール導入
DXソフトの活用
決裁、社内外のコミュニケーション、請求関係
IoT、RPA(生産データのログと判断)
利用者一斉メール・事業所ホームページ
エネルギー費転嫁の価格交渉のための根拠の資料を作るため、設備毎に使用電力が測定出来るようにした
導入したNCロボットの活用について、メーカーとのやりとりをネットを介して行っている
歯科は今、DXが盛んに行われ、オンライン資格確認や請求書などの電子化に対応するため、会計もクラウド化するなどとりくんでいる
会計システムのクラウド化 社内イントラネット、グループウェア、チャットの活用 電子化可能なものは活用(請求書のメール送信、提出物の電子申請、納税・振込等)
経理、給与等のソフトウェアの導入。現場事務の半自動化ソフトウェアの導入
文書管理システムの導入予定あり。ChatGpt利用許可。文字起こしソフト利用可
顧客に合わせたOA環境を整え対応している。ただし、高度なレベルではない

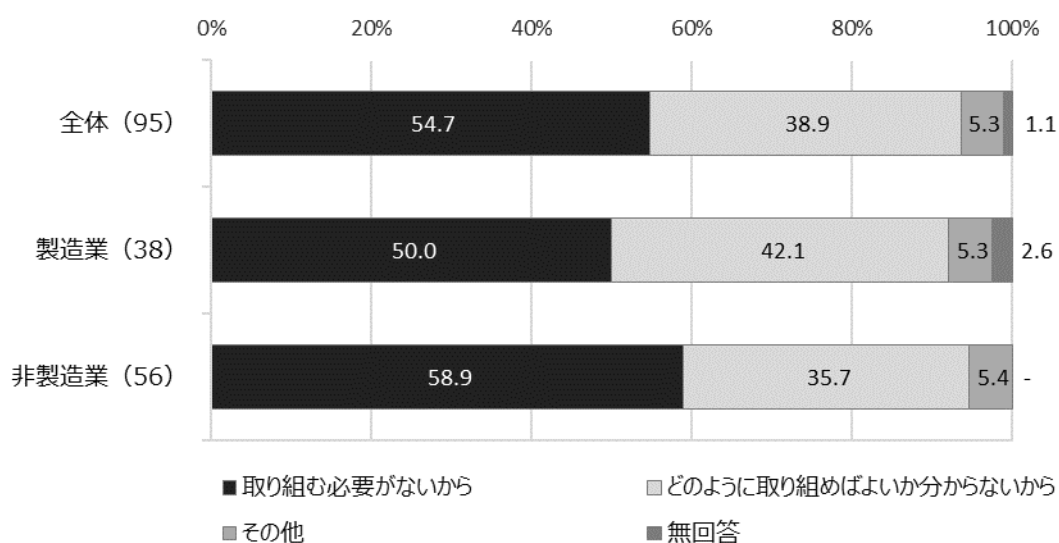
問10-2 具体的な取り組み内容
リモートデバイスの導入など
もともとPCを利用した業務が多い
ネット決済システム
生成AI、電子契約の導入を検討中
Google Workspaceを活用してペーパーレス化を推進している
ロボット・ICTを積極的に導入し、生産性向上に既に取り組んでいる
プロジェクト管理を含めた業務のデジタル化についてシステム開発中
ai.rpaに担当者がいる
生産機械のDX化の導入
図面を取り込み検索するシステム導入
TV安全パトロール、検査 一部 工場製作データの共有
量製造工程による、オンラインシステム導入
生成AIをあいさつ文や出だし分の作成に活用。
マイナンバーカードによる本人確認、一部情報の共有
設備の稼働状況
cloudシステムの導入
請求書受領・発行のデジタル化 生産ラインへの自動機導入など
現場管理のシステム導入
各社員間のネットワーク構築 情報の共有
勤怠システム 介護ソフト 介護補助ロボット
技術のデータ化・ペーパーレス
製品企画の情報共有
単純なデータ作成をRPAで自動化している
独自の業務システムにより、業務を一元管理している
受注管理
工程管理
ChatGPTを使用し、メール文書作成、レポート作成を効率化している
CAD化とネット活用
社内システム
全社的なRPA推進、工場IoT化
一部の業務においてAIを活用して文書作成や情報収集を行っている
AIカメラを活用した保全業務
AI問診、通信機能付きバイタルサイン測定機器
AIを用いた文書生成、翻訳など。RPAを用いたデータ集計など
AI配送
AIの活用
業務のデジタル化
システムの導入
電子カルテ、レジ、その他
電子カルテ、電子処方箋
電子カルテ等
カルテ・レセプト・マイナカードリーダーの早期導入
レセプト
電子カルテ、携帯、iPad、アプリを使用
オンライン診察。マイナンバーカードによる認証
世の動きに合わせている
グループ親会社の導入したシステムを活用
ギントーンを導入し、業務の効率化デジタル化に取り組み始めたところ
管理システムをカスタマイズして活用。後方物作成の際にAIを活用する時もある
AIを利用してコンサルタント業務の準備等 表作成、問題提起、解決策などのアドバイス
測量でのドローンの活用。BIM/CIMの活用への取組。デジタル技術の知識や技術を持った人材の確保、育成
IoTを利用して工作機械の生産効率をあげる取り組みや、chatGPTでの文書作成
工事管理、労務管理等をシステムを導入することによって合理化している。また工事現場でもタブレットを使用する、クラウドの使用による情報共有などで合理化を進めている

問10-2 その他
Web会議を実施している時点で、IoT、DX利用となり、どこまですれば「取り組んでいる」状態と言えるか分からない
RPAのみ取組
滑川市のDX伴走支援中
取り組みたいが予算がない
3D CAD導入

問10-3 【問10-2で「3. 取り組む予定はない」と回答した事業所におたずねします。】
 取り組む予定がない理由を選んでください。該当する番号に○をつけてください。
 (番号1つに○)

全体では、「取り組む必要がないから」が54.7%、「どのように取り組めばよいかわからないから」が38.9%となっている。製造業と非製造業を比べると、「取り組む必要がないから」で非製造業が8.9ポイント高くなっている。

■ 取り組む予定がない理由

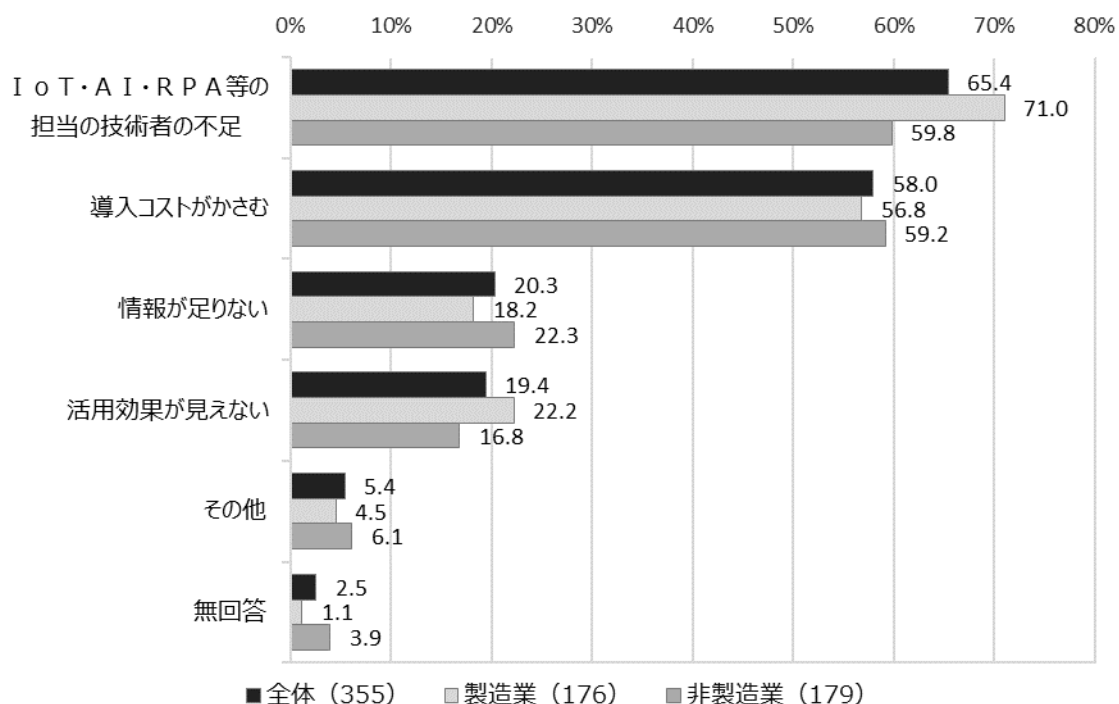


問10-3 その他
院長高齢化により、閉院を考えている
元請会社に従わなければならないから。元請会社と同じシステム
親会社の設備等利用した委託業務のため、対応は親会社にある
有効な活用方法が見いだせていないから
現在のところ、必要性を感じていない

問10-4 【問10-2で「1」「2」と回答した事業所におたずねします。】I o T・A I・R P A等の導入の取り組みで課題になっているものは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

全体でみると、「I o T・A I・R P A等の担当の技術者の不足」が65.4%と最も高く、次いで「導入コストがかさむ」が58.0%、「情報が足りない」が20.3%となっている。製造業と非製造業を比べると、「I o T・A I・R P A等の担当の技術者の不足」で製造業が11.2ポイント高くなっている。

■ I o T・A I・R P A等の導入の課題

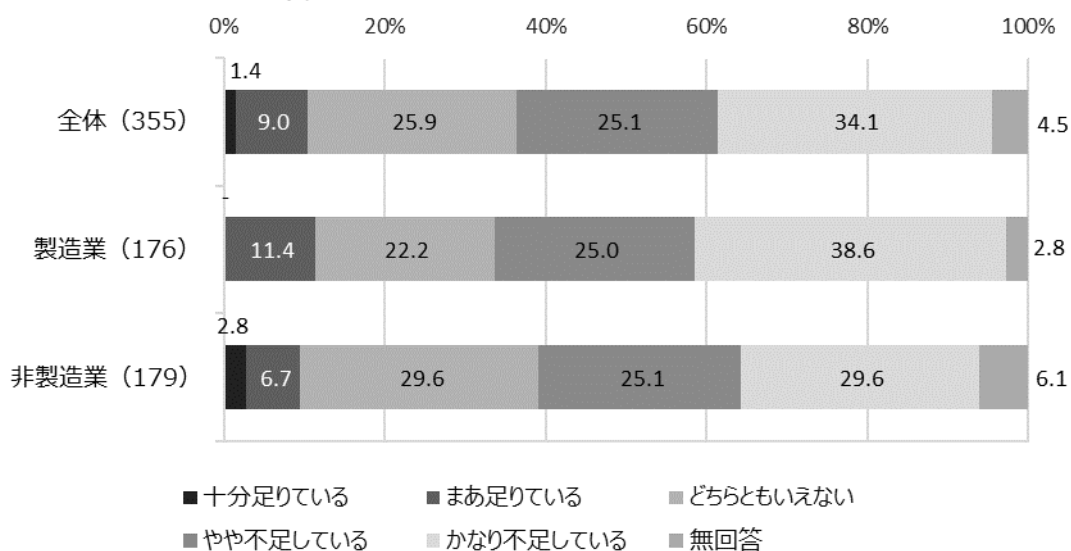


問10-4 その他
社員の情報リテラシー不足
具体的指向性が見えない。仕事量が増加する
担当する外部会社の取り組みが遅い
内製できない
職員が対応しきれていない
出来るはんいで行っている
グループ親会社の導入したシステムを活用しているので、自社では導入していない
従業員の意識不足
不必要
まだ導入したばかりでわからない
業種の性格上、全国的に足並みを揃えて進めていかなければ意義が半減する
親会社主導
ランニングコストがかさむ(高い)
具体的な有効活用事例の情報が自分で取りに行きかかないので教えて欲しい、やり方が簡単でわかりやすいものであってほしい(全スタッフが利用可能、年配だと利用が難しい場合もある)

問10-5 【問10-2で「1」「2」と回答した事業所におたずねします。】DX推進のために、中心となり取り組める人材（デジタル人材）は足りていますか。該当する番号に○をつけてください。（番号1つに○）

全体でみると、「かなり不足している」が34.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.9%、「やや不足している」が25.1%となっており、6割近い事業所が不足を感じている。製造業と非製造業を比べると、「かなり不足している」で製造業が9.0ポイント高くなっている。

■デジタル人材の過不足感



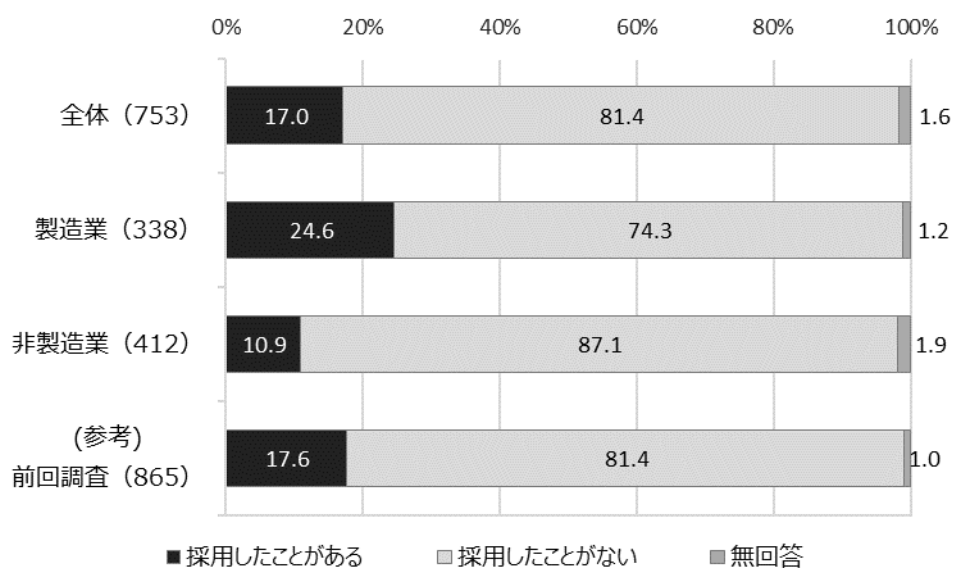
（７）公共職業訓練機関について

問 1 1 - 1 貴事業所では、公共職業訓練受講経験者を採用したことはありますか。
(番号 1 つに○)

全体では、「採用したことがある」が 17.0%、「採用したことがない」が 81.4%となっている。
業種別にみると、「採用したことがある」事業者は、製造業では 24.6%、非製造業では 10.9%となっている。

前回調査と比べると、「採用したことがある」と回答した事業者の割合は 0.6 ポイント低下している。

■公共職業訓練機関受講経験者の採用の有無

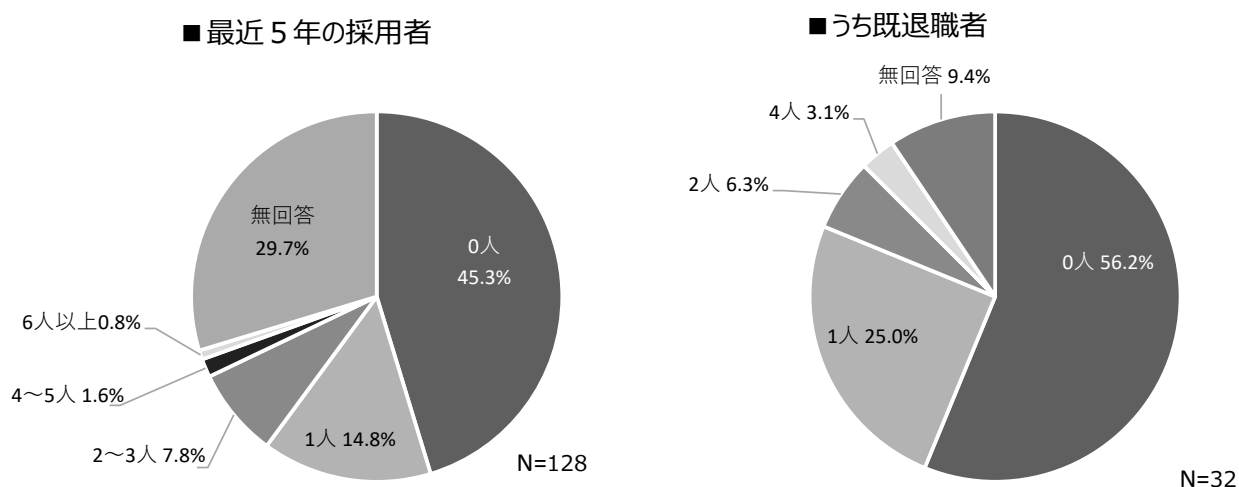


問 1 1 - 2 【問 1 1 - 1 で「1. 採用したことがある」と回答した事業所におたずねします。】受講した施設ごとの（1）最近 5 年の採用者、（2）そのうち既退職者について人数をご記入ください。

① 富山県技術専門学院

最近 5 年の採用者をみると、「1 人」が 14.8%、「2～3 人」が 7.8%、「4～5 人」が 1.6%、「6 人以上」が 0.8%となっており本校受講経験者を採用したことがある事業者は 25.0%となっている。

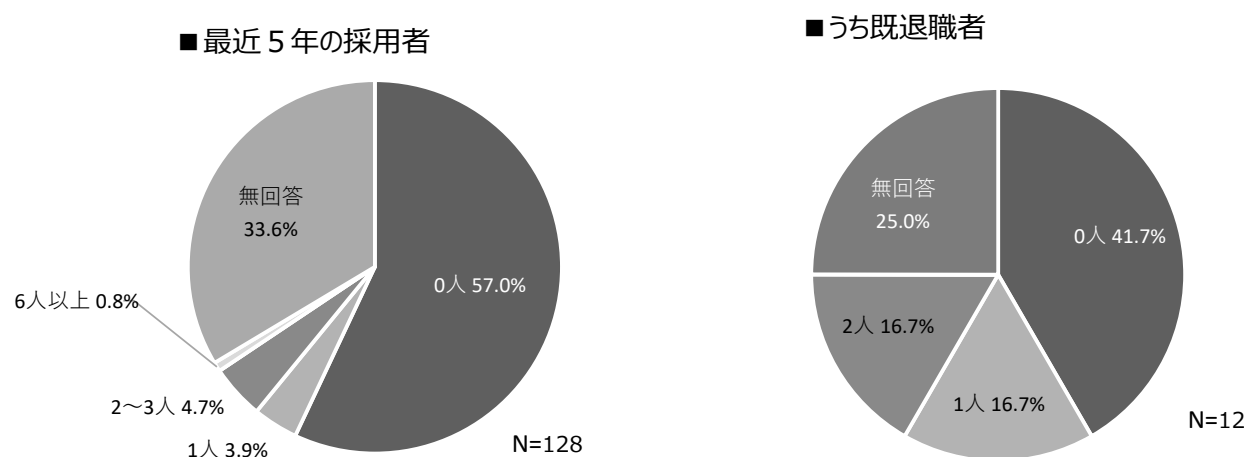
そのうち、既退職者がいる事業所は 34.4%となっており、退職者がいない事業所は 56.2%となっている。



② 北陸ポリテクカレッジ（北陸職業能力開発大学校）

最近 5 年の採用者をみると、「1 人」が 3.9%、「2～3 人」が 4.7%、「6 人以上」が 0.8%となっており本校受講経験者を採用したことがある事業者は 9.4%となっている。

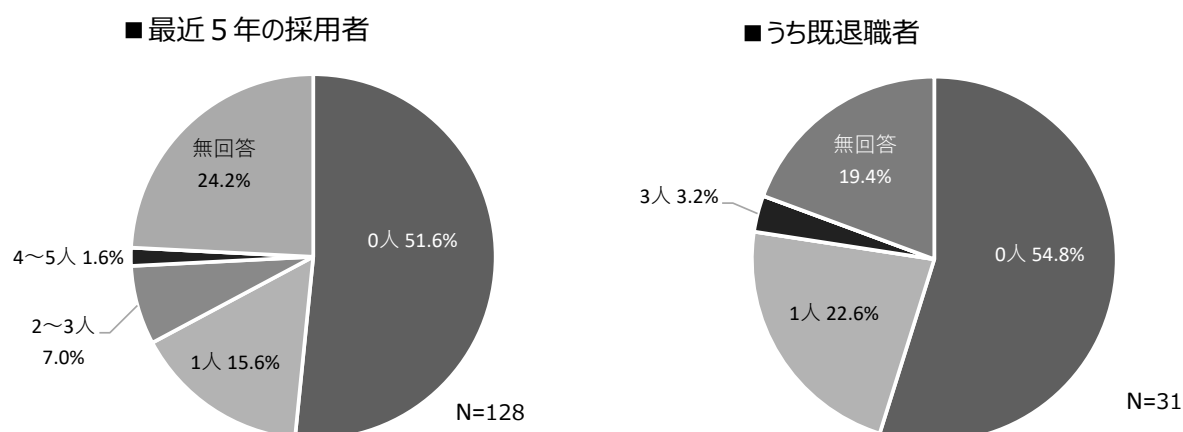
そのうち、既退職者がいる事業所は 33.4%となっており、退職者がいない事業所は 41.7%となっている。



③ ポリテクセンター富山（富山職業能力開発促進センター）

最近5年の採用者をみると、「1人」が15.6%、「2～3人」が7.0%、「4～5人」が1.6%となっており本校受講経験者を採用したことがある事業者は24.2%となっている。

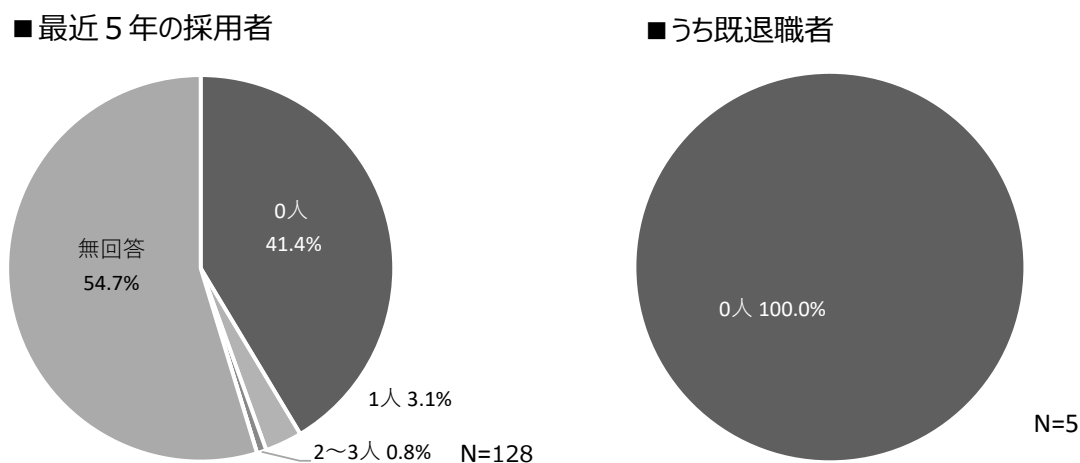
そのうち、既退職者がいる事業所は25.8%となっており、退職者がいない事業所は54.8%となっている。



④ その他

最近5年の採用者をみると、「1人」が3.1%、「2～3人」が0.8%となっており本校受講経験者を採用したことがある事業者3.9%となっている。その他の具体的な施設名では、「ハローワーク」が挙げられている。

そのうち、退職者がいない事業所は100.0%となっている。



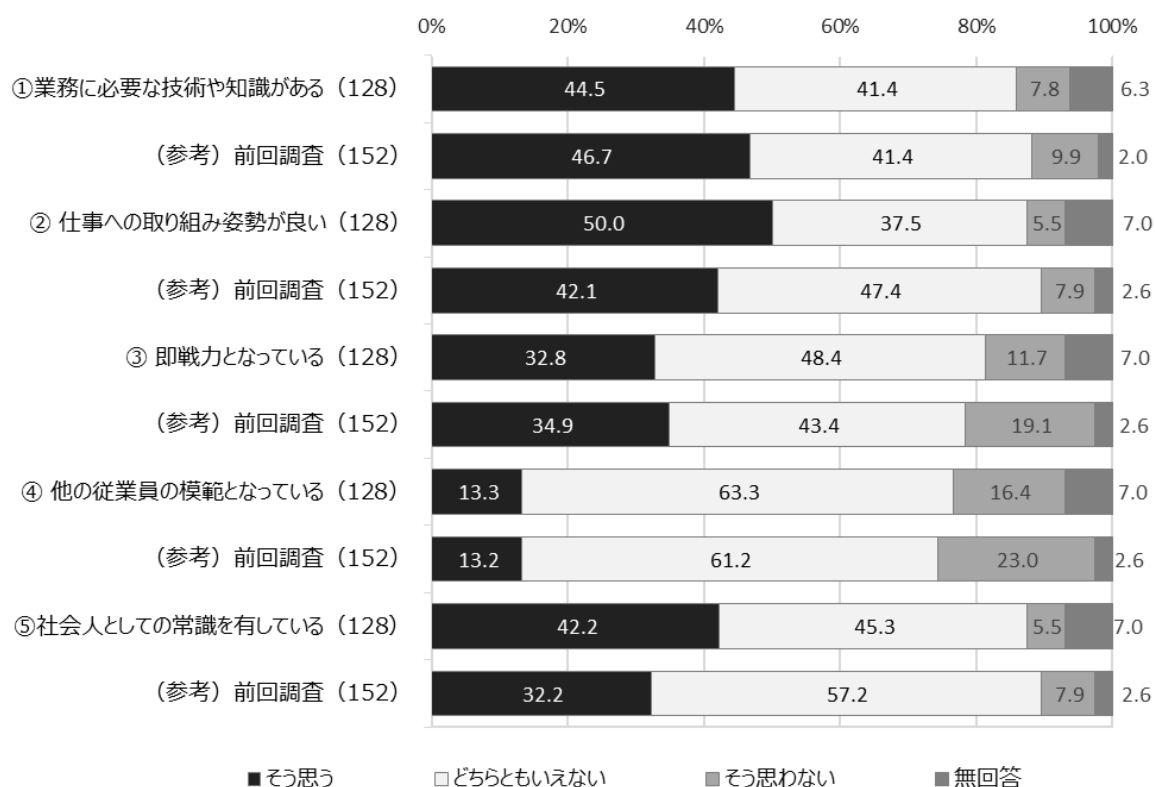
問 1 1 - 3 採用した公共職業訓練受講者について、全体的な評価をお答えください。①～⑤の項目について、それぞれあてはまるものを1つ選んでください。
(項目①～⑤ごとに番号1つに○)

「業務に必要な技術や知識がある」、「仕事への取り組み姿勢が良い」、「社会人としての常識を有している」では「そう思う」と回答した事業所が4割を超えている。

「そう思わない」が「そう思う」の割合を超えた項目は、「他の従業員の模範となっている」のみで、それ以外の項目では「そう思う」と回答する事業者が20%以上高くなっている。しかし、「どちらともいえない」と回答した事業所も多い。

前回調査と比べると、「社会人としての常識を有している」が10.0ポイント高くなっている。

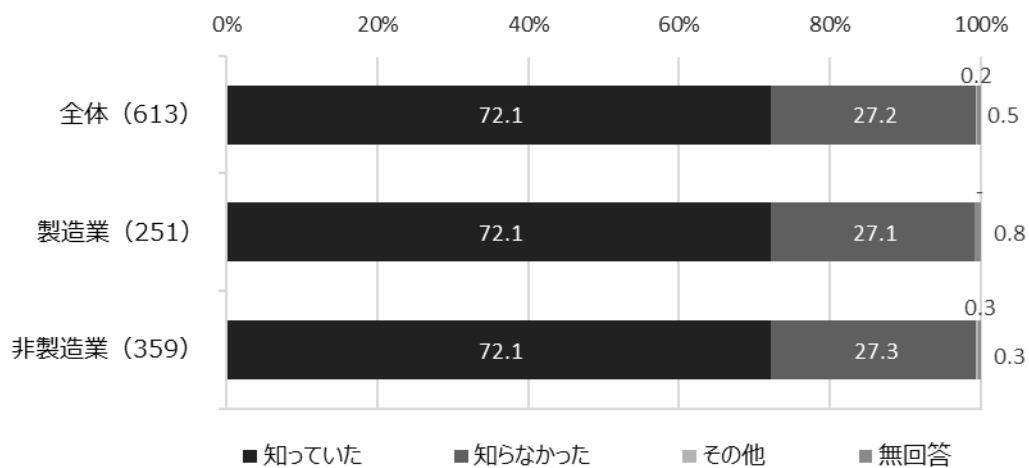
■職業訓練受講者の全体的な評価



問 1 1 - 4 【問 1 1 - 1 で「2 . 採用したことがない」と回答した事業所におたずねします。】
 これまで公共職業訓練施設のことをご存じでしたか。
 (番号 1 に○)

全体では、「知っていた」が 72.1%、「知らなかった」が 27.2%となっている。

■ 公共職業訓練施設の認知度



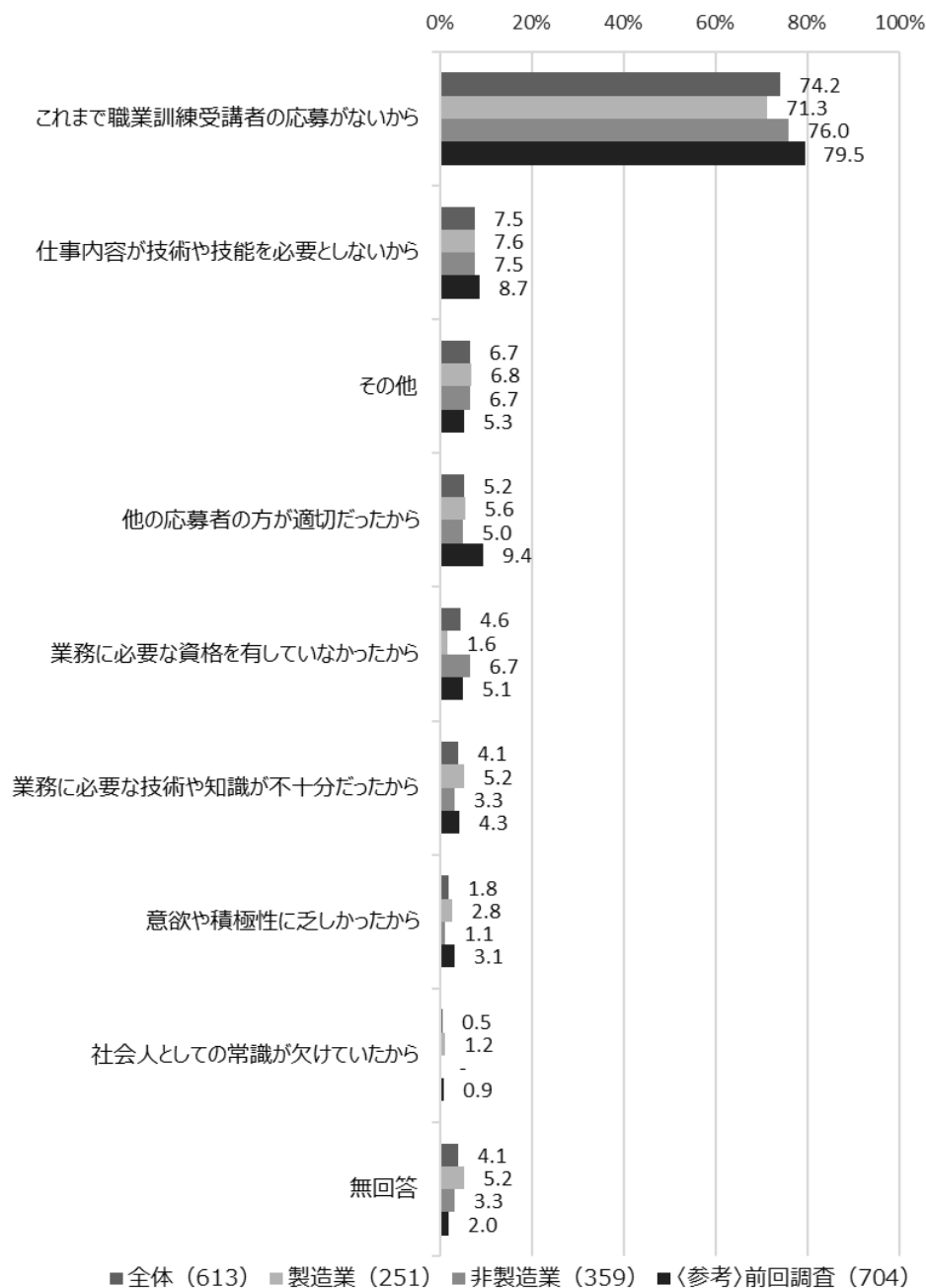
問11-4 その他

応募がない

問 11-5 【問 11-1で「2. 採用したことがない」と回答した事業所におたずねします。
公共職業訓練受講者を採用していない理由を選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「これまで職業訓練受講者の応募がないから」が74.2%と最も高く、次点以下とは大きく差が出ている。次点は「仕事内容が技術や技能を必要としないから」(7.5%)で、「その他」(6.7%)と続いている。

■ 職業訓練受講者を採用していない理由



【前回調査は番号3つまでの回答】

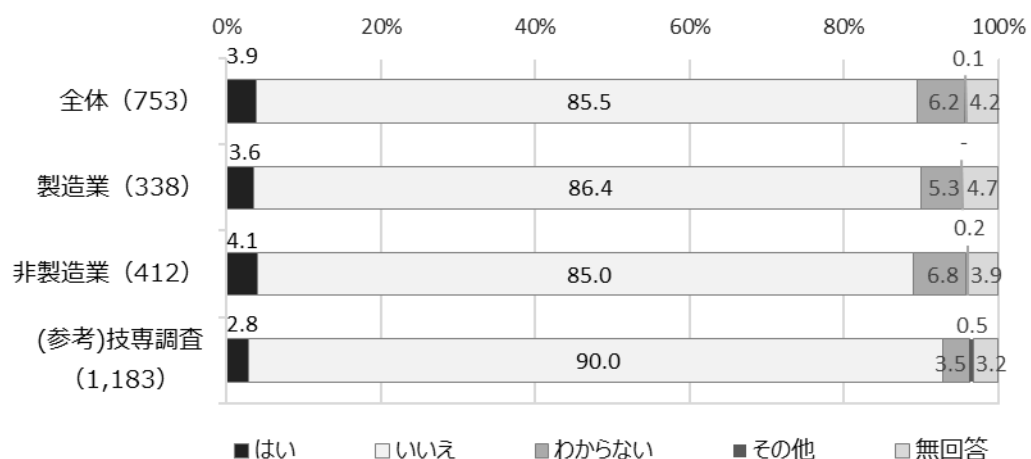
問11-5 その他
知らなかった ……3件
新規採用自体があまりない ……2件
必要としない ……2件
新卒オンリー
採用活動自体をおこなっていないため
看護師の免許が必要だから
仕事の特質上の観点
辞退する方が多数
採用したい方が、他の会社にすでに決まっていたから
新たな方、十分な知識がなくても、現場従事者が欲しい
これまで、従業員の知人・友人等を最優先に採用してきたから
対象でない
職種の特異性より、採用出来ないから
採用した事がないので分かりません
求人が来ない
ハローワークを窓口としているため、受講者が不明である
職業訓練の受講歴は採用に影響しないため
知らなかったし、該当しないと思う
採用活動を行っているが、採用に至ったケースがまだありません
募集の方法が分からない。
ハローワークに募集しても応募自体がほとんどない
診療所であるから
ハローワークを利用していないから
職業訓練受講内容と募集している業種がマッチしないから
受講者かどうか分からないから。
採用する機会そのものがなかったから。
特に意識していないので、明確にはわからない
職業訓練受講者を応募しているが入社までに至らなかった
人材募集していない

問 1 2 貴事業所に早期退職制度がありますか。(番号 1 に○)

全体では、「早期退職制度がある」が 3.9%、「早期退職制度がない」が 85.5%となっている。

富山県技術専門学院訓練ニーズ調査と比べると「早期退職制度がある」が 1.1 ポイント高くなっている。

■ 早期退職制度の有無



問12 その他
制度はあるが当面該当者がいない

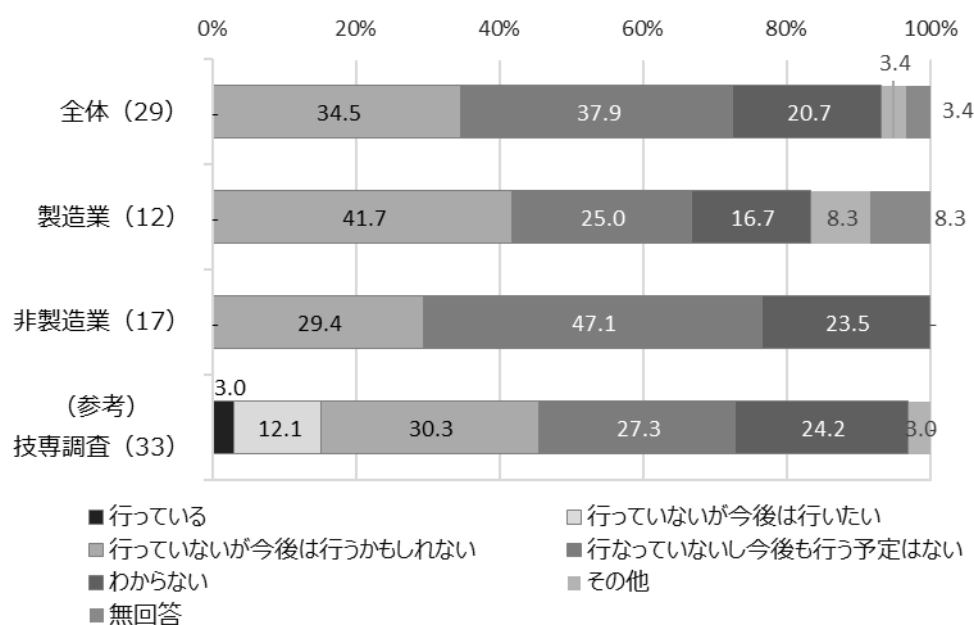
問13 【問12で「1. 早期退職制度がある」と回答した事業所におたずねします。】希望者への再就職支援として、公共職業能力開発施設の入校案内を提供するなどの情報提供を行っていますか。また、今後行いたいと思いますか。(番号1に○)

全体では、「行っていないし今後行う予定はない」が37.9%、「行っていないが今後は行うかもしれない」が34.5%となっている。

業種別にみると、「行っていないし今後行う予定はない」が製造業では25.0%、非製造業では47.1%となっている。

富山県技術専門学院訓練ニーズ調査と比べると、「行っていないし今後行う予定はない」が10.6ポイント高くなっている。

■再就職支援として情報提供の有無



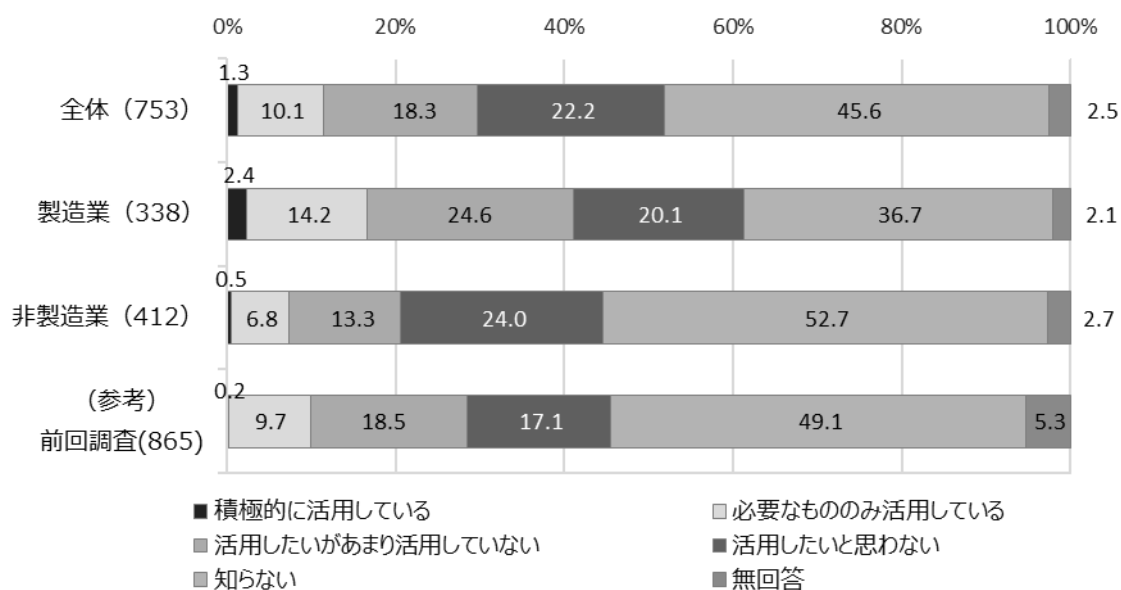
問13 その他
別の再就職支援企業へ依頼している

問 1 4 - 1 富山県技術専門学院では従業員の技能向上を支援するため、能力開発セミナーを実施しています。貴事業所では、能力開発セミナーを活用したことがありますか。（番号 1 つに○）

全体でみると、「知らない」が 45.6%と最も高く、次いで「活用したいと思わない」が 22.2%、「活用したいがあまり活用していない」が 18.3%となっている。

業種別にみると、特に非製造業では、「知らない」との回答が 52.7%と半数を超えている。前回調査と比べると、「知らない」は 3.5 ポイント低下している。

■能力開発セミナーの活用状況



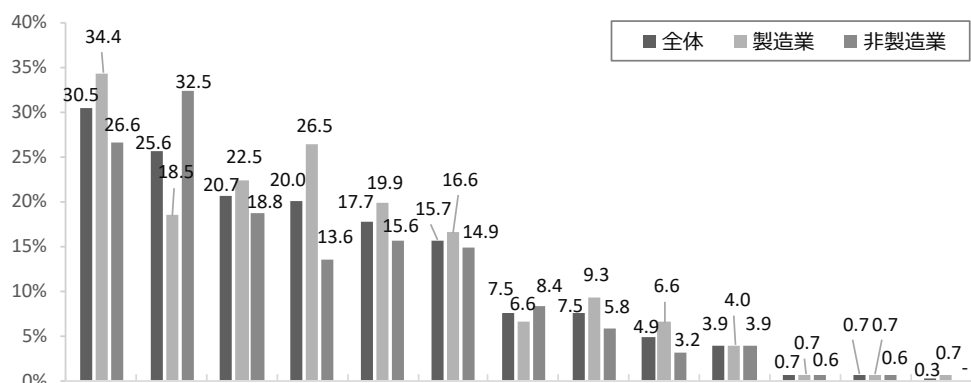
問14-2 【問14-1で「3」又は「4」と回答した事業所にお尋ねします。】
能力開発セミナーを活用していない理由を選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

全体でみると、「業務上訓練する余裕がないから」が30.5%と最も高く、次いで「カリキュラムがニーズと合わないから」が25.6%、「自社の教育訓練で十分だから」が20.7%となっている。

業種別にみると、「カリキュラムがニーズと合わないから」で非製造業が製造業と比べて14.0ポイント高くなっている。

会社規模別にみると、「9人以下」、「10～29人」の事業所では、「業務上訓練する余裕がないから」が最も高くなっている。「30～49人」では「カリキュラムがニーズと合わないから」、「50～99人」では「実施日程や時間帯が合わないから」、「100～299人」では「活用したいが情報が不足していたから」、「300人以上」では「自社の教育訓練で十分だから」が最も高くなっている。「300人以上」では、「自社の教育訓練で十分だから」と4割の事業所が回答している。一方で、「実施日程や時間帯が合わないから」との回答も3割以上となっている。

前回調査と比べると、「自社の教育訓練で十分だから」と「実施日程や時間帯が合わないから」が入れ替わっている。



	合計	業務上訓練する余裕がないから	カリキュラムがニーズと合わないから	自社の教育訓練で十分だから	実施日程や時間帯が合わないから	活用したいが情報が不足していたから	在職者訓練の内容を知らないから	大きな効果が得られないから	従業員に意欲がないから	その他	費用が高いから	実施内容と比べて高すぎるレベル	低すぎるレベル	無回答
全体	305	30.5	25.6	20.7	20.0	17.7	15.7	7.5	7.5	4.9	3.9	0.7	0.7	0.3
〈業種別〉														
製造業	151	34.4	18.5	22.5	26.5	19.9	16.6	6.6	9.3	6.6	4.0	0.7	0.7	0.7
非製造業	154	26.6	32.5	18.8	13.6	15.6	14.9	8.4	5.8	3.2	3.9	0.6	0.6	-
〈会社規模別〉														
9人以下	82	32.9	17.1	24.4	13.4	11.0	12.2	3.7	9.8	7.3	1.2	1.2	-	-
10～29人	116	37.9	26.7	17.2	20.7	14.7	12.9	8.6	6.9	4.3	6.9	0.9	0.9	0.9
30～49人	38	31.6	34.2	18.4	18.4	18.4	15.8	13.2	7.9	-	2.6	-	2.6	-
50～99人	34	14.7	29.4	20.6	32.4	26.5	29.4	2.9	11.8	-	5.9	-	-	-
100～299人	26	19.2	30.8	19.2	19.2	38.5	23.1	15.4	-	7.7	-	-	-	-
300人以上	9	-	22.2	44.4	33.3	22.2	11.1	-	-	22.2	-	-	-	-
〈参考〉														
前回調査	308	26.6	26.3	21.4	25.0	16.9	15.3	12.0	13.0	4.9	7.1	1.3	1.6	3.2

属性別順位 **1位** **2位** **3位**

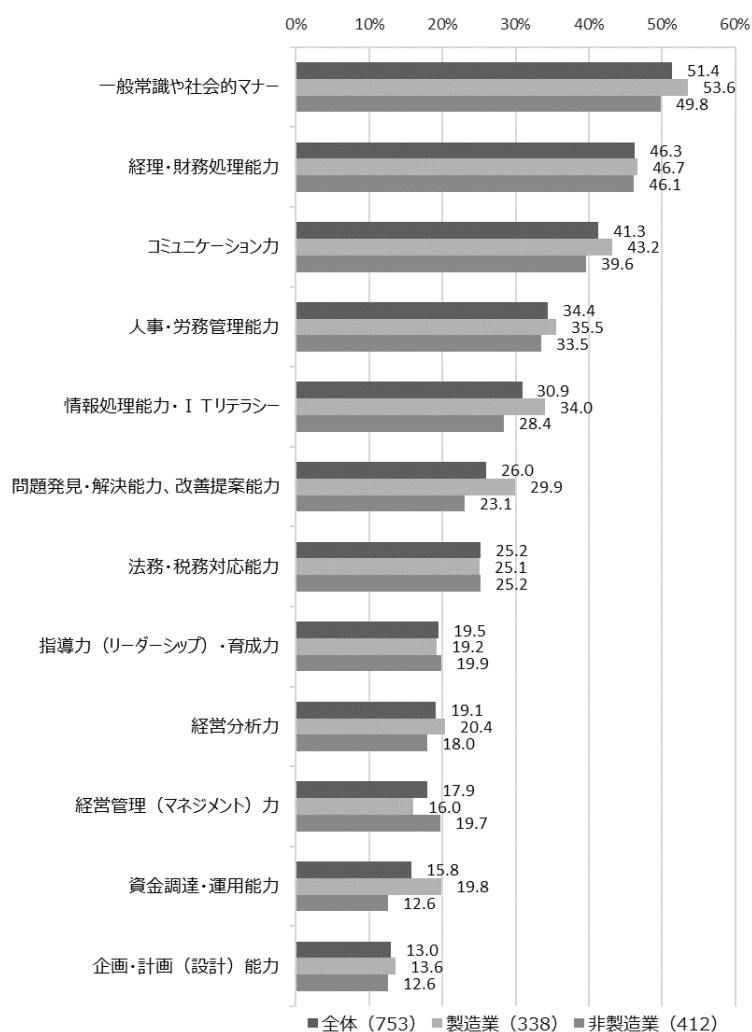
問14-2 その他
自社における検討不足(内容をよく知っていなかった)
現在十分に能力があるメンバーしかいなく、新しい人材が来てくれたらぜひ活用したい
ポリテクセンターを活用
特に問題はない
親会社・グループ会社の教育訓練を行っているため
職種が違うから
資格を取得してしまう為
親会社の教育訓練に参加
当方の業種は全く関係なし
メーカー教育の方が良いと思っている
医療従事者だから
業務上必要な訓練が、カリキュラムに無い
必要ないと思われる
従業員いないので

問15 公共職業訓練施設では今後どのような能力の開発に重点を置くべきだと思いますか。貴事業所に該当する4職種ごとにあてはまるものを1～35から選んでください。
(職種ごとにあてはまる番号すべてに○)

① 事務職

全体でみると、「一般常識や社会的マナー」が51.4%と最も高く、次いで「経理・財務処理能力」が46.3%、「コミュニケーション力」が41.3%となっている。

■開発に重点を置くべき能力上位12項目（事務職）



問15【全職種共通】その他
運転技術があればよい
運送業には、あてはまらない
社会福祉事業が、どれと共通するのかわからない

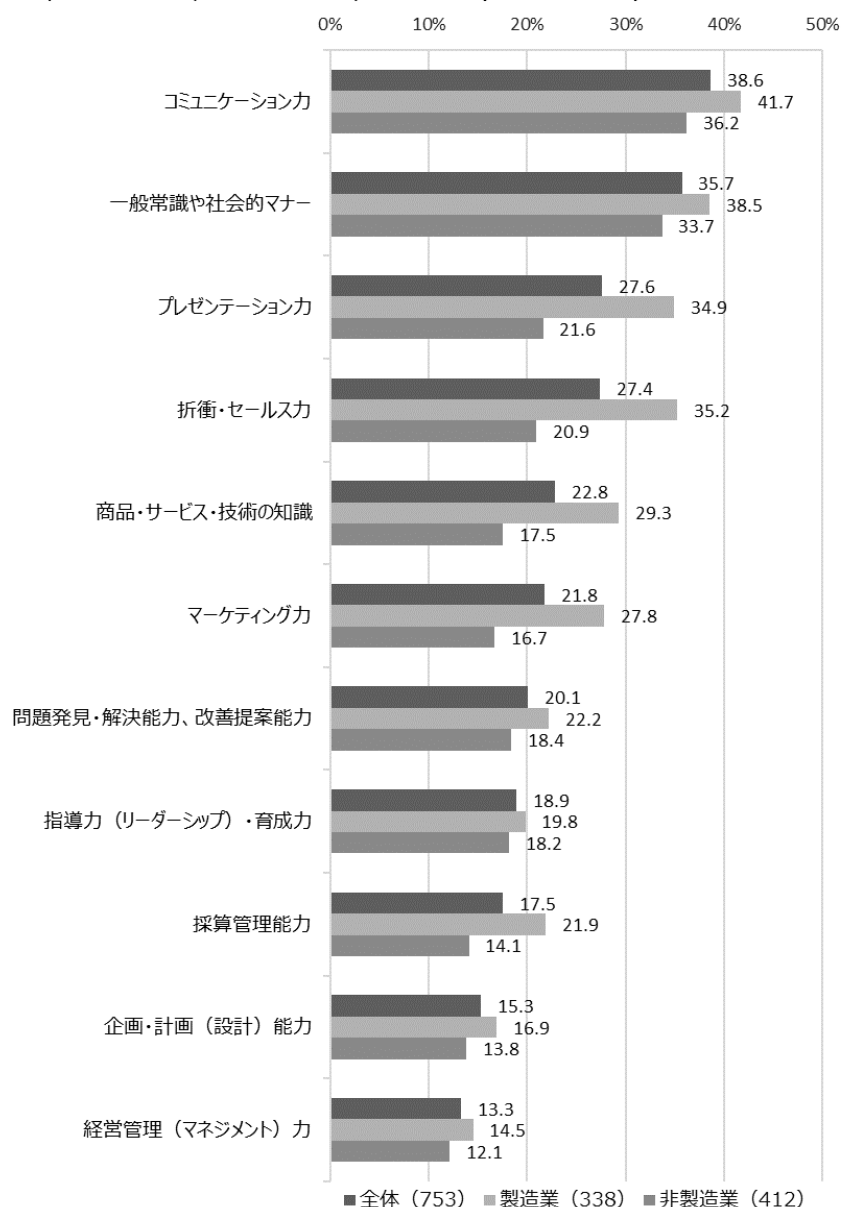
問15【事務職】その他
感受性能力、気くばり
公共職業訓練施設の現状をよく把握していないので、今後について判断できない

② 営業・販売職

全体で見ると、「コミュニケーション力」が38.6%と最も高く、次いで「一般常識や社会的マナー」が35.7%、「プレゼンテーション力」が27.6%となっている。

業種別にみると、製造業では「コミュニケーション力」が41.7%と最も高く、次いで「一般常識や社会的マナー」が38.5%、「折衝・セールス力」が35.2%となっている。

■ 開発に重点を置くべき能力上位12項目（営業・販売職）



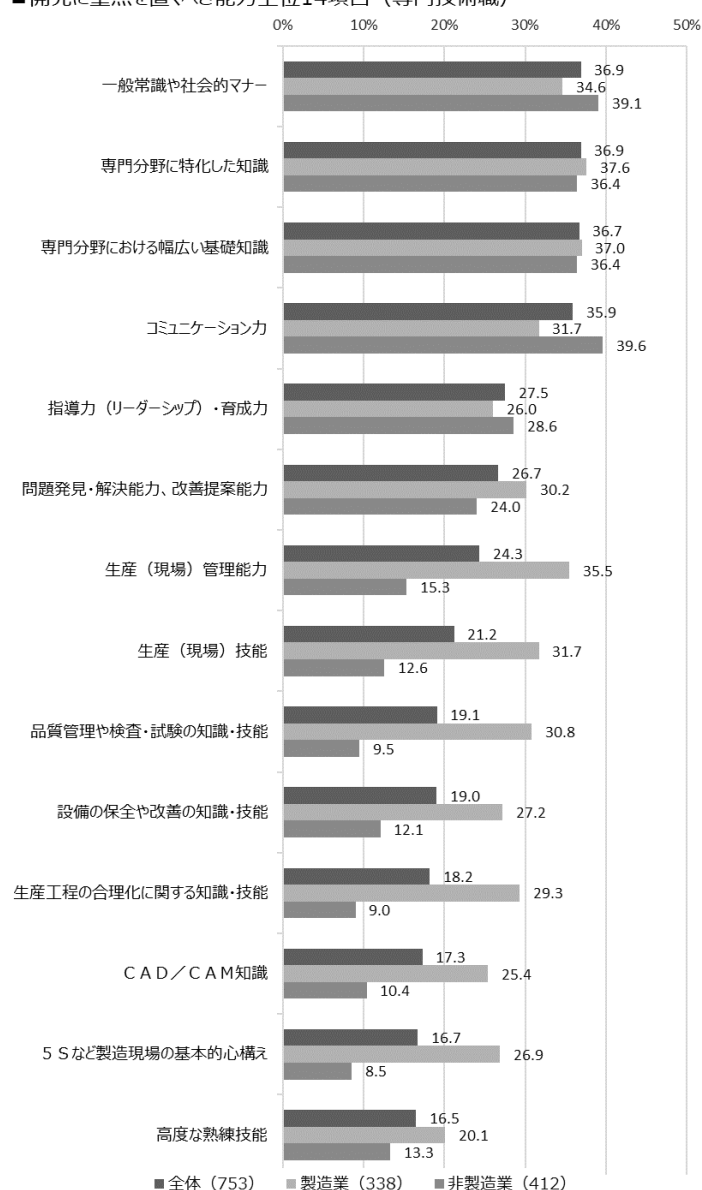
③ 専門技術職

全体でみると、「一般常識や社会的マナー」と「専門分野に特化した知識」が36.9%と最も高く、次いで「専門分野における幅広い基礎知識」が36.7%、「コミュニケーション力」が35.9%となっている。

業種別にみると、製造業では「専門分野に特化した知識」が37.6%と最も高く、次いで「専門分野における幅広い基礎知識」が37.0%、「生産（現場）管理能力」が35.5%となっている。

非製造業では、「コミュニケーション力」が39.6%と最も高く、次いで「一般常識や社会的マナー」が39.1%、「専門分野に特化した知識」と「専門分野における幅広い基礎知識」が36.4%となっている。

■開発に重点を置くべき能力上位14項目（専門技術職）



問15【専門技術職】その他
公共職業訓練施設の現状をよく把握していないので、今後について判断できない

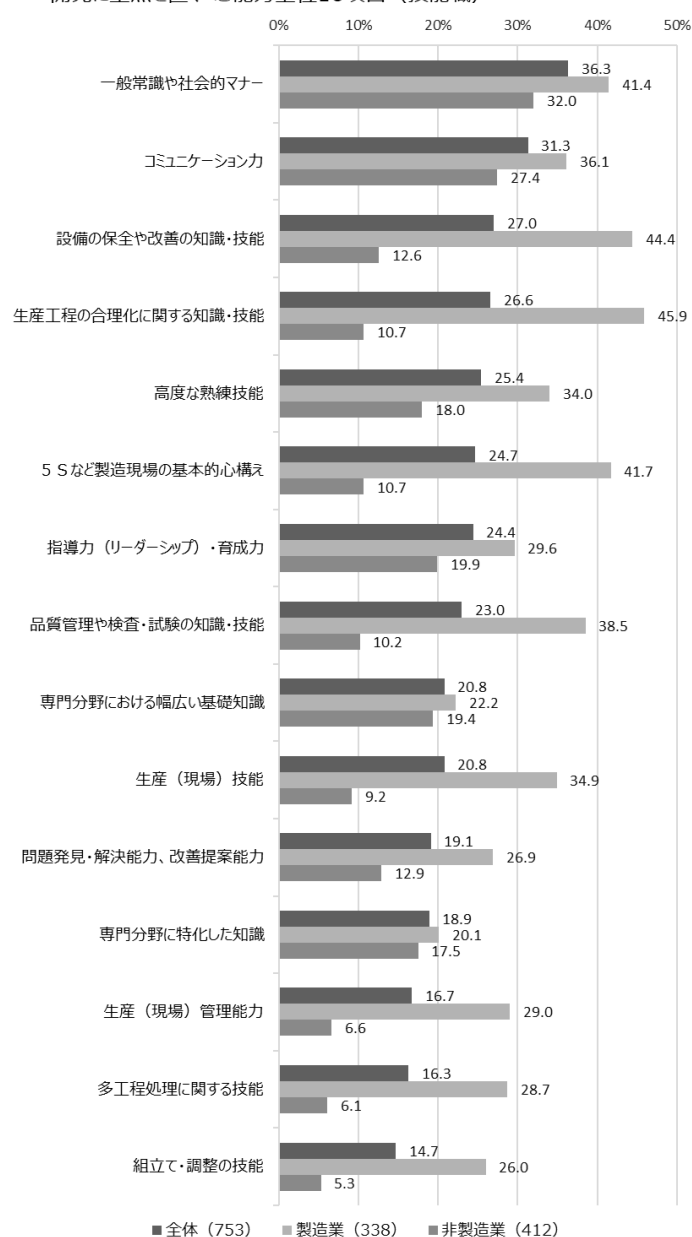
④ 技能職

全体でみると、「一般常識や社会的マナー」が 36.3%と最も高く、次いで「コミュニケーション力」が 31.3%、「設備の保全や改善の知識・技能」が 27.0%となっている。

業種別にみると、製造業では「生産工程の合理化に関する知識・技能」が 45.9%と最も高く、次いで「設備の保全や改善の知識・技能」が 44.4%、「5S など製造現場の基本的心構え」が 41.7%となっている。

非製造業では、「一般常識や社会的マナー」が 32.0%と最も高く、次いで「コミュニケーション力」が 27.4%、「指導力（リーダーシップ）・育成力」が 19.9%となっている。

■開発に重点を置くべき能力上位16項目（技能職）



問15【技能職】その他

感受性能力、気づき

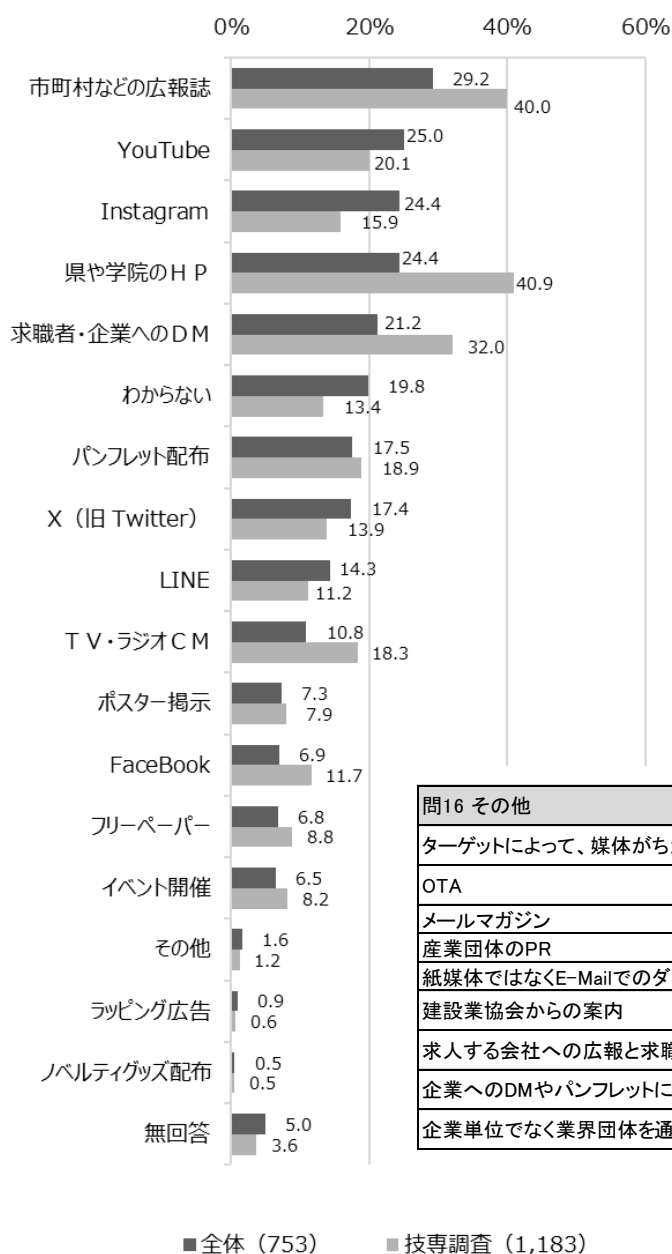
公共職業訓練施設の現状をよく把握していないので、今後について判断できない

問 1 6 公共職業能力開発施設の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

効果的な広報媒体は、「市町村などの広報誌」が 29.2%と最も高く、次いで「YouTube」が 25.0%、「Instagram」「県や学院の HP」が 24.4%となっている。

富山県技術専門学院訓練ニーズ調査と比べると「Instagram」が 8.5 ポイント高くなっている。

■情報を伝えるために効果的な広報媒体



問16 その他

ターゲットによって、媒体がちがうと思います。20代であればインスタもあかなと

OTA

メールマガジン

産業団体のPR

紙媒体ではなくE-Mailでのダイレクトメールが見る方はありがたい

建設業協会からの案内

求人する会社への広報と求職者への広報とでは、媒体が異なると思います

企業へのDMやパンフレットにQRコードやURLにてYoutubeや動画等の情報に誘導

企業単位でなく業界団体を通じてのPRすべきである

【富山県技術専門学院訓練ニーズ調査の質問は「富山県技術専門学院の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。」】

(8) 自由回答

問 17 県の職業能力開発施策全般についてのご意見・ご要望あるいは富山県技術専門学院が実施する公共職業訓練について、新たに必要な訓練コースや既存の訓練コースへのご意見・要望がございましたら自由にご記入ください。

周知・広報について（3件）

業種	回答内容
建設業	建設業全般におけるイメージアップが必要に思う。年々、職業訓練校への入学希望者が減っている
医療・福祉	アンケートを出される前に、県技術専門学院の概要パンフレットは存在しているのか、いわゆるこの組織の存在認識がなかったので、アンケートを頂戴してどのような交流ができるのか思考中。全業種にかかわる問題でもっと活動・行動を起こされては如何でしょうか
その他サービス業	具体的事例、例えば、どんな職種でどんな人材をメインに就職実績があるのか、施設ごとの具体的事例が必要な方に届くと有効に活用されるのではないかとピンポイントでこんな人材がいるので面接してもらえるか等の話があれば前向きに実施される企業もあると思う

訓練機関・セミナーについて（3件）

業種	回答内容
金属製品	オーダーメイド型の教育をしたいのですが、日程が合わないなど問題が発生している
金属製品	当社は、東端に立地しているので、公共職業訓練の実施場所が遠く気軽に行くことが難しい面がある
医療・福祉	今回のアンケートを機に、初めて富山県技術専門学院のホームページを拝見させていただきました。現状では、当事業所での活用は難しい面もありますが、ワードやエクセルに対しての技能は、職員個々にばらつきがあり一定のレベルに引き上げるために、オーダーメイド型セミナーを活用するのも良いと感じました

訓練内容について（9件）

業種	回答内容
金属製品	企業に出向して、社会人の常識を会社員にも反映し、改善点を個人個人に指摘して能力開発をしてほしい。実地訓練のみ必要と思います
電気機械	人財の減少の為、従業員への人材育成が重要となっている。人財育成は、どの企業も問題として挙がっていると思います。そのスキルを教育してくれる講習が有ればと思います

その他製造業	AI 技術者養成
運輸業	運転免許とドライバーの技術を身につける
建設業	土木建設業には、どうなのか
建設業	内容が製造業向けでニーズに合わない
建設業	建設業なのでニーズ的に合わないのかと思います
医療・福祉	介護・福祉系の訓練があれば、内容によって職員を参加させます
その他非製造業	富山県には当社を含み後発医薬品企業が 190 社あります。製薬業会知識（レギュレーション、GMP 等）を持っていると実務経験がなくても採用されやすくなると思います。外部セミナーとしても活用しやすいものになり得ます

採用について（2 件）

業種	回答内容
木材・家具	ハローワークを通して求人をしたのですが、応募される方がおらず民間の求人サイトに頼らざるを得なかった。公共職業訓練受講者の方の応募があれば検討していたと思う。せっかく教育訓練を受けても就職先がないなどという事があってはならないと思う。技術専門学院にて木工の基礎を身につけられるように充実させていただきたいです
建設業	専門的な技術や資格を有している方を即戦力として、弊社に受け入れることはとても魅力的です。ぜひ建設業界の人材育成をお願いいたします

その他（11 件）

業種	回答内容
金属製品	受講しているコースと希望の職務がマッチしていない方が多い。辞退理由が年齢的にムリとのこと。給付金が目的となっている
金属製品	ベトナム語等外国人エンジニア向講習、オンラインでも可。オンラインなら講習内容がベトナム語表記されるなど。各言語対応しているとなお良い。弊社のベトナム人エンジニアもポリテクに通わせたいが、ポリテクの講習を一人で受けて理解できるほどの日本語力はない為
一般機械	工業炉・火葬炉を溶接する（組立などを行う）知識を持った職人の育成をしないと、世の中が大変になりますので、弊社に人材を確保してほしい
電子部品・デバイス	補助金活用が多いので、研修先から自動的に労働局などが要求する証明書の発行を希望します
建設業	どの職種も人材不足。コミュニケーションがとれない。上記解決する方向でのセミナーや広報が必要だと思う
金融保険業	わからない（2 件）

医療・福祉	有資格者（衛生士）のみ雇用している業務の為、今回のアンケートに答えられない箇所が多く、すみません
医療・福祉	社会福祉事業におけるデジタル技術の融合システム化を、すすめてほしい。私自身がこのことに無知に等しいため、初級・中級・上級のような段階をつくる必要があると思いますし、あるのならお知らせ下さい
宿泊業・飲食サービス業	当店は個人経営の宅配弁当屋です。その為ご期待にお答えできるような返答はできません。今後はこの様なアンケートを送付しないで下さい
その他サービス業	自動車の钣金や塗装の業務を身につけられる場が全くない。このままだと、工員が県内からいなくなるのではないかと心配なほどです。求人をだしても何年もみつからず、この職の応募者も2名しかいないとハローワークで言われました。技術を身につける場が、現場しかないのはかなり問題かと思っています

2. 製造業対象の調査結果

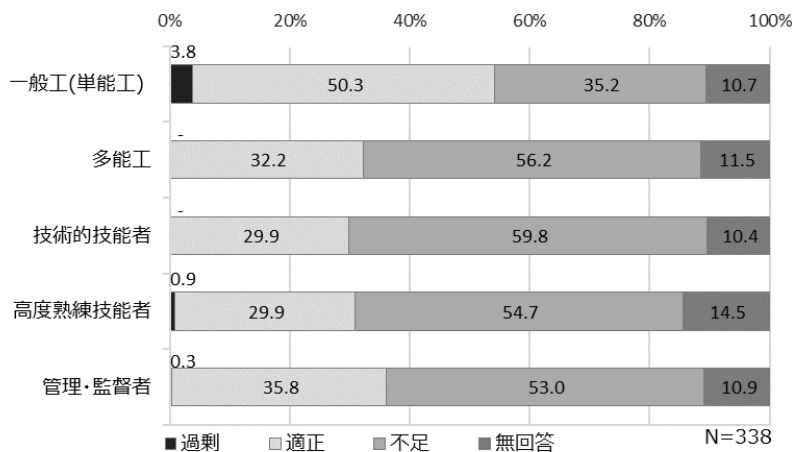
(1) 技能者の職業能力開発について

問 1 8 - 1 製造現場における技能系正社員の職種別による (1) 現在の過不足感と、(2) 今後の必要性・重要性について職種別にそれぞれあてはまるものを 1 つ選んでください。(職種①～⑤、(1) (2) ごとに番号 1 つに○)

(1) 現在の過不足感

「一般工(単能工)」では、「過剰」が 3.8%、「適正」が 50.3%、「不足」が 10.7%となっており、約 5 割の事業所で充足していると考えられる。一方で、「多能工」、「技術的技能者」、「高度熟練技能者」、「管理監督者」では「不足」がいずれにおいても 5 割を超えており、不足感を感じている事業所が多くなっている。

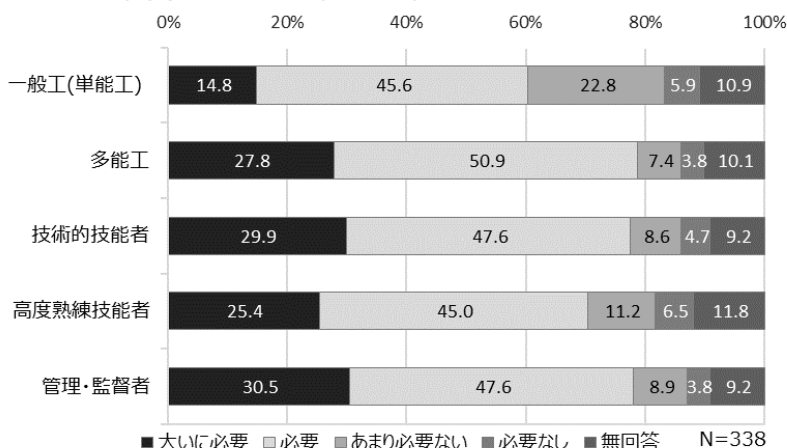
■ 技能系正社員の現在の過不足感



(2) 今後の必要性・重要性

職種別にみると、『必要』(「大いに必要」 + 「必要」)と回答した事業所は「多能工」が 78.7%と最も高く、次いで「管理・監督者」が 78.1%となっている。いずれの職種についても、『必要』とする事業所が 6 割を超えている。

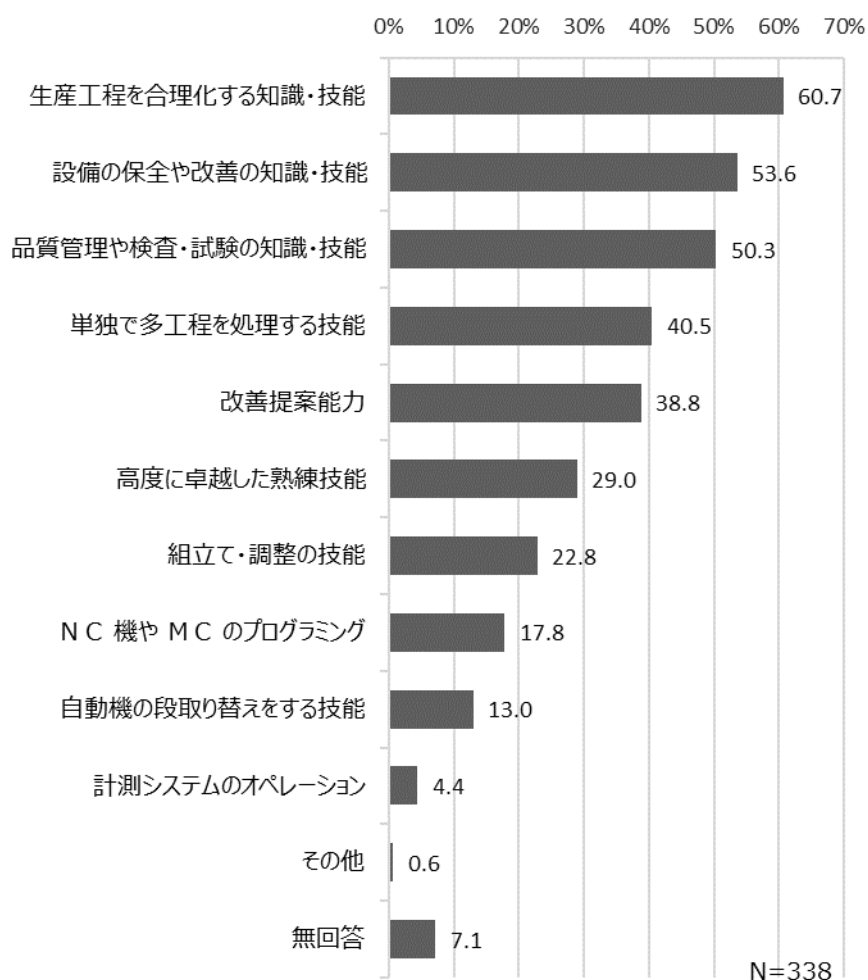
■ 技能系正社員の今後の必要性・重要性



問 1 8 - 2 貴事業所において、技能系正社員に求める知識や技能を選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

「生産工程を合理化する知識・技能」が 60.7%と最も高く、次いで「設備の保全や改善の知識・技能」が 53.6%、「品質管理や検査・試験の知識・技能」が 50.3%となっている。

■ 技能系正社員に求める知識や技能



問18-2 その他

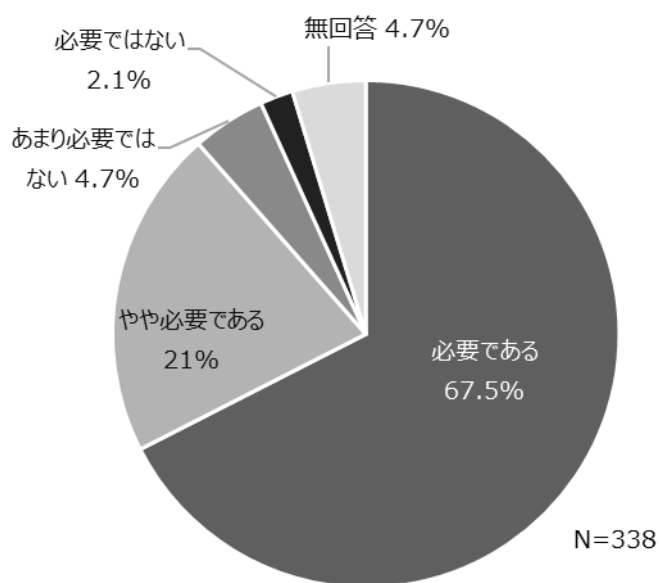
働く意欲

(2) 技能の継承について

問 19-1 貴事業所では、技能継承の必要性についてどのようにお考えですか。
(番号 1 つに○)

「必要である」と回答する事業所が 67.5%、「やや必要である」と回答する事業所が 21.0%で、合わせると 9 割近くの事業所がその必要性を感じている。

■ 技能継承の必要性

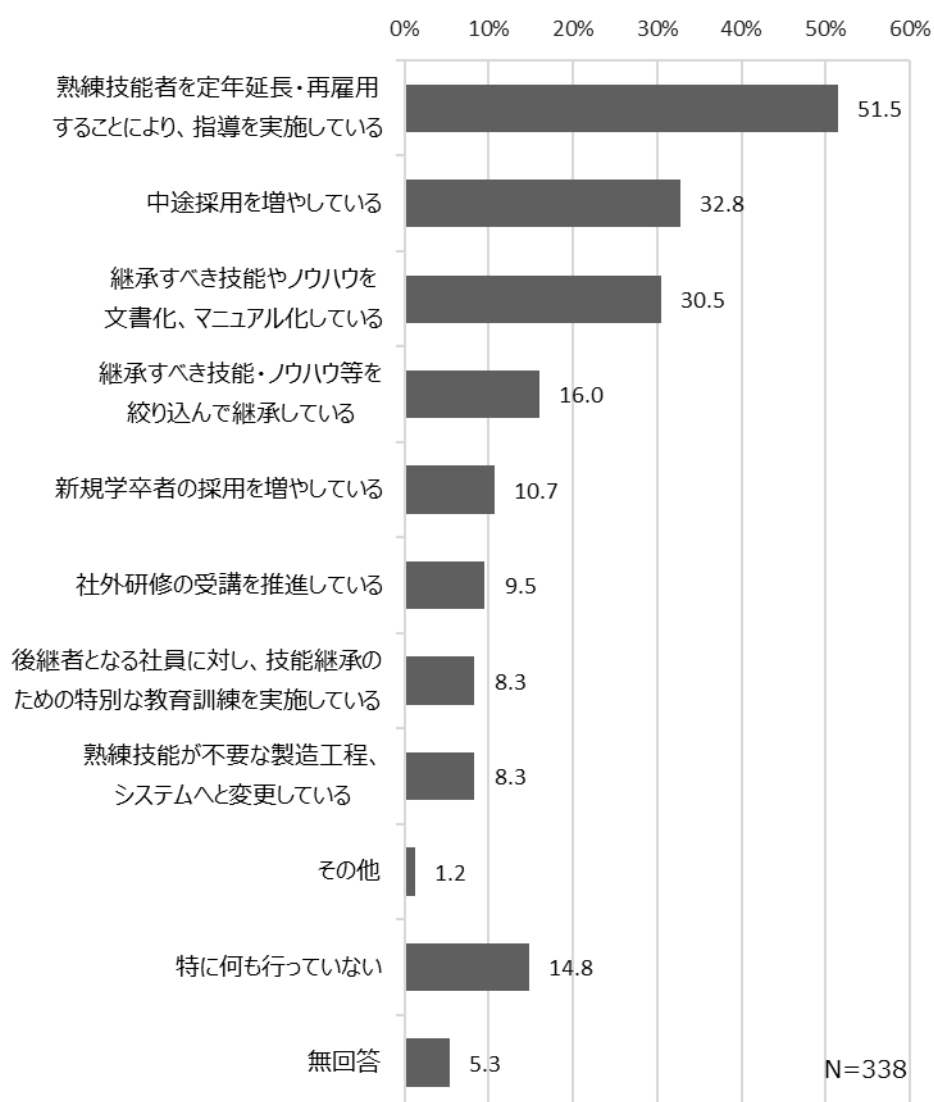


問 19-2 熟練技能の継承を推進するため、貴事業所で行っている取り組みを選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

「熟練技能者を定年延長・再雇用することにより、指導を実施している」が 51.5%と最も高くなっており、次いで「中途採用を増やしている」が 32.8%、「継承すべき技能やノウハウを文書化、マニュアル化している」が 30.5%となっている。

問 19-1 では、9 割近くが熟練技能の継承を『必要』と回答する一方、「特に何も行っていない」事業所が 14.8%となっている。

■ 熟練技能の継承を推進するための取り組み



問19-2 その他

見て・実施して覚えてもらう

図面管理システムの利用(サブスク)。4の内容を図面に紐付けできる

継承を推進したいが、人材的に難しくうまくいっていない

問19-3 貴事業所において、熟練技能継承を行う上での課題を選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

「指導できる人材が不足している」が45.9%と最も高く、次いで「技能を継承する人材が不足している」が41.4%、「技能者を育成する時間的余裕がない」が32.2%となっている。

■ 熟練技能継承を行う上での課題



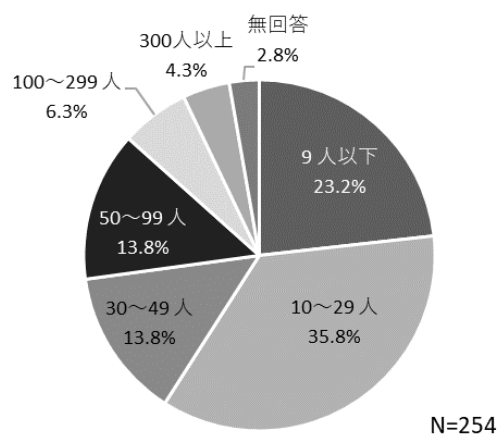
問19-3 その他
汎用機が使えない。社内はある機械を有効活用し辛い
必要とを感じるが実践までに至らない

Ⅲ 在職者対象

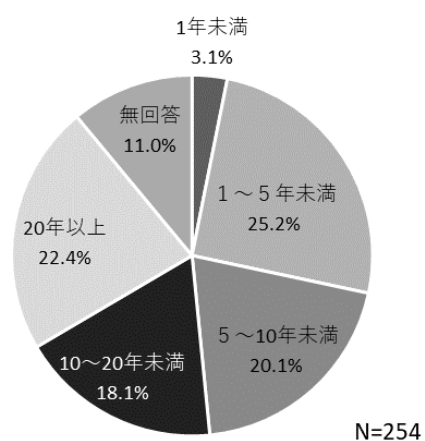
(1) 回答者の概要

上段:人数 下段:%		構成比	職種				
			事務職	営業・販売職	専門技術職	技能職	その他
全体		254 100.0	102 40.2	21 8.3	48 18.9	49 19.3	19 7.5
製造業		113 44.5	47 41.6	9 8.0	16 14.2	27 23.9	11 9.7
非製造業		140 55.1	55 39.3	12 8.6	32 22.9	21 15.0	8 5.7
無回答		1 0.4	- -	- -	- -	1 100.0	- -
製造業 (14業種)	食料品	11 4.3	3 27.3	5 45.5	1 9.1	- -	2 18.2
	繊維製品関連	8 3.1	4 50.0	2 25.0	- -	- -	2 25.0
	木材・家具	7 2.8	2 28.6	- -	4 57.1	- -	- -
	パルプ・紙加工品	4 1.6	- -	- -	- -	2 50.0	2 50.0
	印刷	4 1.6	4 100.0	- -	- -	- -	- -
	窯業・土石製品製造業	8 3.1	6 75.0	1 12.5	- -	1 12.5	- -
	化学(医薬)・プラスチック	9 3.5	3 33.3	- -	1 11.1	4 44.4	1 11.1
	金属製品	32 12.6	6 18.8	1 3.1	7 21.9	16 50.0	1 3.1
	一般機械	5 2.0	2 40.0	- -	- -	3 60.0	- -
	電子部品・デバイス	10 3.9	6 60.0	- -	2 20.0	- -	2 20.0
	電気機械	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	輸送機械	1 0.4	1 100.0	- -	- -	- -	- -
	精密機械	3 1.2	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -
	その他製造業	11 4.3	8 72.7	- -	1 9.1	- -	1 9.1
非製造業 (10業種)	運輸業	6 2.4	3 50.0	- -	- -	- -	2 33.3
	建設業	41 16.1	18 43.9	3 7.3	7 17.1	7 17.1	1 2.4
	卸・小売業	11 4.3	4 36.4	4 36.4	- -	1 9.1	- -
	金融保険業	3 1.2	3 100.0	- -	- -	- -	- -
	電気・ガス・熱供給業	3 1.2	1 33.3	- -	- -	2 66.7	- -
	情報通信業	9 3.5	4 44.4	2 22.2	- -	2 22.2	- -
	医療・福祉	40 15.7	11 27.5	- -	21 52.5	3 7.5	3 7.5
	宿泊業・飲食サービス業	4 1.6	1 25.0	1 25.0	- -	- -	2 50.0
	その他サービス業	22 8.7	9 40.9	2 9.1	4 18.2	6 27.3	- -
	その他非製造業	1 0.4	1 100.0	- -	- -	- -	- -
無回答		1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -

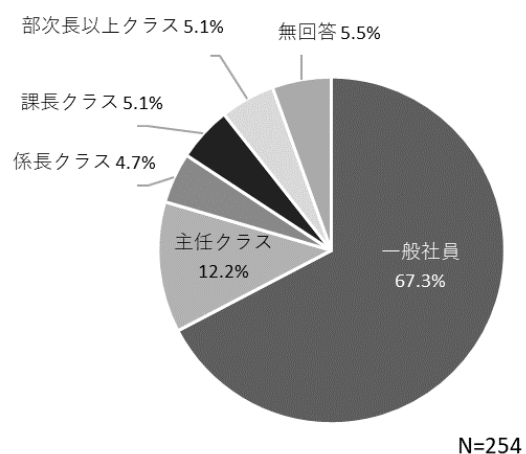
【勤務先事業所の従業員数】



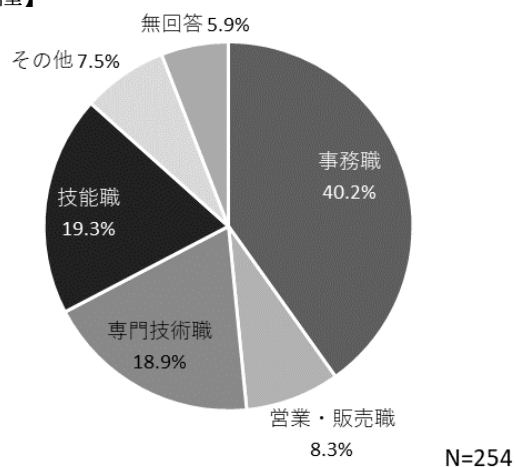
【勤続年数】



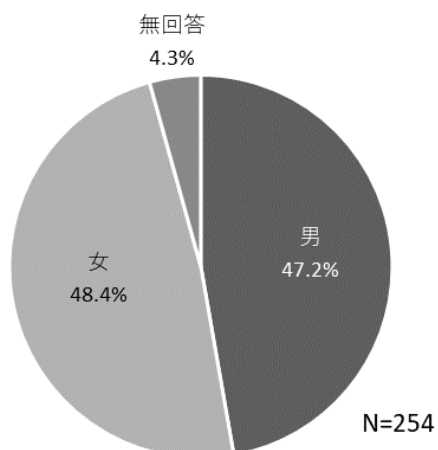
【役職】



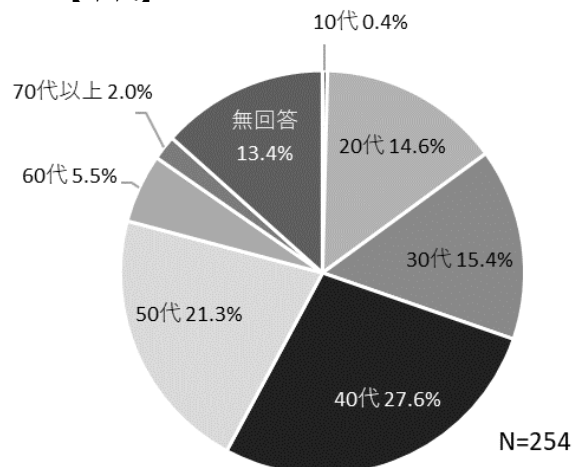
【職種】



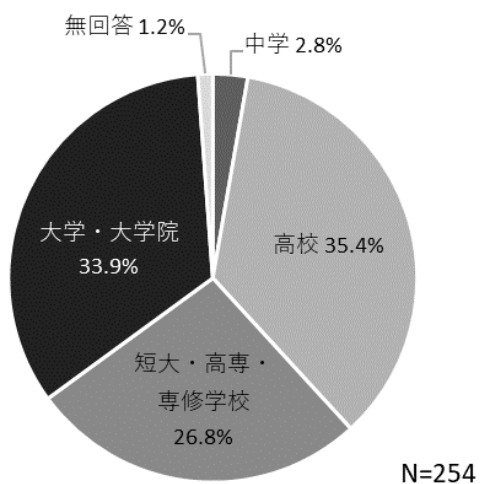
【性別】



【年代】



【学歴】



高校 (人)

普通科	35
工業科	22
商業科	24
その他	5
無回答	4

短大・高専・専修学校(人)

理系	22
文系	31
無回答	15

大学・大学院 (人)

理系	24
文系	60
無回答	2

（２）免許・資格の取得状況

問２－１ 現在あなたは、①仕事に役立つ免許や資格をお持ちですか。また、②今後とりたいと思う免許や資格がありますか。（①②それぞれ番号１つに○）

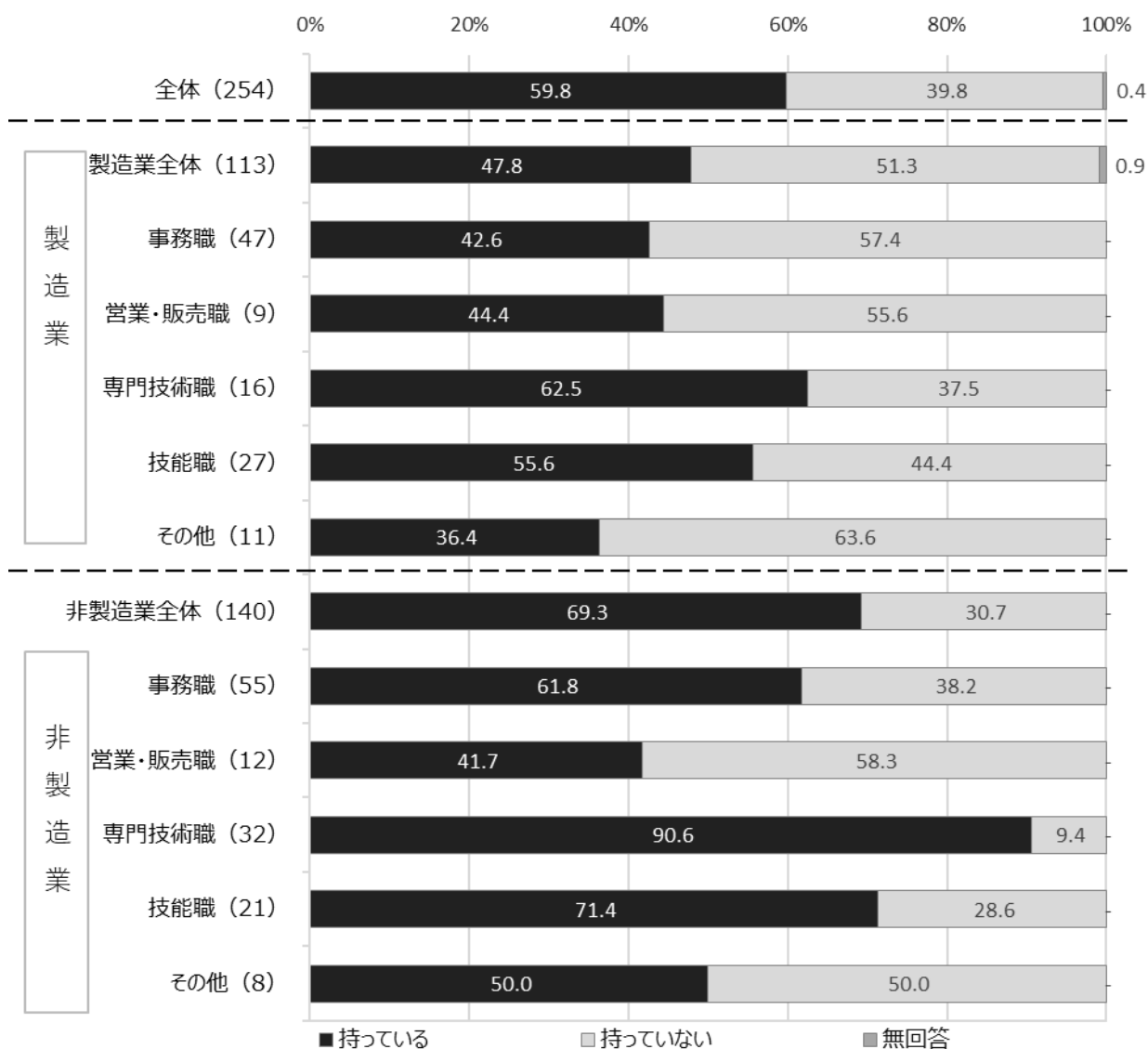
① 仕事に役立つ免許や資格

全体では、「持っている」が 59.8%となっている。

業種別にみると、「持っている」と回答した割合が、製造業では 47.8%、非製造業では 69.3%となっており、非製造業の方が免許・資格取得者の割合が高くなっている。

職種別でみると、製造業、非製造業ともに「専門技術者」では「持っている」と回答した割合が最も高くなっており、特に非製造業では 9 割を超えている。

■免許・資格の取得状況



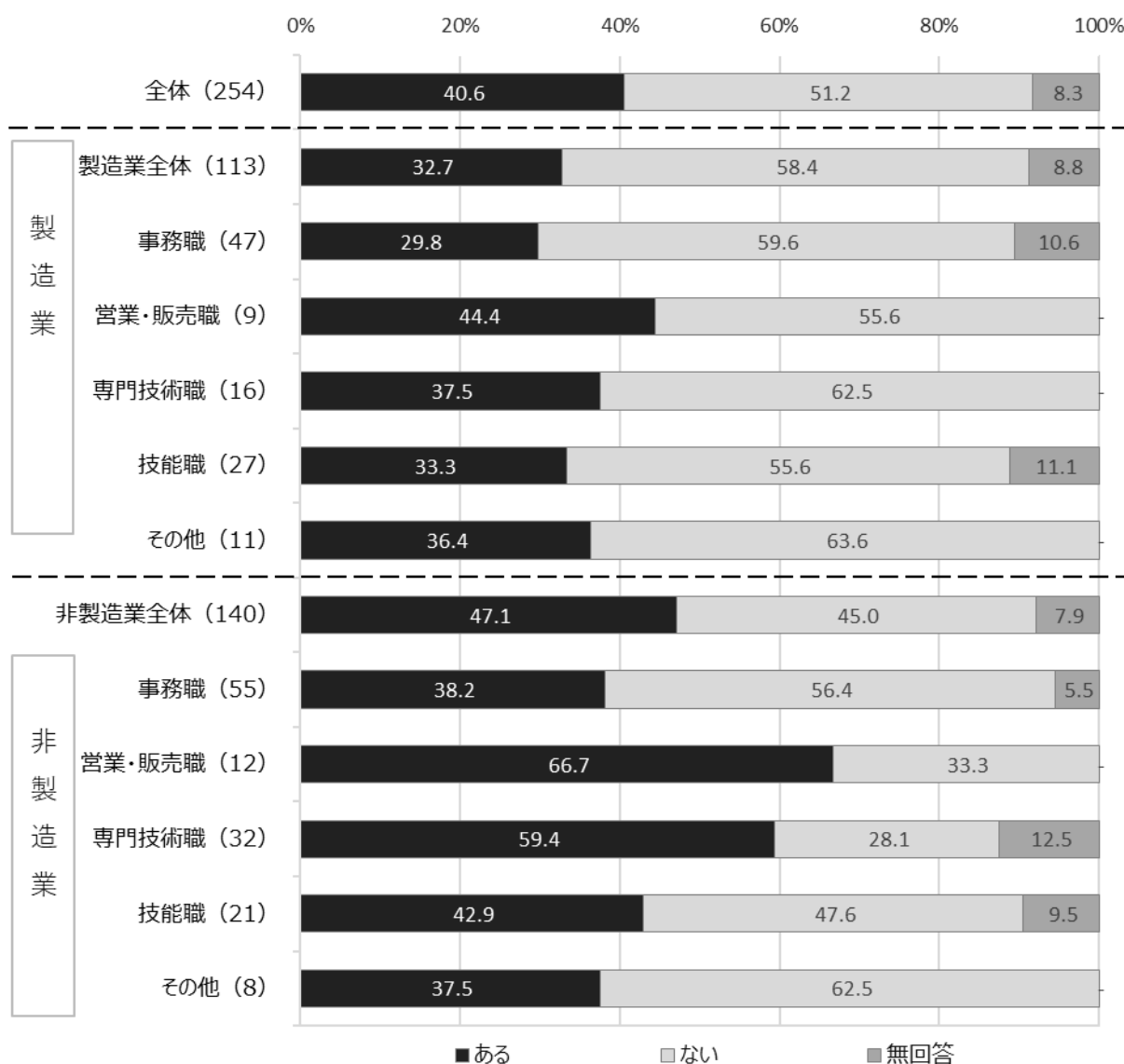
② 今後とりたいと思う免許や資格

全体では、「ある」が40.6%となっている。

業種別にみると、製造業では32.7%、非製造業では47.1%と非製造業の方が高くなっている。

職種別にみると、製造業、非製造業ともに「営業・販売職」が最も高くなっている。

■ 今後とりたい免許・資格



問2-2 問2-1①で「1. 持っている」、②で「1. ある」と回答した方は具体的にご記入ください。

取得している免許・資格および今後取得したい免許・資格を現在の業種、職種別にみてる。
 なお、具体的な免許・資格としての回答が2件以上のものを中心に掲載する。

① 事務職

取得している免許・資格の具体的な内容について53人からの回答があり、延べ免許・資格数は85件であった。また、今後取得したい免許・資格の具体的な内容については31人からの回答があり、延べ免許・資格数は44件であった。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに取得している免許・資格では「簿記検定」が最も多く、次点は製造業では「衛生管理者」、非製造業では「医療事務」となっている。また、今後取得したい免許・資格についても「簿記検定」が最も多く、次点は製造業では「ワープロ・表計算資格」「衛生管理者」「行政書士」「社会保険労務士」が並んでおり、非製造業では「ファイナンシャルプランナー」となっている。

取得済み (N=53)	件数	製造業	非製造業
簿記検定	29	13	16
衛生管理者	5	5	0
医療事務	5	0	5
ファイナンシャルプランナー	4	1	3
建設業経理検定	4	1	3
秘書技能検定	3	0	3
危険物取扱者	2	2	0
建築士	2	0	2
珠算検定	2	0	2
宅地建物取引士	2	1	1
品質管理検定	2	2	0

取得したい (N=31)	件数	製造業	非製造業
簿記検定	11	6	5
ファイナンシャルプランナー	5	0	5
ワープロ・表計算資格	3	2	1
衛生管理者	3	2	1
行政書士	2	2	0
社会保険労務士	2	2	0

※回答が2件以上あった免許・資格を記載

② 営業・販売職

取得している免許・資格の具体的な内容について9人からの回答があり、延べ免許・資格数は14件であった。また、今後取得したい免許・資格の具体的な内容については11人からの回答があり、延べ免許・資格数は15件であった。

取得したい (N=11)	件数	製造業	非製造業
簿記検定	3	2	1
建築士	2	0	2
宅地建物取引士	2	0	2

※回答が2件以上あった免許・資格を記載

③ 専門技術職

取得している免許・資格の具体的な内容について 38 人からの回答があり、延べ免許・資格数は 90 件であった。また、今後取得したい免許・資格の具体的な内容については 21 人からの回答があり、延べ免許・資格数は 28 件であった。

業種別にみると、取得している免許・資格では、製造業は「フォークリフト運転技能者」が最も多く、非製造業では「介護福祉士」「看護師」が並んでいる。

取得済み (N=38)	件数	製造業	非製造業
クレーン運転士	5	3	2
フォークリフト運転技能者	5	5	0
介護福祉士	5	0	5
看護師	5	0	5
玉掛技能者	4	3	1
電気工事士	4	2	2
大型特殊免許	3	1	2
保育士	3	0	3
幼稚園教諭	3	0	3
高所作業車運転者	2	1	1
歯科衛生士	2	0	2
社会福祉士	2	0	2
車両系建設機械運転技能者	2	0	2

取得したい (N=21)	件数	製造業	非製造業
建築士	2	1	1
社会福祉士	2	0	2
宅地建物取引士	2	1	1

※回答が 2 件以上あった免許・資格を記載

④ 技能職

取得している免許・資格の具体的な内容について 29 人からの回答があり、延べ免許・資格数は 72 件であった。また、今後取得したい免許・資格の具体的な内容については 16 人からの回答があり、延べ免許・資格数は 19 件であった。

業種別にみると、製造業の取得している免許・資格では「玉掛技能者」が最も多く、次いで「クレーン運転士」となっている。非製造業では「大型特殊免許」が最も多く、次いで「玉掛技能者」となっている。

取得済み (N=29)	件数	製造業	非製造業
玉掛技能者	10	7	3
クレーン運転士	8	6	2
フォークリフト運転技能者	5	4	1
大型特殊免許	5	1	4
高所作業車運転者	3	0	3
車両系建設機械運転技能者	2	1	1
電気工事士	2	0	2
土木施工管理技士	2	0	2

取得したい (N=16)	件数	製造業	非製造業
フォークリフト運転技能者	3	2	1
移動式クレーン運転士	3	0	3
機械加工技能士	2	2	0

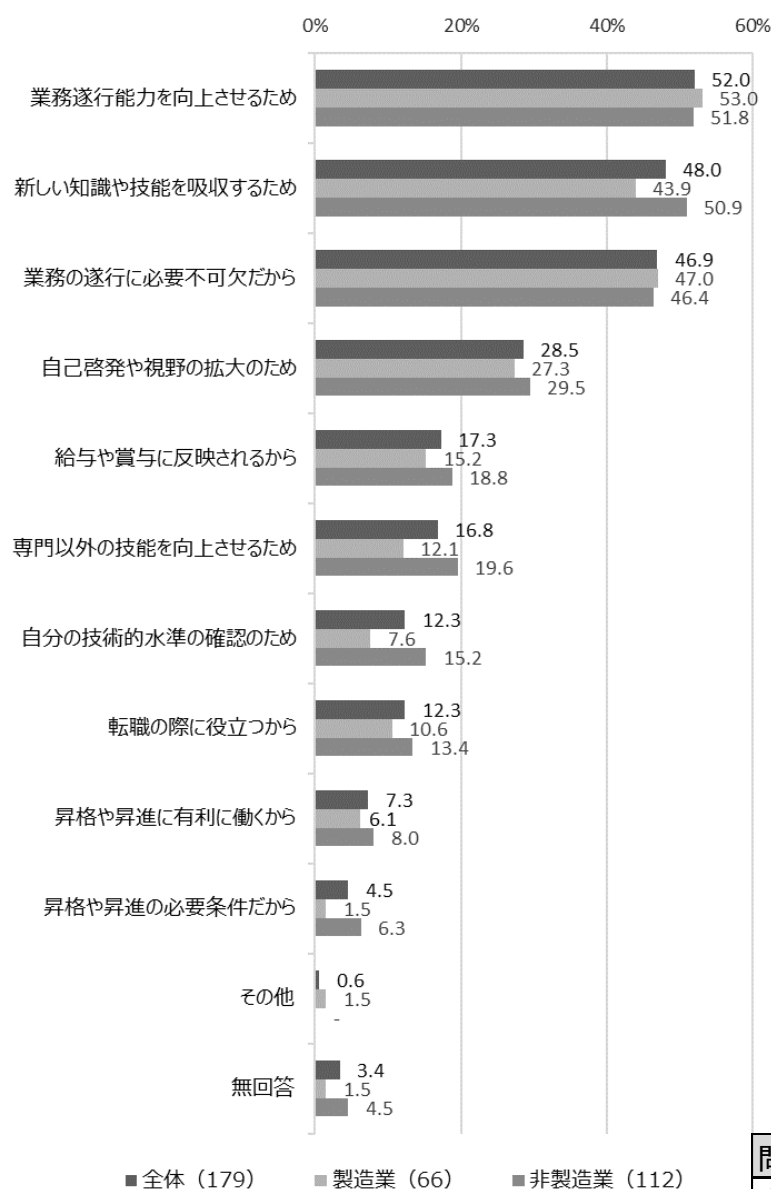
※回答が 2 件以上あった免許・資格を記載

問2-3 【問2-1①で「1. 持っている」、②で「1. ある」と回答した方におたずねします。】あなたが免許や資格を取得する理由としてあてはまるものを選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「業務遂行能力を向上させるため」が52.0%と最も高く、次いで「新しい知識や技能を吸収するため」が48.0%、「業務の遂行に必要不可欠だから」が46.9%となっている。

業種別にみると、製造業では「業務遂行能力を向上させるため」が53.0%と最も高く、次いで「業務の遂行に必要不可欠だから」が47.0%、「新しい知識や技能を吸収するため」が43.9%となっている。非製造業では「業務遂行能力を向上させるため」が51.8%と最も高く、次いで「新しい知識や技能を吸収するため」が50.9%、「業務の遂行に必要不可欠だから」が46.4%となっている。

■ 免許や資格を取得する主な理由



問2-3 「その他」の内容

事故などがあつたらダメだから

(3) 職業能力開発に関わる現状及び意識

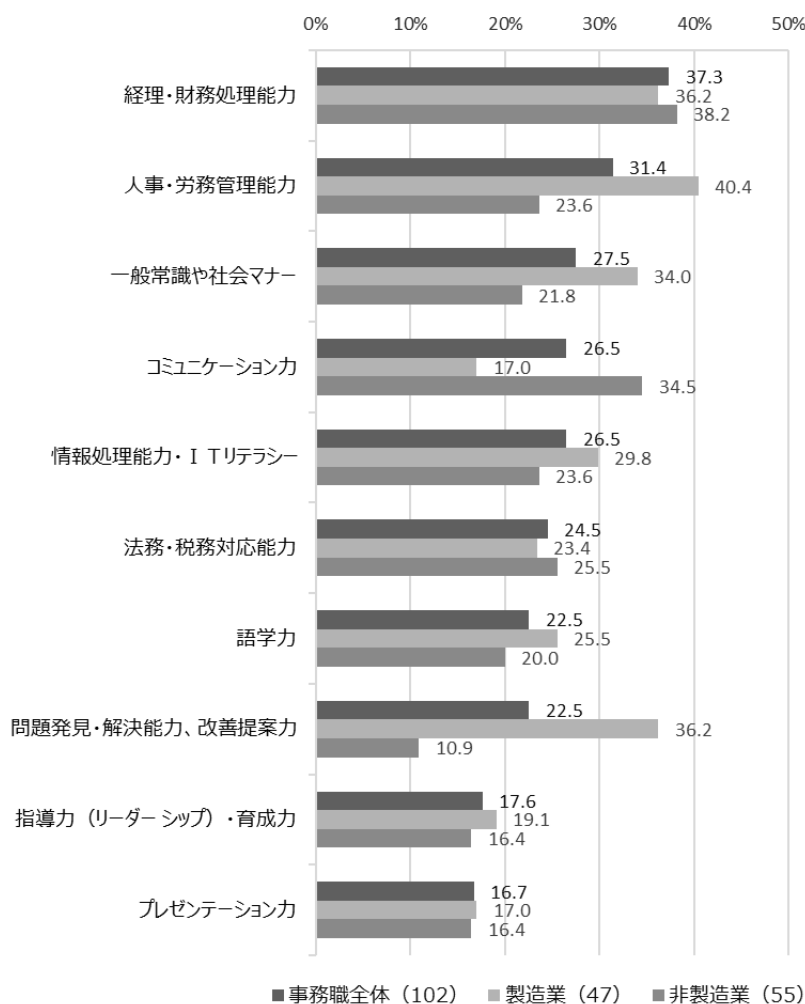
問3 あなたは今後、特にどのような職業能力を身につけたい、または高めたいと思いますか。
1～34 の選択肢から選び○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○) 選択肢以外にあれば、「35 その他」にご記入ください。

① 事務職

問1の職種で「事務職」と回答した在職者についてみていくと、**全体**では、「経理・財務処理能力」が37.3%と最も高く、次いで「人事・労務管理能力」が31.4%、「一般常識や社会マナー」が27.5%と続いている。

業種別にみると、製造業では「人事・労務管理能力」が40.4%と最も高く、次いで「経理・財務処理能力」と「問題発見・解決能力、改善提案力」が36.2%と続いている。非製造業では「経理・財務処理能力」が38.2%と最も高く、次いで「コミュニケーション力」が34.5%、「法務・税務対応能力」が25.5%と続いている。製造業と非製造業で差が大きいものは、「問題発見・解決能力、改善提案力」（製造業が25.3ポイント高）、「コミュニケーション力」（非製造業が17.5ポイント高）、「人事・労務管理能力」（製造業が16.8ポイント高）である。

■開発に重点を置くべき能力上位10項目（事務職）



② 営業・販売職

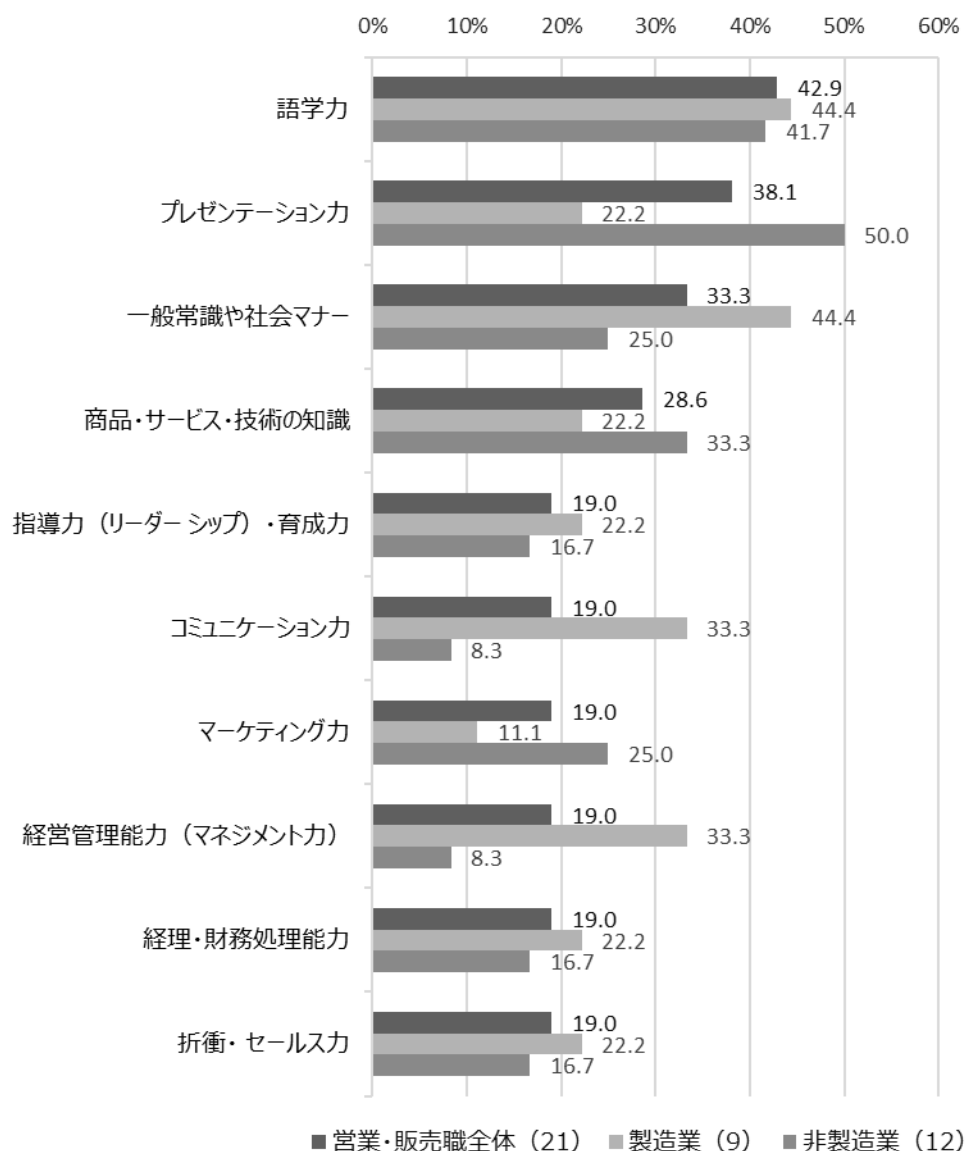
問1の職種で「営業・販売職」と回答した在職者についてみていくと、**全体**では、「語学力」が42.9%と最も高く、次いで「プレゼンテーション力」が38.1%、「一般常識や社会マナー」が33.3%と続いている。

業種別にみると、製造業では「語学力」と「一般常識や社会マナー」が並んで44.4%と最も高く、次いで「コミュニケーション力」と「経営管理能力（マネジメント力）」が33.3%で並んでいる。

非製造業では「プレゼンテーション力」が50.0%と最も高く、次いで「語学力」41.7%、「商品・サービス・技術の知識」33.3%と続いている。

製造業と非製造業で差が大きいものは、「プレゼンテーション力」（非製造業が27.8ポイント高）、「コミュニケーション力」「経営管理能力（マネジメント力）」（製造業が25.0ポイント高）、「一般常識や社会マナー」（製造業が19.4ポイント高）である。

■ 開発に重点を置くべき能力上位10項目（営業・販売職）



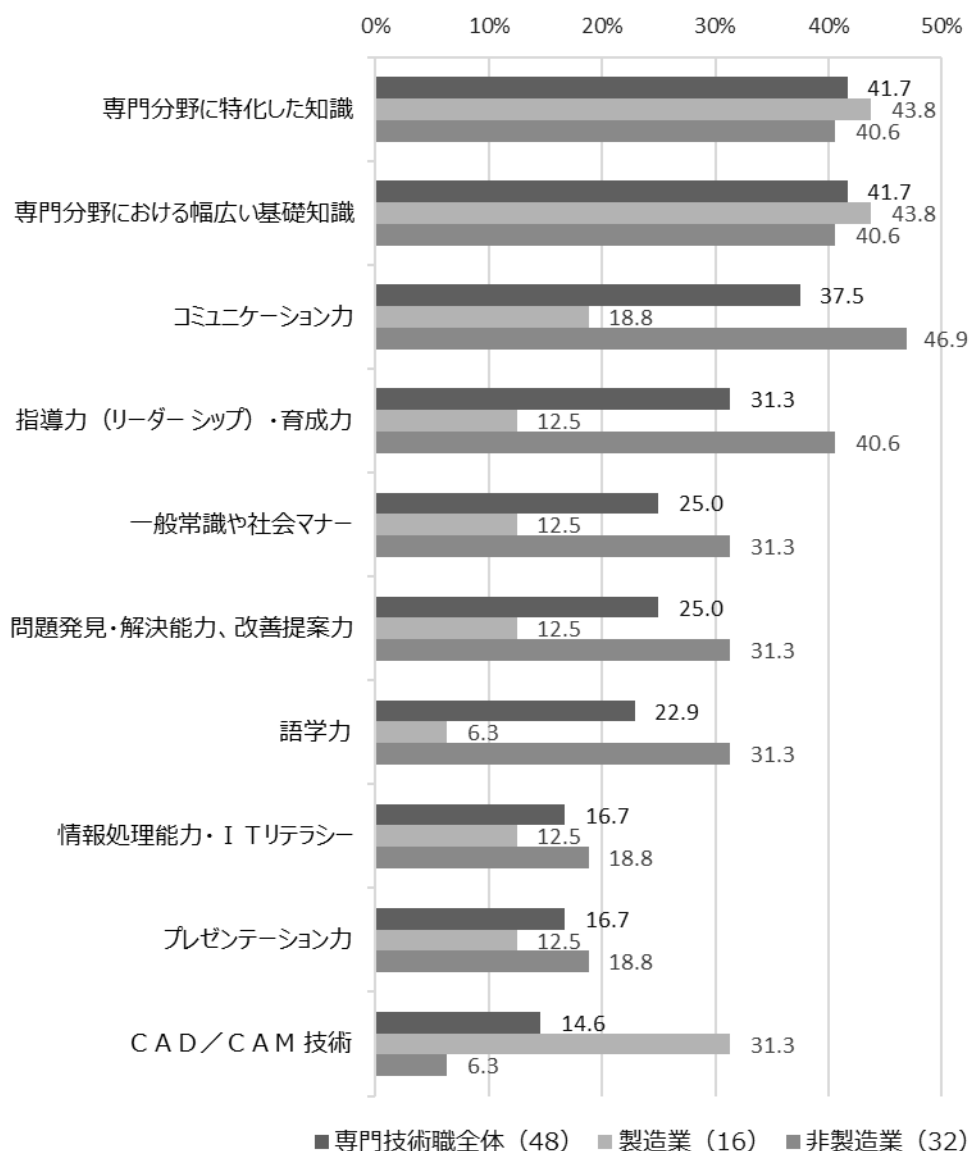
③ 専門技術職

問1の職種で「専門技術職」と回答した在職者についてみていくと、**全体**では、「専門分野に特化した知識」と「専門分野における幅広い基礎知識」が並んで41.7%と最も高く、次いで「コミュニケーション力」が37.5%、「指導力（リーダーシップ）・育成力」が31.3%となっている。

業種別にみると、製造業では「専門分野に特化した知識」と「専門分野における幅広い基礎知識」が並んで43.8%と最も高く、次いで「CAD/CAM 技術」が31.3%と続いている。非製造業では「コミュニケーション力」が46.9%と最も高く、次いで「専門分野に特化した知識」、「専門分野における幅広い基礎知識」、「指導力（リーダーシップ）・育成力」が40.6%で並んでいる。

製造業と非製造業で差が大きいものは、「コミュニケーション力」「指導力（リーダーシップ）・育成力」（非製造業が28.1ポイント高）、「CAD/CAM 技術」（製造業が25.0ポイント高）、「語学力」（非製造業が25.0ポイント高）、「一般常識や社会マナー」「問題発見・解決能力、改善提案力」（非製造業が18.8ポイント高）である。

■ 開発に重点を置くべき能力上位10項目（専門技術職）

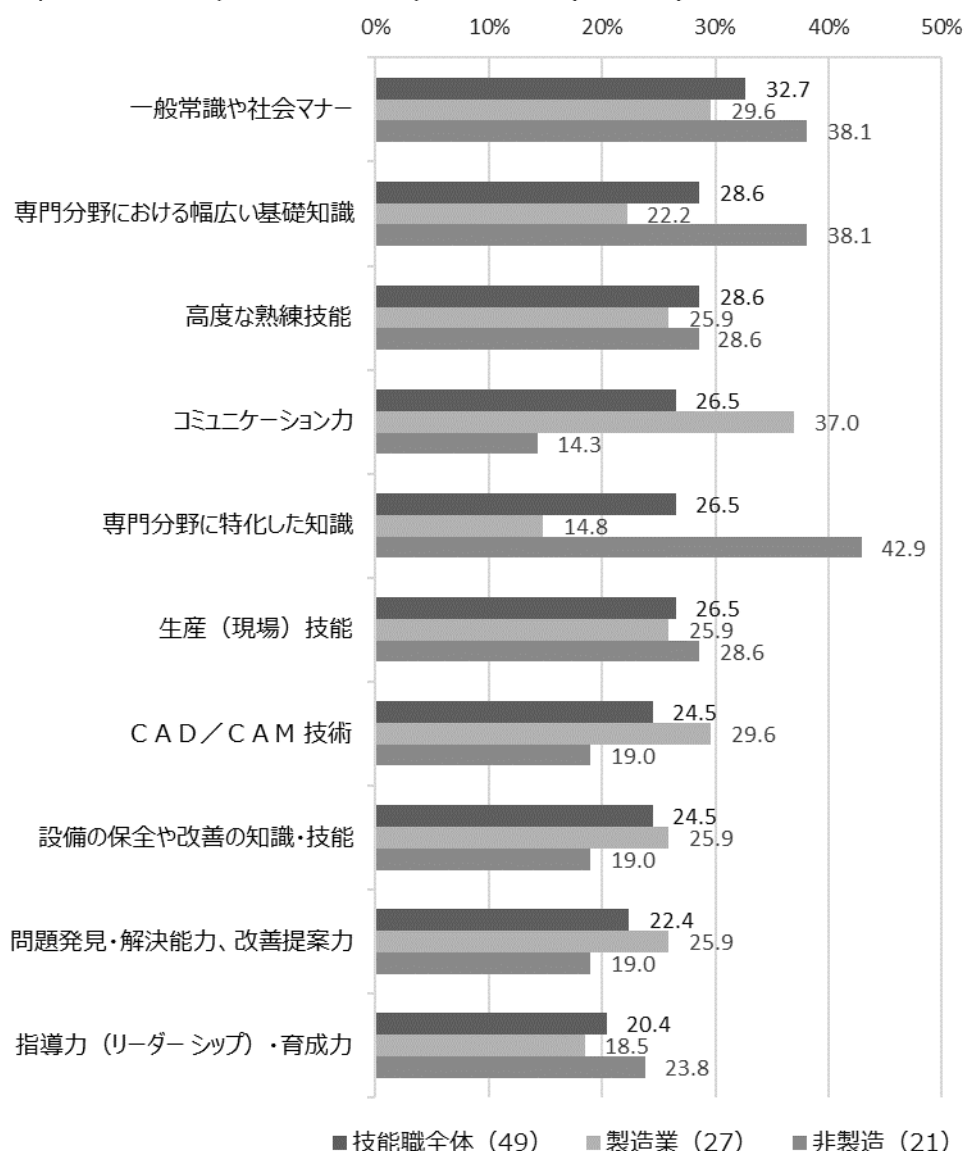


④ 技能職

問1の職種で「技能職」と回答した在職者についてみていくと、**全体**では、「一般常識や社会マナー」が32.7%と最も高く、次いで「専門分野における幅広い基礎知識」と「高度な熟練技能」が28.6%で並んでいる。

業種別にみると、製造業では「コミュニケーション力」が37.0%と最も高く、次いで「一般常識や社会マナー」と「CAD/CAM技術」が29.6%で並んでいる。非製造業では「専門分野に特化した知識」が42.9%で最も高く、製造業に比べ28.1ポイント高くなっている。次いで「一般常識や社会マナー」と「専門分野における幅広い基礎知識」が38.1%で並んでいる。

■ 開発に重点を置くべき能力上位10項目（技能職）

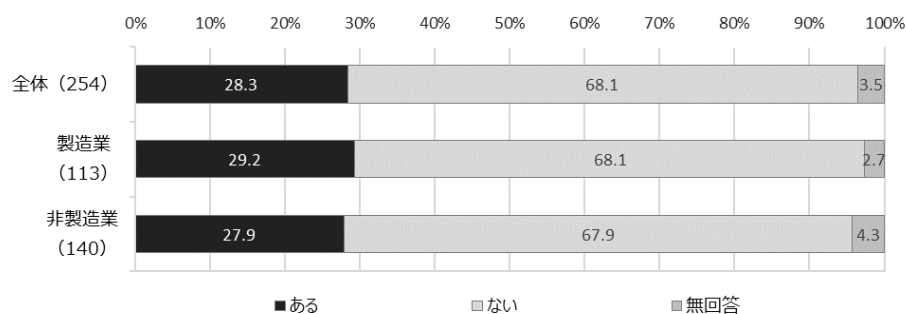


問４－１ あなたが現在取り組んでいる教育訓練はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

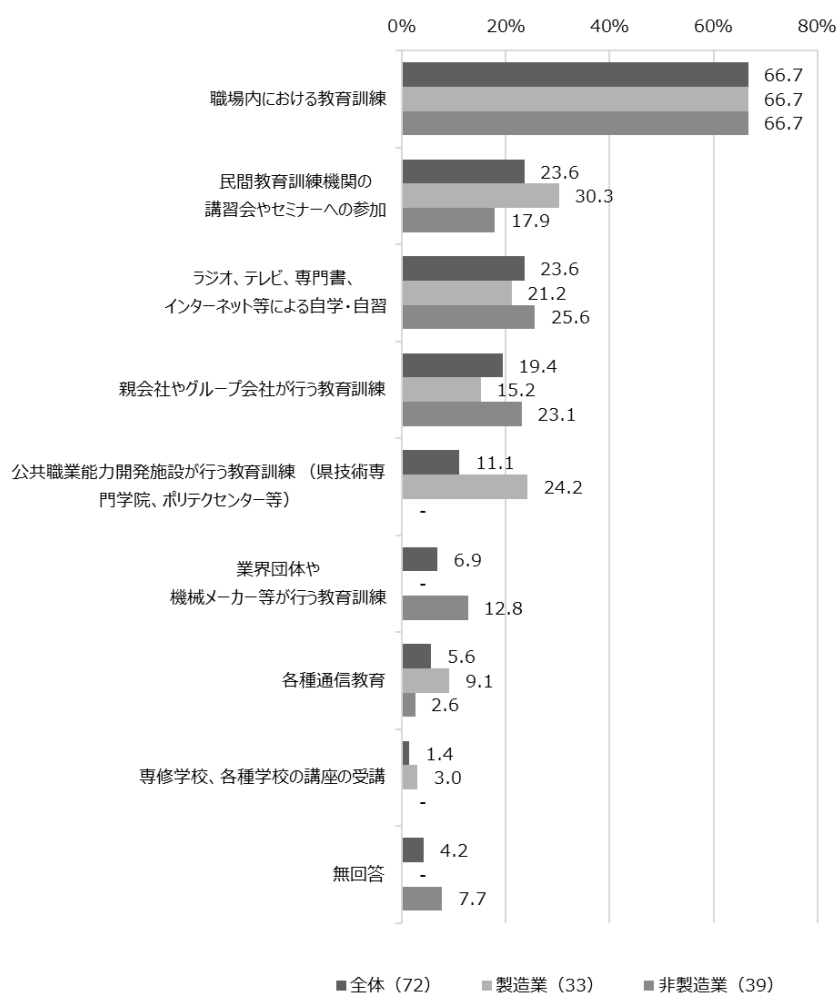
全体では、「現在取り組んでいる教育訓練がある」が28.3%、「現在取り組んでいる教育訓練がない」が68.1%となっている。

製造業では、「現在取り組んでいる教育訓練がある」が29.2%、「現在取り組んでいる教育訓練がない」が68.1%となっている。非製造業では、「現在取り組んでいる教育訓練がある」が27.9%、「現在取り組んでいる教育訓練がない」が67.9%となっている。

■現在取り組んでいる教育訓練の有無



■取り組んでいる教育訓練の形態

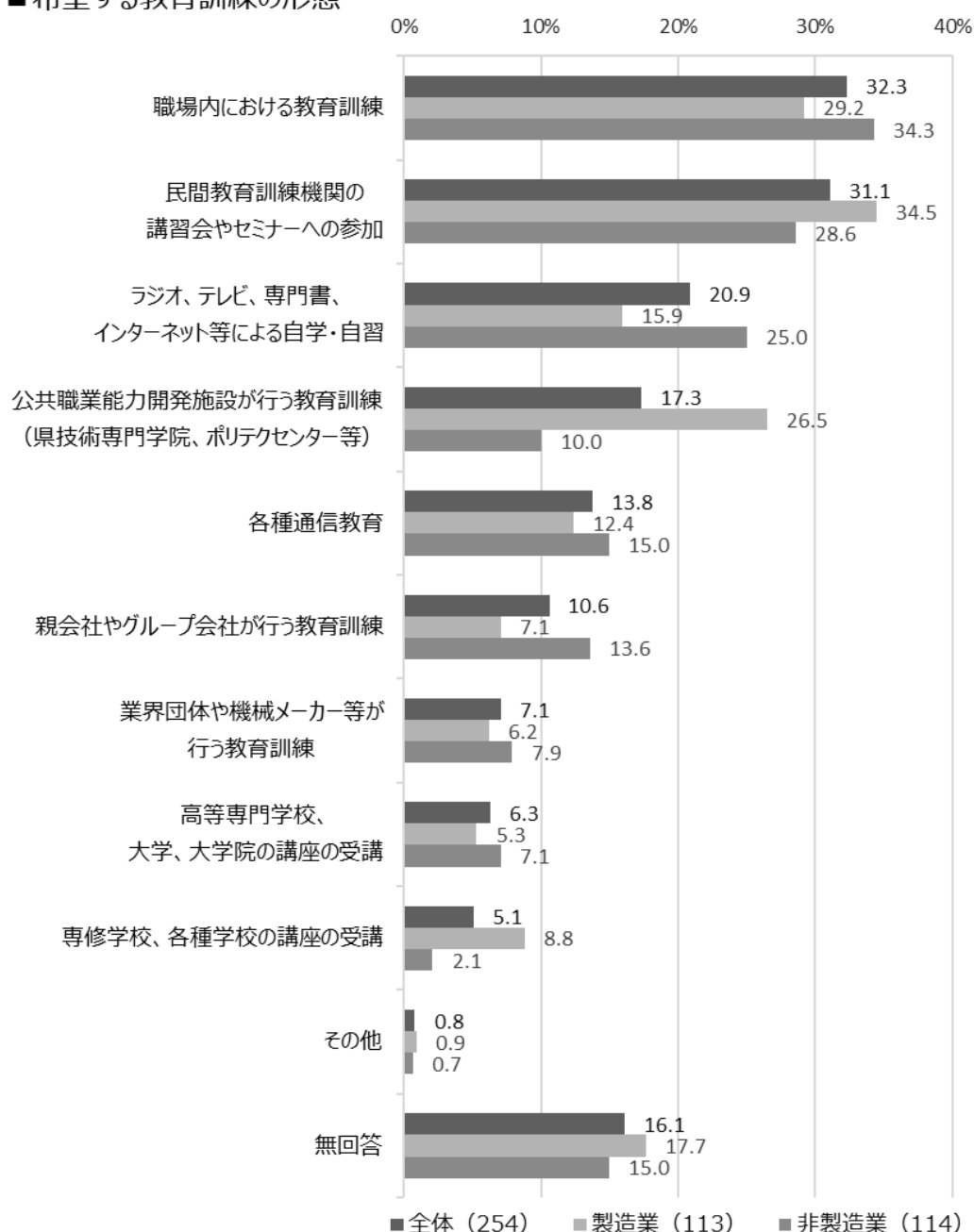


問４－２ あなたが受けたと思う教育訓練の形態を選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

全体では、「職場内における教育訓練」が 32.3%と最も高く、次いで「民間教育訓練機関の講習会やセミナーへの参加」が 31.1%、「ラジオ、テレビ、専門書、インターネット等による自学・自習」が 20.9%となっている。

業種別で製造業と非製造業の違いをみると、製造業では「公共職業能力開発施設が行う教育訓練（県技術専門学院、ポリテクセンター等）」が非製造業に比べて 16.5 ポイント高く、非製造業では「ラジオ、テレビ、専門書、インターネット等による自学・自習」が製造業に比べて 9.1 ポイント高くなっている。

■希望する教育訓練の形態

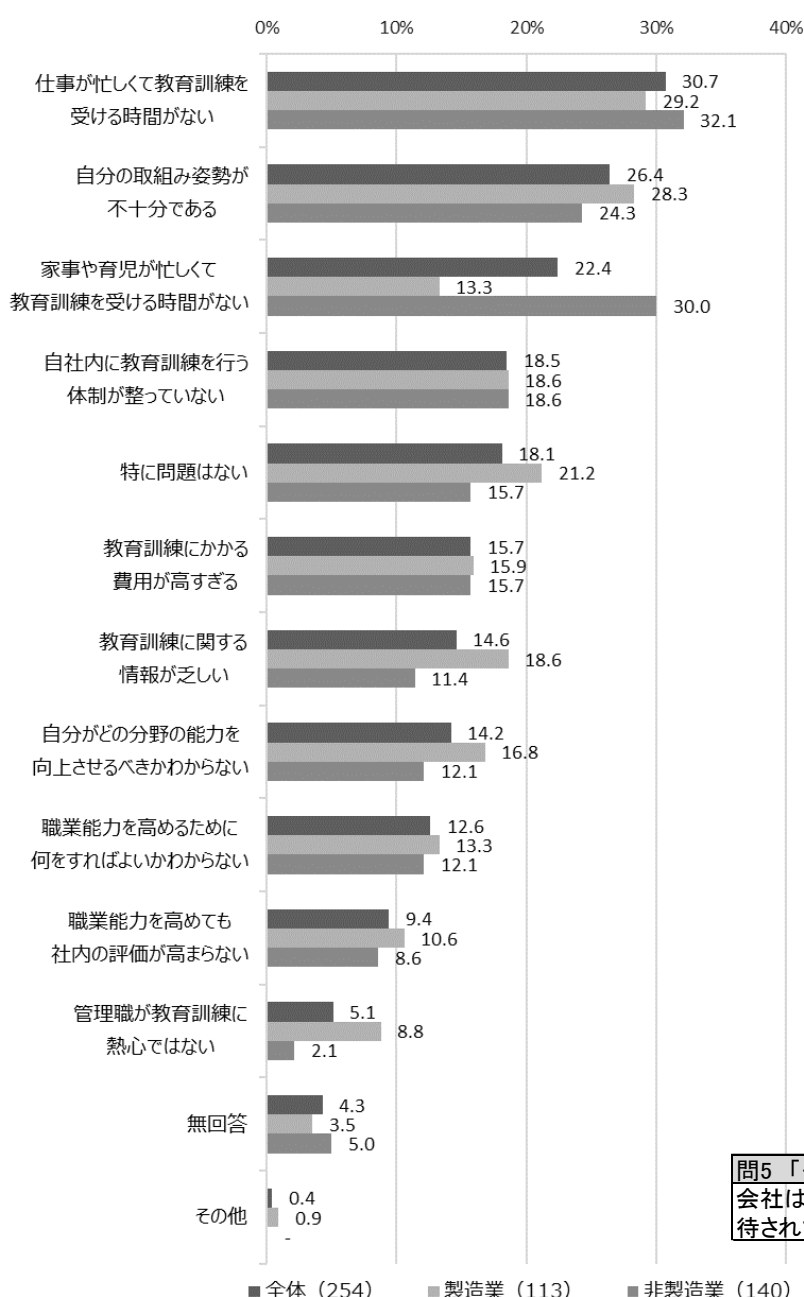


問5 職業能力向上において、あなたが考える課題に近いものを選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「仕事が忙しくて教育訓練を受ける時間がない」が30.7%と最も高く、次いで「自分の取り組み姿勢が不十分である」が26.4%、「家事や育児が忙しくて教育訓練を受ける時間がない」が22.4%となっている。

業種別にみると、製造業では、「仕事が忙しくて教育訓練を受ける時間がない」が29.2%で最も高く、次いで「自分の取組み姿勢が不十分である」が28.3%となっている。また、全体では3位となっていた「家事や育児が忙しくて教育訓練を受ける時間がない」は13.3%で非製造業に比べると16.7ポイント低くなっている。

■ 職業能力開発における課題



問5「その他」の内容
会社は特定の人のみに教育訓練は熱心だが、期待されていない人には教育の情報すらない

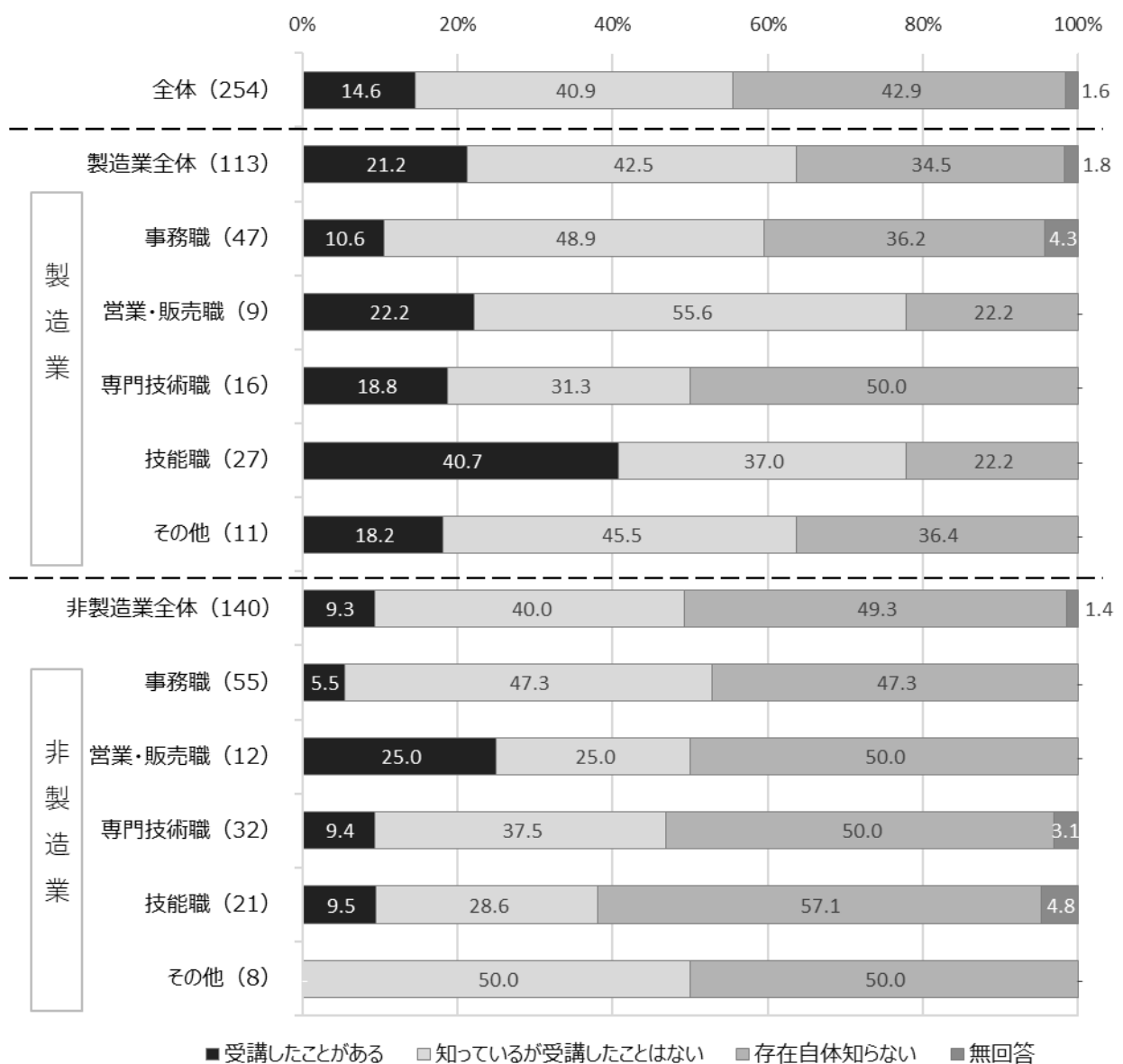
（４）公共職業能力開発施設への要望

問６－１ 公共職業能力開発施設（県技術専門学院、ポリテクセンター等）では、様々な教育訓練や講習会を実施していますが、受講されたことはありますか。（番号１つに○）

全体では、「受講したことがある」が14.6%、「知っているが、受講したことはない」が40.9%で、合わせると存在を知っている在職者は55.5%で、「存在自体知らない」と回答した42.9%より高くなっている。

職種別でみると、製造業の「技能職」は受講経験者が4割を超えており、「営業・販売職」は製造業、非製造業ともに受講経験者が2割を超えている。

■教育訓練や講習会の受講の有無



■受講科目および施設名

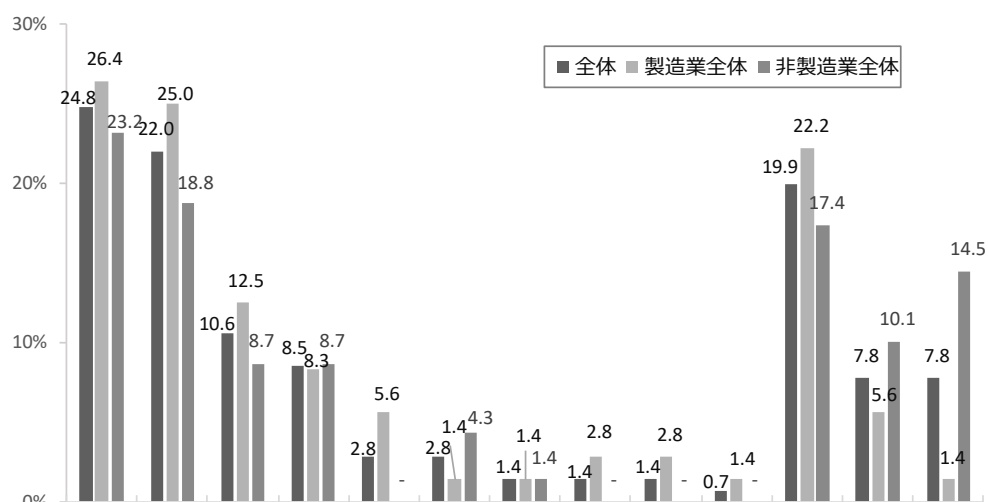
受講科目名	件数
パソコン（Microsoft Office）	3
溶接（アーク溶接等）	2
CAD	2
簿記	1
PC基礎	1
電気系保全実践技術	1
電気設備技術科	1
第1種衛生管理者受験準備講習	1
現場社員のための組織行動力向上	1
半自動溶接技能評価試験	1
若手社員ステップアップコース	1
電気保全関係	1
高度職業訓練（プラスチック射出成型技術）	1
販売企画	1
マシニングセンター	1
シーケンス制御	1
エコリフォーム科	1
フォークリフト技能講習	1
能力開発セミナー（JWcad，コーチング）	1
自動車整備科	1
パソコン講座	1

受講施設名	件数
ポリテクセンター富山	12
富山県技術専門学院砺波センター	1
富山県技術専門学院新川センター	1
アルファデータパソコンスクール	1
京都府立福知山高等技術専門校	1
石川県地場産業振興センター	1
日本繊維技術士センター	1
富山県安全衛生教育センター	1
富山県総合情報センター	1
富山市職業訓練センター	1

問6-2 【問6-1で「1. 受講したことがある」または「2. 知っているが受講したことはない」と回答した方におたずねします。】公共職業訓練施設の教育訓練や講習会について、あなたのご意見にあてはまるものをすべて選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「講座に関する情報が不足している」が24.8%と最も高く、次いで「受講し有意義だった」が22.0%、「開講時間が合わない」が10.6%となっている。一方で、「受講する必要性を感じない」との回答は19.9%となっている。

職種別で違いをみると、非製造業の「営業・販売職」では「受講し有意義だった」が50.0%となっている。



	合計	講座に関する情報が不足している	受講し有意義だった	開講時間が合わない	受講したい科目がない	受講したが物足りない	費用が高すぎる	期間が長すぎる	期間が短すぎる	内容が簡単すぎる	内容が難しすぎる	受講する必要性を感じない	その他	無回答
全体	141	24.8	22.0	10.6	8.5	2.8	2.8	1.4	1.4	1.4	0.7	19.9	7.8	7.8
製造業														
製造業全体	72	26.4	25.0	12.5	8.3	5.6	1.4	1.4	2.8	2.8	1.4	22.2	5.6	1.4
事務職	28	28.6	10.7	21.4	14.3	-	-	-	3.6	-	-	25.0	7.1	3.6
営業・販売職	7	42.9	28.6	28.6	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-
専門技術職	8	12.5	25.0	12.5	-	12.5	-	-	12.5	12.5	-	37.5	12.5	-
技能職	21	28.6	38.1	-	-	9.5	-	-	-	4.8	4.8	23.8	4.8	-
その他	7	14.3	28.6	-	28.6	-	14.3	14.3	-	-	-	14.3	-	-
無回答	1	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非製造業														
非製造業全体	69	23.2	18.8	8.7	8.7	-	4.3	1.4	-	-	-	17.4	10.1	14.5
事務職	29	34.5	10.3	10.3	6.9	-	-	-	-	-	-	13.8	13.8	17.2
営業・販売職	6	33.3	50.0	-	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-
専門技術職	15	20.0	20.0	13.3	20.0	-	6.7	6.7	-	-	-	20.0	6.7	-
技能職	8	-	25.0	12.5	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	37.5
その他	4	25.0	-	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0
無回答	7	-	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-	28.6	28.6	14.3
無回答	8	-	37.5	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	12.5

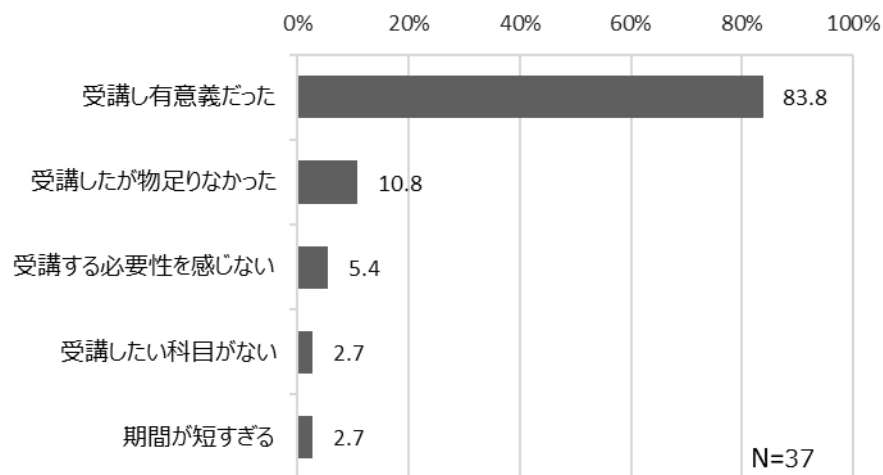
属性別順位 1位 2位 3位

■受講経験の有無による意見（上位5項目）

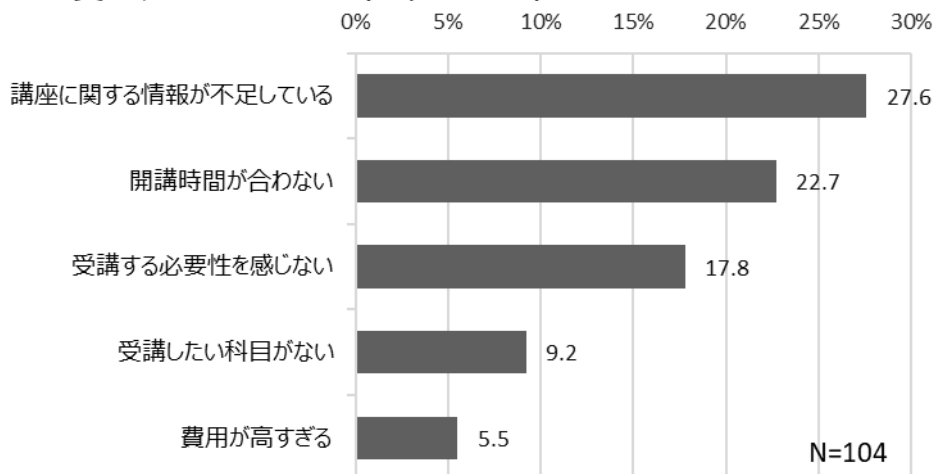
問6－1で「受講したことがある」と回答した在職者の意見で最も高かった回答は、「受講し有意義だった」の83.8%で、他の回答の割合とは大きく差が開いている。

問6－1で「知っているが受講したことはない」と回答した在職者では、「講座に関する情報が不足している」が27.6%で最も高く、次いで「開講時間が合わない」（22.7%）、「受講する必要性を感じない」（17.8%）となっている。

■受講経験あり（上位5項目）



■受講経験なしの意見（上位5項目）

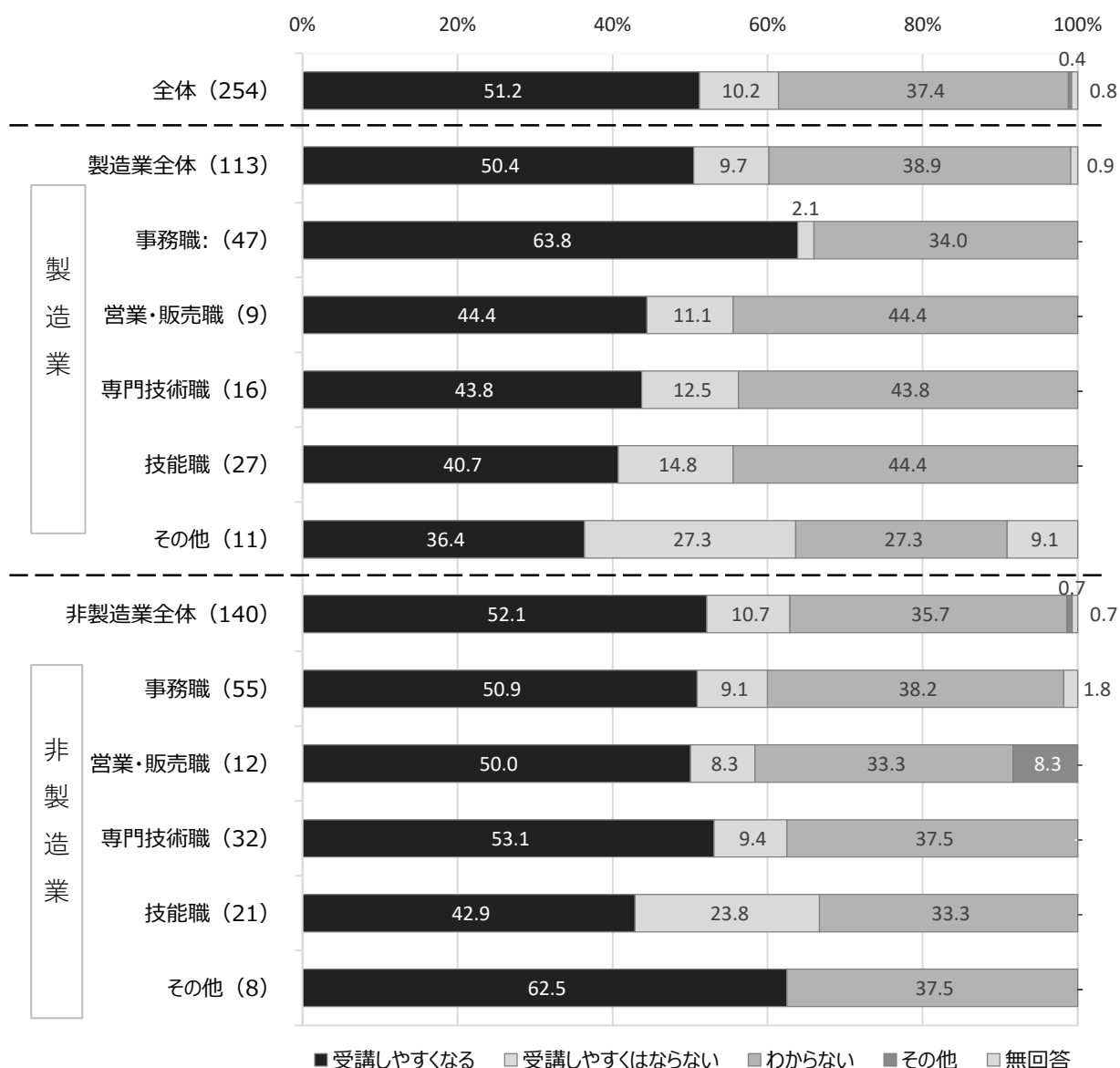


問7 公共職業能力開発施設での教育訓練のうち座学部分の受講方式について、対面授業か、リモート授業か（オンライン・オンデマンド配信による）を自分で選べるようになるとしたら、あなたにとって受講しやすくなりますか。（番号1つに○）

全体では、「受講しやすくなる」が51.2%、「受講しやすくはならない」10.2%、「わからない」37.4%となっている。

職種別では、製造業の「事務職」で「受講しやすくなる」が63.8%で最も多い。

■座学部分の受講方式選択による受講のしやすさ



問8 富山県技術専門学院では、企業に在籍している人向けの在職者訓練も実施しています。これまでのご経験から、今後、リスキリングの一環として受けてみたい講座があればご自由にご記入ください。

「Word&Excel 基礎」が15件と最も多く、次いで「AutoCAD 基礎」と「原価管理講習」が5件で並んでおり、ワープロ・表計算、CAD関係が多い。

リスキリングの一環として受けてみたい講座	件数
Word&Excel基礎	15
Excel基礎	2
Word&Excel中級	1
excel.access.powerpoint	1
AutoCAD基礎	5
JW-CAD	2
AutoCAD	2
AutoCAD応用	1
CAD／CAM基礎	1
CAD	2
CAM	1
原価管理講習	5
ウェブ制作	2
AI活用による業務効率向上	1
AI関連	1
マイナンバー制度	1
定額減税	1
インボイス	1
簿記	1
パソコンネットの基礎、セキュリティ等や使い方等	2
ビジネス文書、IT系のスキルを高める講習	1
医薬品に特化した講座	1
営業（B to C）の基礎、建築CADの使い方、建築写真の取り方	1
加工技術について	1
各社のVBAの活用事例について紹介と解説があれば	1
新制度の事務手続きの講座	1
足場の構造（安定）等、土木・建築工事現場での基準測量・報告書作成	1
無人航空機の操縦者ライセンス	1
溶接	1
ミシン基礎	1
DXの活用	1
経験から自信へと自分の中で取り入れる場所の公開をし続けてほしい。 若者から中堅から高齢まで講習実施ができれば、いいと思います。企業の求めている方々の講習訓練、第二種及び第一種電気工事士、講習実施の訓練等	1

(5) 自由回答

問9 公共職業能力開発施設に対するご意見やご要望、今後受けた教育訓練や講習、運営方法に対する希望、勤務先に求める環境整備などについて、ご自由にお書きください。

訓練機関・セミナーについて（4件）

業種	職種	性別	回答内容
電子部品・デバイス	事務職	女性	夜も受講できるとよい（20時以降）
建設業	営業・販売職	女性	オンライン講習（在宅）を希望します
一般機械	事務職	女性	若い社員が資格を取ったり、学んだりできる環境がもっと整えばよいと思う
電子部品・デバイス	専門技術職	男性	中小企業になるほど、就職時には資格を求めますが、在籍時は、資格を取る時間や企業の評価が低い（皆無）のでよほどやる気が無いと在籍時には難しい。自分も独学で資格を持っていますが、会社からの手当では0円です。公共職業能力開発施設には、土日は当然で平日の夜遅くでも、訓練・講習ができるようにしてほしい（たぶんやる気ある人限定ですが）

周知・広報について（4件）

業種	職種	性別	回答内容
建設業	専門技術職	男性	教育を受ける機会が少なかったため、教育案内等をもっと出してほしい。メールなどで企業へ案内を出すのがよいと思います
建設業	事務職	男性	貴法人のPR力が低く、我々までどのような講座があるのか、いつやっているのか届いていないと感じます
化学(医薬)・プラスチック	事務職	女性	広く、浅くの内容と同じく、即戦力になりうるくらいのディープな内容の講習があってもよい。また、IT関係（DXやコード等も含めて）の内容も充実させて欲しい。勤務先は、このような講座などがある事も特に知らされず、教育にお金をかけたくないのか個人任せになっている。（若い人や将来の幹部候補生にのみ力を入れている）。おもしろい講座も多いので、もっと御社からアピールを強めてもいいかもと思った
卸・小売業	事務職		土、日でも利用できるなら、もっとアピールしてください

訓練内容について（６件）

業種	職種	性別	回答内容
電子部品・デバイス	その他	女性	できるだけ実務に沿った（近い）内容
繊維製品関連	事務職	女性	語学
建設業	事務職	女性	どうしたこうなる興味を持てる様な講座を開いていただくとか。人と人と協力し合って仕事をする事のおもしろさ等
建設業	専門技術職	男性	開催の場所、頻度を細かく設定してもらえると助かります
電気・ガス・熱供給業	事務職	女性	公共職業能力開発施設について技術系の講座のみを行っている認識であったが、本アンケートを通して事務系の講座もあることが知れたので良かった
窯業・土木製品製造業	事務職	女性	HP を見ましたが一般社員向け講習はやってないのですか？

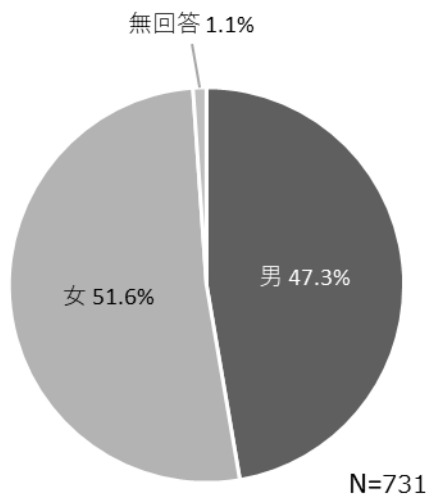
受講の意欲について（１件）

業種	職種	性別	回答内容
金属製品	技能職	男性	資格などなんでも挑戦したい

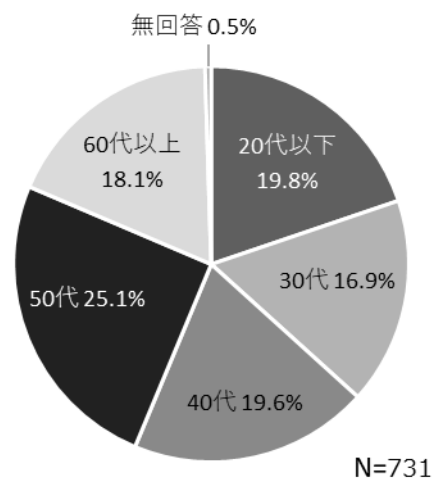
IV 求職者対象

(1) 回答者の概要

【性別】



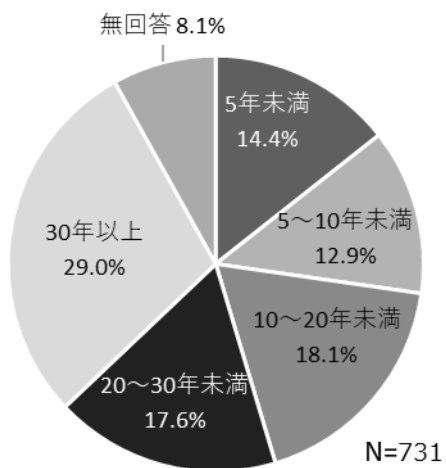
【年代】



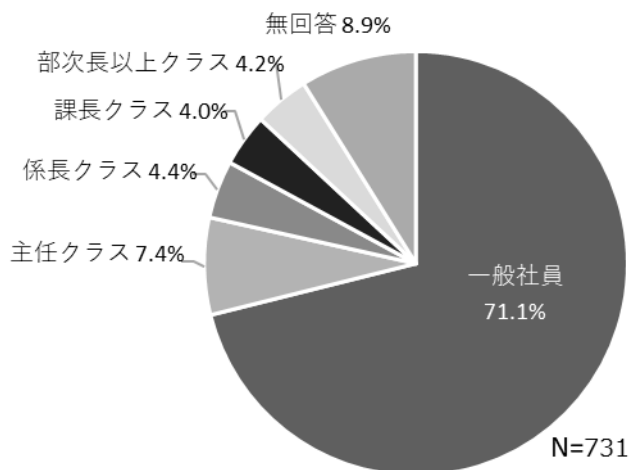
【居住地】

市町村	人数	%	市町村	人数	%	市町村	人数	%
富山市	273	37.3	砺波市	45	6.2	立山町	7	1.0
高岡市	180	24.6	小矢部市	9	1.2	入善町	8	1.1
魚津市	15	2.1	南砺市	41	5.6	朝日町	2	0.3
氷見市	47	6.4	射水市	79	10.8	無回答	7	1.0
滑川市	6	0.8	舟橋村	0	0.0			
黒部市	7	1.0	上市町	5	0.7	合計	731	100.0

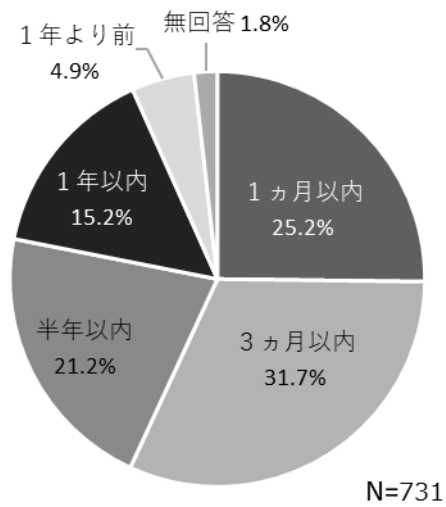
【通算勤続年数】



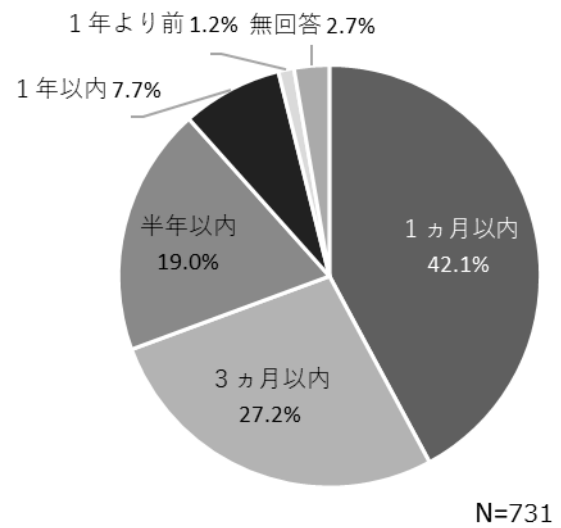
【前職の最終役職】



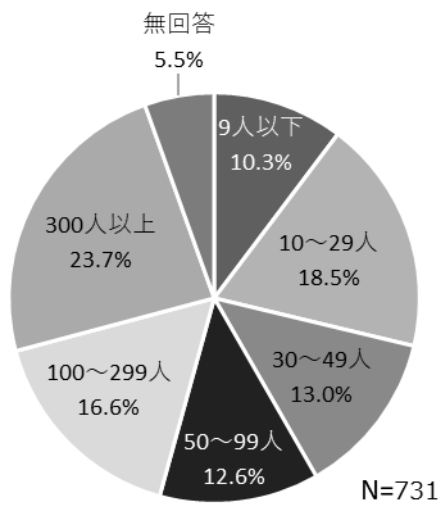
【離職時期】



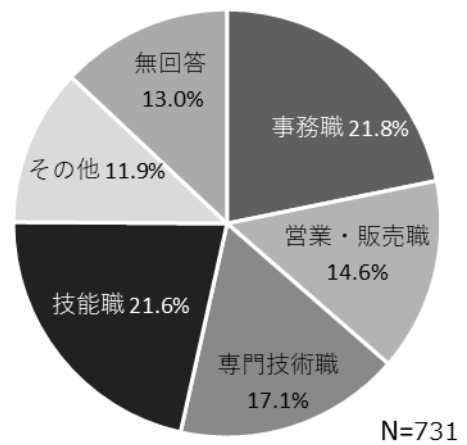
【求職活動開始時期】



【前職の会社規模】



【前職の職種】



【前職の業種および職種別】

上段:人数 下段:%		構成比	前職の職種					
			事務職	営業・販売職	専門技術職	技能職	その他	無回答
全体		731 100.0	159 21.8	107 14.6	125 17.1	158 21.6	87 11.9	95 13.0
製造業		230 31.5	35 15.2	11 4.8	32 13.9	95 41.3	28 12.2	29 12.6
非製造業		404 55.3	103 25.5	81 20.0	84 20.8	45 11.1	52 12.9	39 9.7
無回答		97 13.3	21 21.6	15 15.5	9 9.3	18 18.6	7 7.2	27 27.8
製造業 (14業種)	食料品	29 4.0	2 6.9	7 24.1	4 13.8	6 20.7	6 20.7	4 13.8
	繊維製品関連	10 1.4	2 20.0	-	2 20.0	4 40.0	1 10.0	1 10.0
	木材・家具	11 1.5	2 18.2	-	1 9.1	7 63.6	-	1 9.1
	パルプ・紙加工品	6 0.8	-	-	2 33.3	3 50.0	-	1 16.7
	印刷	14 1.9	3 21.4	2 14.3	2 14.3	5 35.7	1 7.1	1 7.1
	窯業・土石製品製造業	6 0.8	1 16.7	-	-	3 50.0	1 16.7	1 16.7
	化学(医薬)・プラスチック	37 5.1	6 16.2	1 2.7	4 10.8	13 35.1	4 10.8	9 24.3
	金属製品	58 7.9	4 6.9	-	8 13.8	33 56.9	4 6.9	9 15.5
	一般機械	12 1.6	3 25.0	-	1 8.3	7 58.3	-	1 8.3
	電子部品・デバイス	13 1.8	1 7.7	-	4 30.8	4 30.8	4 30.8	-
	電気機械	5 0.7	2 40.0	-	2 40.0	-	-	1 20.0
	輸送機械	4 0.5	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-
	精密機械	4 0.5	2 50.0	-	1 25.0	-	1 25.0	-
	その他製造業	21 2.9	6 28.6	1 4.8	-	9 42.9	5 23.8	-
非製造業 (10業種)	運輸業	25 3.4	4 16.0	1 4.0	2 8.0	7 28.0	8 32.0	3 12.0
	建設業	49 6.7	8 16.3	3 6.1	18 36.7	13 26.5	4 8.2	3 6.1
	卸・小売業	56 7.7	15 26.8	33 58.9	-	2 3.6	1 1.8	5 8.9
	金融保険業	22 3.0	10 45.5	8 36.4	-	1 4.5	1 4.5	2 9.1
	電気・ガス・熱供給業	15 2.1	9 60.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7
	情報通信業	28 3.8	2 7.1	6 21.4	14 50.0	4 14.3	1 3.6	1 3.6
	医療・福祉	87 11.9	20 23.0	2 2.3	33 37.9	8 9.2	13 14.9	11 12.6
	宿泊業・飲食サービス業	26 3.6	2 7.7	9 34.6	1 3.8	2 7.7	8 30.8	4 15.4
	その他サービス業	80 10.9	24 30.0	17 21.3	13 16.3	7 8.8	11 13.8	8 10.0
	その他の非製造業	16 2.2	9 56.3	1 6.3	1 6.3	-	4 25.0	1 6.3
無回答		97 13.3	21 21.6	15 15.5	9 9.3	18 18.6	7 7.2	27 27.8

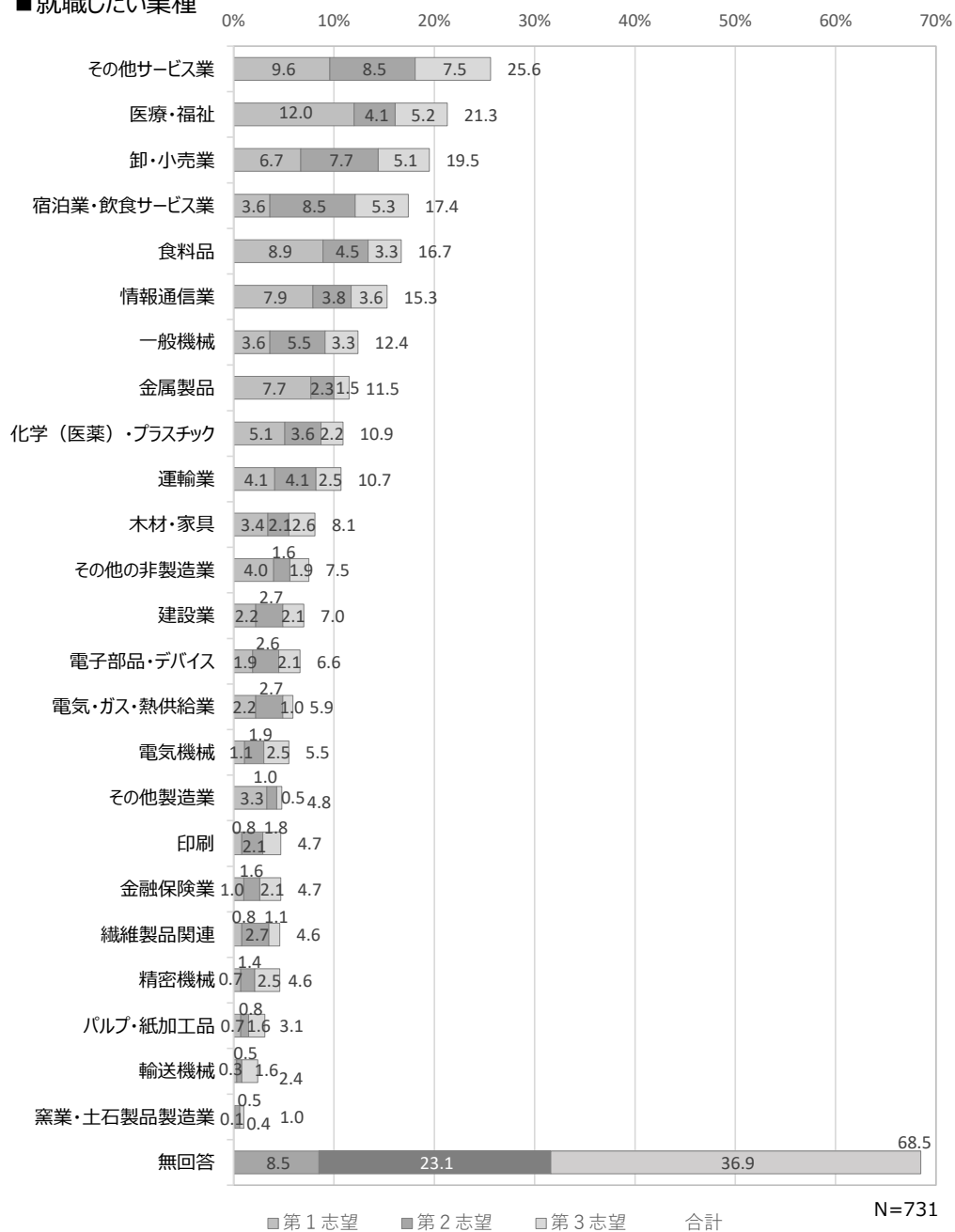
(2) 就職に対する希望条件

問2 あなたが就職したい業種を前頁の業種（1～24）から希望順に3つまで選び、番号をご記入ください。

第1志望業種は「医療・福祉」が12.0%と最も高く、次いで「その他サービス業」が9.6%、「食料品」が8.9%となっている。

また、第1～3志望までを合わせると、「その他サービス業」が25.6%と最も高く、次いで「医療・福祉」が21.3%、「卸・小売業」が19.5%となっている。

■ 就職したい業種



前職の業種と希望業種の関係についてみると、「窯業・土石製品製造業」を除いては、前職の業種と同様の業種を希望する求職者が一定数みられる。

業種		希望業種第1～3位の合算 ○は第1志望の第1位(除く同率)			
		1位	2位	3位	
前職の業種	製造業 (14業種)	食料品	○食料品	宿泊業・飲食サービス業	卸・小売業
			48.2	34.5	30.9
		繊維製品関連	○医療・福祉	運輸業/宿泊業・飲食サービス業/ その他サービス業/その他の非製造業	
			50.0	20.0	
		木材・家具	○木材・家具/金属製品/運輸業		
			27.3		
		パルプ・紙加工品	○一般機械	金属製品	運輸業/建設業
			50.0	33.4	33.3
		印刷	○化学(医薬)・プラスチック/ その他サービス業		電気・ガス・熱供給業
			21.4		21.3
		窯業・土石製品製造業	○金属製品	一般機械/電子部品・デバイス/電気機械	
			50.0	33.3	
		化学(医薬)・プラスチック	○化学(医薬)・プラスチック	その他サービス業	食料品
			43.2	37.8	27.0
		金属製品	○金属製品	一般機械	化学(医薬)・プラスチック
			46.6	25.9	20.6
		一般機械	○一般機械	その他サービス業	運輸業
			49.9	33.3	25.0
		電子部品・デバイス	○電子部品・デバイス	電気機械	化学(医薬)・プラスチック
			61.6	38.5	23.1
		電気機械	○電気機械	精密機械/その他サービス業	
			60.0	40.0	
		輸送機械	輸送機械	○一般機械/電子部品・デバイス/ ○電気機械/○その他製造業/ ○情報通信業/○その他サービス業	
			75.0	25.0	
		精密機械	○精密機械/一般機械/その他サービス業		
			50.0		
		その他製造業	食料品	○その他製造業	一般機械/ 宿泊業・飲食サービス業
			33.4	23.8	19.1
	非製造業 (10業種)	運輸業	○運輸業	卸・小売業	その他サービス業
			44.0	28.0	24.0
		建設業	○建設業	運輸業	その他サービス業
			38.8	26.5	18.4
		卸・小売業	○卸・小売業	医療・福祉	その他サービス業
			53.6	26.8	16.1
		金融保険業	宿泊業・飲食サービス業	卸・小売業/○金融保険業	
			45.4	36.3	
		電気・ガス・熱供給業	電気・ガス・熱供給業/○情報通信業		その他サービス業
			46.7		33.3
		情報通信業	○情報通信業	その他サービス業	宿泊業・飲食サービス業
			67.9	21.4	14.3
		医療・福祉	○医療・福祉	その他サービス業	卸・小売業
			82.2	44.6	27.2
		宿泊業・飲食サービス業	○宿泊業・飲食サービス業	その他サービス業	卸・小売業
			46.1	30.7	26.9
		その他サービス業	○その他サービス業	卸・小売業	宿泊業・飲食サービス業
			51.3	21.3	20.1
		その他非製造業	○情報通信業	その他の非製造業	医療・福祉/ 宿泊業・飲食サービス業/ その他サービス業
			31.3	25.1	18.8

前業種と同業種 での志望割合	
繊維製品関連	
10.0	
パルプ・紙加工品	
16.7	
印刷	
7.1	
窯業・土石製品製造業	
-	

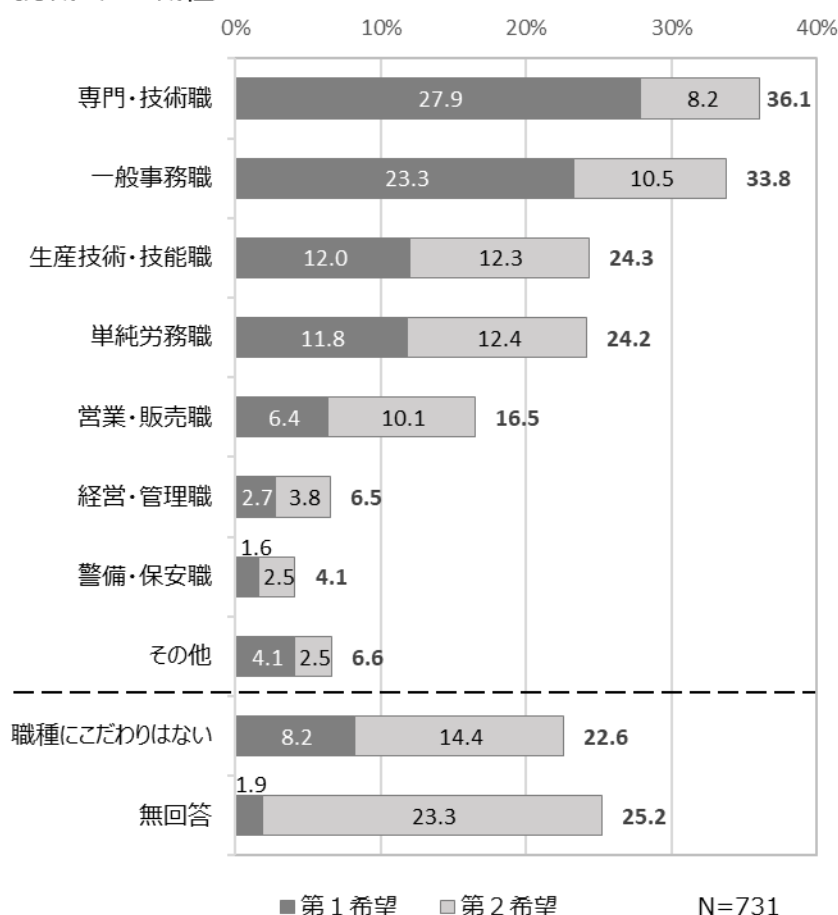
網掛けは、前職の職種

問3 あなたが希望する職種を次の選択肢の中から希望順に2つまで選び、番号をご記入ください。

第1希望では、「専門・技術職」が27.9%と最も高く、第2希望では「単純労務職」が12.4%と最も高くなっている。

第1～2希望を合わせると、「専門・技術職」が36.1%と最も高く、次いで「一般事務職」が33.8%、「生産技術・技能職」が24.3%となっている。一方、「職種にこだわりはない」とする回答も22.6%となっている。

■就職したい職種



問3「その他」
医療事務
調剤薬局事務
看護師
介護職
調理職
専門的な事務
配達員
生活指導員
品出し等
配送
単純労務職以外
調達
製造
経理・総務
修復
ビル管理
倉庫管理
製造
軽作業
WEBデザイナー
教育関係

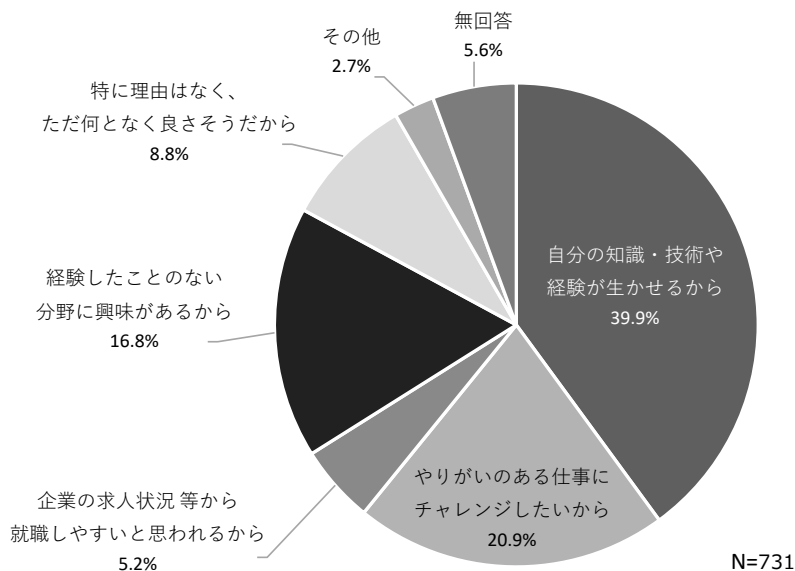
前職の職種別では、すべての職種で前職と同様の職種を希望する者が最も多くなっている。

前職職種	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
事務職(159)	一般事務職	専門・技術職	単純労務職	職種にこだわりはない	営業・販売職	経営・管理職	生産技術・技能職	その他	警備・保安職
	78.6	27.1	25.1	15.7	8.8	7.5	5.7	5.6	1.2
営業・販売職(107)	営業・販売職	一般事務職	職種にこだわりはない	専門・技術職	単純労務職	生産技術・技能職	経営・管理職	その他	警備・保安職
	53.2	29.9	27.1	21.5	19.6	15.0	11.2	2.8	2.8
専門技術職(125)	専門・技術職	生産技術・技能職	一般事務職	職種にこだわりはない	単純労務職	営業・販売職	その他	経営・管理職	警備・保安職
	59.2	32.0	21.6	20.8	17.6	7.2	7.2	5.6	4.0
技能職(158)	生産技術・技能職	専門・技術職	単純労務職	職種にこだわりはない	一般事務職	警備・保安職	経営・管理職	営業・販売職	その他
	46.8	42.4	29.1	20.9	15.2	7.6	6.3	5.7	5.1
その他(87)	職種にこだわりはない	専門・技術職	単純労務職	一般事務職	その他	生産技術・技能職	営業・販売職	警備・保安職	経営・管理職
	32.2	29.9	29.8	25.2	17.2	14.9	13.7	6.8	2.3

網掛けは、前職の職種。

問4 問2、問3でその業種・職種を希望する理由として近いものを1つ選んでください。
(番号1つに○)

「自分の知識・技術や経験が生かせるから」が39.9%と最も高く、次いで「やりがいのある仕事にチャレンジしたいから」が20.9%、「経験したことの無い分野に興味があるから」が16.8%となっている。

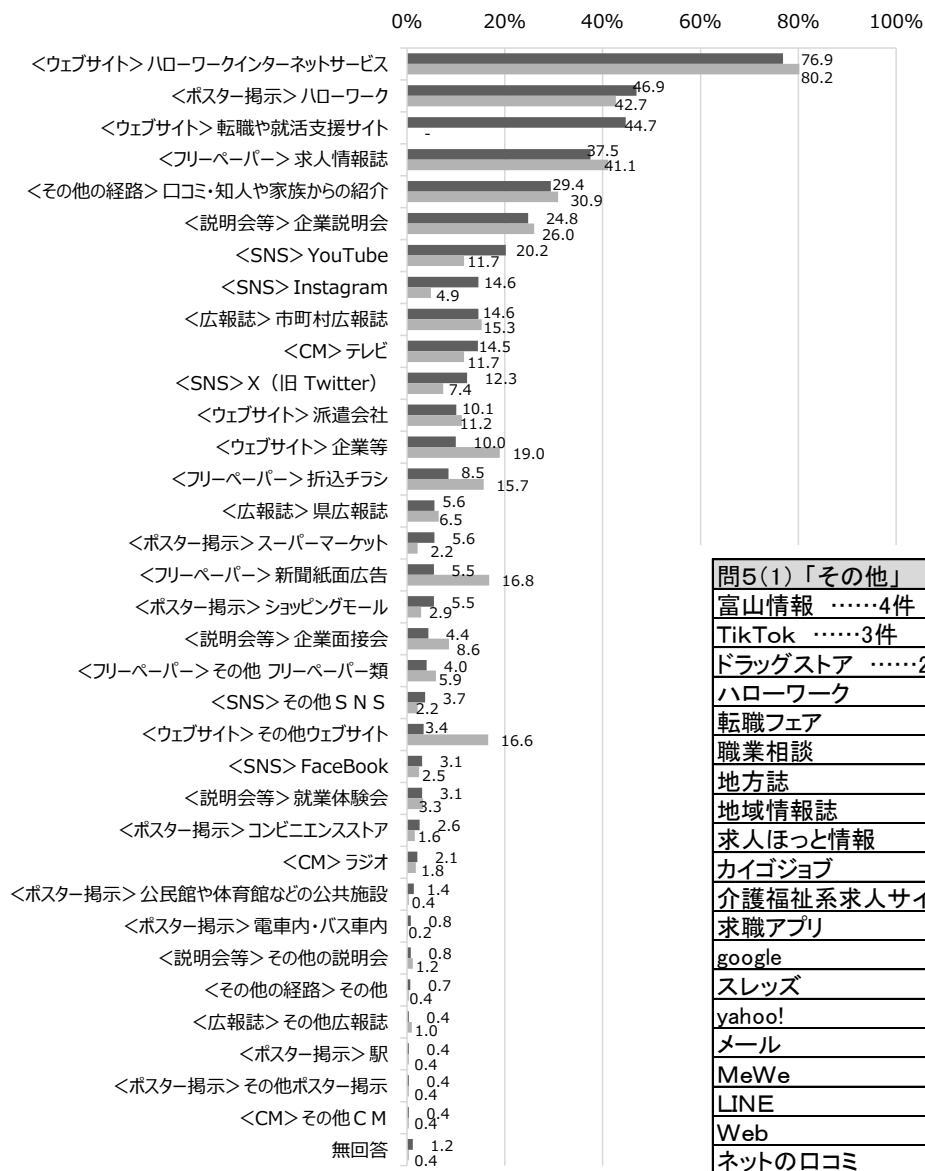


問4 その他
体調がそんなによくない
家庭と両立がしたいから
自分に合っていると思うから
勉強しているから
まだ「これ」と決まっていない
70歳ぐらいまで働けること
精神的、肉体的ストレス
透析を受けているので時間に合ったところ
休みやすさ、急な休みに対応してくれる業種希望
なるべく身体を動かしたい
ポリテクで学んでいる分野だから
自身の適正を鑑みた結果と自身の興味
手に職をつけたいから
もう少し働けるのでは
実働時間、休日
土日祝休みが多い職種だから
時間、体調、習い事などの自己都合を考え、就業先が多そうだから
もくもくと仕事ができるから、体を動かせるから
自分の性格、生活環境に合っているかどうか
体の負担が軽いもの

問5（1） あなたが就職するにあたって、どのような情報を参考にしていますか。該当するものすべてを選び、番号に○を付けてください。（あてはまる番号すべてに○）

「ハローワークインターネットサービス」が76.9%と最も高く、次いで「ハローワーク」が46.9%、「転職や就活支援サイト」が44.7%となっている。富山県技術専門学院訓練ニーズ調査と比べると、「Instagram」が今回調査は9.7ポイント高くなっている。

■就職するにあたって参考になっている情報



問5(1)「その他」
富山情報 ……4件
TikTok ……3件
ドラッグストア ……2件
ハローワーク
転職フェア
職業相談
地方誌
地域情報誌
求人ほっと情報
カイゴジョブ
介護福祉系求人サイト(カイゴジョブ等)
求職アプリ
google
スレズ
yahoo!
メール
MeWe
LINE
Web
ネットの口コミ

■全体 (731)

■技専調査 (489)

【今回調査と富山県技術専門学院訓練ニーズ調査では選択肢が一部異なる】

年齢別にみると、「ハローワークインターネットサービス」がどの年代でも最も高いが、「30代」、「40代」では8割を超えている。

■就職の際の情報源／年齢別

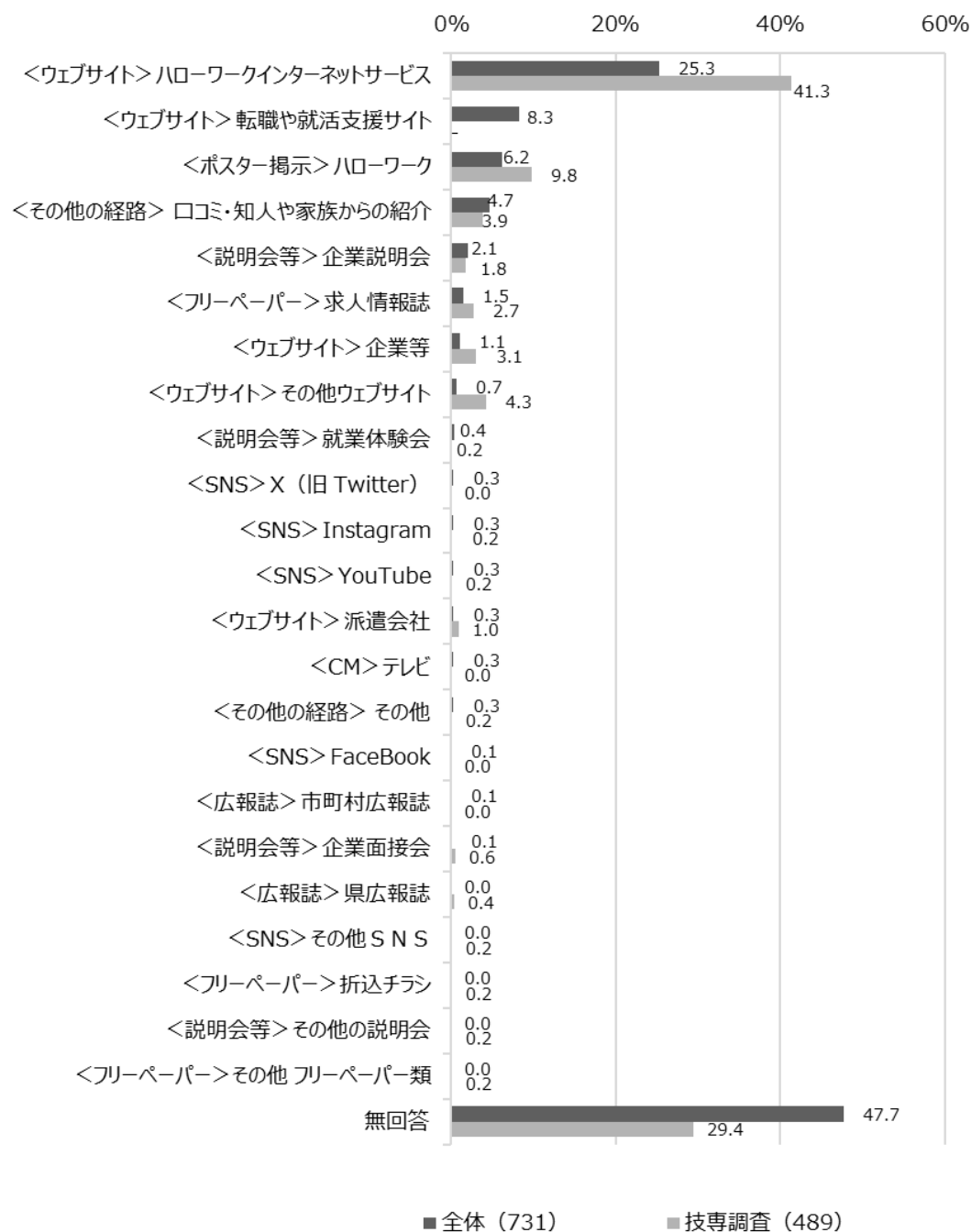
		合 計	X （旧 T w i t t e r ）（ S N S ）	I n s t a g r a m （ S N S ）	F a c e B o o k （ S N S ）	Y o u T u b e （ S N S ）	その他 S N S （ S N S ）	ハローワークイン ター ネットサービ ス（ウェブサイ ト）	派遣会社（ウェブ サイト）	企業等（ウェブ サイト）	転職や就活支援 サイト（ウェブサ イト）	その他ウェブサイ ト（ウェブサイ ト）	求人情報誌（フ リーペーパー）	折込チラシ（フ リーペーパー）	新聞紙面広告（ フリーペーパー）	その他 フリーペーパー類 （フリーペーパー）	県広報誌（広報 誌）	市町村広報誌（ 広報誌）	その他広報誌（ 広報誌）
年齢	全体	731	12.3	14.6	3.1	20.2	3.7	76.9	10.1	10.0	44.7	3.4	37.5	8.5	5.5	4.0	5.6	14.6	0.4
	20代以下	144	22.9	23.6	0.7	25.0	6.3	68.8	4.2	10.4	57.6	3.5	23.6	2.1	0.0	1.4	4.9	9.0	0.0
	30代	124	17.7	16.1	0.8	21.0	0.8	83.9	9.7	16.1	61.3	3.2	38.7	7.3	1.6	4.0	10.5	9.7	0.0
	40代	143	12.6	17.5	4.2	17.5	4.9	82.5	15.4	12.6	47.6	4.9	37.8	5.6	4.9	4.9	2.8	13.3	0.7
	50代	184	6.5	9.2	5.4	19.0	4.3	77.7	15.8	6.5	38.0	2.7	42.9	13.6	9.2	6.5	4.9	16.8	0.0
	60代以上	132	3.0	8.3	3.8	18.9	1.5	72.7	3.8	6.1	22.7	3.0	44.7	12.9	10.6	2.3	6.1	24.2	1.5
	無回答	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計	ハローワーク (ポスター掲示)	スーパー マーケット (ポスター掲示)	コンビニエ ンスストア (ポスター掲示)	公民館や体 育館などの 公共施設 (ポスター掲示)	駅 (ポスター掲示)	電車内・バ ス車内 (ポスター掲示)	ショッピング モール (ポスター掲示)	その他 (ポスター掲示)	テレビ (CM)	ラジオ (CM)	その他CM (CM)	企業説明会 (説明会等)	企業面接会 (説明会等)	就業体験会 (説明会等)	その他の説明 会 (説明会等)	口コミ・知 人や家族か らの紹介 (その他の経 路)	その他 (その他の経 路)	無回答
全体	731	46.9	5.6	2.6	1.4	0.4	0.8	5.5	0.4	14.5	2.1	0.4	24.8	4.4	3.1	0.8	29.4	0.7	1.2
年齢	20代以下	144	36.1	1.4	2.1	0.0	1.4	4.9	0.0	12.5	0.0	0.0	23.6	5.6	1.4	0.7	27.1	0.7	1.4
	30代	124	43.5	7.3	2.4	1.6	0.8	7.3	0.0	19.4	2.4	0.0	36.3	4.0	2.4	0.0	31.5	0.8	1.6
	40代	143	42.0	2.8	3.5	2.8	0.7	5.6	0.0	11.9	4.2	0.0	25.2	4.9	4.2	0.7	26.6	0.7	0.0
	50代	184	51.6	8.7	2.2	1.1	0.5	6.0	1.6	10.3	2.2	1.1	18.5	4.9	3.3	1.1	28.8	0.5	1.1
	60代以上	132	61.4	7.6	3.0	1.5	0.0	3.8	0.0	21.2	1.5	0.8	24.2	2.3	4.5	1.5	34.8	0.8	0.8
	無回答	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

問5（2） （1）で選んだもののうち、あなたが最も重視する情報源は何ですか。

「ハローワークインターネットサービス」が25.3%と最も高く、次いで「転職や就活支援サイト」が8.3%、「ハローワーク」が6.2%となっている。富山県技術専門学院訓練ニーズ調査と比べると、「ハローワークインターネットサービス」が16.0ポイント低くなっている。

■就職するにあたって最も重視する情報源



【今回調査と富山県技術専門学院訓練ニーズ調査では選択肢が一部異なる】

年齢別にみると、「ハローワークインターネットサービス」がどの年代でも最も高い。

■最も重要視する情報源／年齢別

	合計	X (旧 T w i t t e r) (S N S)	I n s t a g r a m (S N S)	F a c e B o o k (S N S)	Y o u T u b e (S N S)	その他 S N S (S N S)	ハローワーク インターネット サービス (ウェブ サイト)	派遣会社 (ウェブ サイト)	企業等 (ウェブ サイト)	転職や就 活支援サ イト(ウェブ サイト)	その他ウェブ サイト(ウェブ サイト)	求人情報誌 (フリーペ ーパー)	折込チラシ (フリーペ ーパー)	新聞紙面 広告(フリー ペーパー)	その他 フリーペ ーパー類 (フリーペ ーパー)	県広報誌 (広報誌)	市町村広 報誌(広報 誌)	その他広 報誌(広報 誌)
全体	731	0.3	0.3	0.1	0.3	-	25.3	0.3	1.1	8.3	0.7	1.5	-	-	-	-	0.1	-
年齢 20代以下	144	0.7	0.7	-	-	-	22.9	-	1.4	16.7	0.7	-	-	-	-	-	-	-
30代	124	-	-	-	1.6	-	21.8	-	0.8	13.7	-	2.4	-	-	-	-	-	-
40代	143	0.7	0.7	-	-	-	33.6	-	2.8	4.9	0.7	0.7	-	-	-	-	-	-
50代	184	-	-	0.5	-	-	21.2	0.5	0.5	5.4	0.5	1.6	-	-	-	-	-	-
60代以上	132	-	-	-	-	-	28.0	0.8	-	2.3	1.5	3.0	-	-	-	-	0.8	-
無回答	4	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	合計	ハロー ワーク (ポスター 掲示)	スー パーマ ーケッ ット(ポ スター 掲示)	コン ピニ エンス ストア (ポスター 掲示)	公 民館 や体 育館 など の公 共施 設 (ポスター 掲示)	駅 (ポスター 掲示)	電 車内 ・バ ス車 内(ポ スター 掲示)	シ ョッ ピン グモ ール (ポスター 掲示)	そ の 他 (ポスター 掲示)	テ レ ビ (C M)	ラ ジ オ (C M)	そ の 他 C M (C M)	企 業 説 明 会 (説明 会等)	企 業 面 接 会 (説明 会等)	就 業 体 験 会 (説明 会等)	そ の 他 の 説 明 会 (説明 会等)	口 コ ミ ・知 人 や 家 族 か ら の 紹 介 (そ の 他 の 経 路)	そ の 他 (そ の 他 の 経 路)	無 回 答
全体	731	6.2	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	2.1	0.1	0.4	-	4.7	0.3	47.7
年齢 20代以下	144	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-	-	5.6	0.7	43.8
30代	124	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	-	0.8	-	0.8	-	51.6
40代	143	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	-	-	6.3	0.7	44.1
50代	184	8.7	-	-	-	-	-	-	-	0.5	-	-	0.5	0.5	0.5	-	4.9	-	53.8
60代以上	132	13.6	-	-	-	-	-	-	-	0.8	-	-	-	-	0.8	-	5.3	-	43.2
無回答	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0

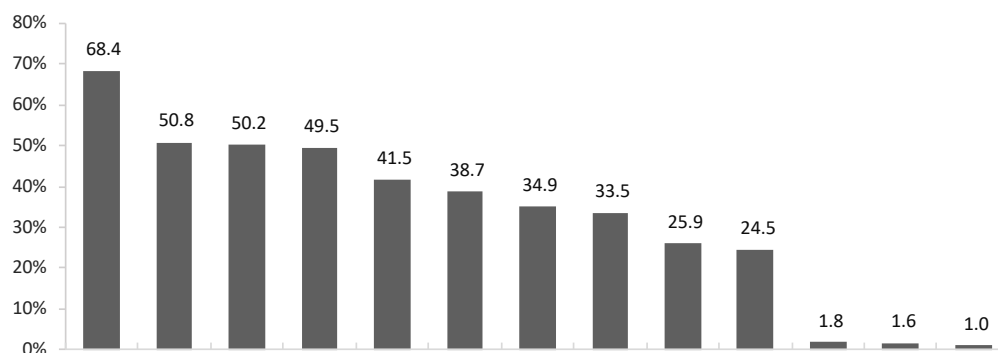
問6 あなたが仕事を探す上で、特に重視したい項目を選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「時間・休日等の就業条件」が68.4%と最も高く、次いで「職場環境」が50.8%、「適性に合った仕事」が50.2%となっている。

勤続年数別にみると、すべての区分で「時間・休日等の就業条件」が最も高くなっている。2番目に多い項目は、「5年未満」、「10～20年未満」、「20～30年未満」では「収入」、「5～10年未満」では「職場環境」、「30年以上」では「適正にあった仕事」となっている。

前職の職種別にみると、すべての職種で「時間・休日等の就業条件」が最も高くなっている。2番目に多い項目は、「事務職」、「技能職」、「その他」では「職場環境」、「営業・販売職」、「専門技術職」では「適正にあった仕事」となっている。

前回調査と比べると、「職場環境」が高くなっている。



	合計	時間・休日等の就業条件	職場環境	適性に合った仕事	収入	通勤条件	安定して長く働ける	区分社員・非正社員の	仕事のやりがい	仕事のハード具合	知識や経験が活かせる	仕事の体観	その他	無回答
全体	731	68.4	50.8	50.2	49.5	41.5	38.7	34.9	33.5	25.9	24.5	1.8	1.6	1.0
〈勤続年数別〉														
5年未満	105	74.3	50.5	53.3	53.3	32.4	36.2	41.9	40.0	30.5	15.2	2.9	2.9	1.0
5～10年未満	94	70.2	57.4	40.4	47.9	35.1	39.4	35.1	25.5	26.6	12.8	1.1	4.3	1.1
10～20年未満	132	72.0	56.1	50.0	61.4	46.2	41.7	42.4	31.1	28.0	19.7	1.5	-	0.8
20～30年未満	128	68.8	43.0	52.3	57.8	45.3	47.7	44.5	32.8	27.3	32.0	2.3	2.3	-
30年以上	213	62.4	48.4	49.8	36.6	43.7	32.9	20.2	36.2	23.0	31.5	0.9	0.9	0.9
〈前職の職種別〉														
事務職	159	69.2	51.6	47.8	45.9	42.8	39.6	34.6	30.8	25.2	28.3	2.5	2.5	0.6
営業・販売職	107	67.3	48.6	53.3	48.6	46.7	43.9	30.8	38.3	26.2	22.4	-	1.9	-
専門技術職	125	71.2	46.4	57.6	53.6	47.2	35.2	34.4	40.8	28.8	24.8	4.0	1.6	0.8
技能職	158	63.9	47.5	44.3	46.2	34.8	36.1	40.5	30.4	25.3	25.9	1.9	-	0.6
その他	87	73.6	62.1	54.0	57.5	37.9	49.4	32.2	28.7	31.0	25.3	-	2.3	-
〈参考〉														
前回調査	400	53.8	32.3	41.8	35.3	27.3	25.8	21.3	24.5	10.0	17.5		1.3	0.5

属性別順位 1位 2位 3位

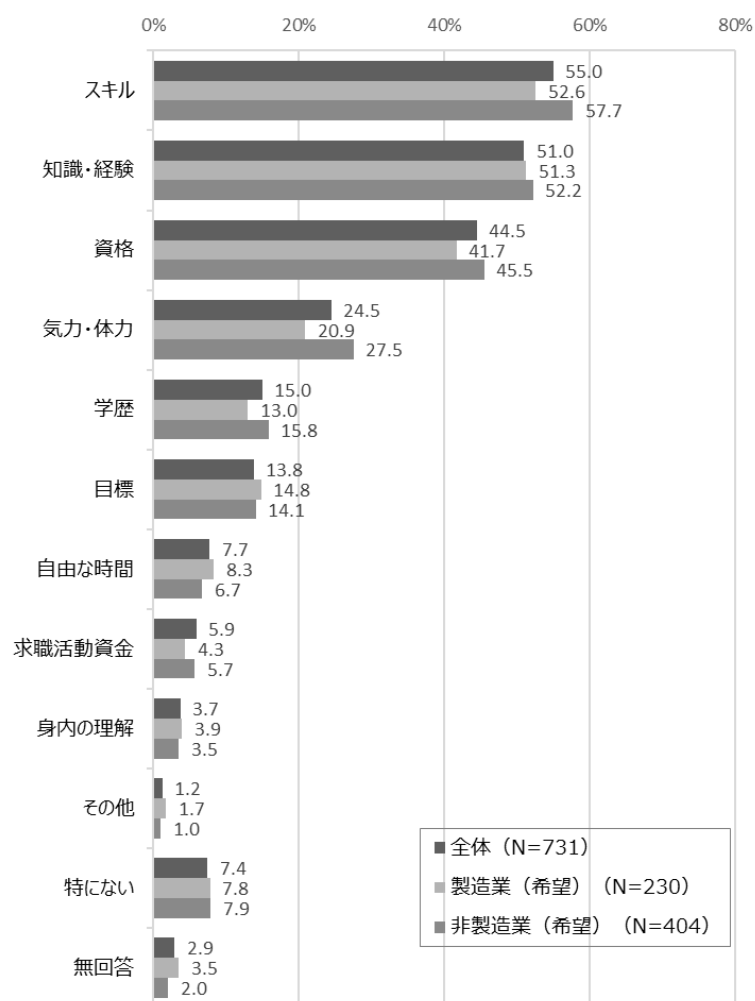
【前回調査は番号3つまでの回答】

問7 仕事を探す上で、今のあなたに足りないと思うことや必要だと思うことに近いものを選び○をしてください。(あてはまる番号すべてに○)

「スキル」が55.0%と最も高く、次いで「知識・経験」が51.0%、「資格」が44.5%となっている。

就職希望の業種別にみると、「非製造業」では「気力・体力」及び「スキル」で「製造業」よりも5ポイント以上高くなっている。

■仕事を探すうえで足りないまたは必要だと思うこと



問7 その他
若さ ……2件
年齢
自信
人との関わり方
人間関係
障害者であることがマイナス
車、交通機関
頭の回転の速さ

就職希望の職種別にみると、「専門・技術職」「一般事務職」「警備・保安職」では「スキル」が6割以上となっている。また、「専門・技術職」では「知識・経験」も6割以上となっている。

年齢別にみると、「スキル」「知識・経験」「資格」が占める割合は、年齢が高くなるにしたがって低下する傾向が見られる。

■自分に足りないこと、必要なこと／希望職種、年齢別

		合 計	ス キ ル	知 識 ・ 経 験	資 格	気 力 ・ 体 力	学 歴	目 標	自 由 な 時 間	求 職 活 動 資 金	身 内 の 理 解	そ の 他	特 に な い	無 回 答
	全体	731	55.0	51.0	44.5	24.5	15.0	13.8	7.7	5.9	3.7	1.2	7.4	2.9
希望職種	専門・技術職	263	60.5	60.8	43.0	24.7	11.8	16.7	9.1	5.7	4.2	1.5	6.5	1.1
	経営・管理職	48	52.1	39.6	41.7	12.5	18.8	10.4	6.3	4.2	-	-	14.6	-
	一般事務職	247	61.9	52.6	51.4	26.3	15.4	14.2	9.3	4.0	2.0	0.8	5.3	2.4
	営業・販売職	121	54.5	45.5	50.4	21.5	17.4	9.9	6.6	3.3	5.8	0.8	5.0	3.3
	警備・保安職	30	60.0	43.3	46.7	26.7	6.7	10.0	6.7	10.0	3.3	-	3.3	6.7
	生産技術・技能職	178	57.3	57.9	48.3	25.3	16.3	16.3	4.5	8.4	2.8	2.2	6.2	3.4
	単純労務職	177	50.3	40.1	40.1	32.2	13.6	11.9	7.9	5.1	3.4	2.3	5.6	4.0
	その他	46	45.7	50.0	41.3	26.1	17.4	10.9	17.4	13.0	2.2	-	15.2	-
	職種にこだわりはない	165	53.3	50.3	44.2	20.6	18.2	14.5	7.9	7.9	4.8	0.6	7.9	1.8
	無回答	14	42.9	50.0	28.6	14.3	28.6	7.1	-	7.1	7.1	-	14.3	21.4
年齢	20代以下	144	58.3	74.3	50.7	18.1	17.4	20.1	3.5	7.6	4.9	-	5.6	2.1
	30代	124	61.3	53.2	50.8	26.6	16.1	24.2	15.3	6.5	2.4	1.6	4.0	0.8
	40代	143	55.9	56.6	44.1	27.3	20.3	13.3	9.8	7.0	4.9	2.1	7.0	1.4
	50代	184	52.7	41.3	40.8	28.8	14.1	7.1	7.1	6.5	2.7	2.2	9.8	2.2
	60代以上	132	47.0	31.8	38.6	19.7	6.8	7.6	3.8	1.5	3.8	-	9.8	8.3
	無回答	4	75.0	25.0	-	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-

（３）免許・資格の所有状況および取得希望

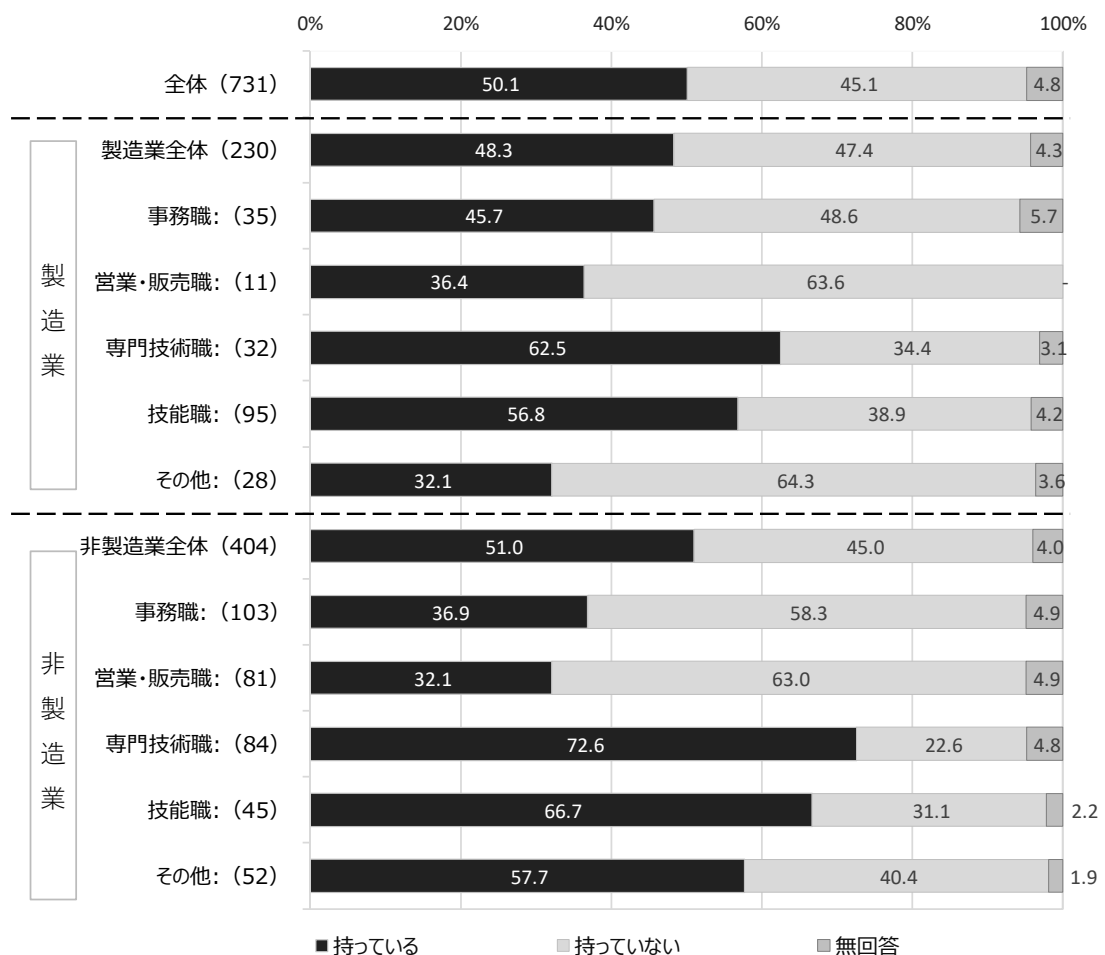
問８－１ 現在あなたは、①仕事に役立つ免許や資格をお持ちですか。また、②今後取得したいと思う免許や資格がありますか。（①②それぞれ番号１つに○）

① 仕事に役立つ免許や資格

全体では、「持っている」が50.1%、「持っていない」が45.1%となっている。製造業では48.3%、非製造業では51.0%が「持っている」と回答しており、非製造業の方が免許・資格取得者の割合が高くなっている。

前職の職種別でみると、製造業、非製造業ともに「専門技術職」では「持っている」と回答した割合が6割以上となっている。

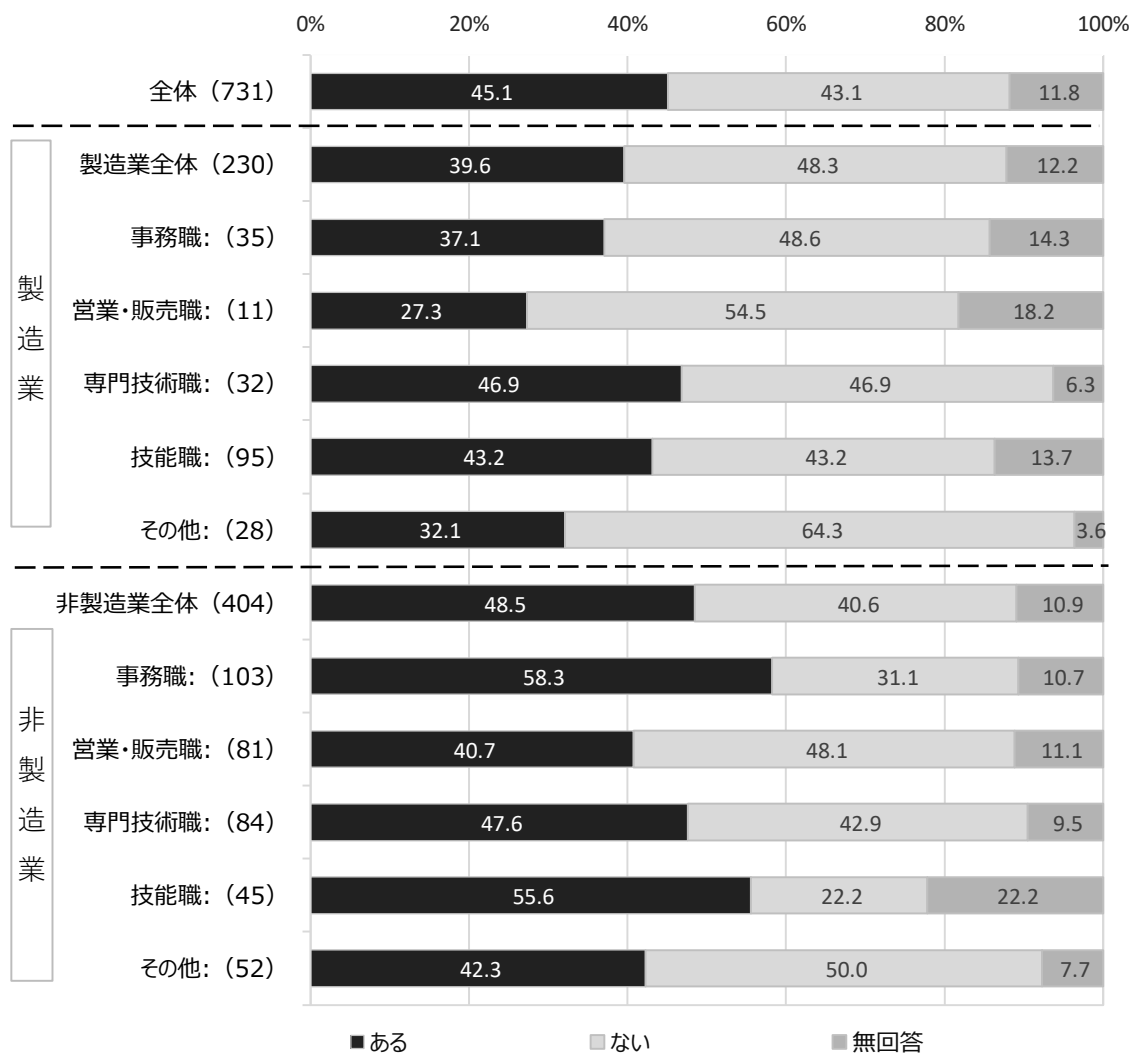
■ 免許・資格の取得状況



② 今後とりたいと思う免許や資格

全体では、「ある」が45.1%と半数を下回っている。製造業では39.6%、非製造業では48.5%とやや非製造業の方が高くなっている。

■ 今後取りたい免許・資格



問 8-2 問 8-1 ①で「1. 持っている」、②で「1. ある」と回答した方は具体的にご記入ください。

取得している免許・資格及び今後取得したい免許・資格について、前職の職種別にみてる。
なお、回答数が2件以上のものについて記載する。

① 事務職

取得している免許・資格の具体的な内容について54人からの回答があり、延べ免許・資格数は100件であった。また、今後取得したい免許・資格の具体的な内容については75人からの回答があり、延べ免許・資格数は113件であった。

取得済み (N=54)	件数	取得したい (N=75)	件数
簿記検定	18	簿記検定	23
ワープロ・表計算資格	9	ITパスポート	10
フォークリフト運転技能者	6	ワープロ・表計算資格	9
秘書技能検定	5	IT関係の資格	5
普通自動車免許	5	英語検定	5
医療事務	4	CAD利用技術者	4
栄養士	3	Web制作関係の資格	4
危険物取扱者	3	介護福祉士	4
玉掛技能者	3	MOS	3
英語検定	2	ファイナンシャルプランナー	3
衛生管理者	2	介護関係の資格	3
教員免許	2	基本情報技術者	3
大型自動車免許	2	社会保険労務士	3
大型特殊免許	2	宅地建物取引士	3
保育士	2	フォークリフト運転技能者	2
		医療事務	2
		介護職員初任者研修	2
		調理師	2

※回答が2件以上あった免許・資格を記載

② 営業・販売職

取得している免許・資格の具体的な内容について 35 人からの回答があり、延べ免許・資格数は 71 件であった。また、今後取得したい免許・資格の具体的な内容については 40 人からの回答があり、延べ免許・資格数は 66 件であった。

取得済み (N=35)	件数
フォークリフト運転技能者	7
簿記検定	5
ファイナンシャルプランナー	4
危険物取扱者	4
玉掛技能者	4
医療事務	3
大型特殊免許	3
普通自動車免許	3
クレーン運転士	2
ワープロ・表計算資格	2
移動式クレーン運転士	2
接客サービスマナー検定	2
大型自動車免許	2
中型自動車免許	2
保育士	2

取得したい (N=40)	件数
簿記検定	9
ITパスポート	8
ワープロ・表計算資格	6
調理師	4
ファイナンシャルプランナー	3
基本情報技術者	3
電気工事士	3
CAD利用技術者	2
ボイラー技士	2
英語検定	2
介護福祉士	2
技能検定	2
色彩検定	2

※回答が 2 件以上あった免許・資格を記載

③ 専門技術職

取得している免許・資格の具体的な内容について 81 人からの回答があり、延べ免許・資格数は 162 件であった。また、今後取得したい免許・資格の具体的な内容については 54 人からの回答があり、延べ免許・資格数は 83 件であった。

取得済み (N=81)	件数
フォークリフト運転技能者	11
看護師	8
情報処理技術者	8
普通自動車免許	8
介護福祉士	7
危険物取扱者	6
電気工事士	6
保育士	6
大型自動車免許	4
大型特殊免許	4
中型自動車免許	4
調理師	4
簿記検定	4
溶接技能者	4
クレーン運転士	3
玉掛技能者	3
建築士	3
歯科衛生士	3
ITパスポート	2
ワープロ・表計算資格	2
教員免許	2
建築施工管理技士	2
公害防止管理者	2
自動車整備士	2
電気主任技術者	2
土木施工管理技士	2
保健師	2
幼稚園教諭	2

取得したい (N=54)	件数
電気工事士	9
簿記検定	7
基本情報技術者	6
消防設備士	4
大型自動車免許	4
ITパスポート	3
大型特殊免許	3
フォークリフト運転技能者	2
ボイラー技士	2
ワープロ・表計算資格	2
介護職員初任者研修	2
土木施工管理技士	2
無人航空機操縦士	2

※回答が 2 件以上あった免許・資格を記載

④ 技能職

取得している免許・資格の具体的な内容について 84 人からの回答があり、延べ免許・資格数は 180 件であった。また、今後取得したい免許・資格の具体的な内容については 65 人からの回答があり、延べ免許・資格数は 89 件であった。

取得済み (N=84)	件数	取得したい (N=65)	件数
フォークリフト運転技能者	32	電気工事士	8
玉掛技能者	16	危険物取扱者	7
クレーン運転士	13	フォークリフト運転技能者	6
危険物取扱者	11	簿記検定	6
大型特殊免許	10	大型特殊免許	5
普通自動車免許	9	クレーン運転士	4
溶接技能者	7	CAD利用技術者	3
電気工事士	6	基本情報技術者	3
中型自動車免許	5	玉掛技能者	3
栄養士	4	大型自動車免許	3
大型自動車免許	4	宅地建物取引士	3
ワープロ・表計算資格	3	溶接技能者	3
介護福祉士	3	ITパスポート	2
車両系建設機械運転技能者	3	移動式クレーン運転士	2
簿記検定	3	介護職員初任者研修	2
衛生管理者	2	介護福祉士	2
研削といしの取替え等の業務に係る特別教育	2	管理栄養士	2
高所作業車運転者	2	造園施工管理技士	2
自動車整備士	2	普通自動車免許	2
消防設備士	2		
情報処理技術者	2		
調理師	2		

※回答が 2 件以上あった免許・資格を記載

(4) 職業能力開発の状況

問9 あなたは求職活動をする中で、どのような職業能力を身につけたいと思いますか。1～34の選択肢から選び○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)

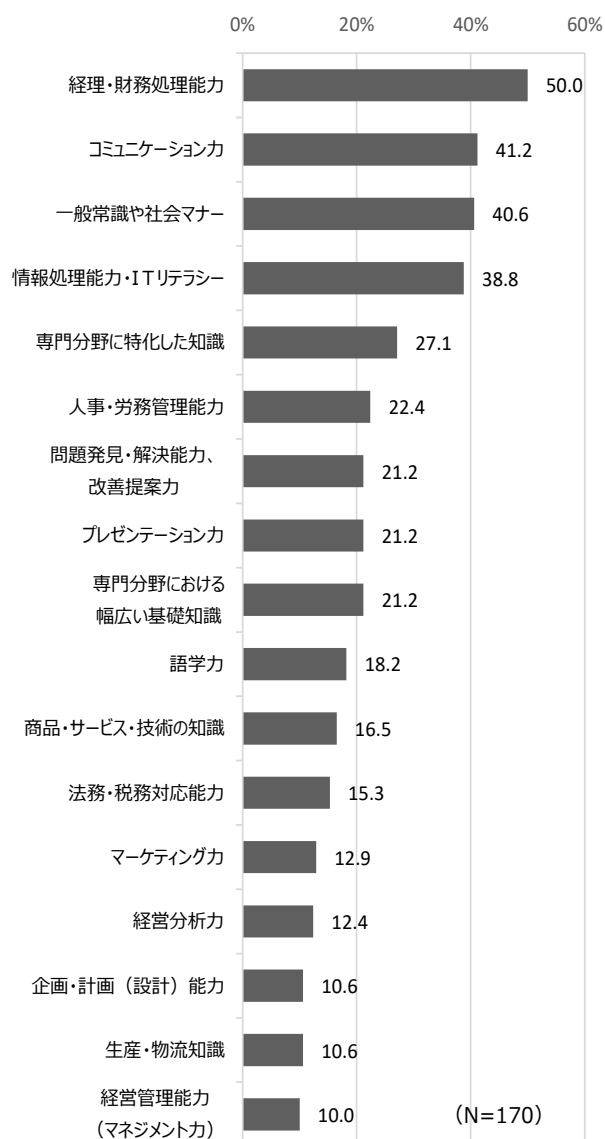
■第1希望職種：一般事務職

問3の第1希望職種について、「一般事務職」と回答した人を対象に身につけたい職業能力をみると、「経理・財務処理能力」が50.0%と最も高く、次いで「コミュニケーション力」が41.2%、「一般常識や社会マナー」が40.6%となっている。

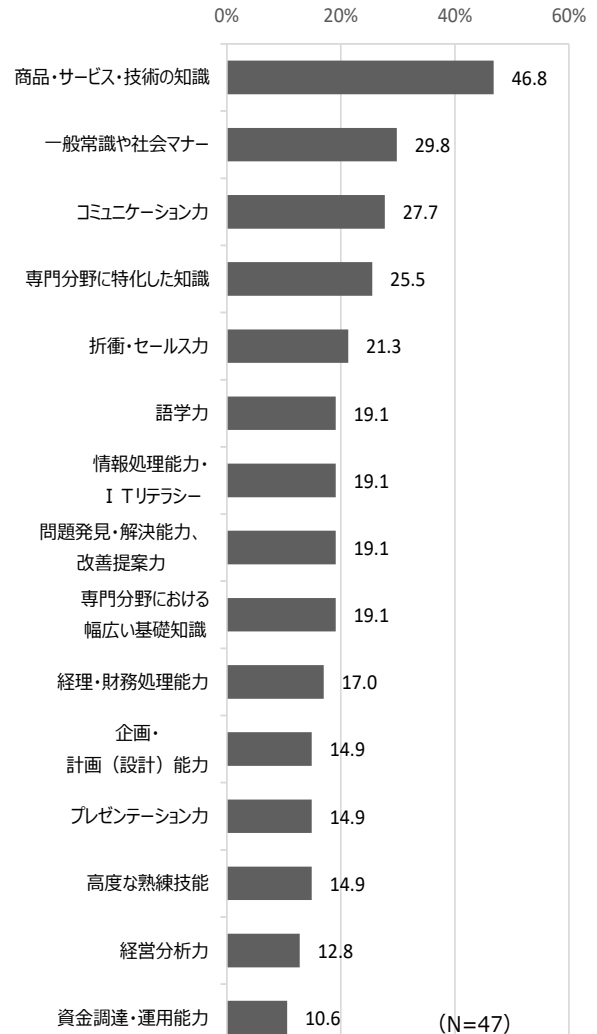
■第1希望職種：営業・販売職

問3の第1希望職種について、「営業・販売職」と回答した人を対象に身につけたい職業能力をみると、「商品・サービス・技術の知識」が46.8%と最も高く、次いで「一般常識や社会マナー」が29.8%、「コミュニケーション力」27.7%となっている。

■一般事務職【上位17項目10%以上】



■営業・販売職【上位15項目10%以上】



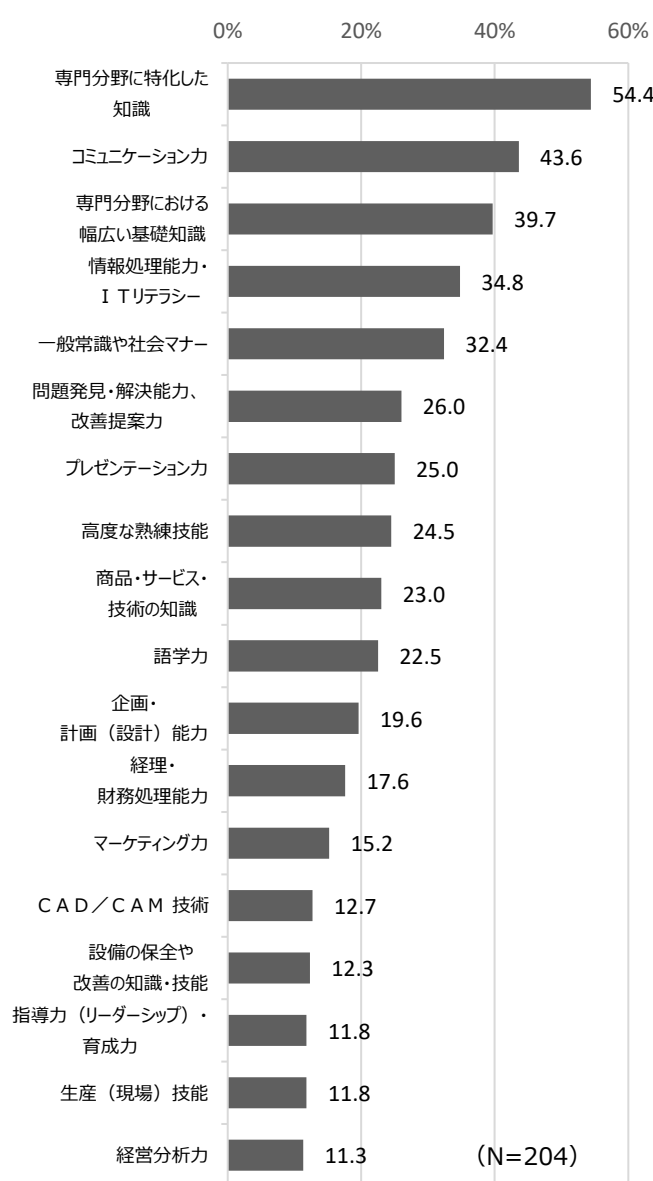
■第1希望職種：専門・技術職

問3の第1希望職種について、「専門・技術職」と回答した人を対象に身につけたい職業能力をみると、「専門分野に特化した知識」が54.4%と最も高く、次いで「コミュニケーション力」が43.6%、「専門分野における幅広い基礎知識」が39.7%となっている。

■第1希望職種：生産技術・技能職

問3の第1希望職種について、「生産技術・技能職」と回答した人を対象に身につけたい職業能力をみると、「コミュニケーション力」が42.0%と最も高く、次いで「専門分野における幅広い基礎知識」が34.1%、「専門分野に特化した知識」が33.0%となっている。

■専門・技術職【上位18項目10%以上】



■生産技術・技能職【上位25項目10%以上】



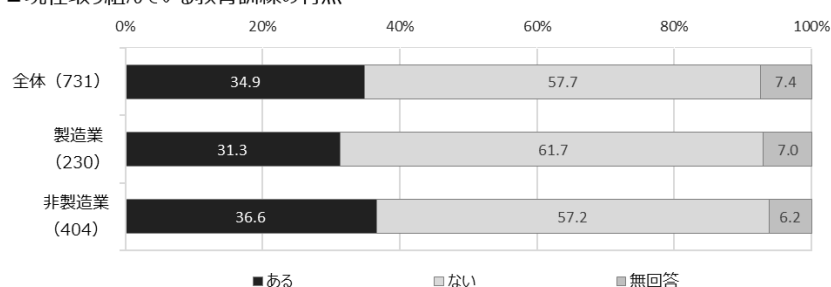
問 10-1 あなたが現在取り組んでいる教育訓練はありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「現在取り組んでいる教育訓練がある」が 34.9%、「現在取り組んでいる教育訓練がない」が 57.7%となっている。

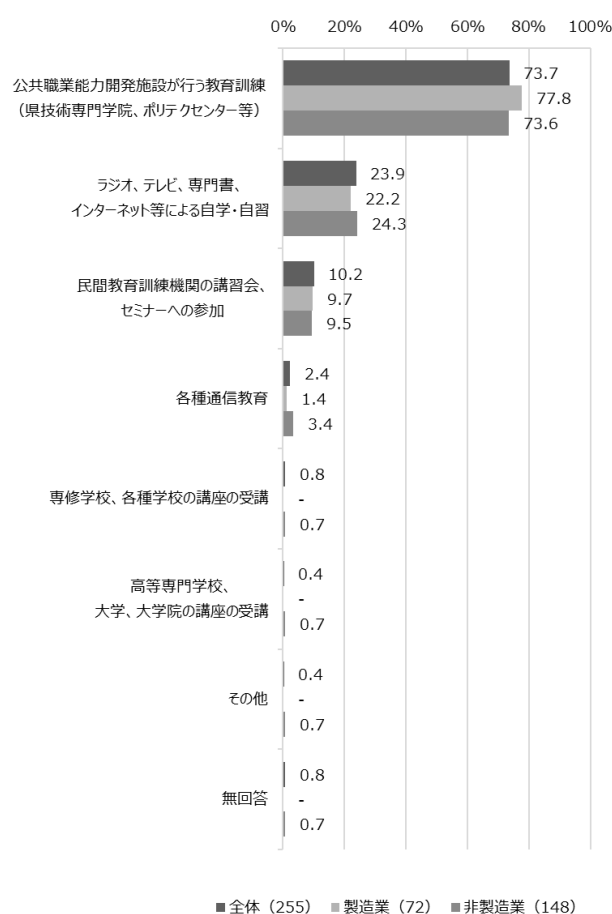
製造業では、「現在取り組んでいる教育訓練がある」が 31.3%、「現在取り組んでいる教育訓練がない」が 61.7%となっており、非製造業では、「現在取り組んでいる教育訓練がある」が 36.6%、「現在取り組んでいる教育訓練がない」が 57.2%となっている。

現在取り組んでいる教育訓練の形態では、「公共職業能力開発施設が行う教育訓練」が 73.7%で最も高い。

■現在取り組んでいる教育訓練の有無



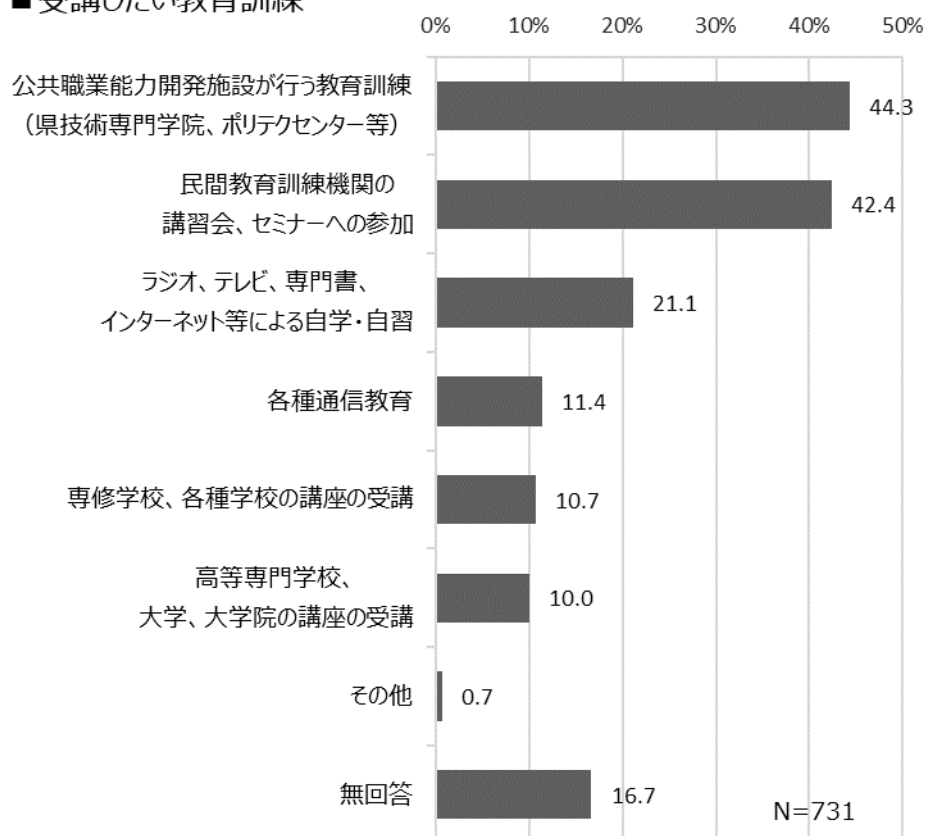
■現在取り組んでいる教育訓練の形態



問10-2 あなたが受けたいと思う教育訓練の形態をすべて選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

「公共職業能力開発施設が行う教育訓練」が44.3%と最も高く、「民間教育訓練機関の講習会、セミナーへの参加」が42.4%、「ラジオ、テレビ、専門書、インターネット等による自学・自習」が21.1%となっている。

■ 受講したい教育訓練



問10-2「その他」
短期訓練
求職者支援訓練

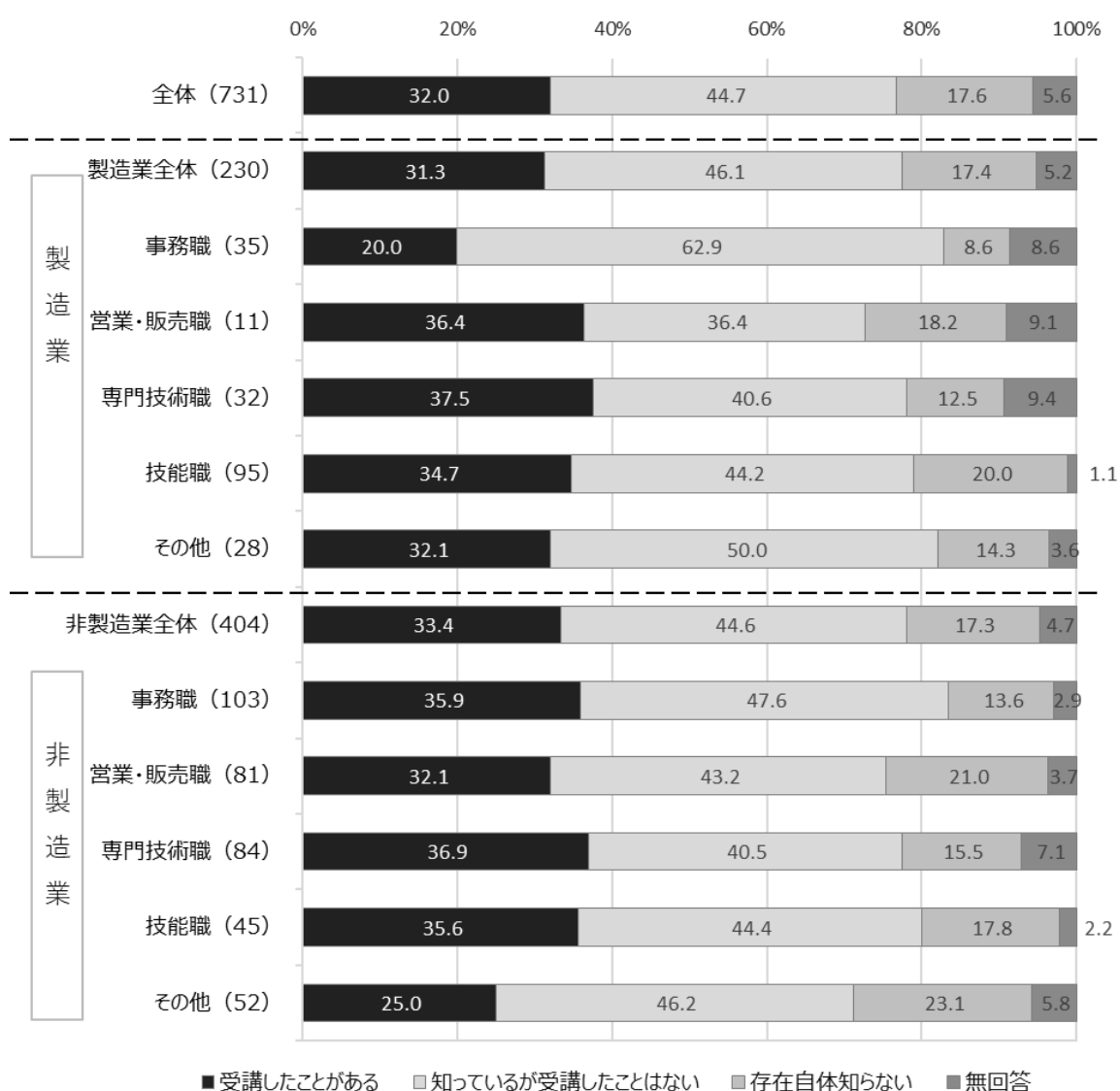
（５）公共職業能力開発施設への要望

問１１－１ 公共職業能力開発施設（県技術専門学院、ポリテクセンター等）では、様々な教育訓練や講習会を実施していますが、受講されたことはありますか。

（番号１つに○）

全体では、「受講したことがある」が32.0%、「知っているが、受講したことはない」が44.7%で、存在を知っている求職者は76.7%と、7割を超えている。一方、「存在自体知らない」の回答は17.6%となっている。

■教育訓練や講習会の受講の有無



■受講科目および施設名

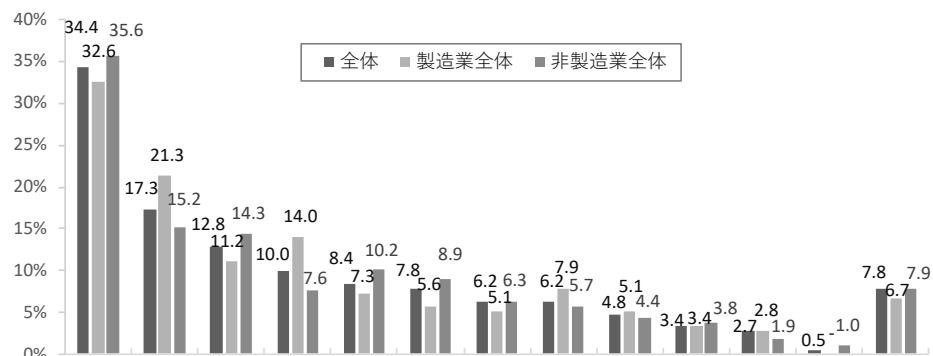
受講科目名	件数
C A D／C A M技術科	25
I T・ビジネス事務科	24
I o T生産システム科	14
電気設備技術科	11
介護サービス科	10
パソコン	9
テクニカルメタルワーク科	8
木材加工科	5
O A・販売事務科	4
機械加工技術科	3
金属ものづくり基礎科	3
造園管理課	2
造園土木科	2
I T・Web科	2
ファイナンシャル・プランナー科	2
簿記講座	2
W o r d & E x c e l	2
I T実践科	1
M O S	1
エコ住宅リフォーム科	1
ガス溶接	1
介護初任者研修	1
介護入門的研修	1
介護福祉士実務者研修	1
会計事務科	1
各種体験会	1
玉掛	1
経理	1
就職支援セミナー	1
情報系、デザインなどのもの	1
生産システム技術科	1
設備メンテナンス関係	1
測定技師	1
調理スタッフ科	1
溶接	1
流通オペレーター	1
医療事務	1
液化石油ガス設備士	1
ハロートレーニング	1
ビジネスパソコン・簿記・W e b 科	1

受講施設名	件数
ポリテクセンター富山	33
富山県技術専門学院	22
富山県技術専門学院 新川センター	10
富山県技術専門学院 砺波センター	3
ポリテクセンター高岡	2
クレッセント株式会社	2
ハローワーク小矢部	1
ポリテクセンター新潟	1
石川障害者職業能力開発校	1
富山市職業訓練センター	1
砺波交流館	1
介護労働安定センター	1
井口本江教室	1
パスタ160教室	1
ニチイ学館	1
株式会社スキル	1
有限会社ステップアップ	1
小杉専門学校	1
総合カレッジSEO	1

問 1 1 - 2 【問 11-1 で「1. 受講したことがある」または「2. 知っているが受講したことはない」と回答した方におたずねします。】公共職業訓練施設の教育訓練について、あなたのご意見にあてはまるものをすべて選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「受講し有意義だった」が 34.4%と最も高く、次いで「受講したい科目がない」が 17.3%、「講座に関する情報が不足している」が 12.8%となっている。「受講する必要性を感じない」と回答したのは 10.0%で、製造業は非製造業と比べて 2 倍程度高くなっている。

「その他」には、「立地や通勤条件について」(6 件)、「受講中」(5 件)、「タイミングが合わない」(3 件)といった回答がみられた。



	合計	受講し有意義だった	受講したい科目がない	講座に関する情報が不足している	受講する必要性を感じない	開講時間が合わない	その他	期間が長すぎる	内容が難しすぎる	期間が短すぎる	費用が高すぎる	受講したが物足りな	内容が簡単すぎる	無回答
全体	561	34.4	17.3	12.8	10.0	8.4	7.8	6.2	6.2	4.8	3.4	2.7	0.5	7.8
製造業														
製造業全体	178	32.6	21.3	11.2	14.0	7.3	5.6	5.1	7.9	5.1	3.4	2.8	-	6.7
事務職:製造業	29	20.7	17.2	6.9	27.6	6.9	13.8	6.9	3.4	-	3.4	-	-	6.9
営業・販売職:製造業	8	50.0	-	12.5	12.5	25.0	-	25.0	-	12.5	-	-	-	-
専門技術職:製造業	25	32.0	20.0	12.0	4.0	8.0	8.0	4.0	12.0	4.0	4.0	8.0	-	8.0
技能職:製造業	75	40.0	18.7	12.0	9.3	8.0	2.7	5.3	6.7	9.3	2.7	1.3	-	6.7
その他:製造業	23	21.7	34.8	17.4	26.1	4.3	4.3	-	4.3	-	4.3	4.3	-	4.3
無回答	18	27.8	33.3	5.6	11.1	-	5.6	-	22.2	-	5.6	5.6	-	11.1
非製造業														
非製造業全体	315	35.6	15.2	14.3	7.6	10.2	8.9	6.3	5.7	4.4	3.8	1.9	1.0	7.9
事務職:非製造業	86	37.2	14.0	12.8	5.8	10.5	9.3	7.0	5.8	3.5	2.3	-	-	8.1
営業・販売職:非製造業	61	34.4	19.7	16.4	4.9	8.2	6.6	6.6	8.2	3.3	3.3	3.3	1.6	6.6
専門技術職:非製造業	65	35.4	16.9	16.9	10.8	7.7	6.2	3.1	3.1	9.2	6.2	4.6	3.1	7.7
技能職:非製造業	36	38.9	11.1	16.7	5.6	11.1	11.1	2.8	2.8	2.8	-	2.8	-	11.1
その他:非製造業	37	29.7	13.5	8.1	5.4	21.6	13.5	13.5	13.5	-	10.8	-	-	8.1
無回答	30	36.7	13.3	13.3	16.7	3.3	10.0	6.7	-	6.7	-	-	-	6.7
無回答	116	33.6	18.1	10.3	12.1	2.6	8.6	6.9	6.0	5.2	1.7	4.3	-	9.5

属性別順位 1位 2位 3位

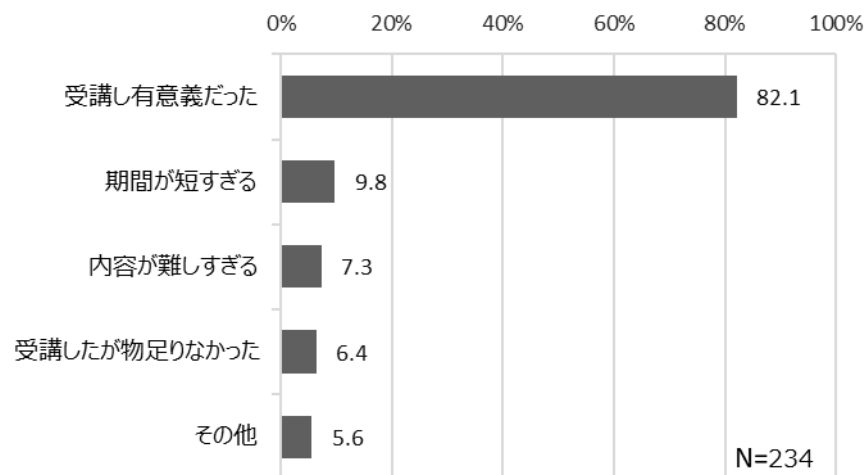
問11-2「その他」の内容
立地や通勤条件について ……6件
受講中 ……5件
タイミングが合わない ……3件
子どもが小さいため、沢山休んでしまうかもしれないから
期間内での資格取得が多すぎて、私自身はついていくので精一杯でした。ですが、とても良い先生と内容でした
資格がとれない
生活費を稼ぎながらの受講が不可能
詳しく知ることのできるサイト等が知りたい(名前を聞いたことがある程度なので)
先生のひいきがある
知っているだけ
短すぎるとまでは言わないが、もっと長くてもいい
良かったところもある
年齢的に受講しても無駄のようです
申込をしたが、不合格だった
訓練後の就職率や活躍されている実例
受講したいが、本校でしかやっていない
地域によっては栄養科があるので、前職と関連した職業訓練という意味では行きたかったと感じました
相談中
受講していませんが、興味はあります
すぐ仕事が決まるものだと思います、受講しなかった
受講予定ではなかった

■受講経験の有無による意見（上位5項目）

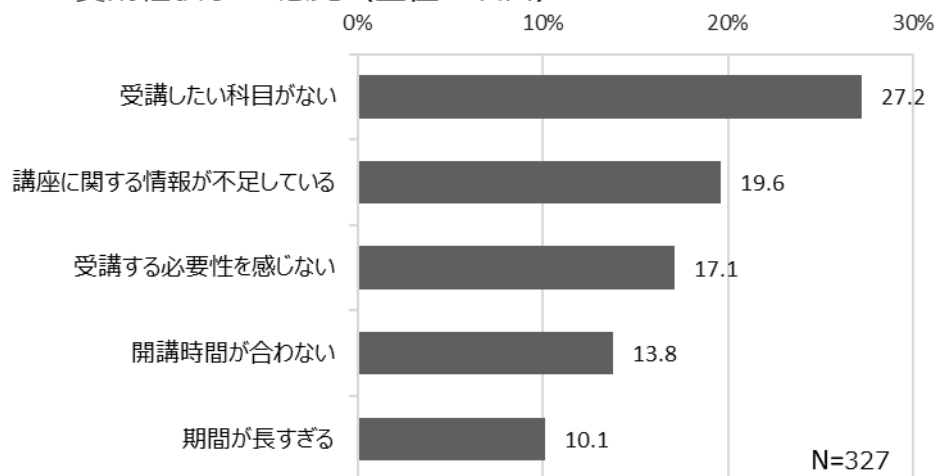
問1 1－1で「受講したことがある」と回答した求職者の意見で最も高かった回答は、「受講し有意義だった」の82.1%で、他の回答と大きく差が出ている。

問1 1－1で「知っているが受講したことはない」と回答した求職者では、「受講したい科目がない」が27.2%で最も高く、次いで「講座に関する情報が不足している」が19.6%、「受講する必要性を感じない」が17.1%となっている。

■受講経験あり（上位5項目）



■受講経験なしの意見（上位5項目）

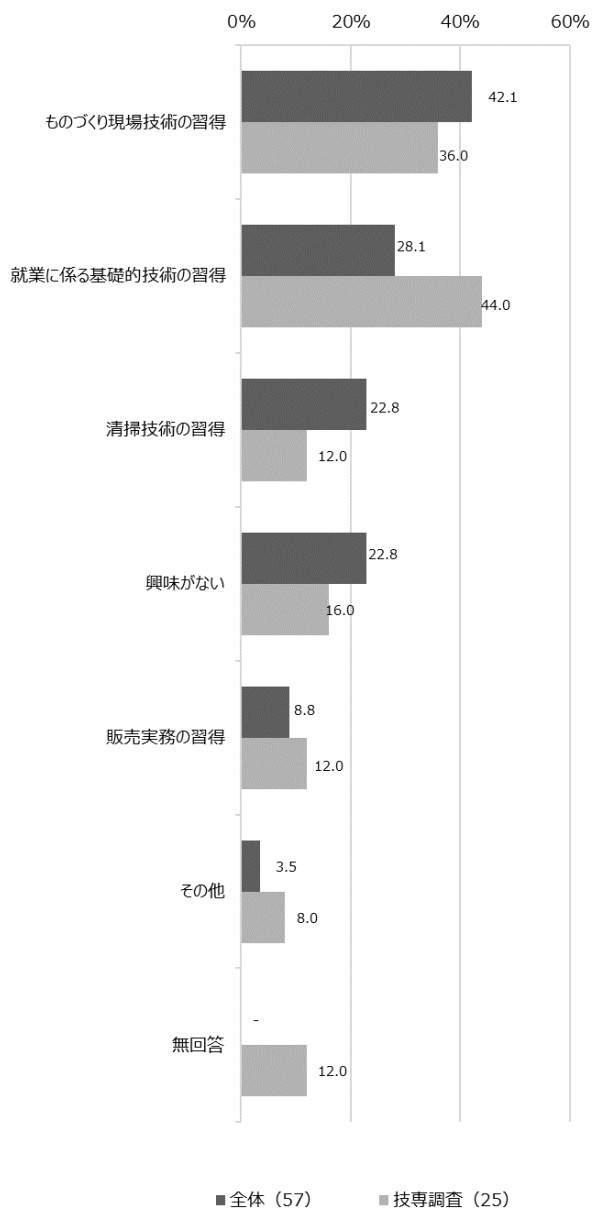


問 1 2 【障害のある方におたずねします】あなたが再就職に向け新たな技術や資格などを習得するなら、事務系以外の以下の内容にチャレンジしたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

受講したい教育訓練として、「ものづくり現場技術の習得」が 42.1%と最も高く、次いで「就業に係る基礎的技術の習得」が 28.1%となっている。

富山県技術専門学院訓練ニーズ調査と比べると、「ものづくり現場技術の習得」と「就業に係る基礎的技術の習得」の順序が入れ替わっている。

■ 受講したい教育訓練



【富山県技術専門学院訓練ニーズ調査は調査回答者のうち障害をお持ちの方を対象とした設問】

問 1 3 - 1 公共職業訓練施設の教育訓練を受講したいと思いますか。(番号 1 つに○)

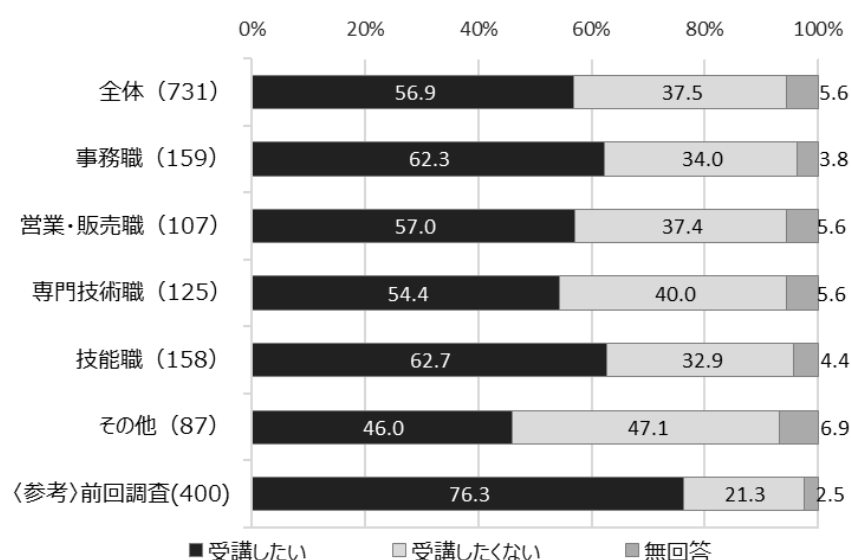
全体では、「受講したい」が 56.9%となっており、「受講したくない」の 37.5%から 19.4%上回っている。

前職の職種別でみると、「事務職」、「技能職」では「受講したい」が 6 割を超えている。

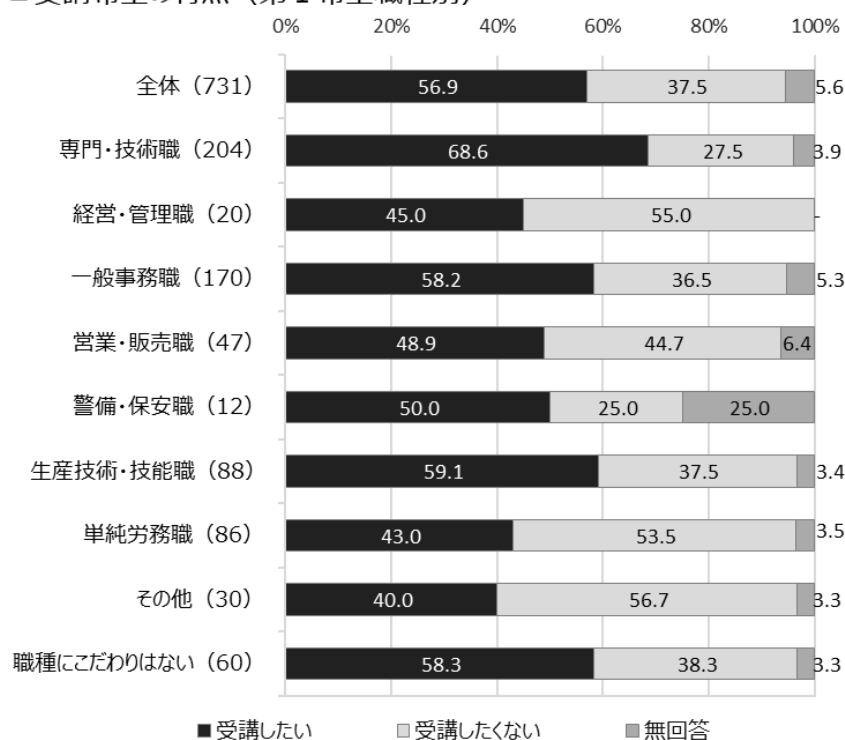
問 3 の第 1 希望職種別でみると、「専門・技術職」では「受講したい」が 6 割を超えている。

前回調査と比べると、「受講したい」が 19.4 ポイント減っている。

■受講希望の有無（前職の職種別）



■受講希望の有無（第 1 希望職種別）



問13-2 【問13-1で「1. 受講したい」と回答した方におたずねします。】公共職業訓練施設での教育訓練として、適正な期間を1つ選んでください。(番号1つに○)

全体では、「3ヵ月程度」が26.9%と最も高く、次いで「6ヵ月程度」が25.2%、「1年程度」が11.8%となっている。

前職の職種別にみると、「事務職」では「3ヵ月程度」が34.3%と最も高く、次いで「6ヵ月程度」(25.3%)、「4ヵ月程度」(11.1%)となっている。「技能職」、「その他」では、「6ヵ月程度」が3割を超えており、最も高くなっている。

問3の第1希望職種別に違いをみると、「一般事務職」、「営業・販売職」、「その他」、「職種にこだわりはない」では「3ヵ月程度」、「専門・技術職」、「経営・管理職」、「警備・保安職」、「生産技術・技能職」、「単純労務職」では「6ヵ月程度」がそれぞれ最も高くなっている。

前回調査と比べると、「6ヵ月程度」が5.3ポイント低下している。

■ 適正だと思う訓練期間



問13-2「その他」
訓練内容による ……2件
内容によるが、3～6ヵ月がよいと思います
複数の訓練で6ヶ月ではなく、科目ごとに3ヶ月ほど
取得できる資格の数や個人のレベルで変わる
機会があれば
適正であれば指定なし

問13-3 公共職業訓練施設での教育訓練は、どのような時間帯を希望しますか。
(番号1つに○)

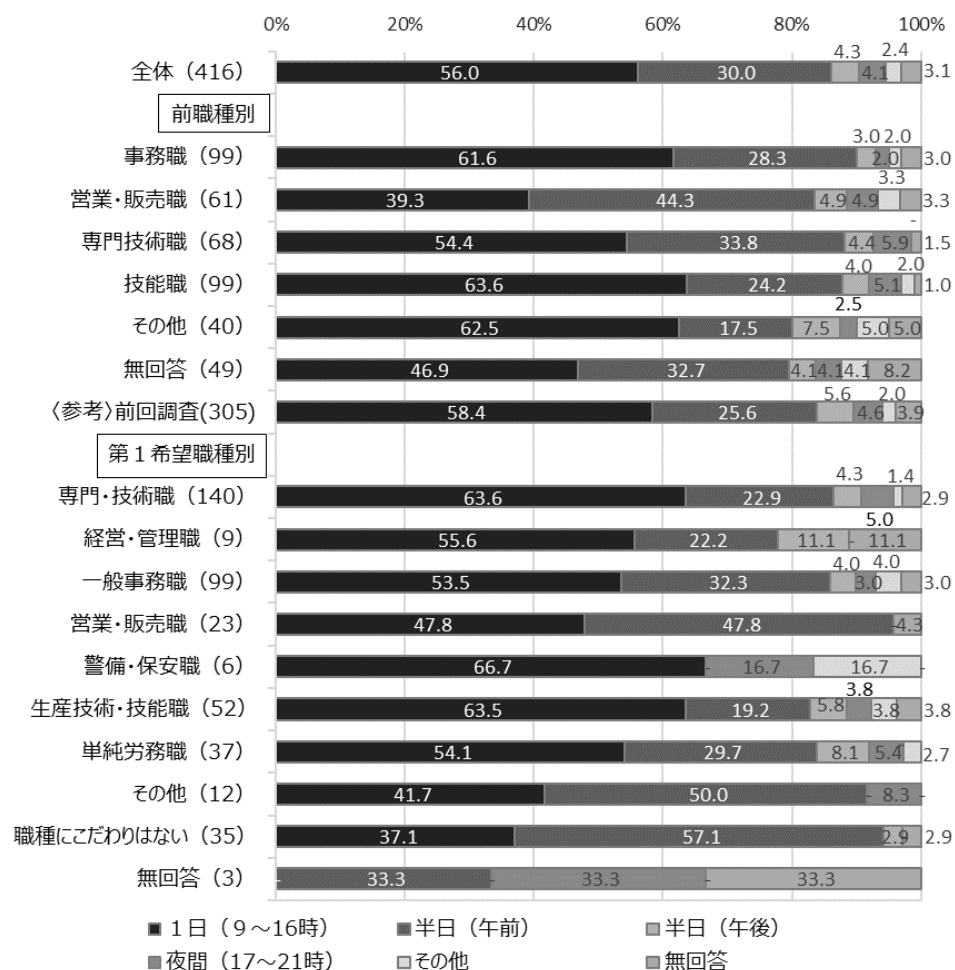
全体では、「1日(9～16時)」が56.0%で最も高く、次いで「半日(午前)」が30.0%だが、その差は大きく26.0ポイント開いている。

前職の職種別にみると、「事務職」、「技能職」、「その他」で「1日(9～16時)」を回答する割合が6割を超えている。

問3の第1希望職種別に違いをみると、「その他」、「職種にこだわりはない」では「半日(午前)」が最も高くなっている。それ以外の職種では「1日(9～16時)」が最も高いが、「営業・販売職」では、「1日(9～16時)」と「半日(午前)」が並んでいる。

前回調査と比べると、「半日(午前)」が4.4ポイント高くなっている。

■希望する時間帯



問13-3「その他」
9～15時 ……2件
土曜日 ……2件
9時半～15時半
月・火・水曜
就業中の人でも受講できる時間帯
実習以外はインターネットによる時間フリーの在宅受講が望ましい

年齢別にみると、「20 代以下」と「30 代」では「1 日」が 6 割を超えている。一方、「60 代以上」では「半日（午前）」が 43.0%となっている。

■教育訓練で希望する時間帯／年齢別

		合 計	1 日 （ 9 ～ 1 6 時 ）	半 日 （ 午 前 ）	半 日 （ 午 後 ）	夜 間 （ 1 7 ～ 2 1 時 ）	そ の 他	無 回 答
全体		416	56.0	30.0	4.3	4.1	2.4	3.1
年齢	20代以下	61	60.7	26.2	6.6	1.6	-	4.9
	30代	74	60.8	28.4	5.4	1.4	2.7	1.4
	40代	94	57.4	21.3	1.1	12.8	3.2	4.3
	50代	106	57.5	31.1	3.8	-	2.8	4.7
	60代以上	79	44.3	43.0	6.3	3.8	2.5	-
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-

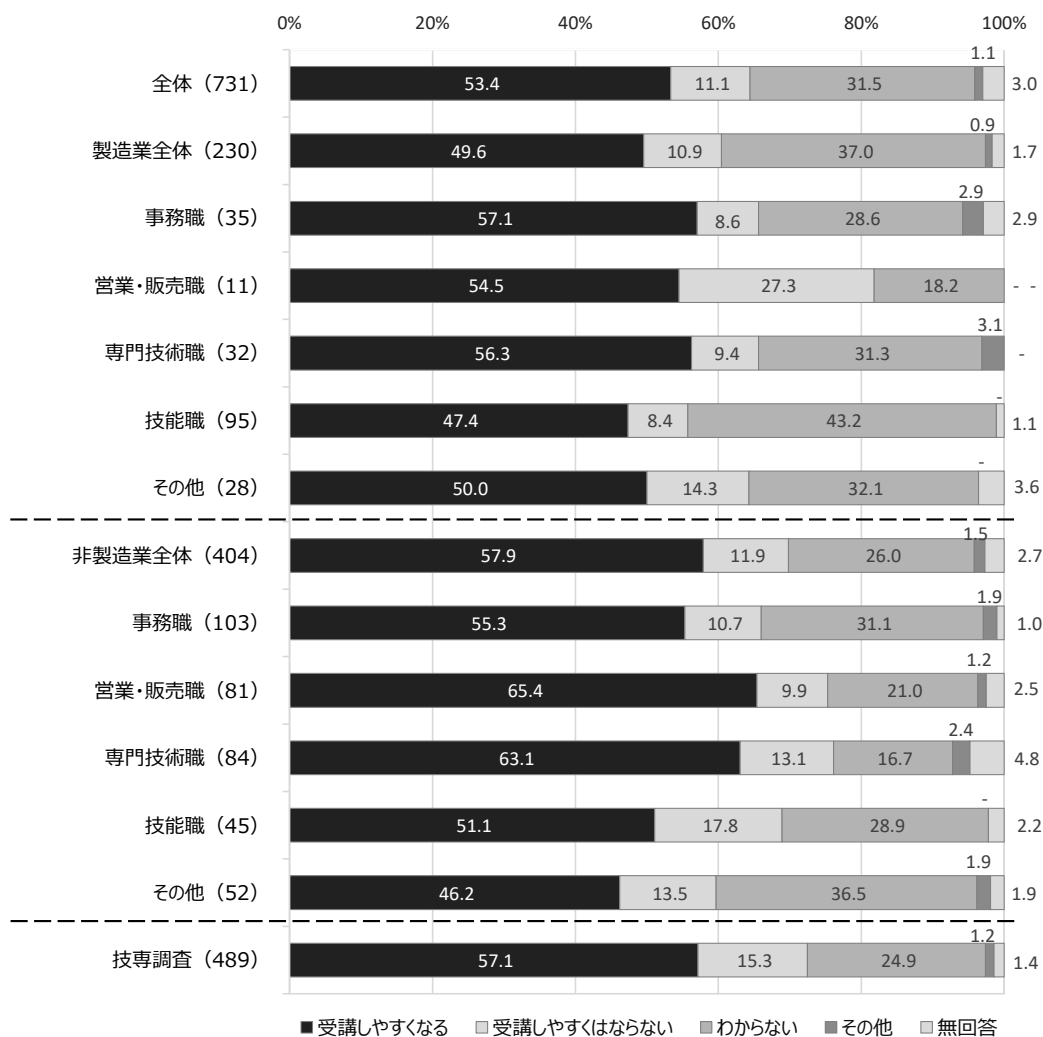
問14 公共職業能力開発施設での教育訓練のうち座学部分の受講方式について、対面授業か、リモート授業（オンライン・オンデマンド配信による）を自分で選べるようになるとしたら、あなたにとって受講しやすくなりますか。（番号1つに○）

全体では、「受講しやすくなる」が53.4%、「受講しやすくはない」11.1%、「わからない」31.5%となっている。

職種別では、非製造業の「営業・販売職」の「受講しやすくなる」が65.4%で最も多い。

富山県技術専門学院訓練ニーズ調査と比べると、今回調査は「受講しやすくなる」が3.7ポイント低くなっている。

■座学部分の受講方式選択による受講のしやすさ



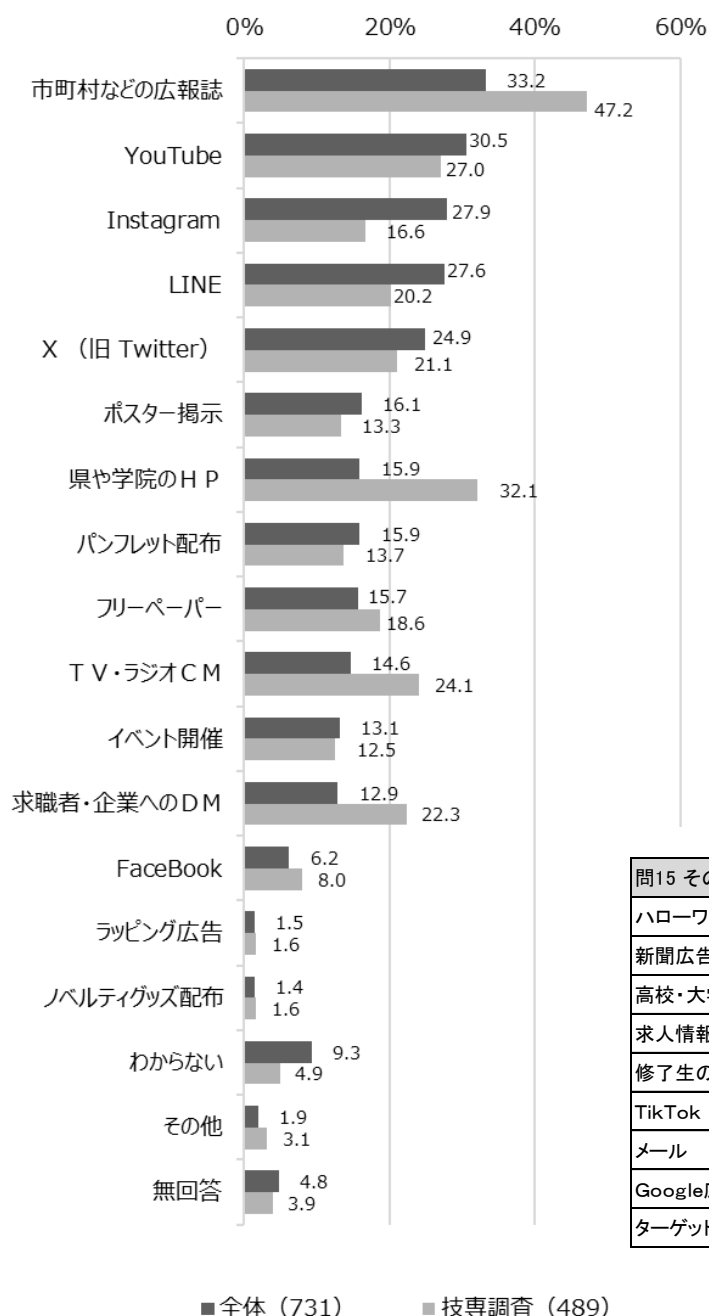
問14 その他
今のところ必要性を感じない
対面授業の方が望ましい
リモートで授業を受けた経験がないためわからないが、慣れたら対面と変わらないのかも
世代を問わずに受講方式を考えるのであれば有効だと思いますが、ネットワーク環境が整っていない人もいたり、ワープロ検定などの勉強は対面の方が受けやすいと感じました
どちらでも可
eラーニングは良し悪しがあり、できれば対面授業が良いと思います
受講はできるのだろうが、直接受講したものと同じになるのか心配

問 1 5 公共職業訓練施設の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

効果的な広報媒体は、「市町村などの広報誌」が 33.2%と最も高く、次いで「YouTube」が 30.5%、「Instagram」が 27.9%となっている。

富山県技術専門学院訓練ニーズ調査と比べると「Instagram」が 11.3 ポイント高くなっている。

■情報を伝えるために効果的な広報媒体



問15 その他
ハローワーク(アナウンス、説明会等) ……5件
新聞広告 ……2件
高校・大学など
求人情報誌・サイト
修了生の口コミ
TikTok
メール
Google広告
ターゲットとしている層に合わせて変わるのではないかな

【富山県技術専門学院訓練ニーズ調査の質問は「富山県技術専門学院の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。」】

年齢別にみると、「40代」では「市町村などの広報誌」が4割を超えている。一方、「X（旧 Twitter）」、「Instagram」、「YouTube」では年齢が若くなるほど割合が高くなっており、「20代以下」では「X（旧 Twitter）」、「Instagram」が4割を超えている。

■情報を伝えるために効果的な広報媒体／年齢別

		合計	X (旧 T w i t t e r)	I n s t a g r a m	Y o u T u b e	L I N E	F a c e B o o k	県 や 学 院 の H P	市 町 村 な ど の 広 報 誌	フ リ ー ペ ー パ ー	パ ン フ レ ッ ト 配 布
年齢	全体	731	24.9	27.9	30.5	27.6	6.2	15.9	33.2	15.7	15.9
	20代以下	144	42.4	41.0	37.5	25.0	2.1	16.0	23.6	12.5	13.9
	30代	124	35.5	39.5	33.9	26.6	7.3	16.1	29.0	15.3	12.9
	40代	143	23.8	32.2	29.4	33.6	9.1	15.4	40.6	15.4	19.6
	50代	184	16.3	16.8	27.7	23.9	8.2	18.5	34.8	21.2	16.8
	60代以上	132	9.1	14.4	25.0	31.1	3.8	12.9	37.9	12.9	15.2
	無回答	4	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0
		合計	ポ ス タ ー 掲 示	求 職 者 ・ 企 業 へ の D M	T V ・ ラ ジ オ C M	イ ベ ン ト 開 催	ラ ッ ピ ン グ 広 告	ノ ベ ル テ ィ グ ズ 配 布	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
年齢	全体	731	16.1	12.9	14.6	13.1	1.5	1.4	9.3	1.9	4.8
	20代以下	144	17.4	10.4	14.6	15.3	2.1	2.8	6.9	0.7	3.5
	30代	124	13.7	9.7	17.7	12.9	1.6	-	5.6	2.4	5.6
	40代	143	16.8	18.2	15.4	18.9	3.5	2.8	9.1	3.5	4.2
	50代	184	15.8	13.0	12.0	6.5	0.5	1.1	11.4	1.6	5.4
	60代以上	132	17.4	12.9	15.2	14.4	-	-	12.9	1.5	3.8
	無回答	4	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0

問 16 富山県技術専門学院では、企業に在籍している人向けの在職者訓練も実施しています。これまでのご経験から、今後、リスクリングの一環として受けてみたい講座があれば自由にご記入ください。

リスクリングの一環として受けてみたい講座	件数	リスクリングの一環として受けてみたい講座	件数
Word&Excel	41	玉掛技能講習	1
CAD関係	20	金属加工	1
PowerPoint	8	管理会計	1
原価管理講習	7	経理	1
簿記	6	経理・人事・総務業務	1
Web制作関係	6	建設業会計士	1
プログラミング関係	7	工場のDX	1
コーチング基礎	5	高度なIT試験のための講習会	1
AI関係	5	マネジメント	1
造園	4	心理的安全性について	1
英会話	4	太陽光発電システム	1
ITセキュリティ関係	3	鉄筋施行講習	1
溶接技能	3	伝統工芸の入門や窓口になる講習	1
シーケンス基礎	3	農林業関係	1
IoT関係	2	動物のしつけ的なもの	1
電気設備技術科	2	魚さばき講座	1
パソコン	2	調理	1
ITパスポート	2	寿司職人養成 重機の実践訓練	1
TOEIC	2	シニア層向けの再就職訓練講座	1
Access	2	スマートファクトリー化	1
外国語	2	テクニカルオペレーション	1
動画編集	2	デザイン	1
IT	2	トリマー	1
ネットワーク関連	1	ドローン安全操縦	1
インターネット関連	1	ファイナンシャルプランナー	1
基本情報技術者	1	フォークリフト講習	1
ビッグデータ	1	クレーン	1
クラウド	1	救命訓練、けが人への応急救置のやり方	1
AWS	1	介護初任者研修	1
CAD基礎とWebクリエイター系が一緒になった講習	1	介護福祉士実務者研修	1
Canva講習	1	飲食店等に必要調理基礎	1
DB	1	木工関係	2
DTP制作やWeb広告	1	目標設定のための講座	1
DX	1	剪定や草刈り	1
Mac基礎	1	株取引	1
MOS	1	宅地建物取引士資格試験合格講座	1
Sketchup技術講習	1	司法書士試験合格講座	1
VBA	1	行政書士試験合格講座	1
Webマーケティング	1	第二種電気工事士学科及び技能講習	1
Instagram講習	1	電気工事に関する資格（家庭での修理などできる程度のもの）	1
不動産知識	1	住宅リフォーム科	1
各種資格試験向けの過去問を用いての対策講座。オリジナル教材をテキストにするのではなくメインの教材は市販のものを用いて補助教材としてオリジナルの教材を用いる方が使い勝手が良いと思います	1	小売店がネットへ参入したいが方法が分からない経営者向けにEC販売に際しての知識。CSVファイルでの一括アップロードや商品撮影のコツ、CSVファイルでの一括アップロードや商品撮影のコツ、バナー制作。モラルやクレーム対応も触れていただくとう有難い	1

(6) 自由回答

問 17 職業能力開発全般について、あるいは富山県技術専門学院で県が実施する公共職業訓練に対するご意見・ご要望があれば、自由にご記入ください。

訓練機関・訓練方法等について (26 件)

前業種	前職種	性別	回答内容
パルプ・紙加工品	-	女性	進み方が早い
化学（医薬）・プラスチック	その他	男性	開講回数が多かったらいいと思う
金属製品	技能職	男性	氷見から富山まで通うのは大変だったので、高岡で受講できるコースをもっと充実させてほしい
輸送機械	事務職	女性	リモートで受講できるものがあるとうれしい（雪などの天候に左右されない）
卸・小売業	事務職	男性	労働力不足が進むなか、60 代以上の方がもっと活躍できるための職業訓練と雇用側（企業）の考え方の方向転換、誘導が必要だと思います
卸・小売業	事務職	女性	実際受講したいと思った際、タイミングの合う日程がなく困った。オンライン等も活用し、受講時期や人数の調整について、もっとハードルが低くなると良いと感じた
卸・小売業	営業・販売職	男性	社会人が学ぶ機会を設けていただき、大変感激しています。会社に勤めている方でも学ぶチャンスをぜひ増やしてください
卸・小売業	営業・販売職	-	家の近くから通える場所での訓練場所があればいい
卸・小売業	その他	女性	ほぼ初めてのひとと、少し資格を持っている人のコースを分けた方がよい。勉強の進み具合が違い過ぎる
金融保険業	事務職	女性	人数制限なく皆受講できるようにしてほしい
情報通信業	事務職	女性	公共職業訓練があることで、社会に出られる良い制度だと思います
情報通信業	専門技術職	男性	ネットでの受講ができるようにしてもらいたい
情報通信業	専門技術職	男性	もっとうまく国家試験とタイミングが合うよう考えてほしい
医療・福祉	技能職	女性	あまり知らなかったのでこういった講座があるか見てみたい
医療・福祉	技能職	女性	十分に恵まれていると思います。夜間に受講できればと思います

医療・福祉	その他	男性	遠方から参加されている方が多くおられます。もちろん実際に作業する訓練のために来所する必要がありますが、座学等でしたらリモートで受ける制度があると助かります
医療・福祉	その他	男性	就業中にeラーニングできるとよい
その他サービス業	事務職	女性	現在、介護技術専門学校へ行っています。職場での体験実習があれば嬉しいです
その他サービス業	事務職	女性	求職者にとってはスキルを身につけられ、すごく良い学校です。今後も、時代に合った学科に対応してほしいです
その他サービス業	事務職	女性	富山駅に近い場所が訓練場所であるといいです。電車利用者が増えると思います
その他サービス業	営業・販売職	男性	ポリテクが富山市ではなく、高岡市の端にあるのが理解できない。南砺市からはもちろん遠いが、県東部に住んでいる人が大変そう
その他サービス業	-	男性	素晴らしい先生ばかりで、本当に感謝しています。時間的に学校に通えない人もいるので、放送大学やスタディサプリのよう、授業を公開すれば、広く社会の向上に役立つと思います
その他非製造業	事務職	女性	受講中の制服については安全面で本当に必要なものだけでいいと思う
その他非製造業	事務職	-	福祉職を志しているため、タイミング良く介護職員初任者研修を受けられること、有難く感じています。出願に際しての履歴書の準備、面接等、就職活動の練習になっています
その他非製造業	営業・販売職	男性	公共交通機関で行ける所に学校がないので、講座を受けられない
-	その他	女性	交通手段がない。車を運転しない。車がない。遠方の場合、宿泊施設等の援助。パソコン、WiFi環境がない。パソコン、WiFiの助成か、貸与をしてほしい

受講してみても感想（8件）

前業種	前職種	性別	回答内容
その他製造業	事務職	女性	10月初めより砺波センターで介護サービス科を受講しています。実際、現場で働いておられる講師の皆さんから様々な知識を教えていただき、毎日充実した日々を過ごしております。学んだ知識や技術を活かせるよう努めていきます
その他製造業	技能職	女性	受けてみたいものが2つあったので、難しいと思いますが複数受けてみたかった

建設業	事務職	男性	6ヶ月訓練を受け、とても有意義な時間を過ごすことができました。先生もとても優しく、内容をわかりやすく説明して頂きました。施設も快適で何も不満はありません
卸・小売業	営業・販売職	女性	貴重な時間と場所を与えていただき、大変ありがとうございます。訓練校の先生のサポートや授業が教科書（参考書）を読んでいるだけの時間が多く、自学でもできるのかなと思ったり、自分の時間を確保する方が大事かもしれないと感じております。自分なりに努力して頑張りたいです
医療・福祉	事務職	女性	年をとっても生涯勉強し、成長していきたいと思っています。この度はこのような学ぶ機会を与えてくださり、ありがとうございました。教えていただいた知識と技術を仕事に生かし、自己実現と社会貢献をしていきます。無職の不安定な状況の中、やさしい先生と苦楽を分かち合える仲間の存在が心の支えとなり、頑張ることができました。本当にありがとうございました
医療・福祉	技能職	女性	講義外でしなければならないことが多く時間が足りないと感じた。帰宅後も家事などがあるので、思った以上に大変だった
その他サービス業	その他	女性	同じ職業訓練でも地域によってさまざまな科があり、機会があれば栄養士の職業訓練科も考えていたので、2年間ですが行ってみたかったです
その他非製造業	その他	女性	先生によって私自身の理解の度合いが異なるので、分かりやすい先生、そうでない先生の差がなくなると良いと思います

訓練内容について（15件）

前業種	前職種	性別	回答内容
化学（医薬）・プラスチック	技能職	男性	私は年齢がシニアになるため、シニア向けの職業訓練の中の一つとしてビル管理を選び、現在そのための訓練を受講中です。高岡在住のため、最寄りのポリテクセンターでもビル管理のための講座があればよいのと思いました。担当の先生2人におかれては、私達生徒達を飽きさせないよう常日頃からカリキュラムを工夫されており、大変感謝しております。60歳を機に新たに再就職される方も多いと思います。シニア層向けの職業訓練開講を他にも希望します
化学（医薬）・プラスチック	技能職	男性	実務経験の要件をまかなえるような職業訓練コース、講座があれば受講したい
建設業	事務職	女性	美容系、動画作成等をしてほしい
建設業	専門技術職	男性	経験豊富な先生たちが細かな注意点を教育して頂けるので、実技修得に非常に役立つ

建設業	専門技術職	男性	高価な教材を使用して受講できるので、とても有意義だと思います
建設業	技能職	男性	現場で即使えるような、厳しくも充実した訓練内容にしてほしい。（実際受講してないので分かりませんが、有用だという評判をあまり聞かないもので。。）
金融保険業	その他	男性	造園の管理コースや木材加工コースがなくなるのは理解できない。復活、継続を望む
情報通信業	営業・販売職	男性	半年間の実施では短すぎる。公共職業訓練を終えて、プロになるのであれば、もっと期間が必要である
情報通信業	専門技術職	女性	I Tのスキルを上げ、仕事が長く続く講座
情報通信業	専門技術職	女性	企業が求める即戦力になるような実践的な実習を訓練プログラムに組み込んでほしいです。企業では2ヶ月が研修期間のボーダーラインかどうかがありました。就職してから2ヶ月研修の後に適正なしでは、企業も自分もリスクが高いため、公共職業訓練期間中に企業の求める適性の有無がわかるとうれしいです
医療・福祉	営業・販売職	男性	コミュニケーション能力改善や社会人としてのマナーやモラルに関するケーススタディを含んだ能力開発セミナーがあれば嬉しい
医療・福祉	技能職	男性	高齢者も受講し、リスキリングできるようにしてください
その他サービス業	-	女性	アウトプットする時間がとても勉強になりました。学ぶだけではすぐに忘れますが、自分で使いこなした技術は覚えています
-	専門技術職	男性	もっと幅広く職業訓練の種類を増やしてほしい
-	-	-	短期間のものをいくつか受けられるものが欲しい

意欲について（1件）

前業種	前職種	性別	回答内容
その他非製造業	-	男性	仕事に生かせる資格をもっと取りたい

周知・広報について（9件）

前業種	前職種	性別	回答内容
印刷	その他	女性	現在通っている介護サービス科では、とても詳しく介護知識と技術（実技）を教えていただき、感謝しております。もっと若い時に興味を持って勉強できていたらと考えたりします。受講生が増えるように、もっとアピールしてもいいと思います

金属製品	事務職	男性	最近の企業側のニーズが知りたいです。（どの講習を受けてもらえると嬉しいのか？）企業と受講者のニーズがマッチしていると、就職しやすくなると思います
金属製品	-	女性	気軽に情報が検索できるといいですが、どういう職業訓練（資格技能）が特徴なのかわかるといいと思いました
電気機械	事務職	女性	ハローワークでしっかり説明されているので手厚いなと思います
金融保険業	技能職	男性	情報を分かりやすく伝えてほしい
宿泊業・飲食サービス業	その他	男性	訓練卒業生・修了生の実績（採用人数、年齢、就業年数）の情報を知りたい
その他非製造業	事務職	男性	似たような訓練があったとき、その差が分かりにくかったので、訓練の詳細もネットで分かるようにしてほしい
-	事務職	女性	ハローワークから訓練に伴う手紙（ダイレクトメール）が届いたことは良かった
-	-	女性	転職やリスキリング希望者は潜在的には多いと思うので、例えば現在の就労可能な時間帯（主婦・一人暮らし・早期・夜勤可）等の条件によるマッチング、オススメの職が表示されたり、そのためには必要な資格やスキル、特性なども表示されたら、自分では気が付かなかった職に出会えたり、リスキリングや職業訓練に誘導されやすくなったりもしてメリットは大きいと思います。食のマッチングのサイトやアプリがあれば利用してみたいと思いました

その他（10件）

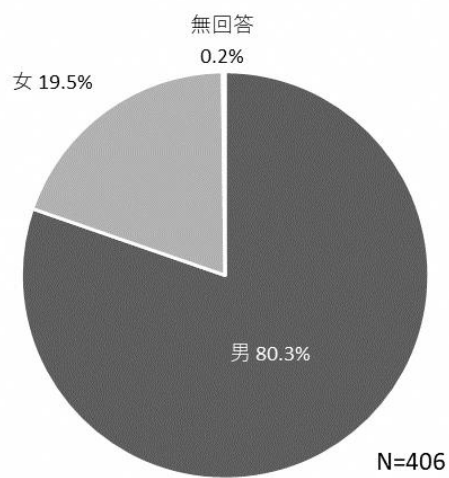
前業種	前職種	性別	回答内容
食料品	その他	女性	とても素晴らしいです
窯業・土木製品製造業	技能職	男性	人材育成をもっと頑張ってください
化学（医薬）・プラスチック	-	女性	給付金を上げてほしい。物価高で生活が苦しい
金属製品	その他	-	あまり重要とは思えない経験談を講義中に何度もされたり、講師の方がまだ不慣れなのか手際が良くなく、待機時間が多くなり授業の進行が遅れる。課題や質問に間違えると「どうしてそうなったの？ありえないでしょ？別に責めているわけじゃなくて、どう考えたらそうなるのか聞きたいだけだよね」「これぐらいできてもらわないと困りますよ」などどいった、心をえぐ

			るような言い方をされる。授業を受けている生徒の後ろでPCをカタカタ叩いて内職している職員がいて迷惑に感じた。パワハラ、モラハラ、コミュニケーションの配慮がもっと必要だと思う
電子部品・デバイス	専門技術職	男性	直線距離計算で良いので、その分のガソリン代（交通費）を全額支給してほしい。電気工事士試験向けに工具類や材料を持ち歩くのが重い
電気機械	専門技術職	男性	教育の質と量のますますのご発展をお祈りいたします
建設業	専門技術職	男性	免許の取得を無料でしてほしい。普通二種免許 20 万以上は高すぎる。時間がかかり過ぎる。一発では特に合格率が低すぎる
建設業	-	男性	なかなか充実している
その他サービス業	専門技術職	男性	私は 47 歳なので、ハローワークの説明で「45 歳までです」と聞いた
-	事務職	女性	受講生に対しての対応、男女差などもう少し公平・平等であってほしいです。学校の中も、求職及び働いていても、男女差が富山は大きいです

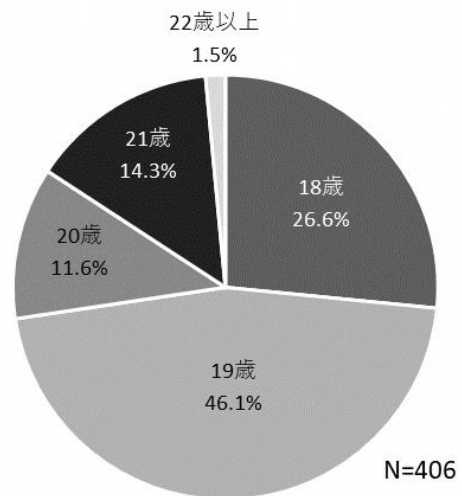
V 学生对象

(1) 回答者の概要

【性別】



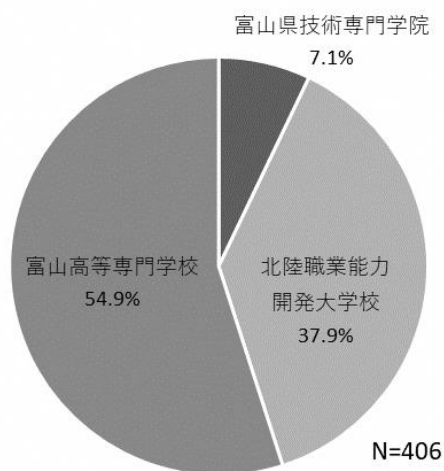
【年齢】



【居住地】

市町村	人数	%	市町村	人数	%	市町村	人数	%
富山市	169	41.6	砺波市	13	3.2	立山町	6	1.5
高岡市	34	8.4	小矢部市	4	1.0	入善町	9	2.2
魚津市	68	16.7	南砺市	10	2.5	朝日町	1	0.2
氷見市	11	2.7	射水市	37	9.1	その他	8	2.0
滑川市	9	2.2	舟橋村	0	0.0	無回答	0	0.0
黒部市	8	2.0	上市町	19	4.7	合計	406	100

【在籍学校】

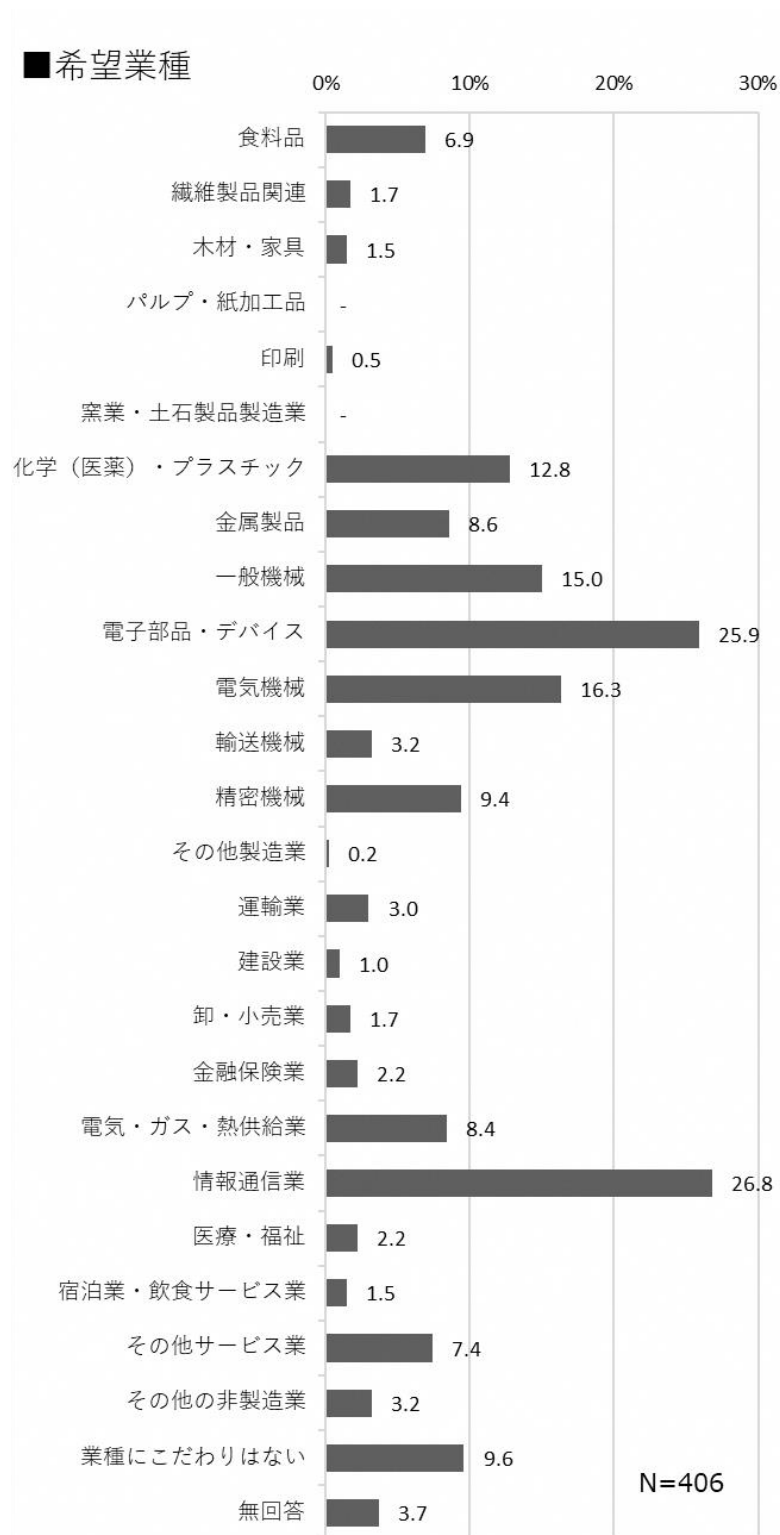


※次年度就職活動予定の学年を対象に調査

（２）就職に対する考え方

問２ あなたが就職を希望する業種を２つ選んでください。（番号２つまで○）

「情報通信業」が 26.8%と最も高く、次いで「電子部品・デバイス」が 25.9%、「電気機械」が 16.3%となっている。

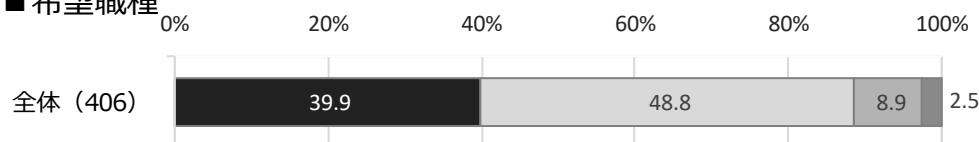


問3 あなたが就職を希望する職種を1つ選んでください。(番号1つに○)

「その他の職種」が48.8%と最も高く、次いで「現在、自分が学んでいる知識や技能に関連する職種」が39.9%、「職種にこだわりはない」が8.9%となっている。

また、「その他の職種」の内訳をみると、「専門・技術職」が71.2%と7割を超えて最も高く、次いで「生産技術・技能職」が15.2%、「経営管理職」が6.1%となっている。

■希望職種



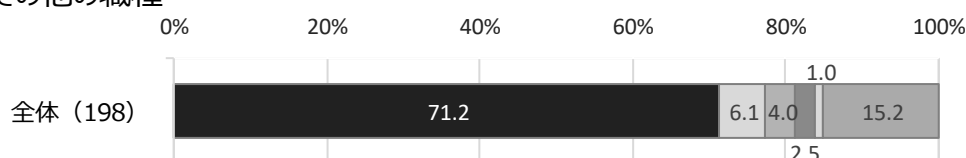
■現在、自分が学んでいる知識や技能に関連する職種

■その他の職種

■職種にこだわりはない

■無回答

■その他の職種

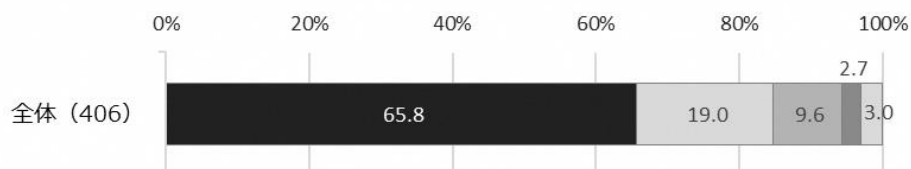


■専門・技術職 ■経営・管理職 ■一般事務職 ■営業・販売職 ■警備・保安職 ■生産技術・技能職

問4 問2、問3でその業種・職種を希望する理由として近いものを1つ選んでください。(番号1つに○)

「自分が学んでいる知識・技術が生かせるから」が65.8%と最も高く、次いで「やりがいのある仕事にチャレンジしたいから」が19.0%、「企業の求人状況から就職しやすいと思われるから」が9.6%となっている。

■希望理由



■自分が学んでいる知識・技術が生かせるから
 ■やりがいのある仕事にチャレンジしたいから
 ■企業の求人状況 等から就職しやすいと思われるから
 ■その他
 ■無回答

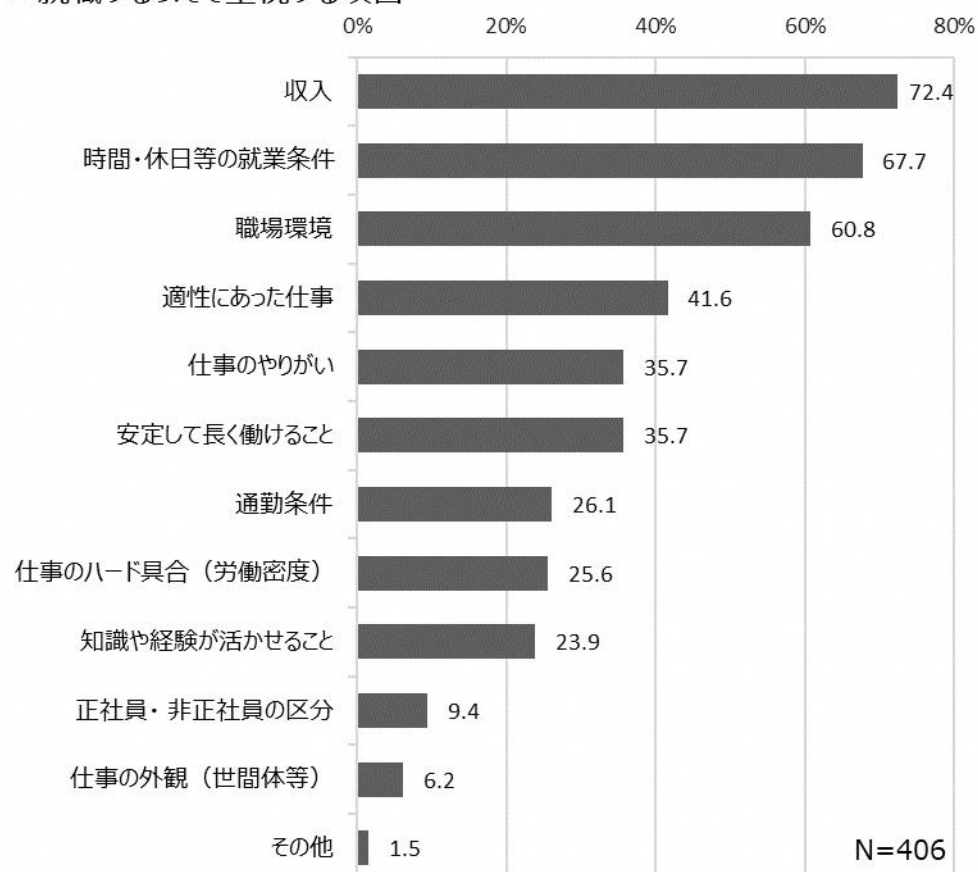
問4 「その他」の内容

未来的にも必要だから
 自分が納得するところであればどこでも良い
 B to Bの事業に興味があるから
 失業しにくい
 好きな事を仕事にしたいから
 興味があるから
 危険な作業しないし、リモートできそうだから
 まだ具体的な事は考えていない

問5 あなたが就職する上で、特に重視したい項目を選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

「収入」が72.4%と最も高く、次いで「時間・休日等の就業条件」が67.7%、「職場環境」が60.8%となっている。

■ 就職するうえで重視する項目



問5 「その他」の内容
楽しいか
スキルを得ることができる仕事
自身のスキルアップ、幸せになれるか、自己実現
転勤の頻度
自分を高められる会社
福利厚生

問6 就職に際して、今学んでいる専門知識のほかに、企業から求められるものとして重要だと考えるものを選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

「コミュニケーション力」が86.2%と最も高く、次いで「一般常識や社会的マナー」が67.2%、「向上心・チャレンジ精神」が46.6%となっている。とりわけ「コミュニケーション力」と「一般常識や社会的マナー」の上位2項目は半数以上が回答している。

■就職にあたり必要と考えている能力等



問6 「その他」の内容

たぶん全部だと思います

マーケティングの能力

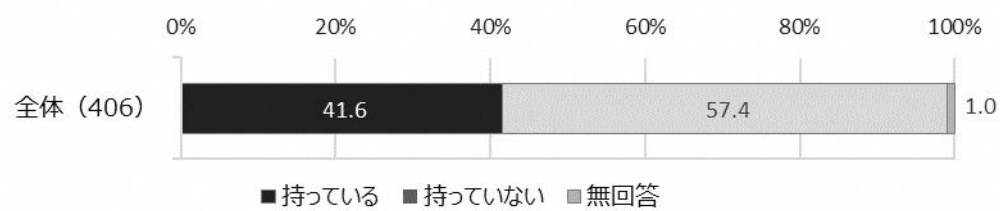
（３）資格・免許の取得状況および今後の希望

問 7－1 現在あなたは、①仕事に役立つ免許や資格をお持ちですか。また、②今後取得したいと思う免許や資格がありますか。（①②それぞれで番号１つに○）

①仕事に役立つ免許や資格

「持っている」が41.6%、「持っていない」が57.4%で、「持っていない」学生の割合が高くなっている。

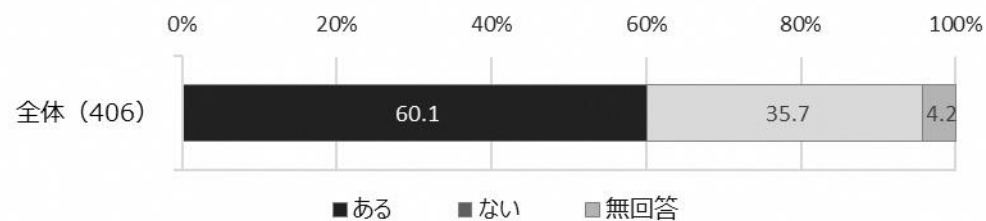
■ 免許・資格の取得状況



② 今後とりたいと思う免許や資格

「ある」が60.1%と6割を超えて高くなっている。

■ 今後取得したい免許・資格の有無



問7-2 問7-1①で「1. 持っている」、②で「1. ある」と回答した方は具体的にご記入ください。

取得している免許・資格の具体的な内容について169人からの回答があり、延べ免許・資格数は312件であった。また、今後取得したい免許・資格の具体的な内容については235人からの回答があり、延べ免許・資格数は350件であった。

2件以上の回答があった免許・資格については下記のとおりである。

取得済み(N=169)	個数
普通自動車免許	103
危険物取扱者	35
電気工事士	30
ITパスポート	21
英語検定	18
ワープロ・表計算資格	13
簿記検定	11
技能検定(機械検査)	7
韓国語検定	5
基本情報技術者	5
技能検定(機械・プラント製図)	4
技能検定(機械加工)	4
品質管理検定	4
海技士	2
機械保全技能士	2
中国語検定	2
電気施工管理士	2
普通自動二輪免許	2

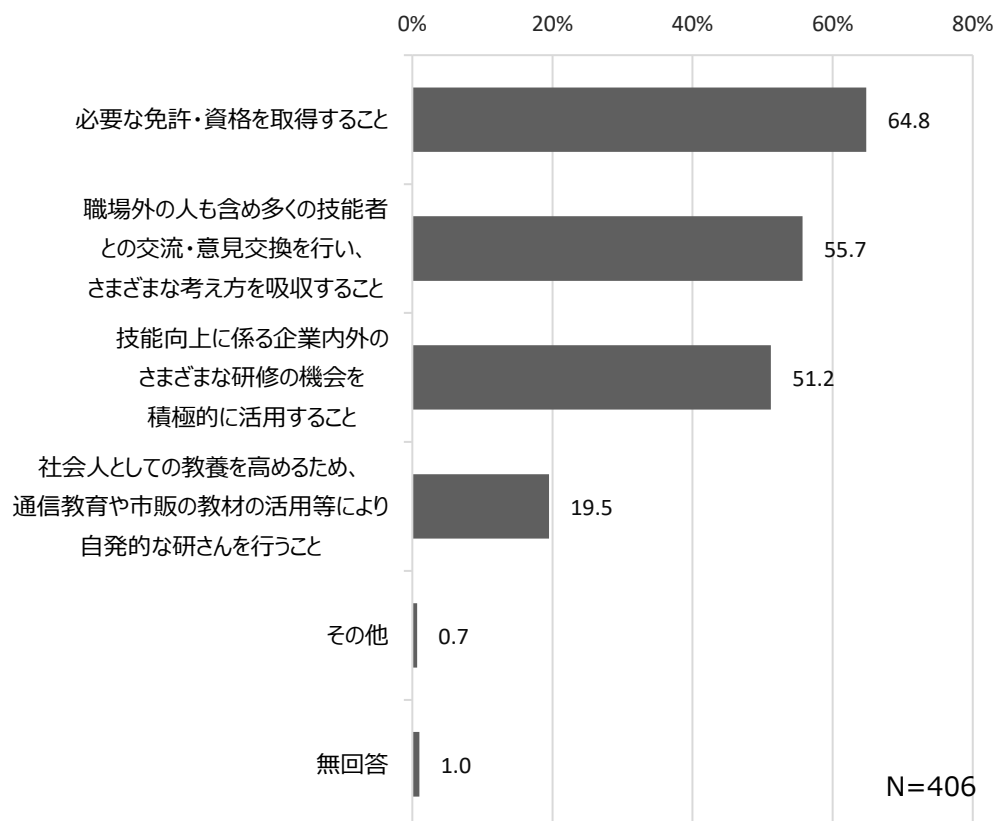
取得したい(N=235)	個数
危険物取扱者	43
基本情報技術者	41
電気主任技術者	40
ITパスポート	38
電気工事士	29
普通自動車免許	25
英語検定	16
簿記検定	14
自動車整備士	11
応用情報技術者	10
品質管理検定	10
秘書技能検定	5
CAD利用技術者	4
FP	3
機械設計技術者	3
技能検定(機械・プラント製図)	3
技能検定(機械加工)	3
エネルギー管理士	2
海技士	2
情報処理技術者	2
税理士	2
宅地建物取引士	2
旅行業務取扱管理者	2
韓国語検定	2

（４）職業能力開発に関する考え

問８ あなたが今後、技能職としてステップアップしていくと考えた場合、何が必要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

「必要な免許・資格を取得すること」が64.8%と最も高く、次いで「職場外の人も含め多くの技能者との交流・意見交換を行い、さまざまな考え方を吸収すること」が55.7%、「技能向上に係る企業内外のさまざまな研修の機会を積極的に活用すること」が51.2%となっている。

■ 技能職としてステップアップに必要と思うこと



問８ 「その他」の内容

経験を積むこと

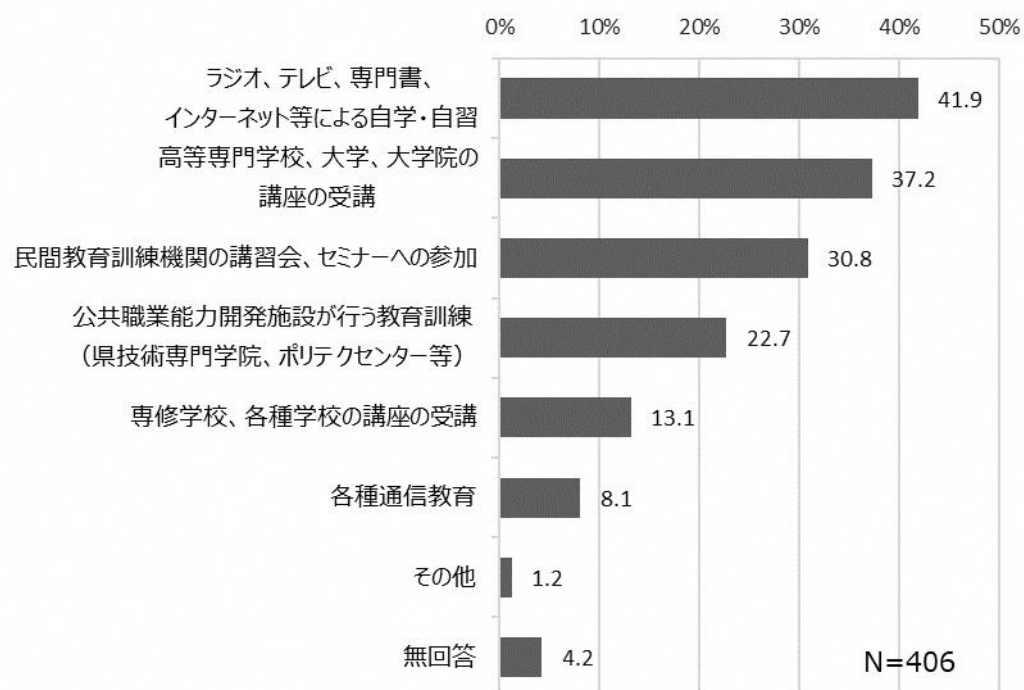
今、自分ができることの把握、現状把握

ストレスの耐性

問9 あなたが今後、ステップアップしていくために受けたと思う教育訓練を選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

「ラジオ、テレビ、専門書、インターネット等による自学・自習」が41.9%と最も高く、次いで「高等専門学校、大学、大学院の講座の受講」が37.2%、「民間教育訓練機関の講習会、セミナーへの参加」が30.8%、「公共職業能力開発施設が行う教育訓練（県技術専門学院、ポリテクセンター等）」が22.7%となっている。

■ 技能職としてのステップアップに必要と思うこと



問9 「その他」の内容

関係者としゃべる

海外での活動経験

研究

問10 その他、今後、あなたが社会人として、また、技能者としてステップアップしていくことについて、考えていることがあれば、記入してください。

仕事の取り組み方（16件）

性別	学年	回答内容
男性	1年	すべきときにすべき努力をすること
男性	1年	経験を積むことが重要となる
男性	1年	報連相
男性	1年	基礎を大切にする
男性	1年	自分が働く姿を想像し、自分が思いえがく理想の自分になるために努力する必要がある
男性	1年	色んなことに挑戦して、自分に適した職を見つける
男性	1年	計画性
男性	4年	沢山トライ&エラーをしていきたい
女性	4年	もっと積極的に自分から挑戦する
男性	4年	何歳になっても学ぶことをやめない
女性	4年	課題を解決したり、新事業を生み出したりできるように、新しい考え方に触れることを意識しています
男性	4年	とりあえず、なんでもやってみる
男性	4年	企業での支援を充実させる
女性	4年	資格を取得し、先端の技術や知識を常に吸収し、応用し続ける。顧客や先方が必要なものとして提示されたものだけでなく、期待をさらに上回るようなものを作る
男性	4年	相手の立場に立って考える能力。目的に向かって的確なステップを踏んで、PDCAサイクルを回していくこと
女性	4年	特定の人と関われるだけでなく、広く人間関係を築いていくこと

コミュニケーション力の向上（10件）

性別	学年	回答内容
男性	1年	自分の意志を伝える。何をすべきなのか、何が優先なのか考える能力
男性	1年	人との交流の仕方を知りたい
男性	1年	コミュニケーション能力を高める
男性	1年	人との関わり
男性	1年	もっと人と関わりたいです
男性	1年	コミュニケーション能力と自分の意見を持つ
男性	1年	スマホの時代なので、人との直接的なコミュニケーションが薄れている中で、相手とコミュニケーションを取る能力は、欠かせないと思う

男性	1 年	もっとコミュニケーション能力をあげる。礼儀を大切にする
男性	1 年	もう少し人の気持ちが分かるようになる
男性	1 年	コミュニケーション能力を高めるためのグループワークなどが大切になってくると思っている、その機会があれば積極的に参加していこうと考えている

知識・技術の向上（15 件）

性別	学年	回答内容
男性	1 年	余裕があるときに、機械系以外の電気や情報の勉強も少しやってみたい
男性	1 年	いろいろな会社を訪れて、さまざまな知識・常識を身につける
男性	1 年	器機の扱い方
男性	1 年	技術者同士のコミュニケーションで技術の共有をする。実際に制作をしていくこと
男性	1 年	現場でスキルを磨き、希望する職種へいきたい
男性	1 年	今の学校で専門知識をあますことなく勉強する
男性	1 年	その職業で必要となってくる技術に加えて過去の事例などを読み、仕事に生かしたい
男性	1 年	知識を沢山得る
男性	1 年	多くの人と交流して見識を深めること
男性	1 年	情報や世の中の流れを見極める
男性	1 年	ヒューマンスキルを伸ばしていきたい
男性	1 年	力を使う仕事なので体力や筋肉を蓄えていきたい
男性	4 年	経済を学びたい
女性	4 年	教材で勉強する
男性	4 年	幅広い知識をつけて引き出しを増やすこと

マナーの向上・社会人としての行動（2 件）

性別	学年	回答内容
男性	4 年	常識を身に付けること
男性	4 年	一般常識やマナー

資格・免許の取得（5 件）

性別	学年	回答内容
男性	1 年	資格取得のための取り組みを行いたい
男性	1 年	資格を取っていきたい
女性	1 年	資格を取りたい
女性	4 年	資格勉強をする

男性	4 年	資格取得
----	-----	------

語学力について（2 件）

性別	学年	回答内容
男性	1 年	英語をもっと使えるようになりたい（海外出張に向けて）。電子機器を人よりできるようにするため、自分用のパソコン、タブレットを持って機会にしっかり慣れたい
男性	4 年	英語 IELTS7.0+

研修・講習の参加、進学（3 件）

性別	学年	回答内容
男性	1 年	実習をたくさんする
女性	4 年	企業が用意する海外研修に参加すること
男性	4 年	様々な業種の職業体験に参加してみる。自分の希望とは関係しないものにも挑戦

就職先への考え方（2 件）

性別	学年	回答内容
女性	4 年	豊富な経験を積めるような企業に就職したいと考えている
男性	4 年	県内外の企業について調べ、どちらで働くべきか吟味する

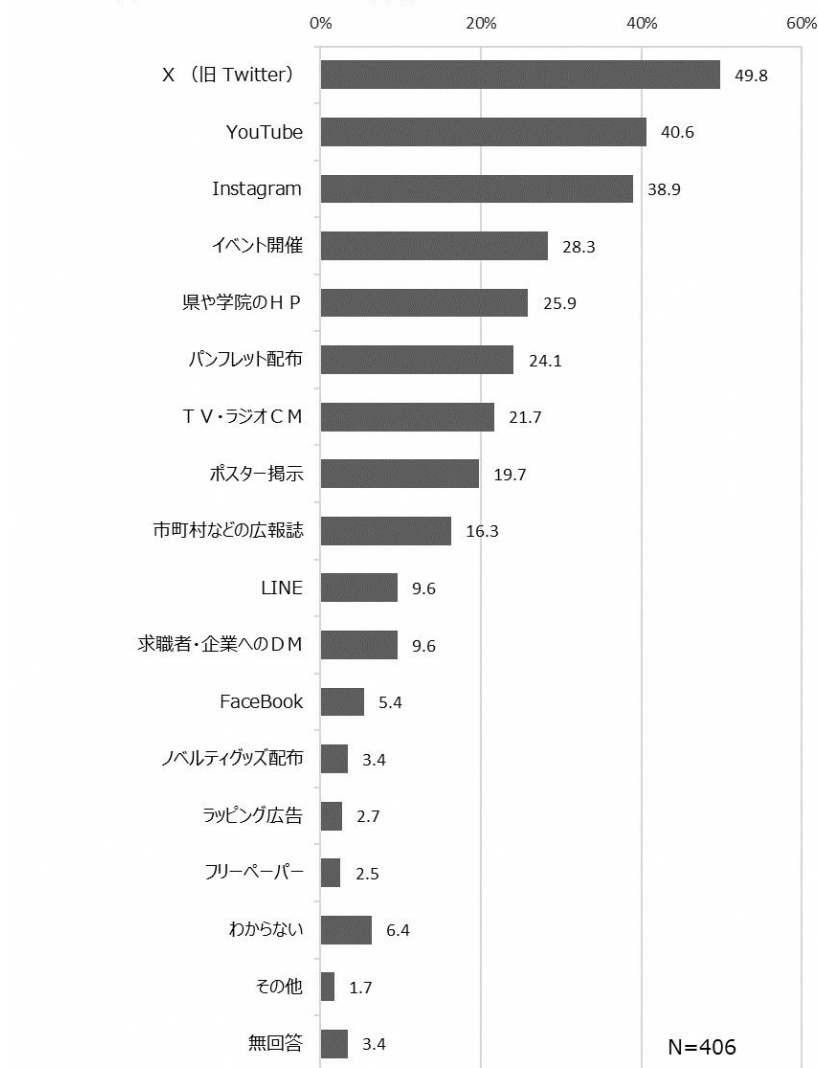
その他（2 件）

性別	学年	回答内容
男性	4 年	その他（2 件）

問 1 1 公共職業訓練施設の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

「X (旧 Twitter)」が 49.8%と最も高く、次いで「You Tube」が 40.6%、「Instagram」が 38.9%、「イベント開催」が 28.3%、「県や学院のHP」が 25.9%となっている。

■情報を伝えるために効果的な広報媒体



問11 「その他」の内容

伝えたところで、誰も興味を示さない

有名人をCMに出す

Googleの広告

学校を通じた通知

TikTok

(5) 自由回答

問 1 2 公共職業訓練施設（県技術専門学院等）に対するご意見や、社会人となった後に、自らの技能のステップアップのために、今後受けたい訓練や講習などについて自由にご記入ください。

カリキュラムへの具体的な内容（36 件）

性別	学年	回答内容
男性	1 年	C A D、旋盤の実習
男性	1 年	経営学、人財育成スキルの講義を希望
男性	1 年	生産性向上に関する講座
男性	1 年	送電・配電、発電電についての講座希望
男性	1 年	A I の活用に関する講座
男性	1 年	授業数が多すぎて頭に入っていない
男性	1 年	I T、情報技術の講習
女性	1 年	統計学の講習
男性	1 年	情報セキュリティー管理に関する講座
男性	1 年	溶接に関するもの
男性	1 年	外部講師による技術指導等の機会が増えると良いと思いました
男性	1 年	自動車ディーラーだけでなく、中古車にも目を向けて幅広い知識を習得したい
男性	1 年	税金について
男性	1 年	休みが少ない
男性	1 年	上司によるパワハラ、セクハラの対策講座があるといいなと思う。ストレスの対処法など、人の心に関する講座がもっと増えてほしい
男性	1 年	基礎の復習、応用対策
男性	1 年	一般常識、マナー。週休 3 日にしてほしい
男性	3 年	設計・製図技術について
男性	4 年	A I を活用するための講習
女性	4 年	資格の講習会
男性	4 年	仕事で使用するプログラミング言語の活用に関する講座
男性	4 年	” ユーモア ” や ” クリティカルシンキング ” について学べる講座
男性	4 年	IoT
女性	4 年	IoT、A I、クラウドファンディング
女性	4 年	技能というか、一般教養として税金などの講座をうけたい（かかるお金は少なく）
女性	4 年	A I 活用、P C スキルの向上などについての講座
女性	4 年	IoT とか情報処理能力に関する講習（ビギナー向けの）

男性	4 年	IoT や機械についての講習
男性	4 年	A I
男性	4 年	やっている内容がよく分からない
男性	4 年	A I についてなどを詳しく知りたい
男性	4 年	基本技術者の情報
男性	4 年	プログラミング、C A D
男性	4 年	A I または計算化学
男性	4 年	足りない部分をおぎなえる講習をうけてみたい
男性	4 年	A I の活用

教育訓練施設への要望（12 件）

性別	学年	回答内容
男性	1 年	A I。大学校はそもそも不要ではないか。税金の無駄である。技専もあるため不要だ。そもそもこの大学校は全くレベルアップが出来る場所ではない。もっと寄り添った訓練が必要ではないか。理解していると思い込んでいる教員が多い
男性	1 年	実習場が、夏になると 40℃超えの暑さになるので、作業に支障がでるためエアコンが欲しい
男性	1 年	実習場が暑い、寒い
男性	1 年	夏の実習場が暑すぎる。熱中症のリスクが高くなる
男性	1 年	和式のトイレだとトイレがしづらい
男性	1 年	新しい機械を使いたい
男性	1 年	クーラーが寒い
女性	1 年	P C が 2 画面になると作業しやすいです。夏がクーラーあまりにも寒かったです。プログラミングの授業がもう少し増えると嬉しいです。通学時間が毎日 4 時間なので、リモート授業が月に 2 回くらいあると嬉しいです
女性	1 年	授業内容に不満はないが、1 年を通してのカリキュラムや授業内容が入学後も少し不透明感があつたように感じる。入校前のパンフレットにある程度詳細に記してほしい。あとエアコンが効きすぎるように感じた。夏は暑さと寒さのギャップにより暫く頭痛に悩まされました
男性	1 年	施設全体を新しく建設してほしい
男性	1 年 3 年	指導方法等の要望、改善についてのご意見（2 件）

企業、他機関等との連携（２件）

性別	学年	回答内容
女性	４年	県内企業のすごさ、魅力を知れるような交流会、セミナー等の開催（堅苦しいものではなく、立食パーティーくらいの気軽に参加、交流ができるものができたらうれしいです。学生と企業と一緒に活動する機会
女性	４年	短期インターン、企業説明会

その他（４件）

性別	学年	回答内容
男性	１年	その他（３件）
男性	４年	
女性	４年	留学

VI 資料 アンケート調査票

職業能力開発ニーズ調査

問 1-1 貴事業所の概要について、ご記入又は該当番号に○をつけてください。

事業所名			
所在市町村名	市・町・村	ご担当者 氏名	
電話番号		ご担当者 e-mail	
本支店の区分 (1つに○)	1. 本社・本店(他の場所に事業所を有する) 2. 単独事業所(他の場所に事業所を有しない) 3. 支店・営業所・支所		
業 種 (主力の業種 1つのみに ○)	1. 製造業	1. 食料品 2. 繊維製品関連 3. 木材・家具 4. パルプ・紙加工品 5. 印刷 6. 窯業・土石製品製造業 7. 化学(医薬)・プラスチック 8. 金属製品 9. 一般機械 10. 電子部品・デバイス 11. 電気機械 12. 輸送機械 13. 精密機械 14. その他製造業 ()	
	2. 非製造業	15. 運輸業 16. 建設業 17. 卸・小売業 18. 金融保険業 19. 電気・ガス・熱供給業 20. 情報通信業 21. 医療・福祉 22. 宿泊業・飲食サービス業 23. その他サービス業 24. その他非製造業 ()	

問 1-2 貴社全体（本社、支社、工場、営業所等を合わせた全体）の正社員と非正社員を合わせた従業員数について、あてはまるものを1つ選んでください。（番号1つに○）
 ※本設問のみ、貴社全体（本社、支社、工場、営業所等を合わせた全体）についてお答えください。

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 9人以下 | 2. 10～29人 | 3. 30～49人 | 4. 50～99人 |
| 5. 100～299人 | 6. 300人以上 | | |

問 1-3 貴事業所の正社員と非正社員の従業員数をご記入ください。

区分	正社員	非正社員
従業員数	人	人

- ※ 「非正社員」には、有期雇用社員（契約社員、嘱託、パート・アルバイト等）、外部人材（派遣労働者・請負労働者等、他社で雇用され、貴社に派遣・配置されている人材）を含めた人数をお書きください。
- ※ 該当する区分の社員がいない場合は「0」人とお書きください。

人材の過不足感と求める能力について

問 2 - 1 貴事業所における現在の人材の過不足感について、職種区分ごとにあてはまるものを 1 つ選んでください。
(職種区分ごとに番号 1 つに○)

職種区分	十分足りている	まあ足りている	どちらとも いえない	やや不足して いる	かなり不足し ている
① 事務・営業系	1	2	3	4	5
② 技術・技能職	1	2	3	4	5

➡ 「4」または「5」を 1 つ以上選んだ事業所は問 2 - 2 へ進む

➡ 「4」または「5」を 1 つも選んでいない事業所は問 3 へ進む

問 2 - 2 問 2 - 1 で「4. やや不足」または「5. かなり不足」を 1 つ以上回答した事業所におたずねします。
人材不足について、今後どのような対応をお考えですか。不足感のある職種について、あてはまるものを選んでください。(不足感のある職種区分ごとにあてはまる番号すべてに○)

① 事務・営業系

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 正社員の採用 | 2. 契約社員、嘱託社員の採用 | 3. パート、アルバイトの採用 |
| 4. 人材派遣会社からの派遣 | 5. 社員の能力向上 | 6. 社内での配置転換 |
| 7. 事業の外部委託化 | 8. 業務の合理化 | 9. 業務委託の活用 |
| 10. 再雇用・定年延長 | | |
| 11. その他 () | | |

② 技術・技能系

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 正社員の採用 | 2. 契約社員、嘱託社員の採用 | 3. パート、アルバイトの採用 |
| 4. 人材派遣会社からの派遣 | 5. 社員の能力向上 | 6. 社内での配置転換 |
| 7. 事業の外部委託化 | 8. 業務の合理化 | 9. 業務委託の活用 |
| 10. 再雇用・定年延長 | | |
| 11. その他 () | | |

問 3 全事業所におたずねします。

貴事業所において、全従業員に求める基礎的な能力や資質はどのようなものですか。

①採用時に採用基準となるもの、②採用から 5 年程度経過後の従業員に求めるもの、③採用後の中高年に求めるものを次の選択肢の中から選びご記入ください(複数選択可)。

	求めるもの
① 採用時	
② 採用後(5 年程度経過後)	
③ 採用後(中高年)	

- | | | |
|----------------------|-------------------|--------------------|
| 1. 一般常識や社会的マナー | 2. コミュニケーション力 | 3. 創造性・独創力 |
| 4. プレゼンテーション力 | 5. 専門的な知識・技術 | 6. 情報処理能力・ITリテラシー※ |
| 7. 営業・折衝力 | 8. 問題発見・改善提案能力 | 9. トラブル対応能力 |
| 10. 正確・迅速な業務処理能力 | 11. 語学力 | 12. リーダーシップ |
| 13. 新技術・新商品への対応力 | 14. 粘り強さ | 15. 向上心・チャレンジ精神 |
| 16. 技術や技能の後継者としての潜在力 | 17. 経営管理(マネジメント)力 | |
| 18. 指導・育成力 | 19. その他 () | |

※ ITリテラシー(通信・ネットワーク・セキュリティなどの技術、SNS・アプリ等の活用力)

従業員の職業能力開発について

問4-1 貴事業所で、従業員に対して行っている教育訓練をすべて選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 見よう見まねのOJT (通常業務内での教育訓練) | 2. 指導担当者によるOJT |
| 3. 計画的なOJT | 4. 社内におけるOff-JT (研修等の通常業務外での教育訓練) |
| 5. 通信教育などの受講に対する支援 | 6. 技能検定等、公的資格取得への支援 |
| 7. 社外の機関を利用したOff-JT | 8. その他 () |



➡ 「7」を回答していない事業所は、問4-3へ進む

問4-2 問4-1で「7. 社外の機関を利用したOff-JT」と回答した事業所におたずねします。
貴事業所で、現在活用している研修機関をすべて選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1. 親会社・グループ会社 | 2. 民間教育訓練機関 |
| 3. 使用機器のメーカーや取引先 | 4. 富山県技術専門学院 |
| 5. 北陸ポリテクカレッジ(北陸職業能力開発大学校) | 6. ポリテクセンター富山 (富山職業能力開発促進センター) |
| 7. 商工会議所、商工会などの経営者団体 | 8. 大学や専門学校などの教育機関 |
| 9. その他 () | |

問4-3 全事業所におたずねします。
社外の機関を活用する場合、重視する点を選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 教育訓練のカリキュラムやレベル、目標 | 2. 教育訓練により得られる資格や免許 |
| 3. 担当講師やインストラクターの質 | 4. 利用者による評価 |
| 5. 立地・交通の利便性 | 6. 実施時期や曜日・時間帯等 |
| 7. 教育訓練にかかる期間 | 8. 教育訓練にかかる費用 |
| 9. 修了率や資格取得状況などの実績 | 10. 社外の機関を活用しない |
| 11. その他 () | |

問5 貴事業所における、従業員に対する技能検定や免許資格制度への取り組みをすべて選んでください。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 業務関連の技能検定の受検を奨励している | 2. 業務関連以外の技能検定の受検も奨励している |
| 3. 業務関連の免許・資格取得を奨励している | 4. 業務関連以外の免許・資格取得も奨励している |
| 5. 特に奨励していない | 6. その他 () |

問6 貴事業所において、教育訓練を行う上での課題を選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 業務が多忙で教育訓練を行う時間がない | 2. 指導できる人材が不足している |
| 3. 従業員の意欲が乏しい | 4. 指導のノウハウが不足している |
| 5. 教育訓練に対する社内意識が不十分である | 6. 適切な社外研修・講習会がない |
| 7. 従業員を訓練してもすぐに退職してしまう | 8. 教育訓練を行う予算がない |
| 9. 教育訓練の効果が業務上現れにくい | 10. スキルアップすると転職してしまう |
| 11. その他 () | 12. 特に問題はない |

問 7-1 貴事業所では、非正社員や外部人材を活用していますか。(番号 1 つに○)

- | | | |
|------------------------|---|-------------------|
| 1. 非正社員・外部人材ともに活用している | ➡ | 問 7-2 (1) (2) へ進む |
| 2. 非正社員のみ活用している | ➡ | 問 7-2 (1) へ進む |
| 3. 外部人材のみ活用している | ➡ | 問 7-2 (2) へ進む |
| 4. 非正社員・外部人材ともに活用していない | ➡ | 問 8-1 へ進む |

問 7-2 問 7-1 で「1」～「3」と回答した事業所におたずねします。

非正社員や外部人材に対して、どのような教育訓練の実施や支援を行っていますか。①～⑨の取り組みについて、(1) 非正社員、(2) 外部人材に対する実施状況をそれぞれ選んでください。(非正社員、外部人材のいずれかのみ活用している事業所は該当部分のみお答えください。)

	(1) 非正社員			(2) 外部人材		
	象 全 員 を 対 象 に 実 施	を 特 定 の 者 に 対 象 に 実 施	実 施 し て い な い	象 全 員 を 対 象 に 実 施	を 特 定 の 者 に 対 象 に 実 施	実 施 し て い な い
① 正社員を指導者とするなど計画的な O J T	1	2	3	1	2	3
② 指導者は決めていないが、必要に応じた O J T	1	2	3	1	2	3
③ 改善提案や小集団活動への参加	1	2	3	1	2	3
④ 採用時・配属時に自社の研修を受講	1	2	3	1	2	3
⑤ 自社内の定期研修を受講	1	2	3	1	2	3
⑥ 取引先やメーカーなどが主催する研修を受講	1	2	3	1	2	3
⑦ 外部の教育機関が主催する研修を受講	1	2	3	1	2	3
⑧ 自己啓発に対する奨励および支援	1	2	3	1	2	3
⑨ その他 ()	1	2	3	1	2	3

問 8-1 全事業所におたずねします。

貴事業所では、非正社員や外部人材が正社員に登用される制度や慣行はありますか。(番号 1 つに○)

- | | | |
|-------------------------------------|-----|-----------|
| 1. 正社員登用制度がある | } ➡ | 問 8-2 へ進む |
| 2. 正社員登用制度はないが、慣行として正社員に登用されることがある | | |
| 3. 現在は正社員登用制度も慣行もないが、制度の設置を検討中 | | |
| 4. 正社員登用の制度・慣行の両方ともなく、制度の設置も検討していない | ➡ | 問 9-1 へ進む |

問 8-2 問 8-1 で「1」～「3」と回答した事業所におたずねします。

非正社員や外部人材を正社員へ登用するにあたり重視する点を選んでください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 技能・知識のレベル | 2. 登用時までの実績 |
| 3. 登用時までの勤続期間 | 4. 登用後の将来性 |
| 5. 仕事に対する意欲 | 6. 担当する業務の内容 |
| 7. 年齢 | 8. 学歴 |
| 9. 保有する資格 | 10. その他 () |

就職氷河期世代、第二新卒者、中高年世代の雇用について

問 9-1 全事業所におたずねします。

①就職氷河期世代（概ね 39～48 歳）、②第二新卒者、③中高年世代（概ね 55 歳以上）の雇用を意識して採用活動をされていますか。（対象者区分ごとに番号 1 つに○）

対象者	意識している	意識していない
① 就職氷河期世代（概ね 39～48 歳）	1	2
② 第二新卒者 学校等を卒業後に就職し、主に 3 年以内に転職を志す者	1	2
③ 中高年世代（概ね 55 歳以上）	1	2

問 9 - 2 ①就職氷河期世代（概ね 39～48 歳）、②第二新卒者、③中高年世代（概ね 55 歳以上）を雇用
するとした場合の課題をそれぞれ次の選択肢の中から選びご記入ください（複数選択可）

対象者	課題
① 就職氷河期世代(概ね 39～48 歳)	
② 第二新卒者	
③ 中高年世代 (概ね 55 歳以上)	

1. 技能・知識のレベル
2. 雇用時までの実績
3. 雇用時までの勤続期間
4. 雇用後の将来性
5. 仕事に対する意欲
6. 担当する業務の内容
7. 年齢
8. 学歴
9. 保有する資格
10. その他（ ）
11. 特に課題はない

DXの推進（IoTやAI、RPAの取り組み）状況について

問 10-1 以下の①～③の取り組みについて、貴事業所ではどのように実施していますか。それぞれ近いものを1つ選んでください。(①～③の取り組みごとに番号1つに○)

	全面的に 実施	一部実施 (実施可能 な部署のみ 等)	実施して いないが 今後実施 予定	実施してお らず実施予 定もない	その他
① テレワークの導入	1	2	3	4	5 ()
② 決裁方法や業務の デジタル化	1	2	3	4	5 ()
③ W e b 会議の実施	1	2	3	4	5 ()

問 10-2 ビジネス環境の厳しい変化の中でデータとデジタル技術の活用を進める等、D X（※）が推進されていますがそうした状況において貴事業所では I o T・A I・R P A（※）等の導入に取り組んでいますか。該当する番号に○をつけてください。（番号 1 つに○）

1. 既に取り組んでいる
貴事業所の具体的な取り組みについて教えてください。
 2. 今後取り組みたい
 3. 取り組む予定はない
 4. 自社の業態には導入が適していない
 5. わからない
 6. その他
- ➡ 問 10-4 へ進む
- ➡ 問 10-3 へ進む
- ➡ 問 11-1 へ進む

※【用語】

D X【 Digital Transformation 】

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革すること。業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立できる。

I o T【 Internet of Things 】

「モノのインターネット」と訳され、あらゆるモノがインターネットにつながった状態。通信技術やセンサー技術の進化により、モノがネットにつながること、様々な情報をリアルタイムでやりとりできる。対象とするデータを数値等で「見える化」することで、生産性や品質の向上、経費節減等を進めることができる。

A I【 Artificial Intelligence 】

人工知能のことで、人間が指示を与えなくても論理的な推論をしたり、経験から学習したりするコンピュータープログラムのこと。ビッグデータと呼ばれる膨大なデータ蓄積を活用し、多くのデータの中からパターンの特徴を見つけ出すことで業務の効率化が期待できる。

R P A【 Robotic Process Automation 】

人間がコンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作によって代替すること。主に企業などのデスクワークにおけるパソコンを使った業務の自動化・省力化を行うもので、業務の効率化や低コスト化を進めることができる。

問 10-3 問 10-2 において、「3 取り組む予定はない」と回答した事業所にお聞きます。
取り組む予定がない理由を選んでください。該当する番号に○をつけてください。（番号 1 つに○）

1. 取り組む必要がないから
2. どのように取り組めばよいか分からないから
3. その他（

➡ 回答後、次頁問 11-1 へ進む

問 10-4 問 10-2 において、「1 既に取り組んでいる」、「2 今後取り組みたい」と回答した事業所にお聞きます。それ以外の方は問 11-1 へお進みください。I o T・A I・R P A等の導入の取り組みで課題になっているものは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 導入コストがかさむ
2. I o T・A I・R P A等の担当の技術者の不足
3. 活用効果が見えない
4. 情報が足りない
5. その他（

➡ 回答後、次頁問 10-5 へ進む

問 10-5 問 10-2において、「1 既に取り組んでいる」、「2 今後取り組みたい」と回答した事業所にお聞きます。D X 推進のために、中心となり取り組める人材（デジタル人材）は足りていますか。該当する番号に○をつけてください。（番号 1 つに○）

1. 十分足りている
2. まあ足りている
3. どちらともいえない
4. やや不足している
5. かなり不足している

公共職業訓練機関について

問 11-1 貴事業所では、公共職業訓練受講経験者を採用したことはありますか。（番号 1 つに○）

1. 採用したことがある ➡ 問 11-2 へ進む
2. 採用したことがない ➡ 問 11-4 へ進む

問 11-2 問 11-1で「1. 採用したことがある」と回答した事業所におたずねします。
受講した施設ごとの（1）最近 5 年の採用者、（2）そのうち既退職者について人数をご記入ください。

	（1）最近 5 年の採用者	（2）既退職者
① 富山県技術専門学院	人	人
② 北陸ポリテクカレッジ （北陸職業能力開発大学校）	人	人
③ ポリテクセンター富山 （富山職業能力開発促進センター）	人	人
④ その他（ ）	人	人

※（1）に人数を記入し、（2）に該当する人がいない場合は「0」人とお書きください。

問 11-3 採用した公共職業訓練受講者について、全体的な評価をお答えください。①～⑤の項目について、それぞれあてはまるものを 1 つ選んでください。（項目①～⑤ごとに番号 1 つに○）

	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
① 業務に必要な技術や知識がある	1	2	3
② 仕事への取り組み姿勢が良い	1	2	3
③ 即戦力となっている	1	2	3
④ 他の従業員の模範となっている	1	2	3
⑤ 社会人としての常識を有している	1	2	3

➡ 回答後、次頁問 12 へ進む

問 11-4 問 11-1で「2. 採用したことがない」と回答した事業所におたずねします。
これまで公共職業訓練施設のことをご存じでしたか。（番号 1 つに○）

1. 知っていた
2. 知らなかった
3. その他（ ）

➡ 回答後、次頁問 11-5 へ進む

問 15 全事業所におたずねします。

公共職業訓練施設では今後どのような能力の開発に重点を置くべきだと思いますか。貴事業所に該当する4職種ごとにあてはまるものを1～35から選んでください。（職種ごとにあてはまる番号すべてに○）

関連分野	開発に重点を置くべき能力	事務職	営業・販売職	専門技術職	技能職
一般基礎 知識・素養	一般常識や社会的マナー	1	1	1	1
	指導力（リーダーシップ）・育成力	2	2	2	2
	コミュニケーション力	3	3	3	3
	マーケティング力	4	4	4	4
	経営管理（マネジメント）力	5	5	5	5
	語学力	6	6	6	6
	情報処理能力・ITリテラシー	7	7	7	7
	問題発見・解決能力、改善提案能力	8	8	8	8
	企画・計画（設計）能力	9	9	9	9
事務関連	経理・財務処理能力	10	10	10	10
	資金調達・運用能力	11	11	11	11
	経営分析力	12	12	12	12
	法務・税務対応能力	13	13	13	13
	人事・労務管理能力	14	14	14	14
営業・販売 関連	折衝・セールス力	15	15	15	15
	プレゼンテーション力	16	16	16	16
	生産・物流知識	17	17	17	17
	採算管理能力	18	18	18	18
	商品・サービス・技術の知識	19	19	19	19
専門技術 関連	専門分野に特化した知識	20	20	20	20
	専門分野における幅広い基礎知識	21	21	21	21
	特許関連知識	22	22	22	22
	生産（現場）管理能力	23	23	23	23
	生産（現場）技能	24	24	24	24
	CAD/CAM知識	25	25	25	25
技能関連	高度な熟練技能	26	26	26	26
	生産工程の合理化に関する知識・技能	27	27	27	27
	設備の保全や改善の知識・技能	28	28	28	28
	品質管理や検査・試験の知識・技能	29	29	29	29
	多工程処理に関する技能	30	30	30	30
	5Sなど製造現場の基本的な心構え	31	31	31	31
	組立て・調整の技能	32	32	32	32
	NC機やMCのプログラミング	33	33	33	33
	自動機の段取り替えに関する技能	34	34	34	34
該当する職種の社員がいない		35	35	35	35
その他	1～35以外にあれば自由にご記入ください。				

貴事業所に該当する4職種ごとに1から35の中から選んで○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）

問 16 公共職業能力開発施設の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. X (旧 : Twitter)	2. Instagram	3. YouTube
4. LINE	5. FaceBook	6. 県や学院のHP
7. 市町村などの広報誌	8. フリーペーパー	9. パンフレット配布
10. ポスター掲示	11. 求職者・企業へのDM	12. TV・ラジオCM
13. イベント開催	14. ラッピング広告	15. ノベルティグッズ配布
16. わからない	17. その他 ()	

問 17 県の職業能力開発施策全般についてのご意見・ご要望あるいは富山県技術専門学院が実施する公共職業訓練について、新たに必要な訓練コースや既存の訓練コースへのご意見・ご要望がございましたら記入してください。

～非製造業の事業所の回答はここまでです。以下は、製造業の事業所のみお答えください。～

技能者の職業能力開発について ※製造業のみ

問 18-1 製造現場における技能系正社員の職種別による(1)現在の過不足感と、(2)今後の必要性・重要性について職種別にそれぞれあてはまるものを1つ選んでください。(職種①～⑤、(1)(2)ごとに番号1つに○)

職種	(1) 現在の過不足感			(2) 今後の必要性・重要性			
	過剰	適正	不足	大いに必要	必要	あまり必要ない	必要なし
① 一般工(単能工) 比較的簡単な工程のみを担当する労働者	1	2	3	1	2	3	4
② 多能工 複数の機械あるいは工程をこなすことができる技能者	1	2	3	1	2	3	4
③ 技術的技能者 技術的知識を備えた技能者	1	2	3	1	2	3	4
④ 高度熟練技能者 特定の技能領域で高度な熟練技能を発揮する技能者	1	2	3	1	2	3	4
⑤ 管理・監督者 製造現場のリーダーとしてラインの監督業務を担当する技能者	1	2	3	1	2	3	4

問 18-2 貴事業所において、技能系正社員に求める知識や技能を選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 高度に卓越した熟練技能 | 2. 生産工程を合理化する知識・技能 |
| 3. 単独で多工程を処理する技能 | 4. 設備の保全や改善の知識・技能 |
| 5. 組立て・調整の技能 | 6. 品質管理や検査・試験の知識・技能 |
| 7. NC機やMCのプログラミング | 8. 自動機の段取り替えをする技能 |
| 9. 計測システムのオペレーション | 10. 改善提案能力 |
| 11. その他（ | ） |

技能の継承について ※製造業のみ

問 19-1 貴事業所では、技能継承の必要性についてどのようにお考えですか。（番号 1 つに○）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 必要である | 2. やや必要である |
| 3. あまり必要ではない | 4. 必要ではない |
| 5. その他（ | ） |

問 19-2 熟練技能の継承を推進するため、貴事業所で行っている取り組みを選んでください。
（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1. 熟練技能者を定年延長・再雇用することにより、指導を実施している | |
| 2. 新規学卒者の採用を増やしている | |
| 3. 中途採用を増やしている | |
| 4. 継承すべき技能やノウハウを文書化、マニュアル化している | |
| 5. 後継者となる社員に対し、技能継承のための特別な教育訓練を実施している | |
| 6. 熟練技能が不要な製造工程、システムへと変更している | |
| 7. 継承すべき技能・ノウハウ等を絞り込んで継承している | |
| 8. 社外研修の受講を推進している | |
| 9. 特に何も行っていない | |
| 10. その他（ | ） |

問 19-3 貴事業所において、熟練技能継承を行う上での課題を選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 技能者を育成する金銭的余裕がない | 2. 技能者を育成する時間的余裕がない |
| 3. 技能者を育成してもすぐに退職してしまう | 4. 指導できる人材が不足している |
| 5. 技能を継承する人材が不足している | 6. 指導のノウハウが不足している |
| 7. 技能の文書化、マニュアル化が難しい | 8. 年代やレベルの差が開き過ぎている |
| 9. 技能継承に時間がかかり、円滑に進まない | 10. 特に問題はない |
| 11. その他（ | ） |

※ アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

もう一度、記入もれがないかご確認ください。

同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいますようお願いいたします。

職業能力開発ニーズ調査

問 1 あなた自身のことについて、ご記入又は該当項目に○をつけてください。

[illegible]

問 2 - 1 現在あなたは、①仕事に役立つ免許や資格をお持ちですか。また、②今後とりたいと思う免許や資格がありますか。(①②それぞれ番号 1 つに○)

① 現在、仕事に役立つ資格や免許を	1. 持っている	2. 持っていない	①、②ともに「2」 と回答した方
② 今後、とりたいと思う免許や資格が	1. ある	2. ない	

問3へ進む

問2-2 問2-1①で「1. 持っている」、②で「1. ある」と回答した方は具体的にご記入ください。

(例) 技能検定 機械加工 (フライス盤)、大型特殊免許 等 (複数記入可)

① 現在の保有資格	
② 今後取得したい資格	

問2-3 あなたが免許や資格を取得する理由としてあてはまるものを選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 業務の遂行に必要不可欠だから | 2. 業務遂行能力を向上させるため |
| 3. 専門以外の技能を向上させるため | 4. 新しい知識や技能を吸収するため |
| 5. 自分の技術的水準の確認のため | 6. 自己啓発や視野の拡大のため |
| 7. 昇格や昇進の必要条件だから | 8. 昇格や昇進に有利に働くから |
| 9. 給与や賞与に反映されるから | 10. 転職の際に役立つから |
| 11. その他 () | |

問3 全員におたずねします。

あなたは今後、特にどのような職業能力を身につけたい、または高めたいと思いますか。1～34の選択肢から選び○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○) 選択肢以外にあれば、「35.その他」にご記入ください。

関連分野	身につけたい職業能力（1～34の選択肢からあてはまる番号すべてに○）	
一般基礎知識・素養	1. 一般常識や社会マナー 3. コミュニケーション力 5. 経営管理能力（マネジメント力） 7. 情報処理能力・ITリテラシー（通信・ネットワーク・セキュリティなどの技術、SNS・アプリ等の活用力） 8. 問題発見・解決能力、改善提案力	2. 指導力（リーダーシップ）・育成力 4. マーケティング力 6. 語学力 9. 企画・計画（設計）能力
事務関連	10. 経理・財務処理能力 12. 経営分析力 14. 人事・労務管理能力	11. 資金調達・運用能力 13. 法務・税務対応能力
営業・販売関連	15. 折衝・セールス力 17. 生産・物流知識 19. 商品・サービス・技術の知識	16. プレゼンテーション力 18. 採算管理能力
専門技術関連	20. 専門分野に特化した知識 22. 特許関連知識 24. 生産（現場）技能	21. 専門分野における幅広い基礎知識 23. 生産（現場）管理能力 25. CAD/CAM技術
技能関連	26. 高度な熟練技能 28. 設備の保全や改善の知識・技能 30. 多工程処理に関する技能 32. 組立て・調整の技能 34. 自動機の段取り替えに関する技能	27. 生産工程の合理化に関する知識・技能 29. 品質管理や検査・試験の知識・技能 31. 5Sなど製造現場の基本的な心構え 33. NC機やMCのプログラミング
その他	1～34以外にあれば自由にご記入ください 35. その他 () 36. 特になし（必要な能力は身に付けている）	

関連分野にかかわらず1から34の選択肢からあてはまる番号すべてに○

問 4-1 あなたが現在取り組んでいる教育訓練はありますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. ある（下記の教育訓練の形態から番号に○をつけてください）

- | | |
|---|------------------------|
| 1. 職場内における教育訓練 | 2. 親会社やグループ会社が行う教育訓練 |
| 3. 民間教育訓練機関の講習会やセミナーへの参加 | |
| 4. 公共職業能力開発施設が行う教育訓練（県技術専門学院、ポリテクセンター等） | |
| 5. 専修学校、各種学校の講座の受講 | 6. 高等専門学校、大学、大学院の講座の受講 |
| 7. 業界団体や機械メーカー等が行う教育訓練 | 8. 各種通信教育 |
| 9. ラジオ、テレビ、専門書、インターネット等による自学・自習 | |
| 10. その他（ | ） |

2. ない

問 4-2 あなたが受けたいと思う教育訓練の形態を選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|---|------------------------|
| 1. 職場内における教育訓練 | 2. 親会社やグループ会社が行う教育訓練 |
| 3. 民間教育訓練機関の講習会やセミナーへの参加 | |
| 4. 公共職業能力開発施設が行う教育訓練（県技術専門学院、ポリテクセンター等） | |
| 5. 専修学校、各種学校の講座の受講 | 6. 高等専門学校、大学、大学院の講座の受講 |
| 7. 業界団体や機械メーカー等が行う教育訓練 | 8. 各種通信教育 |
| 9. ラジオ、テレビ、専門書、インターネット等による自学・自習 | |
| 10. その他（ | ） |

問 5 職業能力向上において、あなたが考える課題に近いものを選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 仕事が忙しくて教育訓練を受ける時間がない | 2. 家事や育児が忙しくて教育訓練を受ける時間がない |
| 3. 管理職が教育訓練に熱心ではない | 4. 自社内に教育訓練を行う体制が整っていない |
| 5. 自分の取組み姿勢が不十分である | 6. 自分がどの分野の能力を向上させるべきかわからない |
| 7. 職業能力を高めるために何をすればよいかわからない | |
| 8. 教育訓練にかかる費用が高すぎる | 9. 職業能力を高めても社内の評価が高まらない |
| 10. 教育訓練に関する情報が乏しい | 11. 特に問題はない |
| 12. その他（ | ） |

問 6-1 公共職業能力開発施設（県技術専門学院、ポリテクセンター等）では、様々な教育訓練や講習会を実施していますが、受講されたことはありますか。（番号 1 つに○）

1. 受講したことがある

特に受講して意義があったと思うものがあれば 1 つご記入ください。

受講科目名
(受講施設)

問 6-2
へ進む

2. 知っているが受講したことはない ➡ 問 6-2 へ進む

3. 存在自体知らない ➡ 問 7 へ進む

求職者対象

職業能力開発二一ズ調査

問1 あなた自身のことについて、ご記入又は該当項目に○をつけてください。

[illegible]

問2 あなたが就職したい業種を問1の業種（1～24）から希望順に3つまで選び、番号をご記入ください。
 [※14（その他製造業）及び24（その他非製造業）の場合は、具体的な内容を下欄にご記入ください。]

1 番目		2 番目		3 番目	
※14 あるいは 24 の具体的業種の内容					

問3 あなたが希望する職種を次の選択肢の中から希望順に2つまで選び、番号をご記入ください。

1 番 目	2 番 目
1. 専門・技術職	2. 経営・管理職
4. 営業・販売職	5. 警備・保安職
7. 単純労務職	8. その他（ ）
	9. 職種にこだわりはない

問4 問2、問3でその業種・職種を希望する理由として近いものを1つ選んでください。(番号1つに○)

1. 自分の知識・技術や経験が生かせるから
2. やりがいのある仕事にチャレンジしたいから
3. 企業の求人状況等から就職しやすいと思われるから
4. 経験したことのない分野に興味があるから
5. 特に理由はなく、ただ何となく良さそうだから
6. その他 ()

問5 (1) あなたが就職するにあたって、どのような情報を参考にしていますか。該当するものすべてを選び、番号に○を付けてください。(あてはまる番号すべてに○、その他はカッコ内に記入)

SNS

1. X (旧:Twitter) 2. Instagram 3. FaceBook 4. YouTube
5. その他SNS ()

ウェブサイト

6. ハローワークインターネットサービス 7. 派遣会社 8. 企業等 9. 転職や就活支援サイト
10. その他ウェブサイト ()

フリーペーパー

11. 求人情報誌 12. 折込チラシ 13. 新聞紙面広告 14. その他フリーペーパー類 ()

広報誌

15. 県広報誌 16. 市町村広報誌 17. その他広報誌 ()

ポスター掲示

18. ハローワーク 19. スーパーマーケット 20. コンビニエンスストア
21. 公民館や体育館などの公共施設 22. 駅 23. 電車内・バス車内 24. ショッピングモール
25. その他 ()

CM

26. テレビ 27. ラジオ 28. その他 ()

説明会等

29. 企業説明会 30. 企業面接会 31. 就業体験会 32. その他の説明会 ()

その他の経路

33. 口コミ・知人や家族からの紹介 34. その他 ()

(2) 上記で選んだもののうち、あなたが最も重視する情報源は何ですか。番号でお答えください。_____

問6 あなたが仕事を探す上で、特に重視したい項目を選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 正社員・非正社員の区分 2. 収入 3. 適性にあった仕事
4. 時間・休日等の就業条件 5. 通勤条件 6. 仕事のやりがい
7. 仕事のハード具合(労働密度) 8. 職場環境 9. 仕事の外観(世間体等)
10. 知識や経験が活かせること 11. 安定して長く働けること
12. その他 ()

問 7 仕事を探す上で、今のあなたに足りないと思うことや必要だと思うことに近いものを選び○をしてください。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|---------------|----------|-----------|
| 1. 知識・経験 | 2. スキル | 3. 資格 |
| 4. 学歴 | 5. 自由な時間 | 6. 求職活動資金 |
| 7. 身内の理解 | 8. 気力・体力 | 9. 目標 |
| 10. 特にない | | |
| 11. その他（具体的に： | | ） |

問 8-1 現在あなたは、①仕事に役立つ免許や資格をお持ちですか。また、②今後取得したいと思う免許や資格がありますか。（①②それぞれ番号 1 つに○）

① 現在、仕事に役立つ資格や免許を	1. 持っている	2. 持っていない
② 今後、とりたいと思う免許や資格が	1. ある	2. ない



➡問 9 へ進む

問 8-2 問 8-1 ①で「1. 持っている」、②で「1. ある」と回答した方は具体的にご記入ください。
(例) 技能検定 機械加工（フライス盤）、大型特殊免許 等（複数記入可）

① 現在の保有資格	
② 今後取得したい資格	

問 9 全員におたずねします。

あなたは求職活動をする中で、どのような職業能力を身につけたいと思いますか。1～34 の選択肢から選び○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）選択肢以外にあれば、「35.その他」にご記入ください。

関連分野	身につけたい職業能力（1～34 の選択肢からあてはまる番号すべてに○）
一般基礎知識・素養	1. 一般常識や社会マナー 2. 指導力（リーダーシップ）・育成力 3. コミュニケーション力 4. マーケティング力 5. 経営管理能力（マネジメント力） 6. 語学力 7. 情報処理能力・ITリテラシー（通信・ネットワーク・セキュリティなどの技術、SNS・アプリ等の活用力） 8. 問題発見・解決能力、改善提案力 9. 企画・計画（設計）能力
事務関連	10. 経理・財務処理能力 11. 資金調達・運用能力 12. 経営分析力 13. 法務・税務対応能力 14. 人事・労務管理能力
営業・販売関連	15. 折衝・セールス力 16. プレゼンテーション力 17. 生産・物流知識 18. 採算管理能力 19. 商品・サービス・技術の知識
専門技術関連	20. 専門分野に特化した知識 21. 専門分野における幅広い基礎知識 22. 特許関連知識 23. 生産（現場）管理能力 24. 生産（現場）技能 25. CAD／CAM技術
技能関連	26. 高度な熟練技能 27. 生産工程の合理化に関する知識・技能 28. 設備の保全や改善の知識・技能 29. 品質管理や検査・試験の知識・技能 30. 多工程処理に関する技能 31. 5Sなど製造現場の基本的な心構え 32. 組立て・調整の技能 33. NC機やMCのプログラミング 34. 自動機の段取り替えに関する技能
その他	1～34 以外にあれば自由にご記入ください 35. その他（ 36. 特になし（必要な能力は身に付けている）

問 10-1 あなたが現在取り組んでいる教育訓練はありますか。（あてはまる番号すべてに○）

2. ある（下記の教育訓練の形態から番号に○をつけてください）

- 民間教育訓練機関の講習会、セミナーへの参加
- 公共職業能力開発施設が行う教育訓練（県技術専門学院、ポリテクセンター等）
- 専修学校、各種学校の講座の受講
- 高等専門学校、大学、大学院の講座の受講
- 各種通信教育
- ラジオ、テレビ、専門書、インターネット等による自学・自習
- その他（

2. ない

問 10-2 あなたが受けたと思う教育訓練の形態をすべて選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 民間教育訓練機関の講習会、セミナーへの参加
2. 公共職業能力開発施設が行う教育訓練（県技術専門学院、ポリテクセンター等）
3. 専修学校、各種学校の講座の受講
4. 高等専門学校、大学、大学院の講座の受講
5. 各種通信教育
6. ラジオ、テレビ、専門書、インターネット等による自学・自習
7. その他（ ）

問 11-1 公共職業能力開発施設（県技術専門学院、ポリテクセンター等）では、様々な教育訓練や講習会を実施していますが、受講されたことはありますか。（番号 1 つに○）

1. 受講したことがある

特に受講して意義があったと思うものがあれば 1 つご記入ください。

受講科目名
(受講施設)

➡ 問 11-2
へ進む

2. 知っているが受講したことはない ➡ 問 11-2 へ進む
3. 存在自体知らない ➡ 問 12 へ進む

問 11-2 問 11-1 で「1. 受講したことがある」または「2. 知っているが受講したことはない」と回答した方におたずねします。

公共職業訓練施設の教育訓練について、あなたのご意見にあてはまるものをすべて選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 受講し有意義だった
2. 受講したが物足りなかった
3. 受講したい科目がない
4. 開講時間が合わない
5. 期間が長すぎる
6. 期間が短すぎる
7. 内容が難しすぎる
8. 内容が簡単すぎる
9. 費用が高すぎる
10. 講座に関する情報が不足している
11. 受講する必要性を感じない
12. その他（ ）

問 12 障害のある方におたずねします。それ以外の方は問 13 にお進みください。

ご自身の障害の程度が、「就労に向けた職業訓練が通所等により受講できる」と思われる場合は次の問にご回答ください。

富山県技術専門学院の離職者訓練では、障害のある方の就労支援のため、障害のある方の職業訓練受講生を増やす取り組みを計画しています。

あなたが再就職に向け新たな技術や資格などを習得するなら、事務系以外の以下の内容にチャレンジしたいと思いますか。興味のあるものに○を付けてください。（あてはまる番号すべてに○）

1. ものづくり現場技術の習得
2. 清掃技術の習得
3. 販売実務の習得
4. 就業に係る基礎的技術の習得
5. その他（ ）
6. 興味がない

問 13-1 全員におたずねします。

公共職業訓練施設の教育訓練を受講したいと思いますか。(番号 1 つに○)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 受講したい | ➡ 問 13-2 へ進む |
| 2. 受講したくない | ➡ 問 14 へ進む |

問 13-2 問 13-1 で「1. 受講したい」と回答した方におたずねします。

公共職業訓練施設での教育訓練として、適正な期間を 1 つ選んでください。(番号 1 つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 半月程度 | 2. 1 ヶ月程度 | 3. 3 ヶ月程度 |
| 4. 4 ヶ月程度 | 5. 6 ヶ月程度 | 6. 1 年程度 |
| 7. 2 年程度 | 8. その他 (|) |

問 13-3 公共職業訓練施設での教育訓練は、どのような時間帯を希望しますか。(番号 1 つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------------|------------|
| 1. 1 日 (9～16 時) | 2. 半日 (午前) | 3. 半日 (午後) |
| 4. 夜間 (17～21 時) | 5. その他 (例. 希望する曜日 |) |

問 14 全員におたずねします。

公共職業能力開発施設での教育訓練のうち座学部分の受講方式について、対面授業か、リモート授業か(オンライン・オンデマンド配信による)を自分で選べるようになるとしたら、あなたにとって受講しやすくなりますか。(番号 1 つに○)

- | | |
|----------------|---|
| 1. 受講しやすくなる | |
| 2. 受講しやすくはならない | |
| 3. わからない | |
| 4. その他 (|) |

問 15 公共職業訓練施設の情報を伝えるために、どのような広報媒体が効果的だと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|--------------------|-----------------|-----------------|
| 1. X (旧 : Twitter) | 2. Instagram | 3. YouTube |
| 4. LINE | 5. FaceBook | 6. 県や学院の H P |
| 7. 市町村などの広報誌 | 8. フリーペーパー | 9. パンフレット配布 |
| 10. ポスター掲示 | 11. 求職者・企業への DM | 12. T V ・ラジオ CM |
| 13. イベント開催 | 14. ラッピング広告 | 15. ノベルティグッズ配布 |
| 16. わからない | 17. その他 (|) |

問 16 富山県技術専門学院では、企業に在籍している人向けの在職者訓練も実施しています。これまでのご経験から、今後、リスキリングの一環として受けてみたい講座があればご自由にご記入ください。

在職者訓練コース例：Word & Excel 基礎、AutoCAD 基礎、原価管理講習、コーチング基礎、シーケンス基礎、溶接技能基礎、鉄筋施工講習など

問 17 職業能力開発全般について、あるいは富山県技術専門学院で県が実施する公共職業訓練に対するご意見・ご要望があれば、自由にご記入ください。

※アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
もう一度、記入もれがないかご確認ください。

職業能力開発ニーズ調査

問1 あなたご自身のことについて、ご記入又は該当項目に○をつけてください。

性別	1. 男 2. 女	年齢	歳	住所	市・町・村
在籍校 学科等	学校名：		学科名：		学年： 年

問2 あなたが就職を希望する業種を2つ選んでください。（番号2つまで○）

業 種	1. 製造業	1. 食料品 2. 繊維製品関連 3. 木材・家具 4. パルプ・紙加工品 5. 印刷 6. 窯業・土石製品製造業 7. 化学(医薬)・プラスチック 8. 金属製品 9. 一般機械 10. 電子部品・デバイス 11. 電気機械 12. 輸送機械 13. 精密機械 14. その他製造業（ ）
	2. 非製造業	15. 運輸業 16. 建設業 17. 卸・小売業 18. 金融保険業 19. 電気・ガス・熱供給業 20. 情報通信業 21. 医療・福祉 22. 宿泊業・飲食サービス業 23. その他サービス業 24. その他非製造業（ ）
		25. 業種にこだわりはない

問3 あなたが就職を希望する職種を1つ選んでください。（番号1つに○）

1. 現在、自分が学んでいる知識や技能に関連する職種

2. その他の職種（下記〔 〕から1つ選んでください）

1. 専門・技術職	2. 経営・管理職	3. 一般事務職
4. 営業・販売職	5. 警備・保安職	6. 生産技術・技能職
7. 単純労務職	8. その他（ ）	

3. 職種にこだわりはない

問4 問2、問3でその業種・職種を希望する理由として近いものを1つ選んでください。（番号1つに○）

1. 自分が学んでいる知識・技術が生かせるから

2. やりがいのある仕事にチャレンジしたいから

3. 企業の求人状況等から就職しやすいと思われるから

4. その他（ ）

問5 あなたが就職する上で、特に重視したい項目を選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 正社員・非正社員の区分 2. 収入 3. 適性にあった仕事

4. 時間・休日等の就業条件 5. 通勤条件 6. 仕事のやりがい

7. 仕事のハード具合（労働密度） 8. 職場環境 9. 仕事の外観（世間体等）

10. 知識や経験が活かせること 11. 安定して長く働けること

12. その他（ ）

問6 就職に際して、今学んでいる専門知識のほかに、企業から求められるものとして重要だと考えるものを選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|----------------------|----------------|---------------------|
| 1. 一般常識や社会的マナー | 2. コミュニケーション力 | 3. 創造性・独創力 |
| 4. プレゼンテーション力 | 5. 専門的な知識・技術 | 6. 情報処理能力・ITリテラシー ※ |
| 7. 営業・折衝力 | 8. 問題発見・改善提案能力 | 9. トラブル対応能力 |
| 10. 正確・迅速な業務処理能力 | 11. 語学力 | 12. リーダーシップ |
| 13. 新技術・新商品への対応力 | 14. 粘り強さ | 15. 向上心・チャレンジ精神 |
| 16. 技術や技能の後継者としての潜在力 | | |
| 17. その他（ | | ） |

※ ITリテラシー（通信・ネットワーク・セキュリティなどの技術、SNS・アプリ等の活用力）

問7-1 現在あなたは、①仕事に役立つ免許や資格をお持ちですか。また、②今後取得したいと思う免許や資格がありますか。（①②それぞれで番号1つに○）

- | | | | |
|--------------------|----------|-----------|-------------------------------|
| ① 現在、仕事に役立つ資格や免許を | 1. 持っている | 2. 持っていない | ①、②ともに「2」と回答した方
↓
問8へ進む |
| ② 今後、とりたいと思う免許や資格が | 1. ある | 2. ない | |

問7-2 問7-1①で「1. 持っている」、②で「1. ある」と回答した方は具体的にご記入ください。
（例）技能検定 機械加工（フライス盤）、普通自動車免許 等（複数記入可）

① 現在の保有資格	
② 今後取得したい資格	

問8 全員におたずねします。

あなたが今後、技能職としてステップアップしていくと考えた場合、何が必要だと思いますか。
（あてはまる番号すべてに○）

- | |
|--|
| 1. 必要な免許・資格を取得すること |
| 2. 技能向上に係る企業内外のさまざまな研修の機会を積極的に活用すること |
| 3. 社会人としての教養を高めるため、通信教育や市販の教材の活用等により自発的な研さんを行うこと |
| 4. 職場外の人も含め多くの技能者との交流・意見交換を行い、さまざまな考え方を吸収すること |
| 5. その他（ |
| ） |

問 10 その他、今後、あなたが社会人として、また、技能者としてステップアップしていくことについて、考えていることがあれば、記入してください。

--

問 12 公共職業訓練施設（県技術専門学院等）に対するご意見や、社会人となった後に、自らの技能のステップアップのために、今後受けたい訓練や講習などについて自由にご記入ください。

(例) I o T、A I、R P A活用など、生産性向上に関する講座の設定を希望

もう一度、記入もれがないかご確認ください。

職業能力開発ニーズ調査報告書

令和7年3月 発行

富山県商工労働部労働政策課

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

TEL 076-444-3259

FAX 076-444-4405

